

新・町田市子どもマスターPLAN（後期） 策定のためのアンケート調査報告書

2020年3月

町田市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果の概要	3
1 回答者の属性	3
2 子どもの育ちをめぐる環境について	7
3 子育ての悩みについて	7
4 母親の就労状況について	9
5 職場の育児休業の取得状況について	11
6 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について	12
7 子育てに関する情報の取得方法について	16
8 放課後の過ごし方について	17
9 学童保育クラブの利用について	25
10 子育て施策全般について	26
11 悩み事や相談先について	28
12 インターネットなどについて	29
13 町田市について	34
14 考えや将来像について	38

III 調査結果	39
1 就学前児童保護者	39
(1) 家族の状況について	39
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	42
(3) 子育ての悩みについて	44
(4) 保護者の就労状況について	47
(5) 職場の両立支援制度について	51
(6) 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について	53
(7) 土曜日と日曜・祝日の教育・保育事業等の利用希望について	63
(8) 病気の際の対応について	66
(9) 不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	69
(10) 子育て支援事業の利用状況について	75
(11) 放課後の過ごし方について	84
(12) 子育て施策全般について	89
(13) 調査票	95
2 小学校低学年保護者	103
(1) 家族の状況について	103
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	106
(3) 子育ての悩みについて	108
(4) 保護者の就労状況について	111
(5) 子育て支援事業の利用状況について	116
(6) 放課後の過ごし方について	123
(7) 学童保育クラブについて	129
(8) 子育て施策全般について	137
(9) 調査票	144

3 小学校高学年保護者	150
(1) 家族の状況について	150
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	152
(3) 子育ての悩みについて	154
(4) 保護者の就労状況について	157
(5) 子育て支援事業の利用状況について	162
(6) 放課後の過ごし方について	169
(7) 学童保育クラブについて	171
(8) 子育て施策全般について	175
(9) 4年生以上の子ども本人について	181
(10) 調査票	186
4 中学生・高校生	194
(1) 家族の状況について	194
(2) 悩み事や相談先について	197
(3) インターネットなどについて	202
(4) 学校生活について	208
(5) 放課後や休日の過ごし方について	210
(6) 町田市について	215
(7) 考えや将来像について	219
(8) 調査票	224

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、2020年度から始まる「新・町田市子どもマスターplan（後期）」（第二期町田市子ども・子育て支援事業計画を含む）策定のための基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

就学前児童保護者：町田市在住の小学校就学前児童の保護者から無作為抽出

小学校低学年保護者：町田市在住の小学校低学年児童の保護者から無作為抽出

小学校高学年保護者：町田市在住の小学校高学年児童の保護者及び小学生本人から無作為抽出

中学生・高校生：町田市在住の12歳～18歳の住民から無作為抽出

3 調査期間

2019年5月7日から5月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	2,000通	1,078通	53.9%
小学校低学年保護者	1,500通	847通	56.5%
小学校高学年保護者	1,500通	705通	47.0%
中学生・高校生	1,000通	369通	36.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しております。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・「保護者の就労状況について」の設問では、配偶者がいない方の回答を含まないため、全回答者数よりも少なくなっています。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことと、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを [REDACTED] で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・グラフ以外の表について、コメントで記載している部分を、破線で囲っています。（無回答を除く）
- ・本文中「2013年度調査」は、2013年度に実施した「町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査」を指しています。また、「2015年度調査」は、2015年度に実施した「町田市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を指しています。
- ・2013年度調査は、小学校高学年への調査を実施していません。また、2015年度調査は、小学校低学年・高学年を区別せず集計しています。
- ・本文中「フルタイム」「パートタイム・アルバイトなど」については、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）」「パートタイム・アルバイトなど（フルタイム以外）」を指します。また、グラフ内の「※」については、2019年度調査で新たに追加した項目を指します。

II 調査結果の概要

1 回答者の属性

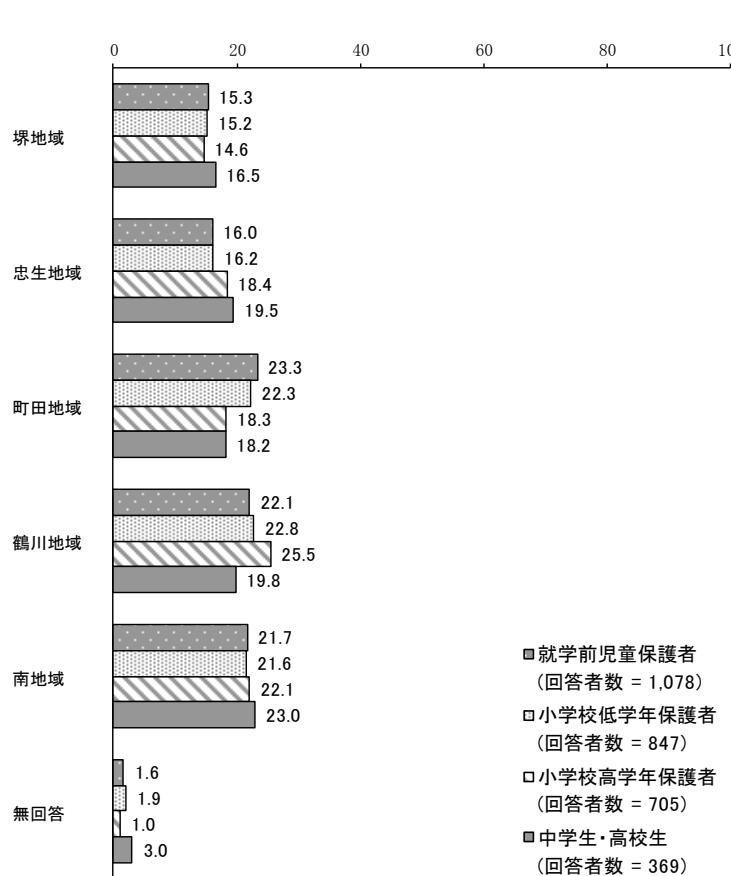
①居住地域

就学前児童保護者では、「町田地域」の割合が23.3%と最も高く、次いで「鶴川地域」の割合が22.1%、「南地域」の割合が21.7%となっています。

小学校低学年保護者では、「鶴川地域」の割合が22.8%と最も高く、次いで「町田地域」の割合が22.3%、「南地域」の割合が21.6%となっています。

小学校高学年保護者では、「鶴川地域」の割合が25.5%と最も高く、次いで「南地域」の割合が22.1%、「忠生地域」の割合が18.4%となっています。

中学生・高校生では、「南地域」の割合が23.0%と最も高く、次いで「鶴川地域」の割合が19.8%、「忠生地域」の割合が19.5%となっています。



②年齢

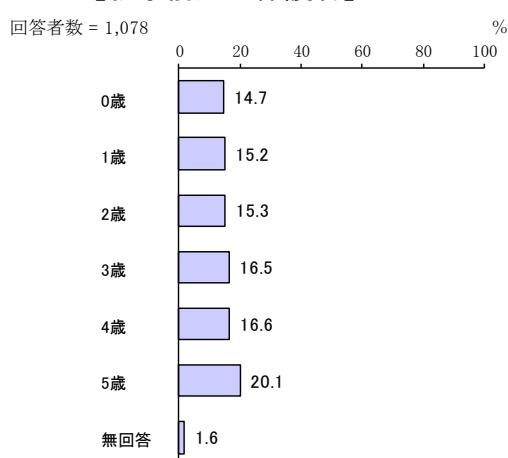
就学前児童保護者では、「5歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.6%、「3歳」の割合が16.5%となっています。

小学校低学年保護者では、「6歳（1年生）」の割合が32.8%と最も高く、次いで「8歳（3年生）」の割合が31.9%、「7歳（2年生）」の割合が30.8%となっています。

小学校高学年保護者では、「10歳（5年生）」の割合が33.5%と最も高く、次いで「11歳（6年生）」の割合が31.9%、「9歳（4年生）」の割合が31.6%となっています。

中学生・高校生では、「中学1年生」の割合が19.0%と最も高く、次いで「高校1年生（15～16歳）」の割合が17.9%、「中学3年生」の割合が17.6%となっています。

【就学前児童保護者】



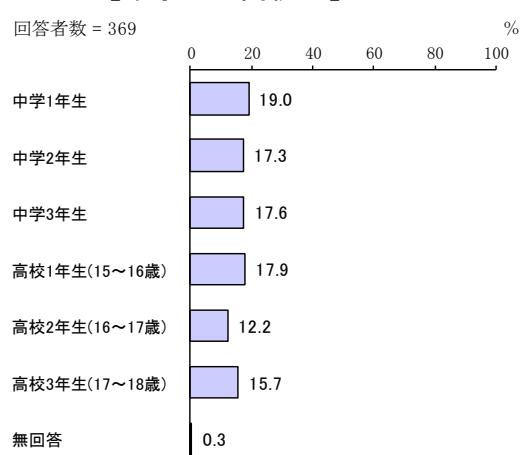
【小学校低学年保護者】



【小学校高学年保護者】

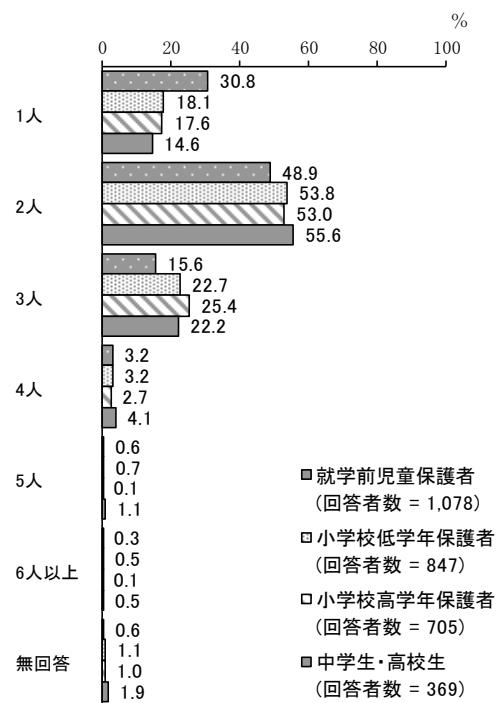


【中学生・高校生】



③きょうだい数

いずれの年代でも「2人」の割合が最も高くなっています。

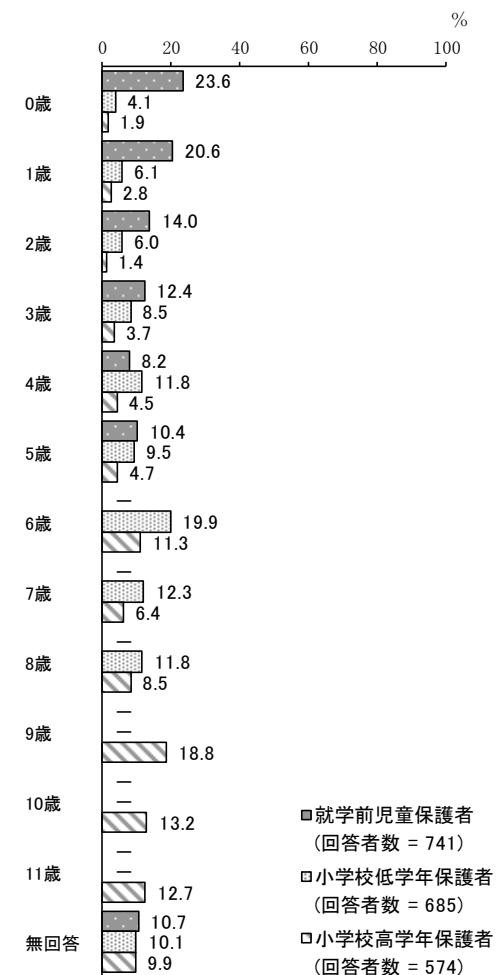


④末子の年齢

就学前児童保護者では、「0歳」の割合が23.6%と最も高く、次いで「1歳」の割合が20.6%、「2歳」の割合が14.0%となっています。

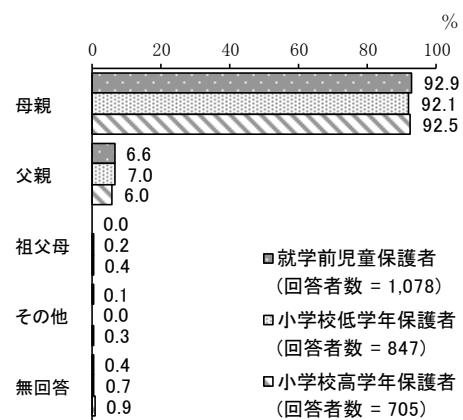
小学校低学年保護者では、「6歳」の割合が19.9%と最も高く、次いで「7歳」の割合が12.3%、「4歳」、「8歳」の割合が11.8%となっています。

小学校高学年保護者では、「9歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「10歳」の割合が13.2%、「11歳」の割合が12.7%となっています。



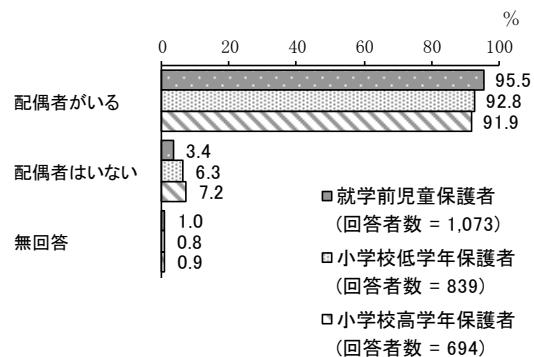
⑤調査票の回答者

いずれの年代でも「母親」の割合が最も高くなっています。



⑥回答者の配偶関係

いずれの年代でも「配偶者がいる」の割合が最も高くなっています。



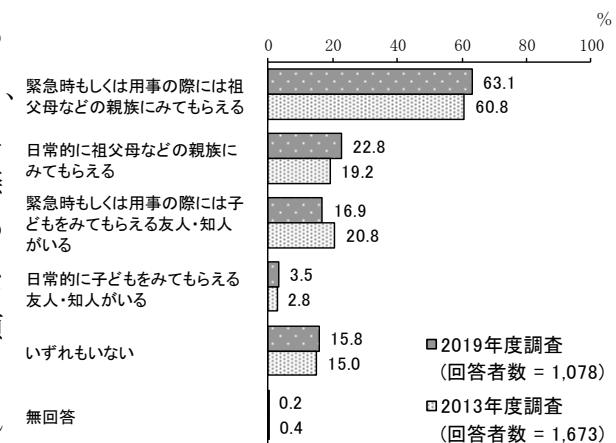
2 子どもの育ちをめぐる環境について

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童保護者

「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が63.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が22.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が16.9%となっている一方、「いずれもいない」の割合が15.8%となっており、緊急時にも頼ることができない人がいることが分かります。

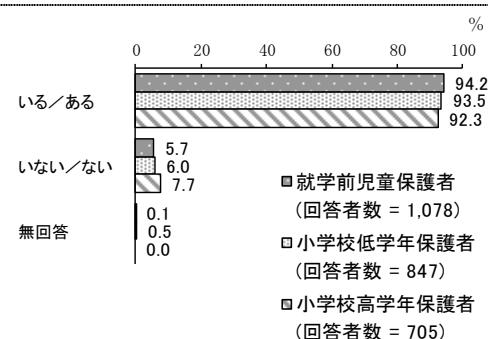
2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。



3 子育ての悩みについて

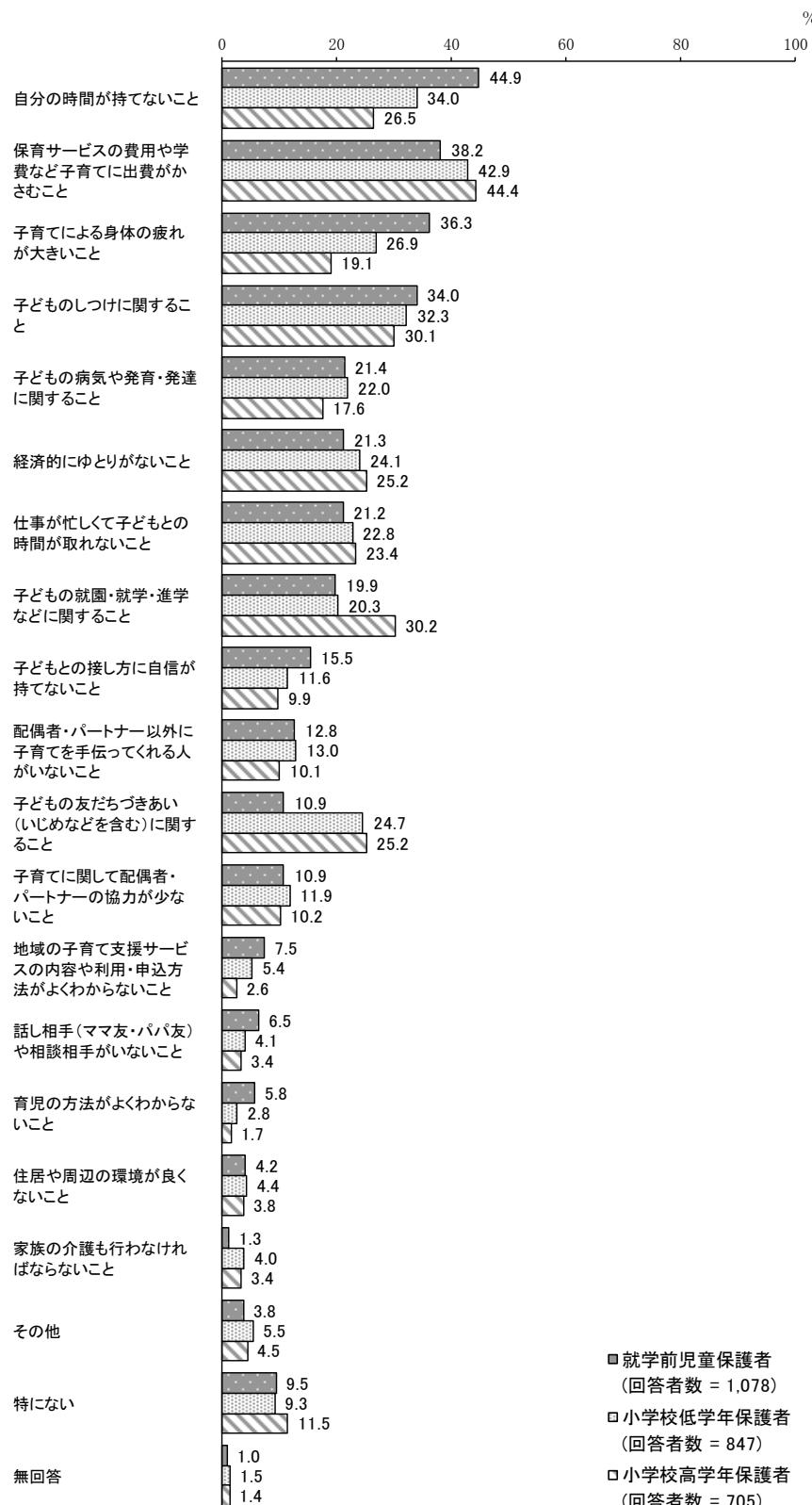
あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

いずれの年代でも90%以上が「いる／ある」となっている一方、「いない／ない」の割合が6~8%ほど見られ、相談相手がいない人もいることが分かります。



子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

世代別でみると、就学前児童保護者では「自分の時間が持てないこと」の割合が、小学校低学年保護者、小学校高学年保護者では「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高くなっています。



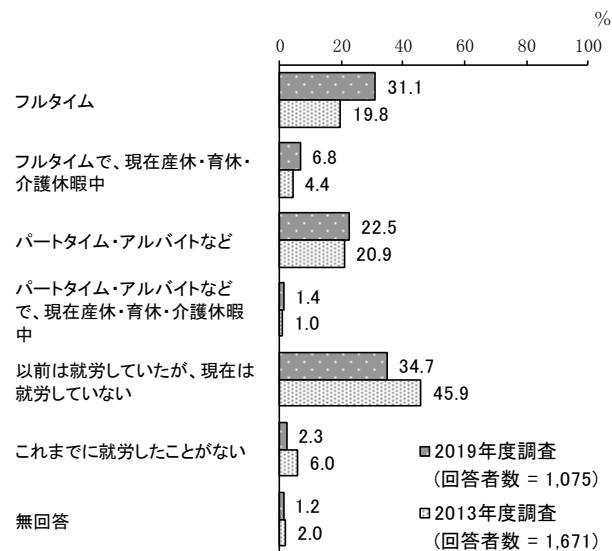
4 母親の就労状況について

現在の母親の就労状況をお答えください。

①就学前児童保護者

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が34.7%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が31.1%、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が22.5%となっています。

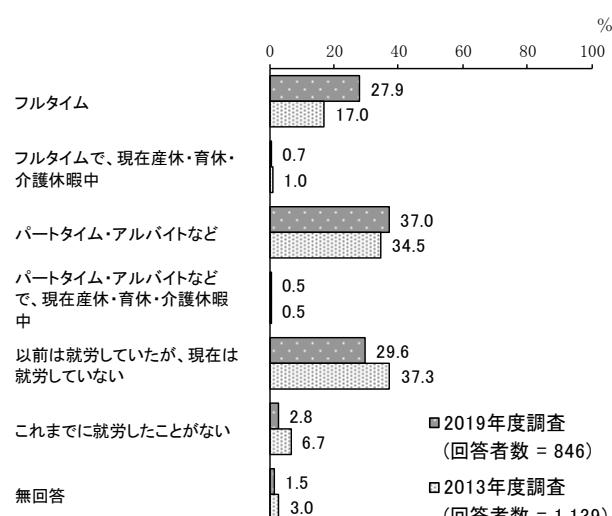
2013年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



②小学校低学年保護者

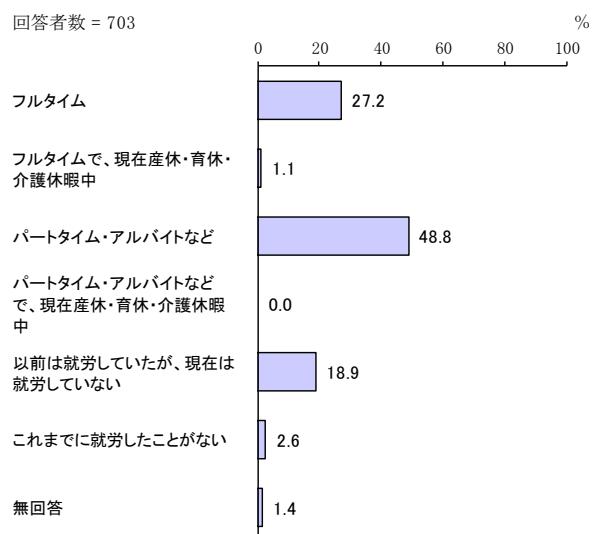
「パートタイム・アルバイトなど」の割合が37.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が29.6%、「フルタイム」の割合が27.9%となっています。

2013年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



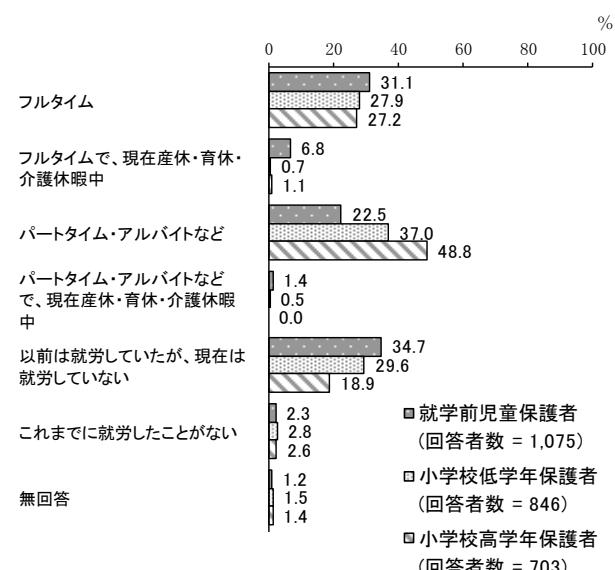
③小学校高学年保護者

「パートタイム・アルバイトなど」の割合が48.8%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が27.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が18.9%となっています。



④世代別

世代別でみると、世代が高くなるにつれ「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少し、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が高くなっています。また、就学前児童保護者で「フルタイム」と「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」をあわせた“フルタイム”的割合が高く37.9%となっています。



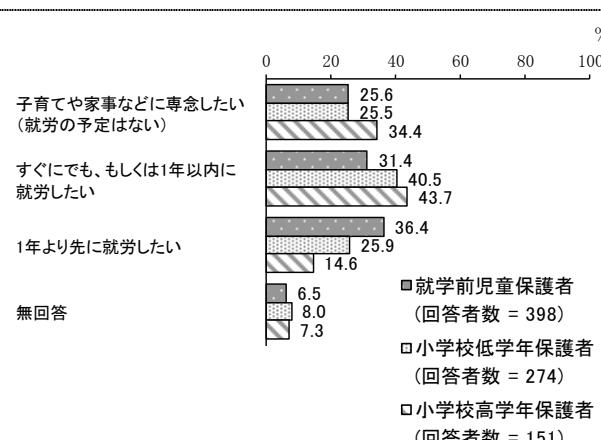
現在の就労状況で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する（　）内には数字をご記入ください。

世代別

世代別でみると、世代が高くなるにつれ「すぐにでも、もしくは1年内に就労したい」の割合が高くなっています。

また、「すぐにでも、もしくは1年内に就労したい」「1年より先に就労したい」をあわせると、5割以上の人人が今後就労することを希望しています。



5 職場の育児休業の取得状況について

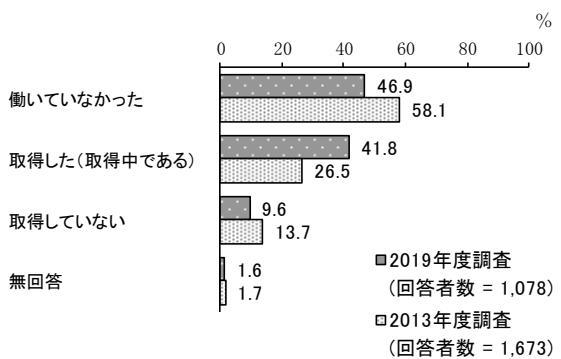
あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前児童保護者

ア 母親

「働いていなかった」の割合が46.9%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が41.8%となっています。

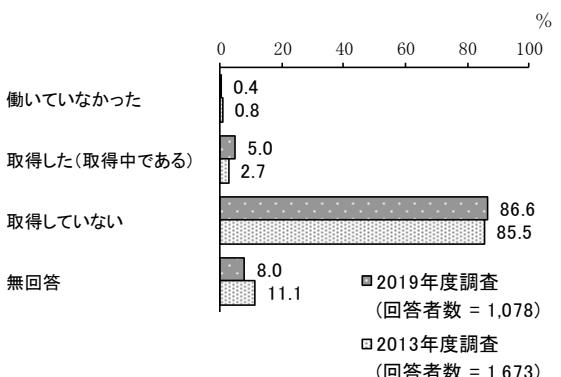
2013年度調査と比較すると、「働いていなかった」の割合が減少し、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。



イ 父親

「取得していない」の割合が86.6%と最も高くなっています。

2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。



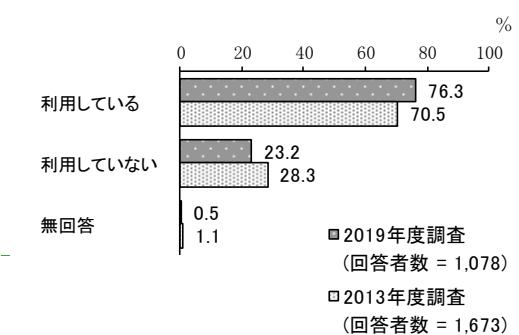
6 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について

あて名のお子さんは現在、保育園・幼稚園等の「定期的な教育・保育事業等」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前児童保護者

「利用している」の割合が76.3%、「利用していない」の割合が23.2%となっています。

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「利用している」の割合が高くなる傾向がみられ、3歳以上で9割を超えていいます。

2013年度調査と比較すると、0歳から2歳で「利用している」の割合が増加しており、保育ニーズの高まりがうかがえます。

単位 : %

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
0歳	158	28.5	70.3	1.3
1歳	164	52.4	47.6	—
2歳	165	69.1	30.9	—
3歳	178	97.2	2.8	—
4歳	179	99.4	—	0.6
5歳	217	99.1	—	0.9

<2013年度調査との比較>

単位 : %

区分	2019年度調査		2013年度調査	
	回答者数 (件)	利用している	回答者数 (件)	利用している
0歳	158	28.5	260	25.4
1歳	164	52.4	257	41.6
2歳	165	69.1	264	52.7
3歳	178	97.2	323	94.4
4歳	179	99.4	289	99.3
5歳	217	99.1	280	98.6

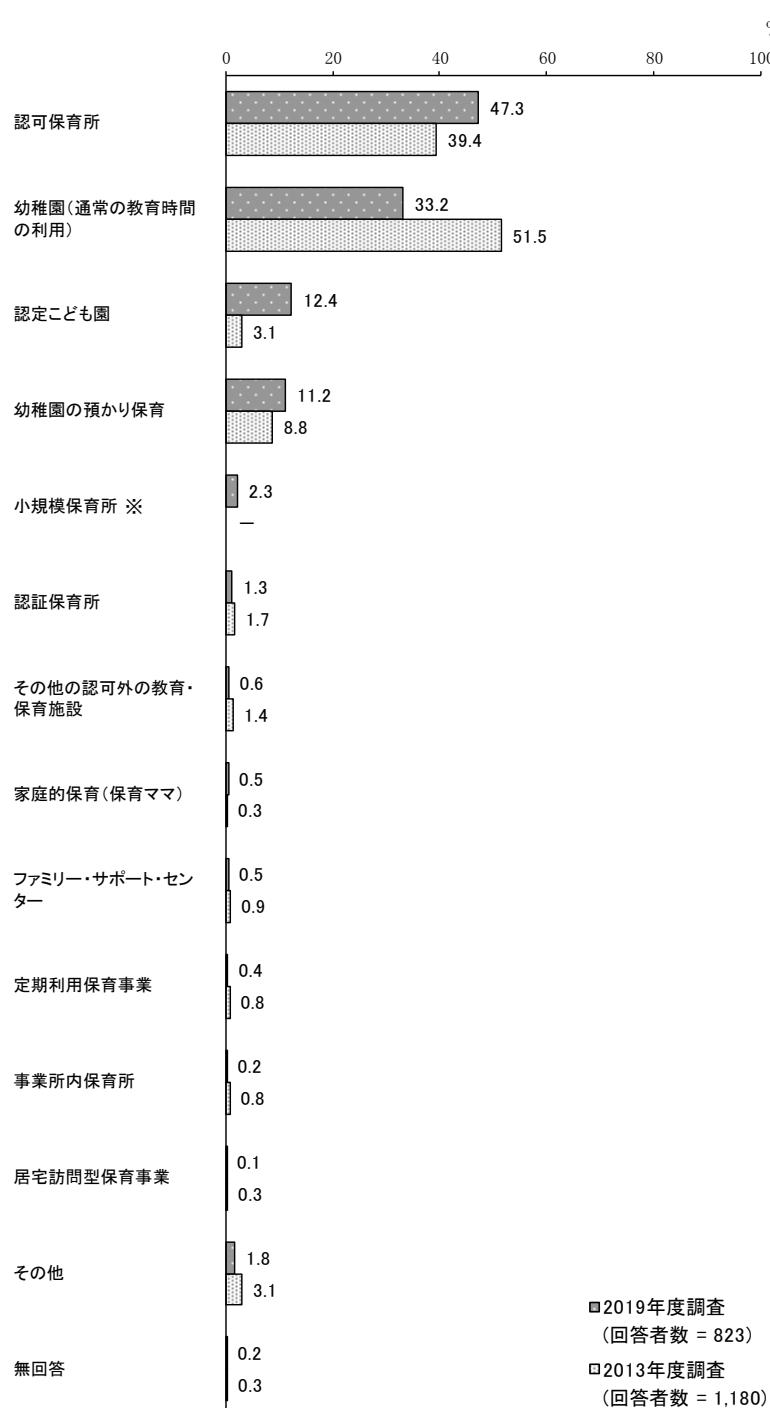
定期的な教育・保育事業等の利用で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日どのような教育・保育事業等を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童保護者

「認可保育所」の割合が47.3%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が33.2%、「認定こども園」の割合が12.4%となっています。

2013年度調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」の割合が増加し、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が減少しています。これは、9ページ「4 母親の就労状況について」で就労している保護者が増えてきていることによるものと思われます。

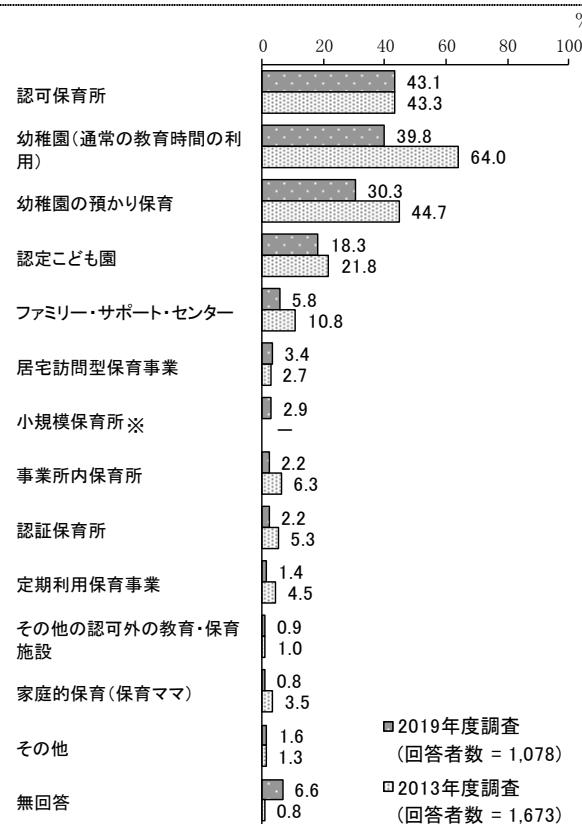


現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用するものとして、今後も利用を続けたい、もしくは、新たに利用したい事業はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童保護者

「認可保育所」の割合が43.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が39.8%、「幼稚園の預かり保育」の割合が30.3%となっています。

2013年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【地域別】

地域別でみると、堺地域、忠生地域、鶴川地域で「認可保育所」の割合が、町田地域、南地域で「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。また、他に比べ、町田地域、南地域で「幼稚園の預かり保育」の割合が、忠生地域、町田地域で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常の 教 育 時 間 の 利 用)	幼稚園の 預 かり 保 育	認 可 保 育 所	認 定 こ ど も 園	小 規 模 保 育 所	家 庭 的 保 育 (保 育 マ マ)	事 業 所 内 保 育 所	認 証 保 育 所	定 期 利 用 保 育 事 業	保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 教 育 ・ 保 育	居 宅 訪 問 型 保 育 事 業	ン タ ー ・ ア ミ リ ー ・ サ ポ ト ・ セ	そ の 他	無 回 答
堺地域	165	40.0	26.7	46.7	13.3	4.8	1.2	3.6	2.4	3.0	—	5.5	3.6	0.6	4.2	
忠生地域	173	28.9	25.4	42.8	27.7	1.2	0.6	1.2	—	1.2	1.2	2.3	2.9	1.2	6.4	
町田地域	251	40.6	32.7	39.4	22.7	3.6	0.4	3.6	3.2	1.2	1.6	2.8	7.6	1.2	8.0	
鶴川地域	238	42.0	28.2	44.5	12.6	2.1	1.3	2.1	2.5	1.3	1.3	3.8	6.7	2.1	6.3	
南地域	234	44.4	36.8	43.2	15.8	2.6	0.9	0.4	2.1	0.9	0.4	3.4	7.3	2.1	7.3	

【現在利用しているサービス別】

現在利用しているサービス別でみると、現在利用しているサービスをこれからも希望する割合が高くなる傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したいサービス														
		幼稚園 (通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他		
利用しているサービス	幼稚園(通常の教育時間の利用)	273	91.9	51.6	5.5	8.1	0.4	1.1	1.5	—	0.4	—	2.9	6.6	1.5	1.5
	幼稚園の預かり保育	92	73.9	88.0	12.0	17.4	2.2	2.2	2.2	—	1.1	—	5.4	10.9	2.2	—
	認可保育所	389	8.0	15.4	87.1	6.2	0.3	0.3	1.8	1.3	—	1.3	4.1	5.7	1.3	4.6
	認定こども園	102	10.8	17.6	12.7	88.2	2.0	—	2.0	1.0	1.0	—	1.0	3.9	—	3.9
	小規模保育所	19	42.1	42.1	47.4	42.1	63.2	—	5.3	5.3	—	—	—	5.3	—	5.3
	家庭的保育(保育ママ)	4	50.0	100.0	50.0	50.0	—	50.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—
	事業所内保育所	2	—	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
	認証保育所	11	18.2	36.4	18.2	18.2	—	—	—	72.7	—	—	—	—	—	9.1
	定期利用保育事業	3	100.0	66.7	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—
	他の認可外の教育・保育施設	5	—	40.0	60.0	20.0	—	—	—	—	80.0	20.0	40.0	—	—	—
	居宅訪問型保育事業	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	ファミリー・サポート・センター	4	75.0	50.0	—	25.0	—	—	—	25.0	—	—	—	50.0	—	—
	その他	15	46.7	40.0	6.7	6.7	6.7	—	—	—	—	—	6.7	—	53.3	6.7

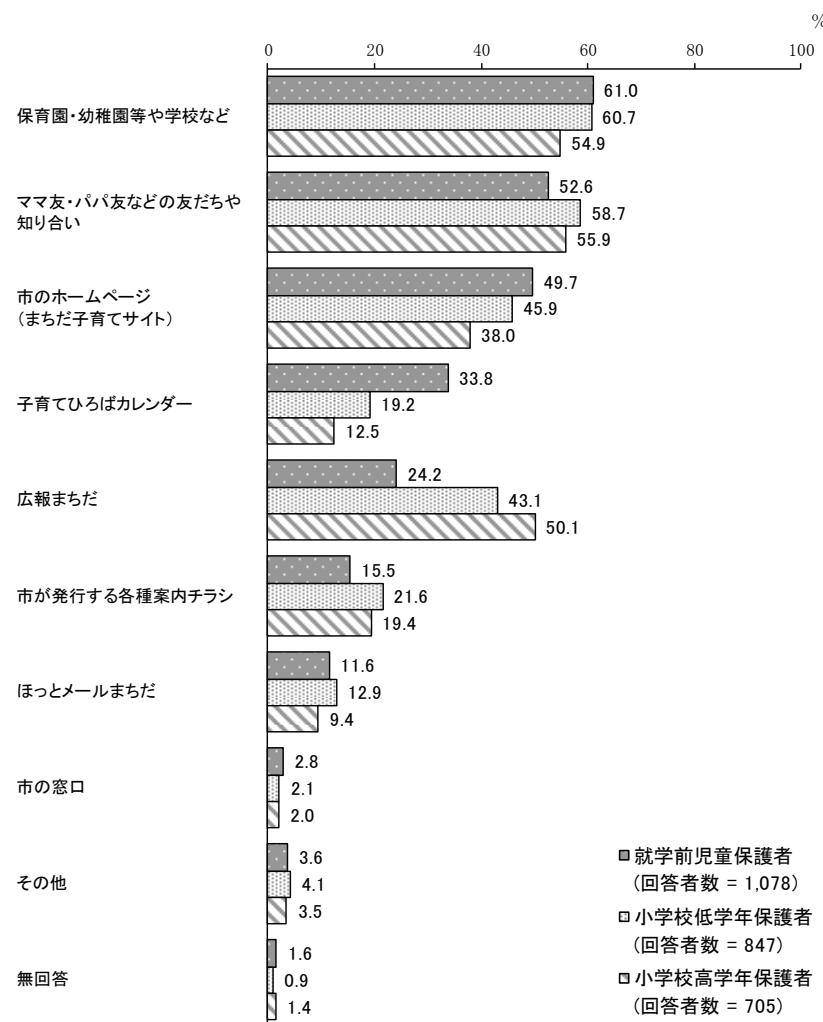
7 子育てに関する情報の取得方法について

子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

世代別

すべての世代で「保育園・幼稚園等や学校など」「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い」の割合が高くなっています。

また、若い世代の保護者ほど、「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」から情報を得ています。



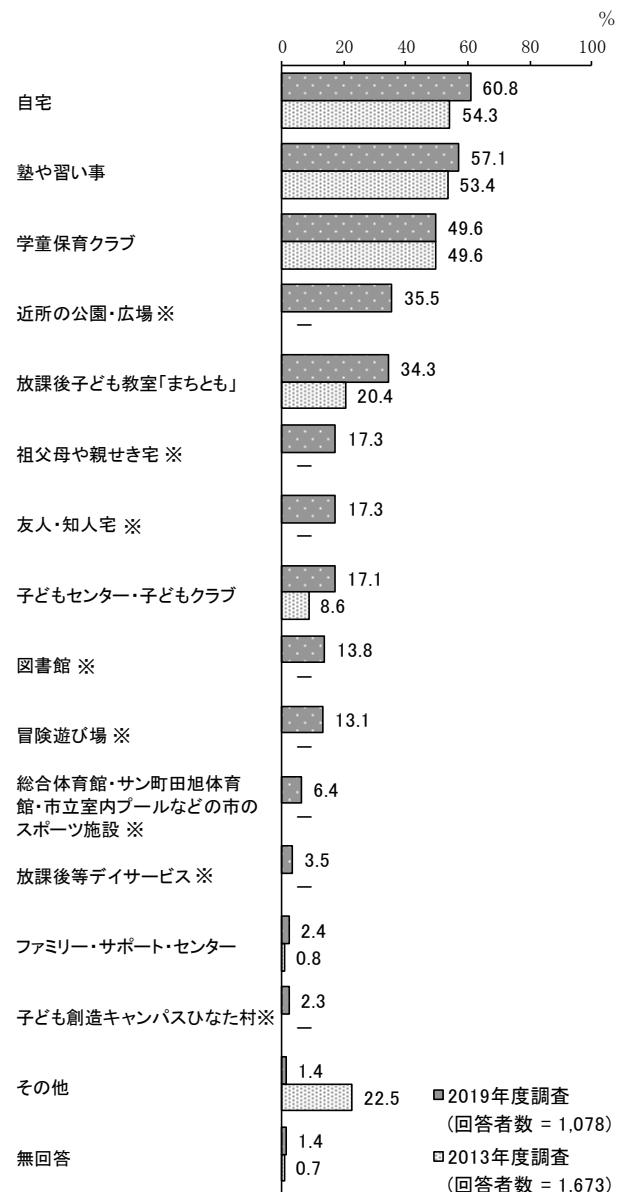
8 放課後の過ごし方について

小学生にあがったとき、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

①就学前児童保護者

「自宅」の割合が60.8%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が57.1%、「学童保育クラブ」の割合が49.6%となっています。

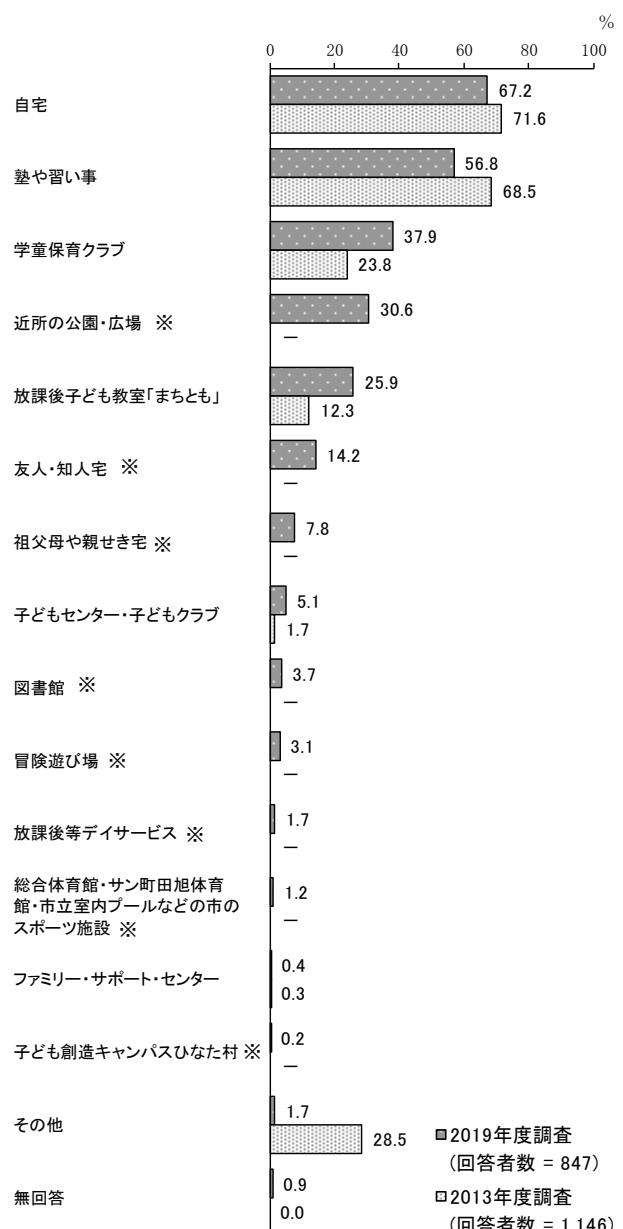
2013年度調査と比較すると、「自宅」「放課後子ども教室『まちとも』」「子どもセンター・子どもクラブ」の割合が増加しています。



小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ過ごしている週当たりの日数を数字でご記入ください。

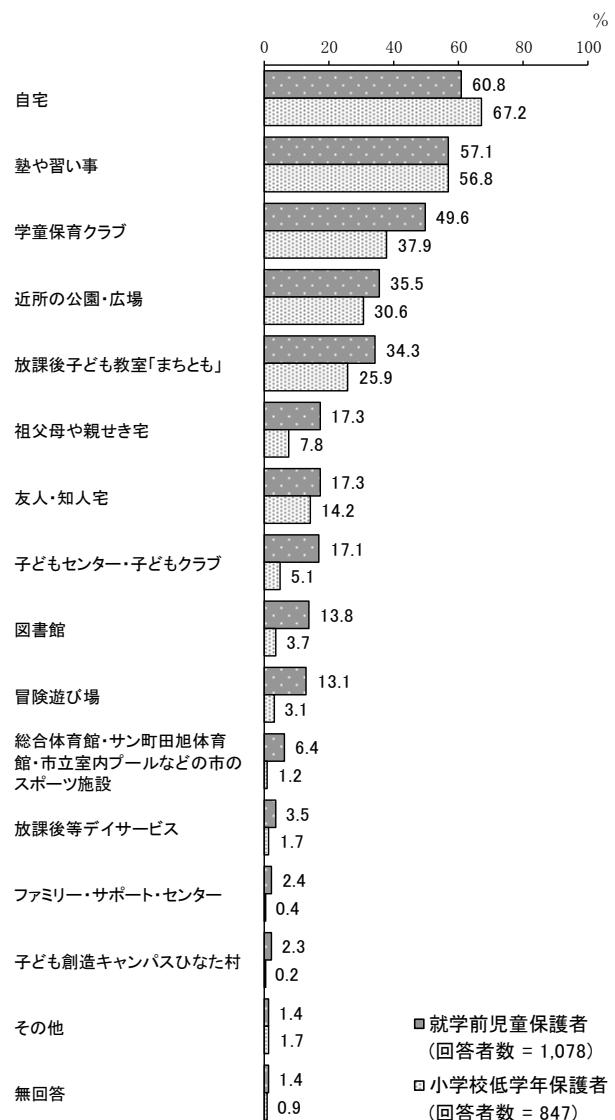
②小学校低学年保護者

「自宅」の割合が67.2%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が56.8%、「学童保育クラブ」の割合が37.9%となっています。
2013年度調査と比較すると、「学童保育クラブ」「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が増加し、「塾や習い事」の割合が減少しています。



③世代別

就学前児童保護者の希望と小学校低学年保護者の子どもが実際に過ごしている場所を比較すると、「学童保育クラブ」「子どもセンター・子どもクラブ」で差が大きくなっています。

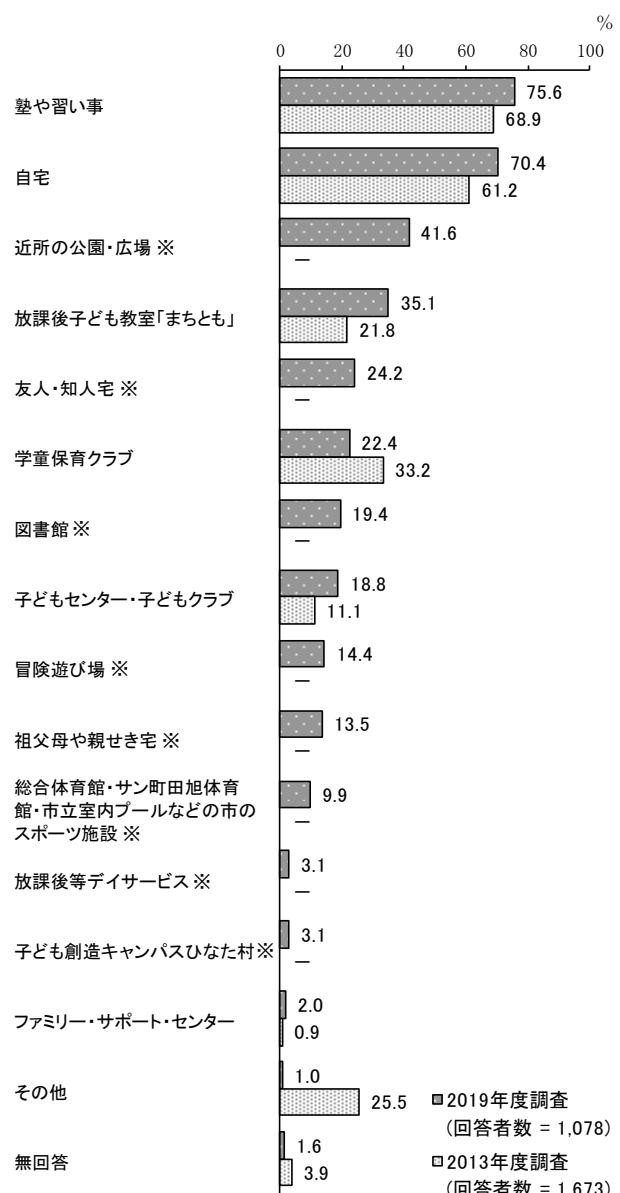


小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけて、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

①就学前児童保護者

「塾や習い事」の割合が75.6%と最も高く、次いで「自宅」の割合が70.4%、「近所の公園・広場」の割合が41.6%となっています。

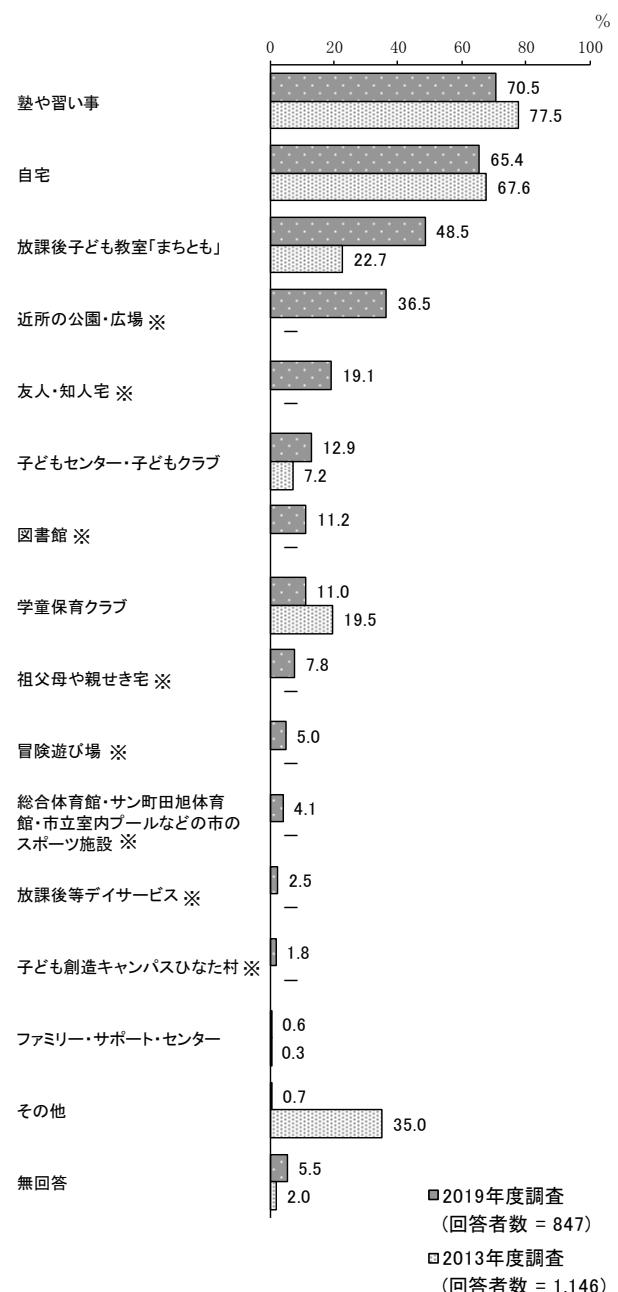
2013年度調査と比較すると、「塾や習い事」「自宅」「放課後子ども教室『まちとも』」「子どもセンター・子どもクラブ」の割合が増加し、「学童保育クラブ」の割合が減少しています。



②小学校低学年保護者

「塾や習い事」の割合が70.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が65.4%、「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が48.5%となっています。

2013年度調査と比較すると、「放課後子ども教室『まちとも』」「子どもセンター・子どもクラブ」の割合が増加し、「塾や習い事」「学童保育クラブ」の割合が減少しています。

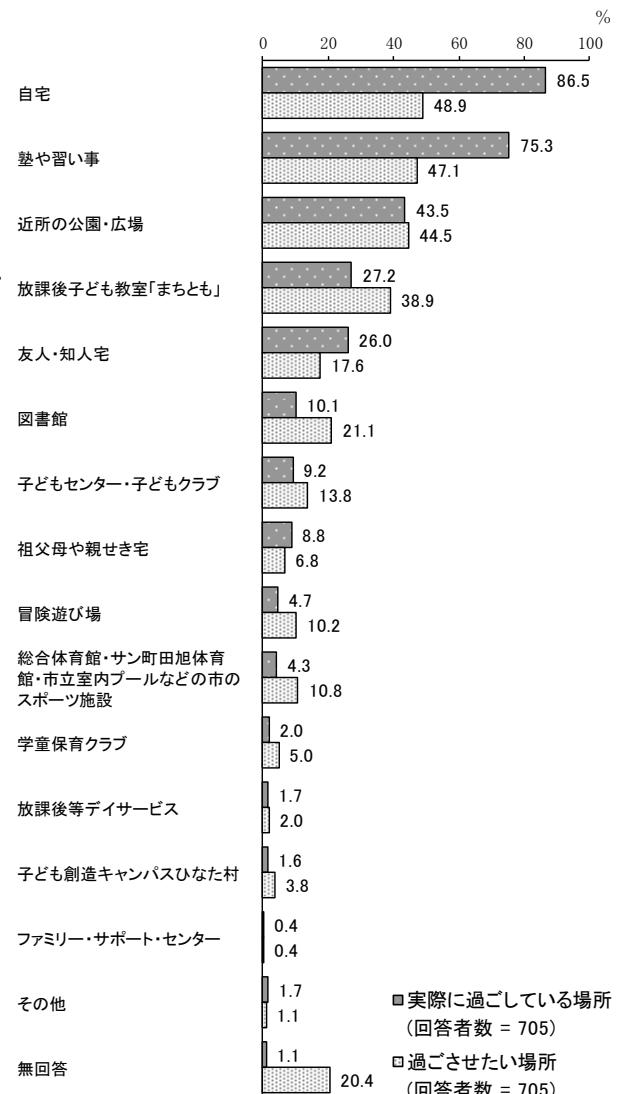


小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか、また、過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。

③小学校高学年保護者

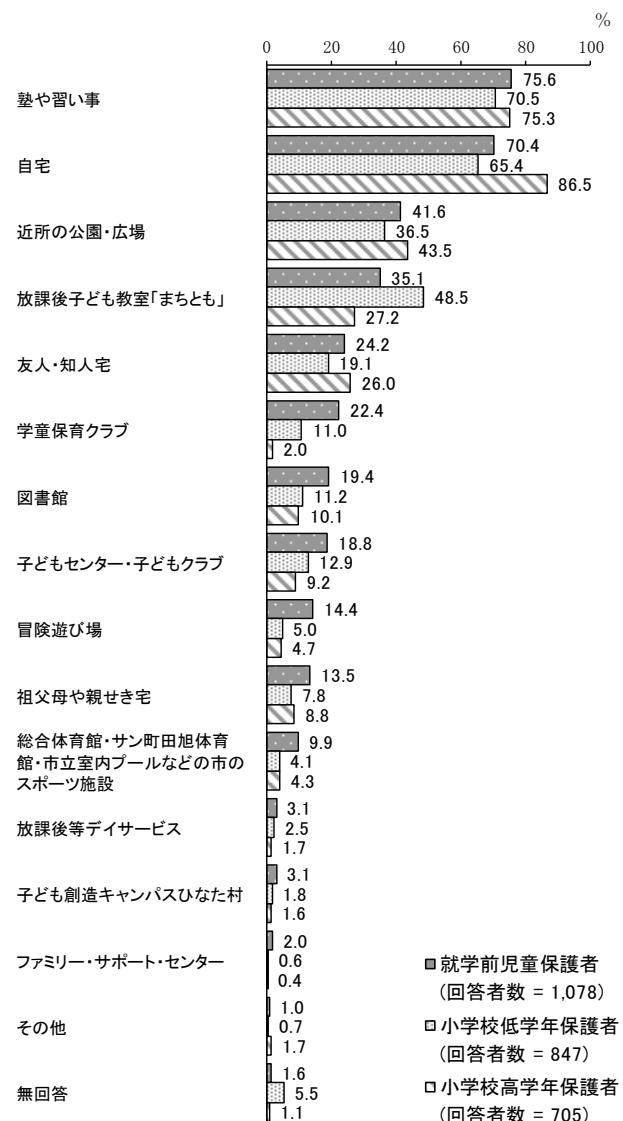
実際に過ごしている場所では、「自宅」の割合が86.5%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が75.3%、「近所の公園・広場」の割合が43.5%となっています。

過ごさせたい場所でも、「自宅」の割合が48.9%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が47.1%、「近所の公園・広場」の割合が44.5%となっています。



④世代別

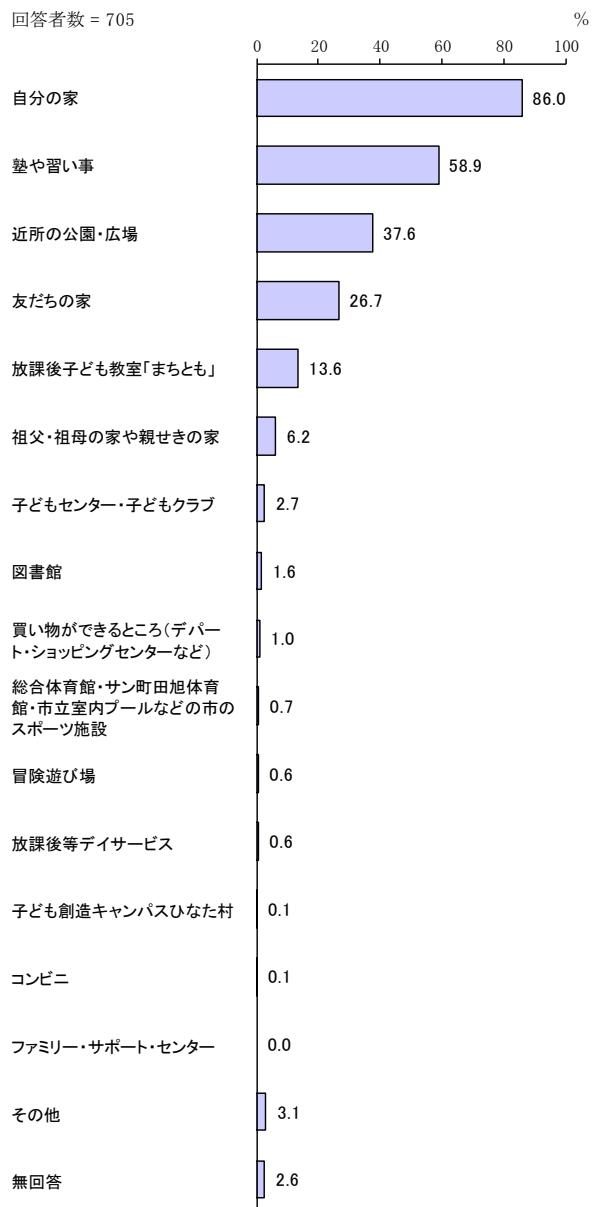
就学前児童保護者、小学校低学年保護者との希望と小学校高学年保護者の子どもが実際に過ごしている場所を比較すると、「自宅」「放課後子ども教室『まちとも』」「学童保育クラブ」で差が大きくなっています。



放課後（夕方）はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

小学校高学年本人

「自分の家」の割合が86.0%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が58.9%、「近所の公園・広場」の割合が37.6%となっています。

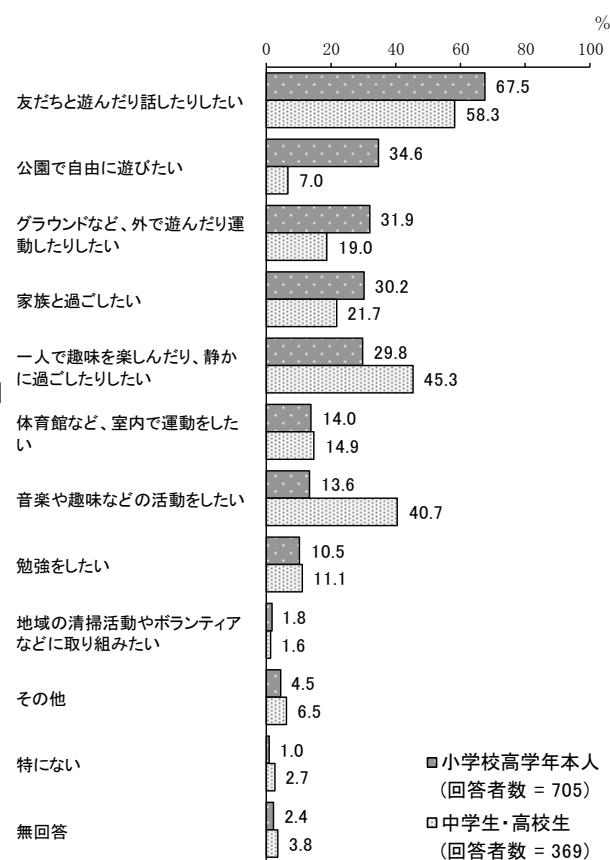


放課後（夕方）はどのように過ごしたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

世代別

小学校高学年本人は、「友だちと遊んだり話したりしたい」の割合が67.5%と最も高く、次いで「公園で自由に遊びたい」の割合が34.6%、「グラウンドなど、外で遊んだり運動したりしたい」の割合が31.9%となっています。

中学生・高校生は、「友だちと遊んだり話したりしたい」の割合が58.3%と最も高く、次いで「一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたりしたい」の割合が45.3%、「音楽や趣味などの活動をしたい」の割合が40.7%となっています。

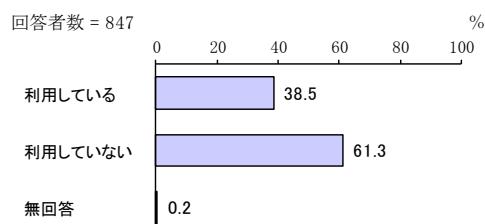


9 学童保育クラブの利用について

あなたは学童保育クラブを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

小学校低学年保護者

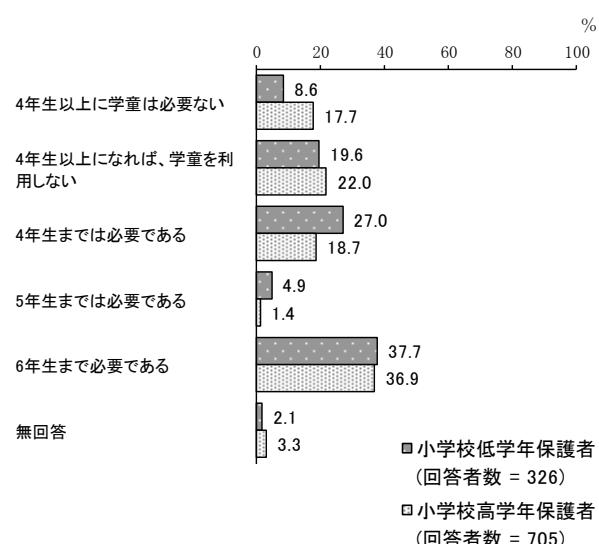
「利用している」の割合が38.5%、「利用していない」の割合が61.3%となっています。



町田市の学童保育クラブでは、4年生以上の利用ができません。あなたのお考えにもっとも近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

世代別

いずれも「6年生まで必要である」の割合が最も高くなっています。



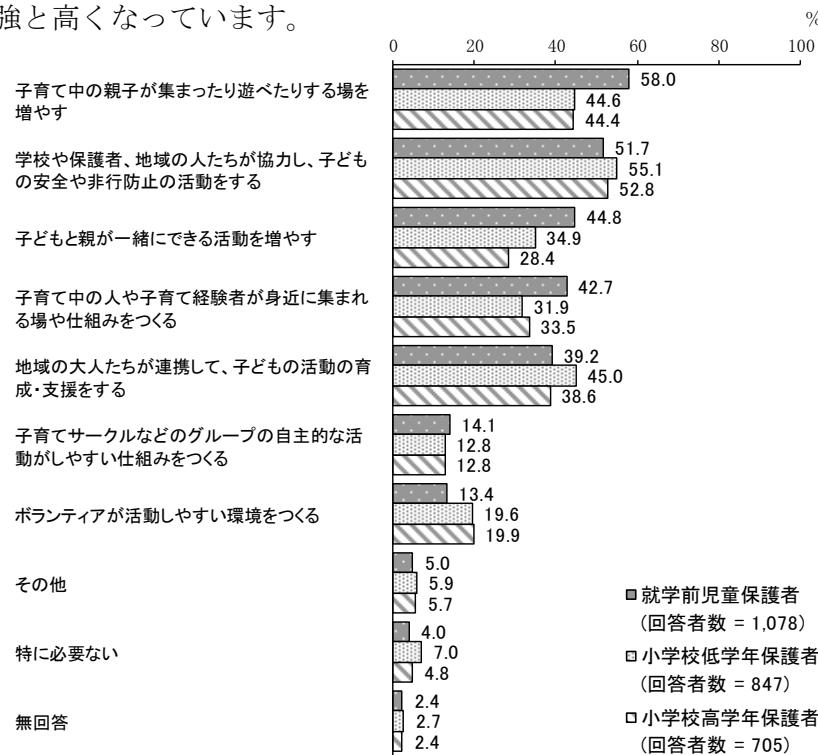
※小学校低学年保護者は、「学童保育クラブを利用している」に回答した人のみの集計となっています。

10 子育て施策全般について

安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取り組みをする必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

世代別

「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合がいずれの年代でも5割強と高くなっています。



市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

世代別

いずれの世代でも、「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」、「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るために取り組み」の割合が高くなっています。

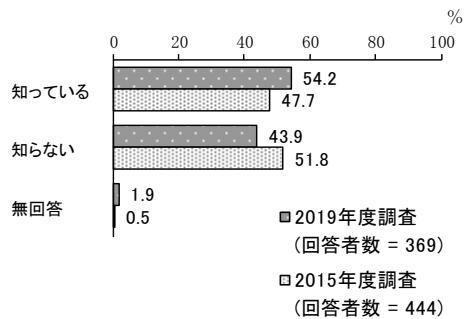


11 悩み事や相談先について

困った時に、相談できるところ（相談機関）をどこか知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

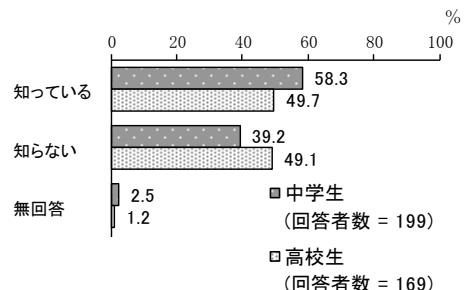
中学生・高校生

「知っている」の割合が54.2%、「知らない」の割合が43.9%となっています。



【学年別】

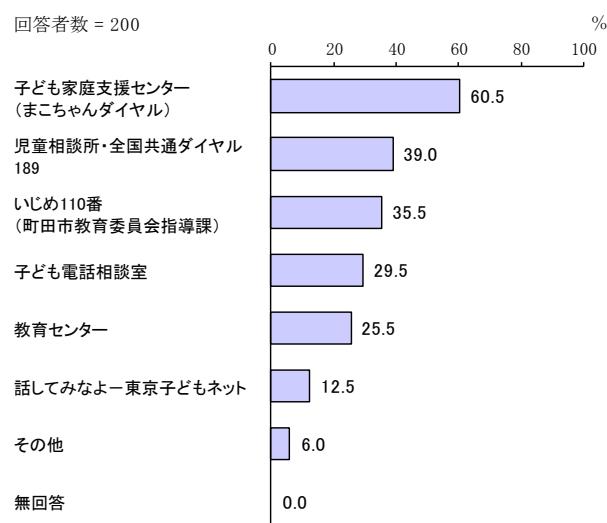
学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「知っている」の割合が高くなっています。一方、高校生は「知らない」の割合が高くなっています。



「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。

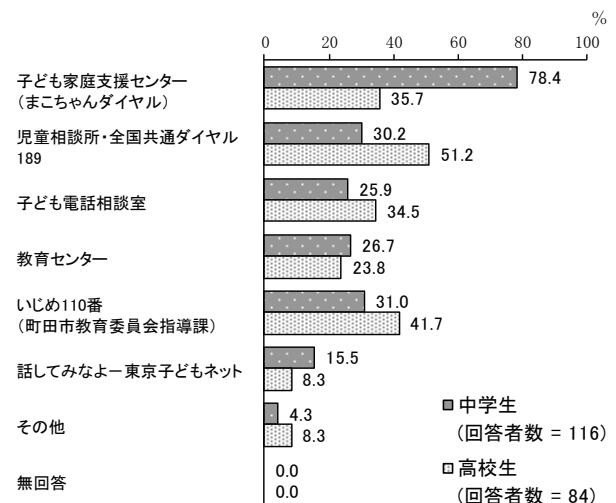
知っているところはどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子ども家庭支援センター（まこちゃんダイヤル）」の割合が60.5%と最も高く、次いで「児童相談所・全国共通ダイヤル189」の割合が39.0%、「いじめ110番（町田市教育委員会指導課）」の割合が35.5%となっています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「子ども家庭支援センター（まこちゃんダイヤル）」「話してみなよー東京子どもネット」の割合が高くなっています。一方、中学生に比べ、高校生で「児童相談所・全国共通ダイヤル189」「子ども電話相談室」「いじめ110番（町田市教育委員会指導課）」の割合が高くなっています。

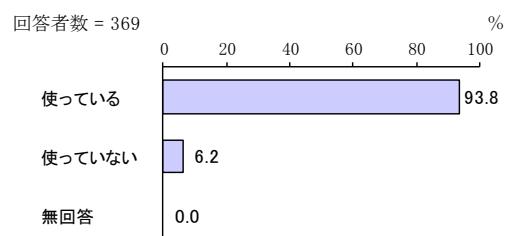


12 インターネットなどについて

学校や塾などの勉強以外でインターネットを自由に使えますか（Wi-Fi環境で使用している方も含みます）。

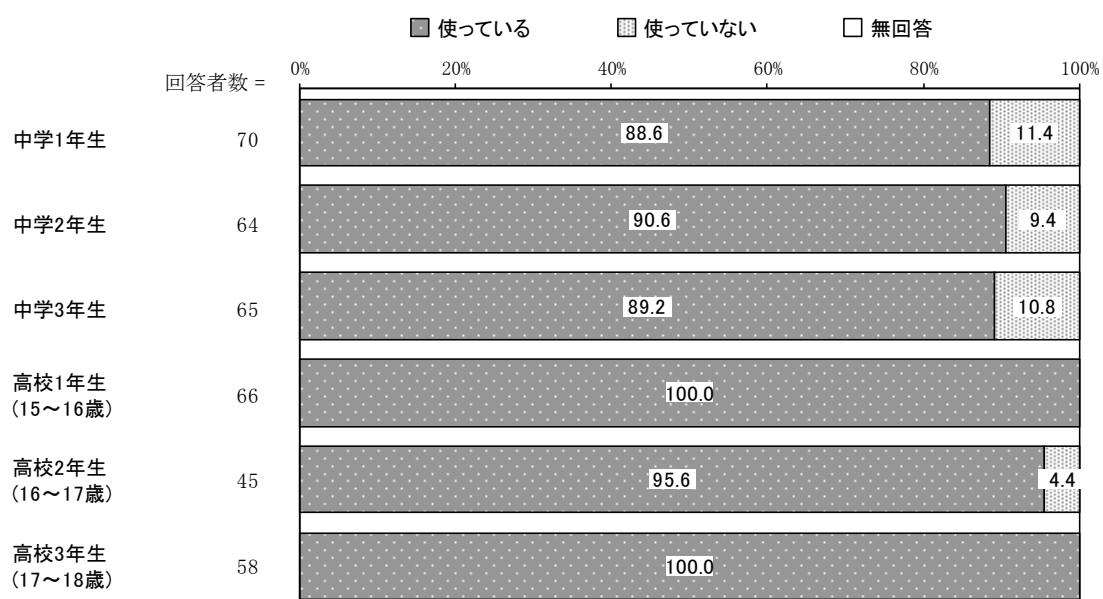
中学生・高校生

「使っている」の割合が93.8%、「使っていない」の割合が6.2%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学1年生、中学2年生、中学3年生で「使っていない」の割合が約1割となっています。

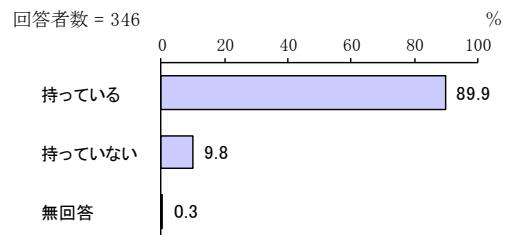


インターネットを「1. 使っている」に○をつけた方にうかがいます。

インターネットにつながるスマートフォンを持っていますか (Wi-Fi環境で使用している方も含みます)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

中学生・高校生

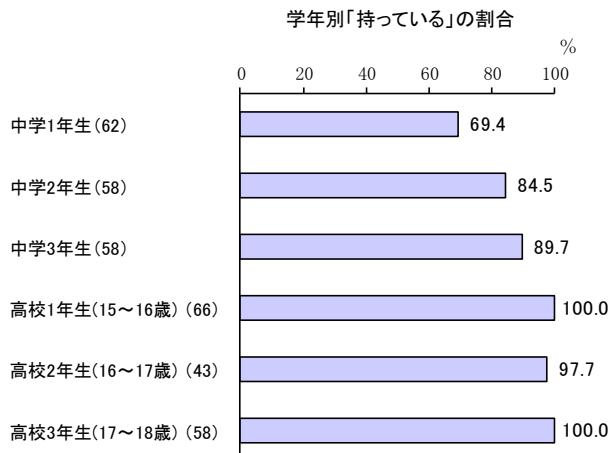
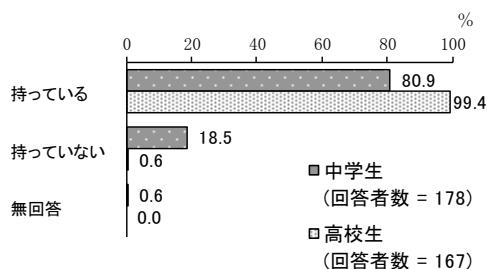
「持っている」の割合が89.9%、「持っていない」の割合が9.8%となっています。



【学年別】

スマートフォンの所持率は中学生80.9%、高校生99.4%となっており、日常生活の中でスマートフォンが欠かせない存在となっています。

学年別でみると、他に比べ、中学1年生で「持っている」の割合が低くなっています。

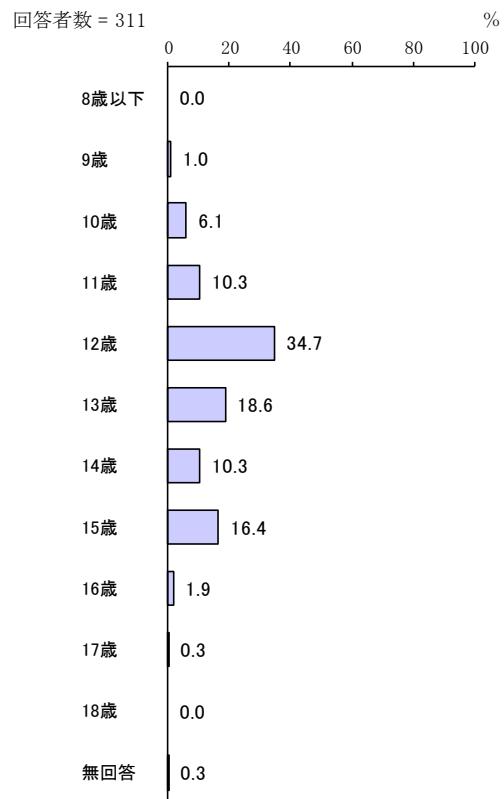


※()内は回答者数

スマートフォンを「1. 持っている」に○をつけた方にうかがいます。

何歳からスマートフォンを持っていますか。() 内に年齢を数字でご記入ください。

「12歳」の割合が34.7%と最も高く、次いで「13歳」の割合が18.6%、「15歳」の割合が16.4%となっています。



【学年別】

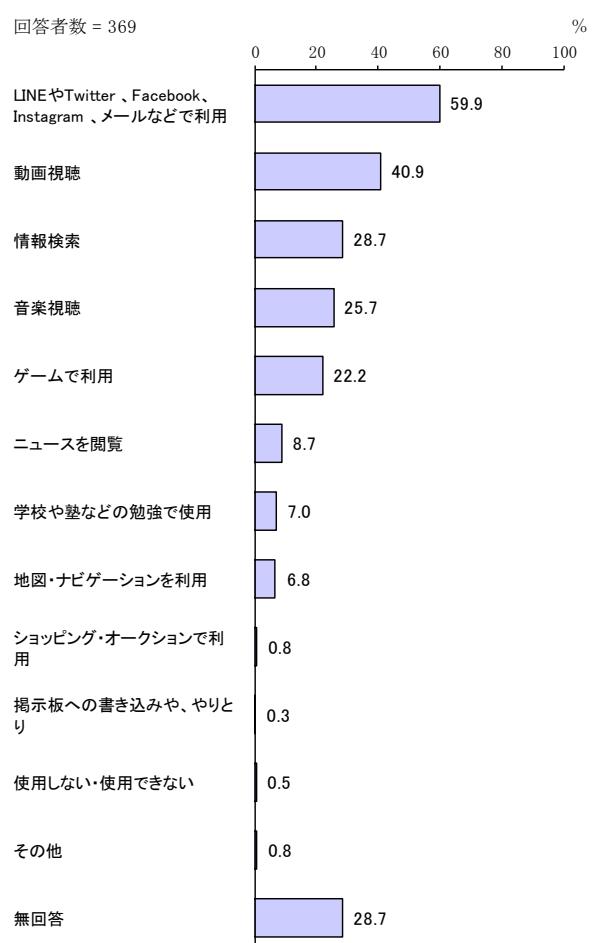
学年別でみると、他に比べ、中学1年生で「12歳」の割合が、高校1年生(15~16歳)、高校2年生(16~17歳)、高校3年生(17~18歳)で「15歳」の割合が高くなっています。また、年齢が低いほど、スマートフォンを持つ時期が早くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	8歳以下	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	無回答
中学1年生	43	—	2.3	16.3	18.6	62.8	—	—	—	—	—	—	—
中学2年生	49	—	4.1	10.2	16.3	49.0	20.4	—	—	—	—	—	—
中学3年生	52	—	—	7.7	5.8	50.0	26.9	9.6	—	—	—	—	—
高校1年生(15~16歳)	66	—	—	—	6.1	25.8	25.8	13.6	28.8	—	—	—	—
高校2年生(16~17歳)	42	—	—	4.8	14.3	14.3	9.5	21.4	31.0	2.4	—	—	2.4
高校3年生(17~18歳)	58	—	—	1.7	5.2	13.8	20.7	15.5	32.8	8.6	1.7	—	—

インターネットをどのように使用していますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

「LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで利用」の割合が59.9%と最も高く、次いで「動画視聴」の割合が40.9%、「情報検索」の割合が28.7%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学1年生、中学3年生で「動画視聴」の割合が、高校1年生(15~16歳)、高校2年生(16~17歳)、高校3年生(17~18歳)で「LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで利用」の割合が高くなっています。

単位：%

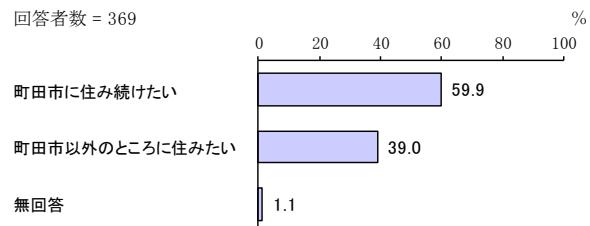
区分	回答者数 (件)	ニュースを閲覧	情報検索	地図・ナビゲーションを利用	音楽視聴	動画視聴	ゲームで利用	掲示板への書き込みや、やりとり	ショッピング・オーバークションで利用	学校や塾などの勉強で使用	使用しない・使用できない	その他	無回答	
中学1年生	70	51.4	7.1	31.4	5.7	21.4	48.6	32.9	—	—	5.7	—	2.9	22.9
中学2年生	64	51.6	6.3	23.4	7.8	25.0	42.2	25.0	1.6	1.6	4.7	—	—	32.8
中学3年生	65	56.9	4.6	18.5	7.7	23.1	47.7	26.2	—	1.5	6.2	3.1	1.5	29.2
高校1年生 (15~16歳)	66	68.2	6.1	36.4	6.1	28.8	39.4	16.7	—	—	7.6	—	—	28.8
高校2年生 (16~17歳)	45	66.7	11.1	24.4	6.7	28.9	40.0	15.6	—	—	13.3	—	—	28.9
高校3年生 (17~18歳)	58	67.2	19.0	37.9	6.9	27.6	24.1	13.8	—	1.7	6.9	—	—	31.0

13 町田市について

町田市にこの先もずっと住み続けたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

中学生・高校生

59.9%が「町田市に住み続けたい」と思っている半面、39.0%が「町田市以外のところに住みたい」と思っています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「町田市に住み続けたい」の割合が高くなっています。

単位 : %

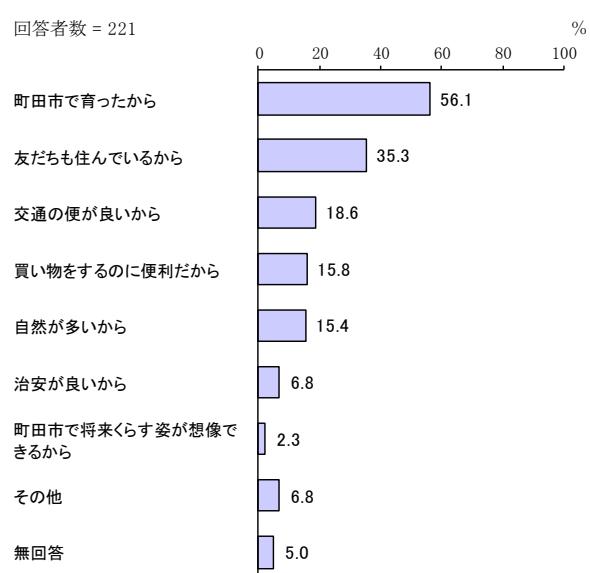
区分	回答者数(件)	町 田 市 に 住 み 続 け	町 田 市 以 外 の と こ	無 回 答
中学生	199	62.8	36.7	0.5
高校生	169	56.8	41.4	1.8

「1. 町田市に住み続けたい」に○をつけた方にうかがいます。

町田市に住み続けたい理由はなんですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

中学生・高校生

「町田市で育ったから」の割合が56.1%と最も高く、次いで「友だちも住んでいるから」の割合が35.3%、「交通の便が良いから」の割合が18.6%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「友だちも住んでいるから」の割合が高くなっています。一方、女性は「町田市で育ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	町田市で育ったから	交通の便が良いから	買い物をするのに便利だから	自然が多いから	治安が良いから	友だちも住んでいるから	町田市で将来くらす姿が想像できるから	その他	無回答
男性	95	50.5	16.8	13.7	14.7	7.4	42.1	2.1	7.4	6.3
女性	125	60.0	20.0	17.6	15.2	6.4	30.4	2.4	6.4	4.0

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「友だちも住んでいるから」の割合が高くなっています。一方、高校生は「町田市で育ったから」「交通の便が良いから」「買い物をするのに便利だから」の割合が高くなり、利便性の良さも含まれてきています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	町田市で育ったから	交通の便が良いから	買い物をするのに便利だから	自然が多いから	治安が良いから	友だちも住んでいるから	町田市で将来くらす姿が想像できるから	その他	無回答
中学生	125	52.0	13.6	12.8	16.0	7.2	41.6	3.2	4.8	7.2
高校生	96	61.5	25.0	19.8	14.6	6.3	27.1	1.0	9.4	2.1

【地域別】

地域別でみても、全ての地域で「町田市で育ったから」の割合が最も高く、次いで「友だちも住んでいるから」となっています。また、他に比べ、堺地域、忠生地域で「自然が多いから」の割合が、忠生地域で「買い物をするのに便利だから」の割合が高くなっています。

単位：%

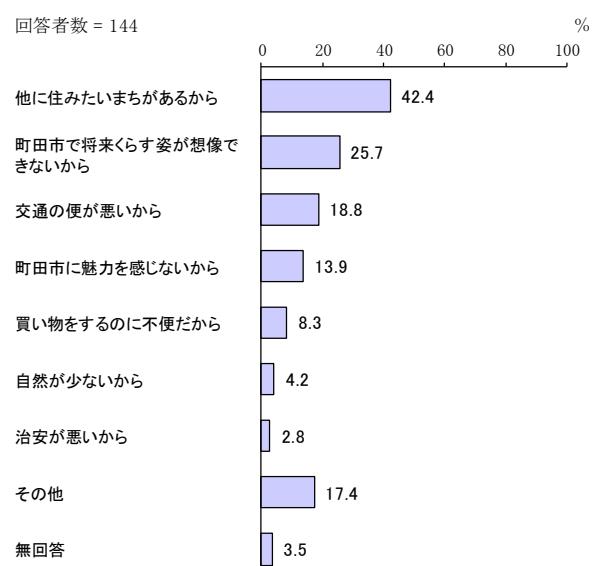
区分	回答者数 (件)	町田市で育つたから	交通の便が良いから	から買い物をするのに便利だ	自然が多いから	治安が良いから	友だちも住んでいるから	町田市で将来くらす姿が想像できるから	その他	無回答
堺地域	40	40.0	20.0	10.0	25.0	10.0	32.5	5.0	—	12.5
忠生地域	34	52.9	11.8	23.5	23.5	2.9	32.4	5.9	5.9	2.9
町田地域	43	58.1	20.9	18.6	7.0	4.7	39.5	—	14.0	7.0
鶴川地域	45	64.4	8.9	15.6	15.6	8.9	33.3	—	8.9	4.4
南地域	53	60.4	28.3	13.2	7.5	7.5	35.8	1.9	5.7	—

「2. 町田市以外のところに住みたい」に○をつけた方にうかがいます。

町田市以外に住みたい理由は何ですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

中学生・高校生

「他に住みたいまちがあるから」の割合が42.4%と最も高く、次いで「町田市で将来くらす姿が想像できないから」の割合が25.7%、「交通の便が悪いから」の割合が18.8%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「他に住みたいまちがあるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	から 町田市に魅力を感じない	交通の便が悪いから	から 買い物をするのに不便だ	自然が少ないと から	治安が悪いから	から 町田市で将来くらす姿が 想像できないから	から 他に住みたいまちがある	その他	無回答
男性	63	15.9	17.5	6.3	4.8	3.2	27.0	46.0	22.2	1.6
女性	81	12.3	19.8	9.9	3.7	2.5	24.7	39.5	13.6	4.9

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「買い物をするのに不便だから」の割合が高くなっています。一方、高校生は「交通の便が悪いから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	から 町田市に魅力を感じない	交通の便が悪いから	から 買い物をするのに不便だ	自然が少ないと から	治安が悪いから	から 町田市で将来くらす姿が 想像できないから	から 他に住みたいまちがある	その他	無回答
中学生	73	11.0	12.3	12.3	5.5	4.1	26.0	43.8	19.2	2.7
高校生	70	15.7	24.3	4.3	2.9	1.4	25.7	41.4	15.7	4.3

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、町田地域、南地域で「他に住みたいまちがあるから」の割合が高くなっています。また、堺地域、町田地域で「町田市で将来くらす姿が想像できないから」の割合が、忠生地域で「買い物をするのに不便だから」の割合が高くなっています。

単位：%

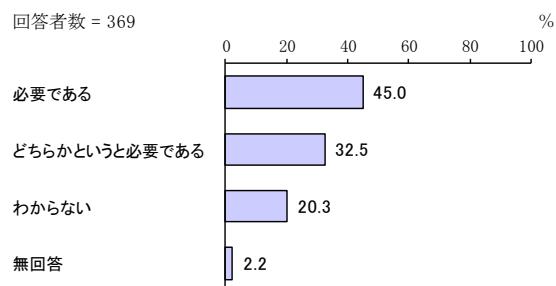
区分	回答者数 (件)	から 町田市に 魅力を 感じ ない	交通 の便 が悪い から	から 買 い 物 を す る の に 不 便 だ	自然 が 少 な い か ら	治 安 が 悪 い か ら	町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 不 可 能 か ら	から 他 に 住 み た い ま ち が あ る	そ の 他	無 回 答
堺地域	21	14.3	14.3	9.5	—	—	33.3	38.1	19.0	9.5
忠生地域	35	22.9	22.9	17.1	2.9	5.7	22.9	37.1	14.3	5.7
町田地域	24	20.8	12.5	—	4.2	4.2	37.5	54.2	8.3	4.2
鶴川地域	27	7.4	25.9	7.4	3.7	—	22.2	33.3	18.5	—
南地域	32	6.3	15.6	6.3	6.3	3.1	18.8	53.1	21.9	—

14 考えや将来像について

町田市の未来を決めるときに、大人だけでなく自分たちの意見を反映させる機会や仕組みが必要だと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「必要である」の割合が45.0%と最も高く、次いで「どちらかというと必要である」の割合が32.5%、「わからない」の割合が20.3%となっています。

「必要である」と「どちらかというと必要である」をあわせた約8割の中学生・高校生は必要を感じています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	必 要 で ある	ど ち ら か で あ る と い う	わ か ら な い	無 回 答
中学生	199	41.2	32.7	24.1	2.0
高校生	169	49.7	32.5	15.4	2.4

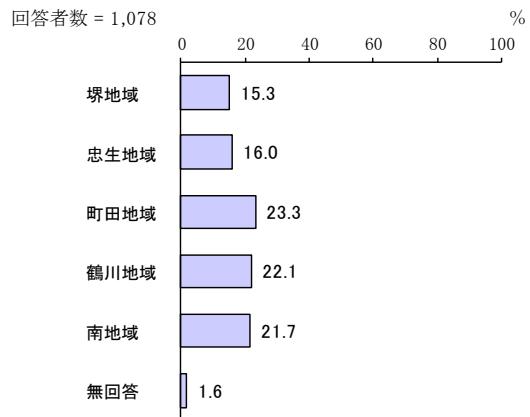
III 調査結果

1 就学前児童保護者

(1) 家族の状況について

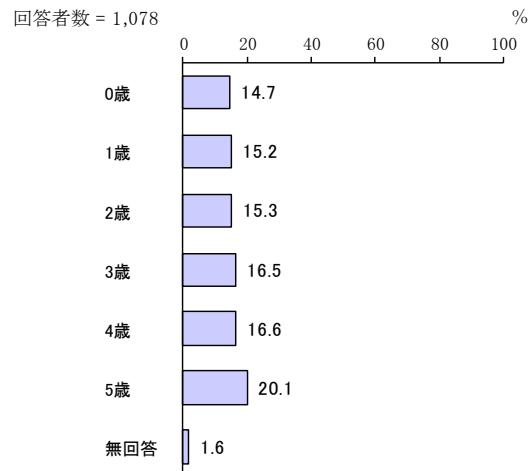
問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。() 内に数字でご記入ください。

「町田地域」の割合が23.3%と最も高く、次いで「鶴川地域」の割合が22.1%、「南地域」の割合が21.7%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。

「5歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.6%、「3歳」の割合が16.5%となっています。

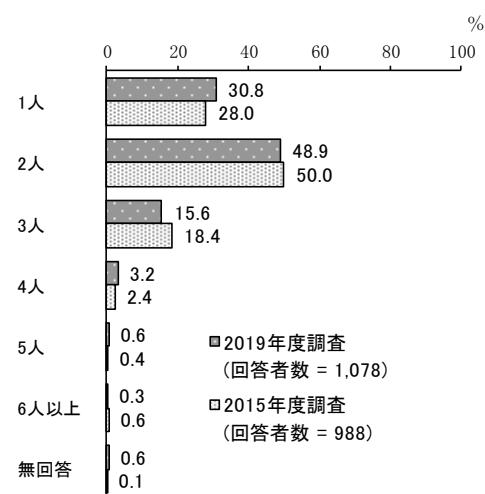


問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　）内に数字でご記入ください。2人以上の場合は、末のお子さんの生年月もご記入ください。

ア きょうだい数

「2人」の割合が48.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が30.8%、「3人」の割合が15.6%となっています。

2015年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【地域別】

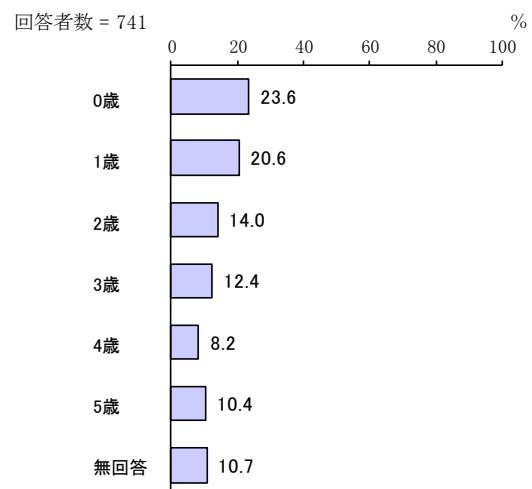
地域別でみると、他に比べ、堺地域で「2人」の割合が高く、「1人」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
堺地域	165	21.2	55.2	20.0	3.0	—	—	0.6
忠生地域	173	33.5	43.4	17.3	3.5	1.2	0.6	0.6
町田地域	251	35.5	49.0	9.6	5.2	0.8	—	—
鶴川地域	238	32.4	47.9	17.6	2.1	—	—	—
南地域	234	30.3	50.9	14.5	2.1	1.3	0.4	0.4

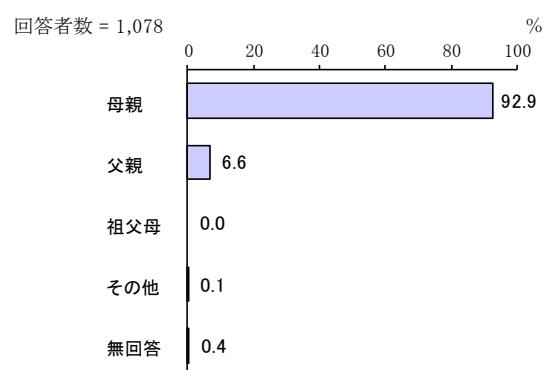
イ　末子の年齢

「0歳」の割合が23.6%と最も高く、次いで「1歳」の割合が20.6%、「2歳」の割合が14.0%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

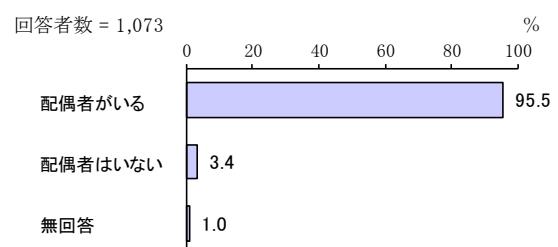
「母親」の割合が92.9%と最も高くなっています。



問5は問4で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が95.5%、「配偶者はいない」の割合が3.4%となっています。

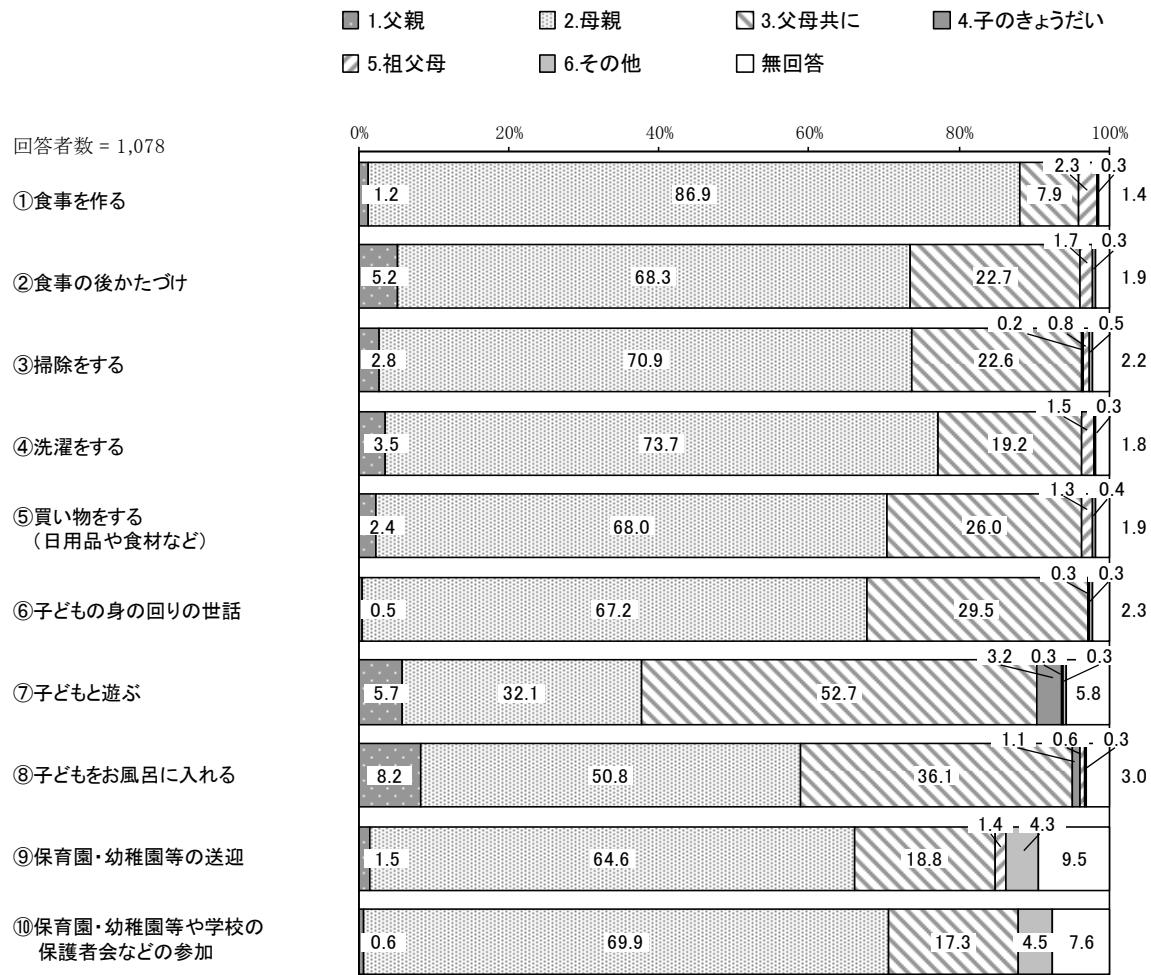


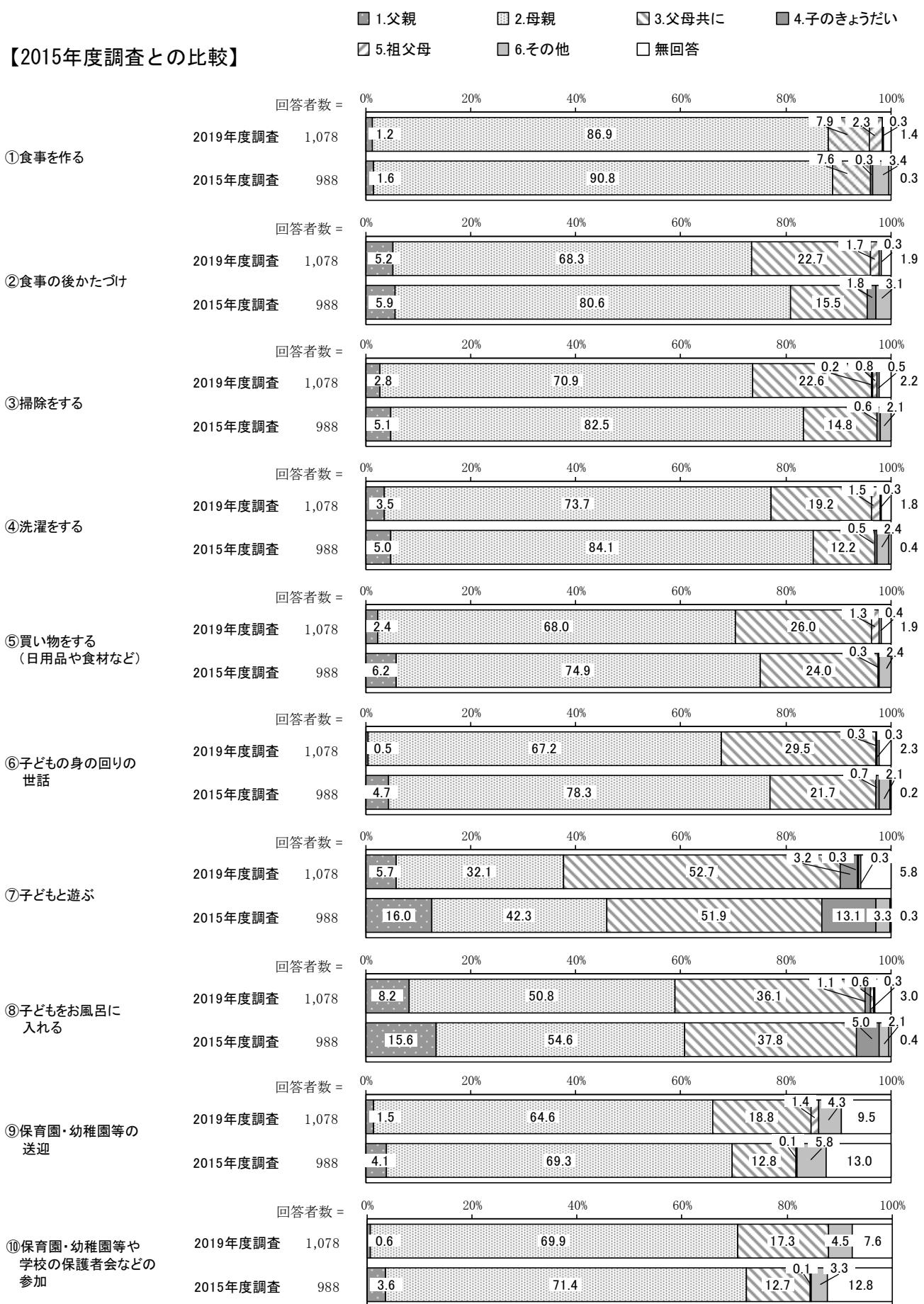
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、お子さんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で「2. 母親」の割合が最も高くなっています。

2015年度調査と比較すると、選択肢が一部異なるものの、概ね「3. 父母共に」の割合が増加しています。



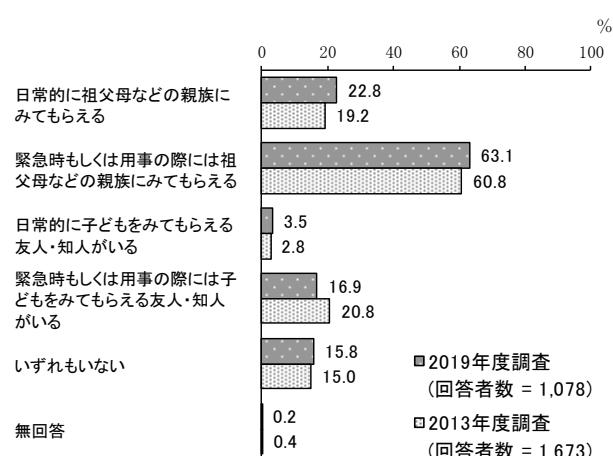


※2015年度調査では「5. 祖父母」の選択肢はありませんでした。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が63.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が22.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が16.9%となっています。

2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。

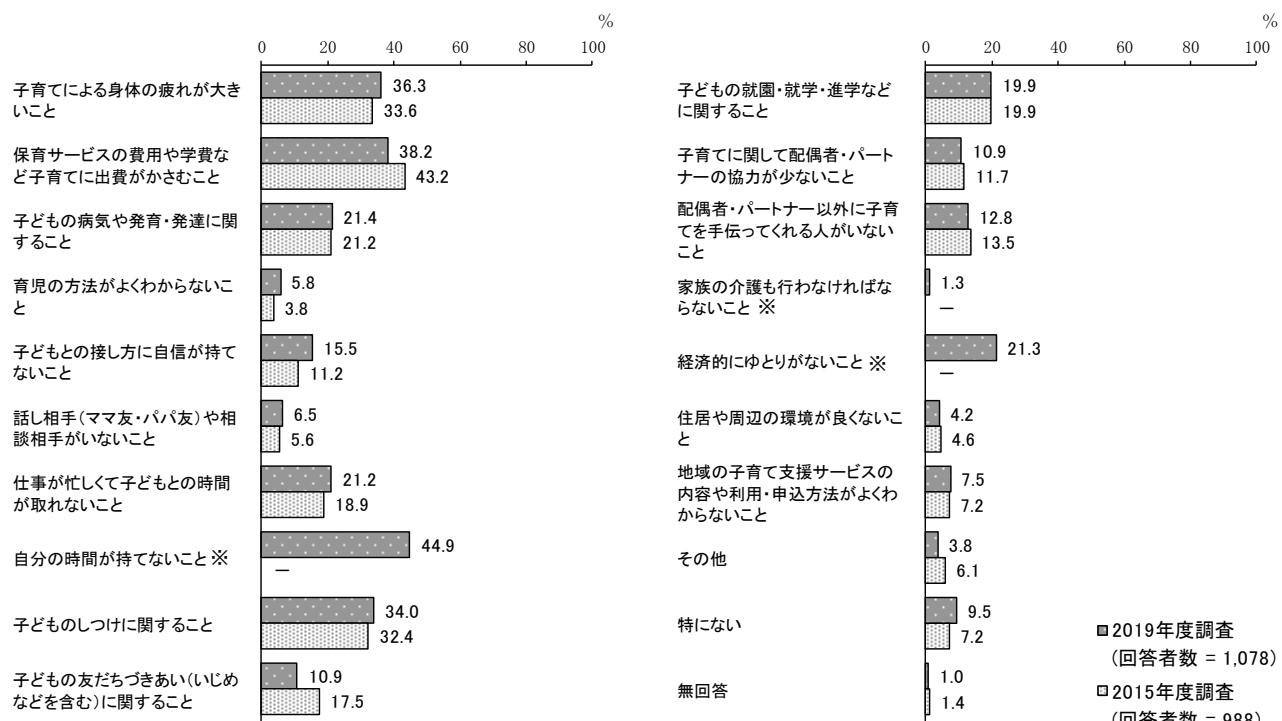


(3) 子育ての悩みについて

問8 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分の時間が持てないこと」の割合が44.9%と最も高く、次いで「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が38.2%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が36.3%となっています。

2015年度調査と比較すると、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）」に関する割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

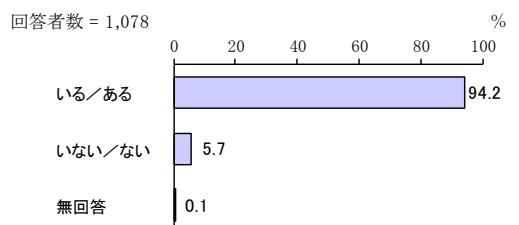
母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイム』、『フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中』で「自分の時間が持てないこと」の割合が、『パートタイム・アルバイトなど』、『パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中』で「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が高くなっています。また、『フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中』で「子どもの就園・就学・進学などに関するここと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関するここと	子どもの就園・就学・進学などに関するここと	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関するここと	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特になし	無回答
フルタイム	334	31.7	36.2	20.4	5.4	13.2	5.4	46.1	52.4	31.7	7.2	16.8	10.5	12.3	0.9	20.1	3.9	4.2	3.9	7.2	1.8	
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	73	35.6	30.1	24.7	13.7	16.4	6.8	9.6	52.1	26.0	8.2	34.2	8.2	12.3	1.4	9.6	4.1	6.8	4.1	6.8	—	
パートタイム・アルバイトなど	242	38.4	46.7	20.2	5.0	14.5	4.1	22.3	42.6	35.5	17.4	19.0	14.0	16.1	2.1	28.9	5.4	7.0	5.4	9.1	2.1	
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	15	20.0	46.7	13.3	—	13.3	—	—	46.7	40.0	—	6.7	6.7	—	6.7	26.7	—	—	—	13.3	—	
以前は就労していたが、現在は就労していない	373	40.5	36.5	22.5	5.4	17.7	8.8	2.4	38.9	37.0	11.5	21.4	9.7	12.1	1.1	20.4	3.8	11.0	2.9	11.8	—	
これまでに就労したことがない	25	40.0	28.0	24.0	12.0	28.0	8.0	—	44.0	28.0	8.0	12.0	16.0	8.0	—	16.0	8.0	4.0	4.0	8.0	—	

問9 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

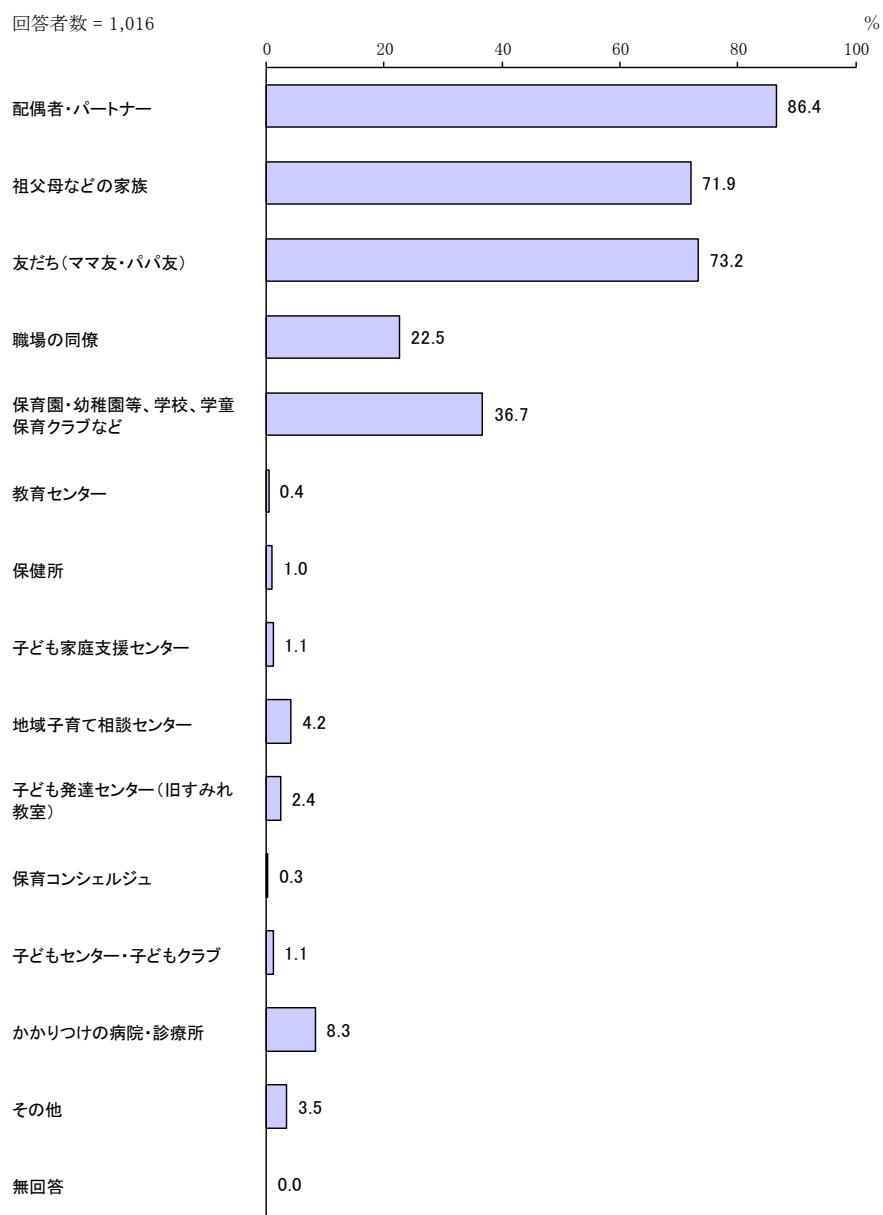
「いる／ある」の割合が94.2%、「いない／ない」の割合が5.7%となっています。



問9-1は問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が86.4%と最も高く、次いで「友だち（ママ友・パパ友）」の割合が73.2%、「祖父母などの家族」の割合が71.9%となっています。



(4) 保護者の就労状況について

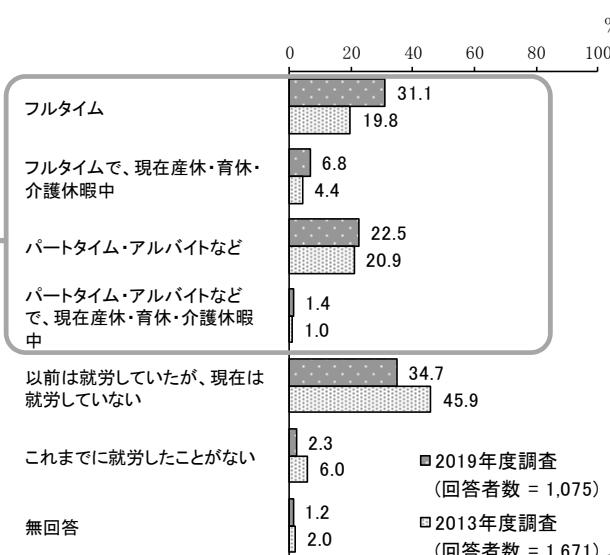
問10 現在の就労状況をお答えください。

母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が34.7%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が31.1%、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が22.5%となっています。

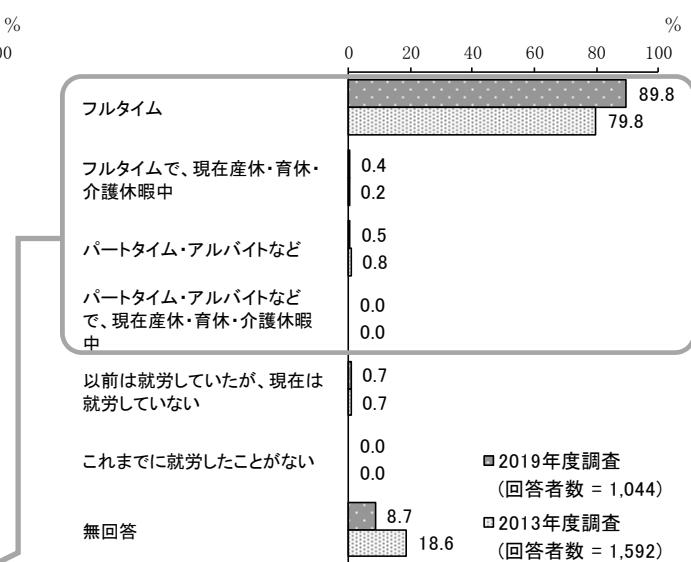
2013年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

父親では、「フルタイム」の割合が89.8%と最も高くなっています。

【母 親】



【父 親】

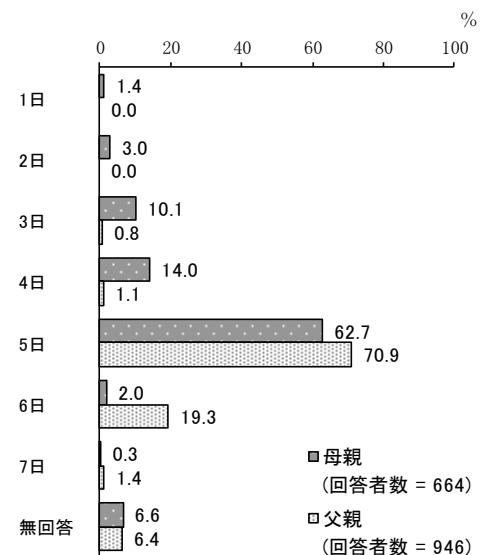


就労している人の就労状況

ア 1週当たり平均就労日数

母親では、「5日」の割合が62.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が14.0%、「3日」の割合が10.1%となっています。

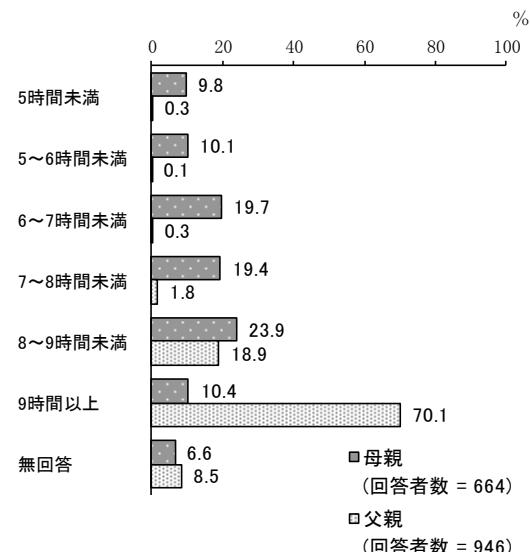
父親では、「5日」の割合が70.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.3%となっています。



イ 1日当たり平均就労時間（※残業時間を含む平均）

母親では、「8～9時間未満」の割合が23.9%と最も高く、次いで「6～7時間未満」の割合が19.7%、「7～8時間未満」の割合が19.4%となっています。

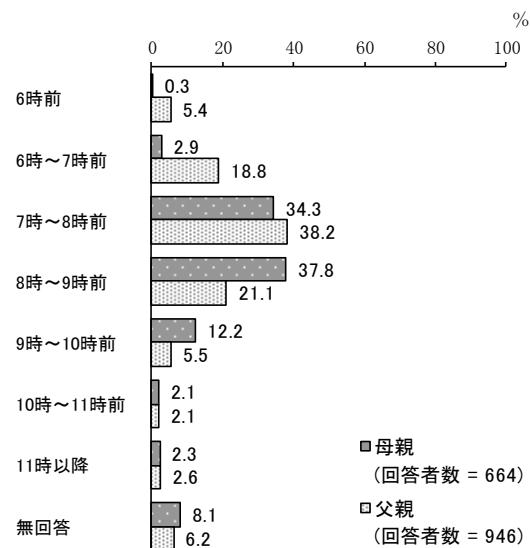
父親では、「9時間以上」の割合が70.1%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が18.9%となっています。



ウ 家を出る時間

母親では、「8時～9時前」の割合が37.8%と最も高く、次いで「7時～8時前」の割合が34.3%、「9時～10時前」の割合が12.2%となっています。

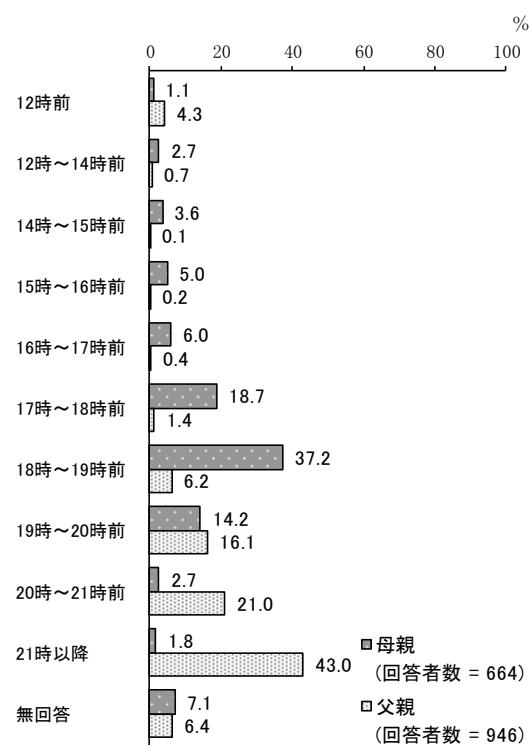
父親では、「7時～8時前」の割合が38.2%と最も高く、次いで「8時～9時前」の割合が21.1%、「6時～7時前」の割合が18.8%となっています。



エ 帰宅時間

母親では、「18時～19時前」の割合が37.2%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が18.7%、「19時～20時前」の割合が14.2%となっています。

父親では、「21時以降」の割合が43.0%と最も高く、次いで「20時～21時前」の割合が21.0%、「19時～20時前」の割合が16.1%となっています。



問10-1は問10で「3.」または「4.」(パート・アルバイトなどで就労)に○をつけた方にうかがいます。

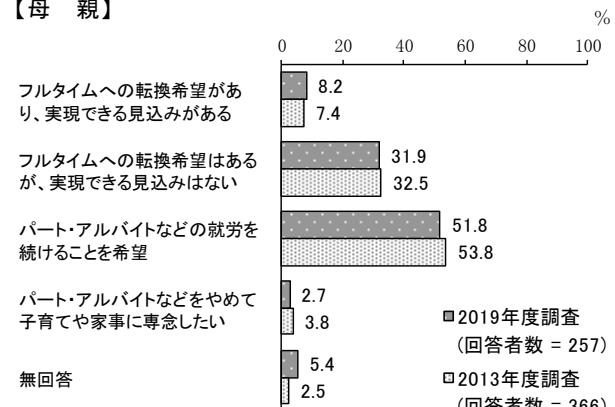
問10-1 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が51.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が31.9%となっています。

2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。

父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3件、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が1件となっています。

【母 親】



問10-2は問10で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

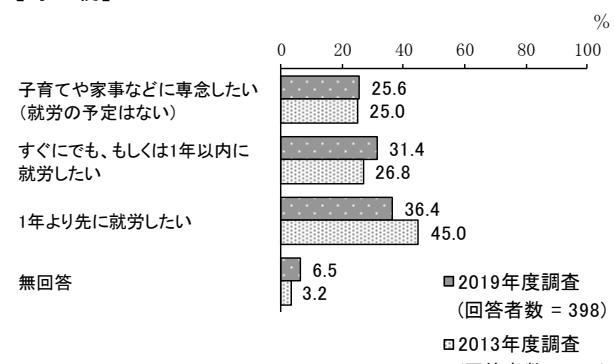
問10-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する（　）内には数字をご記入ください。

母親では、「1年より先に就労したい」の割合が36.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が25.6%となっています。

2013年度調査と比較すると、「1年より先に就労したい」の割合が減少しています。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件となっています。

【母 親】



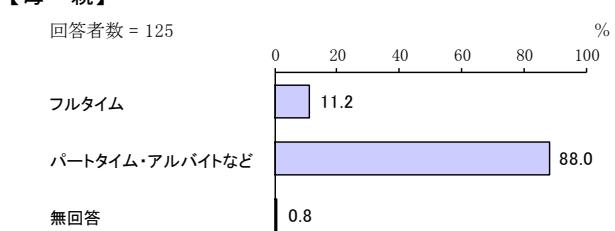
1. 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人

希望する就労形態

母親では、「フルタイム」の割合が11.2%、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が88.0%となっています。

父親では、「フルタイム」が2件となっています。

【母 親】



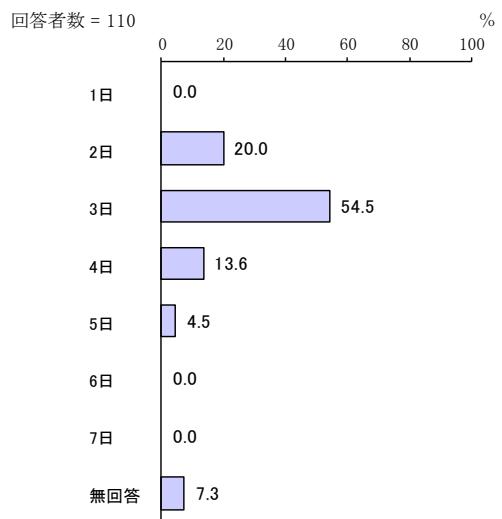
2. 「パートタイム・アルバイトなど」と回答した人

ア 1週当たりの就労希望日数

母親では、「3日」の割合が54.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%、「4日」の割合が13.6%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】

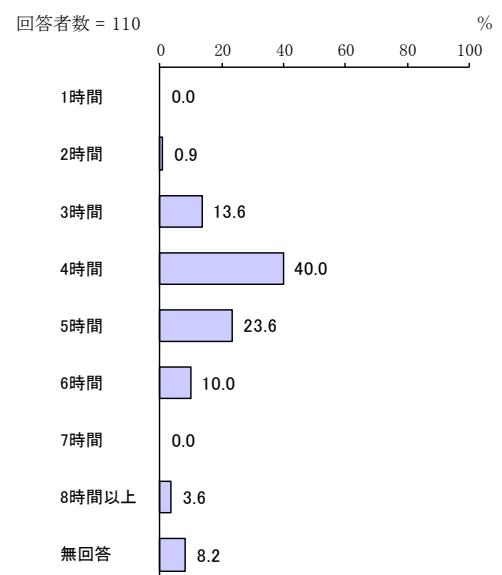


イ 1日当たりの勤務希望時間

母親では、「4時間」の割合が40.0%と最も高く、次いで「5時間」の割合が23.6%、「3時間」の割合が13.6%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



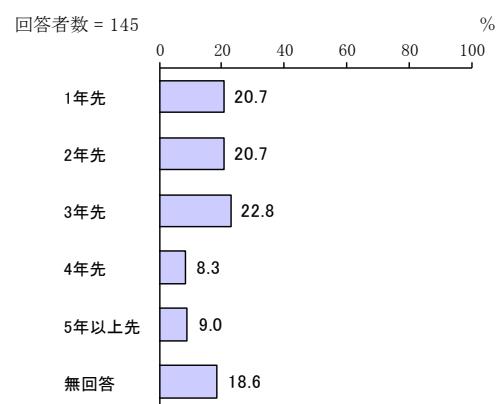
3. 「1年より先に就労したい」と回答した人

何年後に就労したいか

母親では、「3年先」の割合が22.8%と最も高く、次いで「1年先」、「2年先」の割合が20.7%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



(5) 職場の両立支援制度について

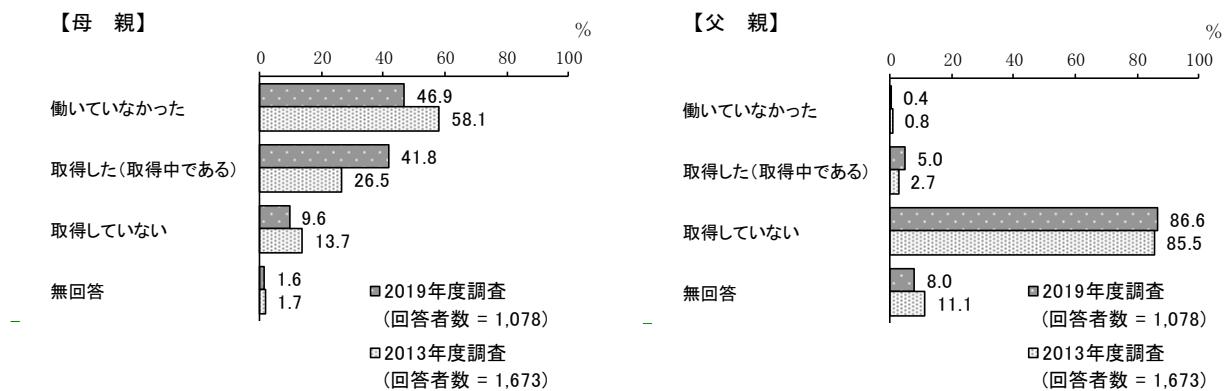
問11 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「働いていなかった」の割合が46.9%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が41.8%となっています。

2013年度調査と比較すると、「働いていなかった」の割合が減少し、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。

父親では、「取得していない」の割合が86.6%と最も高くなっています。

2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。



問11-1～3は問11で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

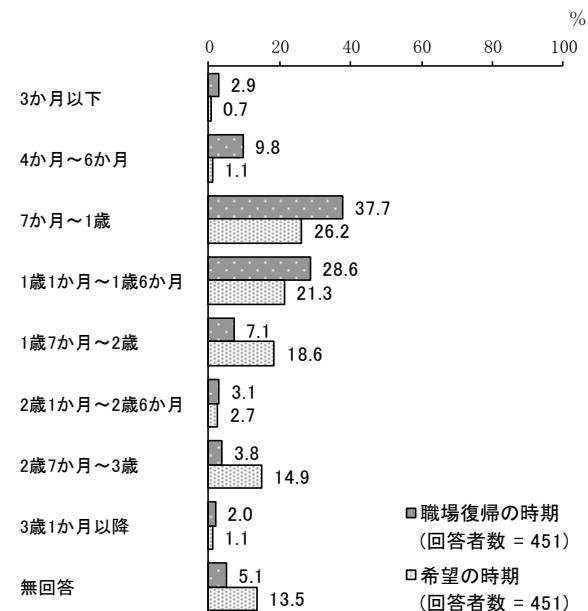
問11-1 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰（予定含む）しましたか。（　）内に数字でご記入ください。

問11-3 勤務先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったです。（　）内に数字でご記入ください。

ア 母親

職場の復帰の時期では、「7か月～1歳」の割合が37.7%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が28.6%となっています。

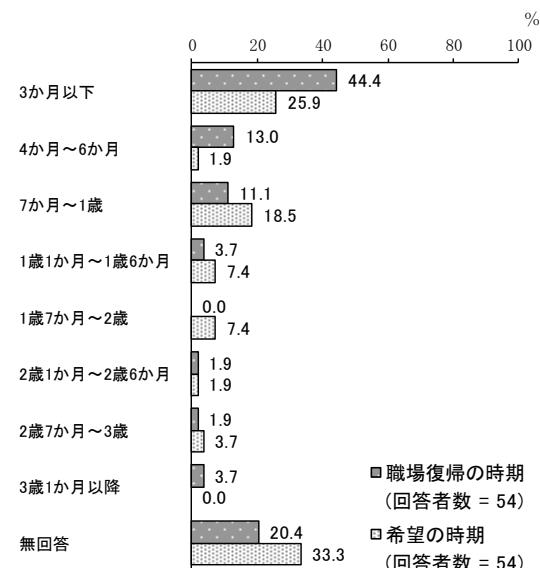
希望の時期では、「7か月～1歳」の割合が26.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が21.3%、「1歳7か月～2歳」の割合が18.6%となっています。



イ 父親

職場復帰の時期では、「3か月以下」の割合が44.4%と最も高く、次いで「4か月～6か月」の割合が13.0%、「7か月～1歳」の割合が11.1%となっています。

希望の時期では、「3か月以下」の割合が25.9%と最も高く、次いで「7か月～1歳」の割合が18.5%となっています。

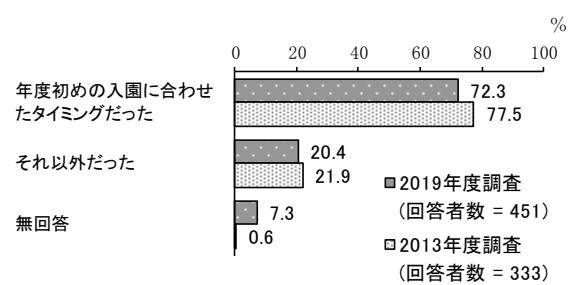


問11-2 復帰は認可保育所などの入所に合わせたタイミングでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が72.3%、「それ以外だった」の割合が20.4%となっています。

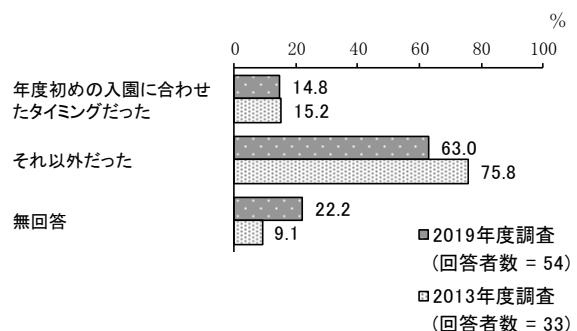
2013年度調査と比較すると、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が減少しています。



イ 父親

「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が14.8%、「それ以外だった」の割合が63.0%となっています。

2013年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が減少しています。

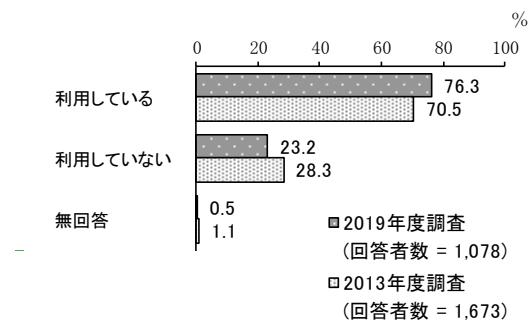


(6) 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について

問12 あて名のお子さんは現在、保育園・幼稚園等の「定期的な教育・保育事業等」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が76.3%、「利用していない」の割合が23.2%となっています。

2013年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、町田地域、鶴川地域で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
堺地域	165	75.8	24.2	—
忠生地域	173	75.1	24.3	0.6
町田地域	251	78.9	20.3	0.8
鶴川地域	238	80.3	19.3	0.4
南地域	234	71.8	27.8	0.4

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「利用している」の割合が高くなる傾向がみられ、3歳以上で9割を超えてます。

2013年度調査と比較すると、0歳から2歳で「利用している」の割合が増加しており、保育ニーズの高まりがうかがえます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
0歳	158	28.5	70.3	1.3
1歳	164	52.4	47.6	—
2歳	165	69.1	30.9	—
3歳	178	97.2	2.8	—
4歳	179	99.4	—	0.6
5歳	217	99.1	—	0.9

<2013年度調査との比較>

単位：%

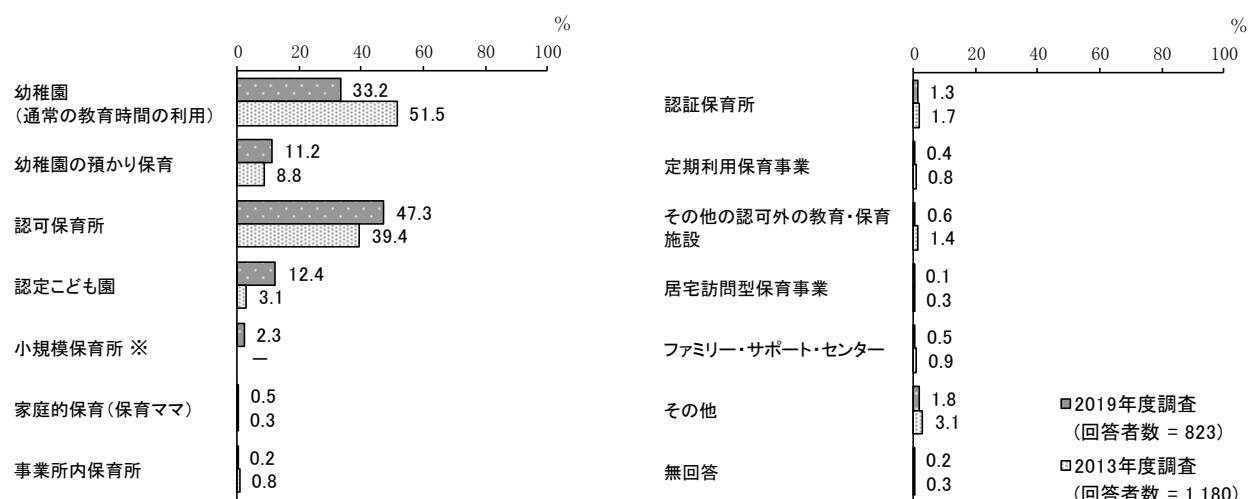
区分	2019年度調査		2013年度調査	
	回答者数 (件)	利用している	回答者数 (件)	利用している
0歳	158	28.5	260	25.4
1歳	164	52.4	257	41.6
2歳	165	69.1	264	52.7
3歳	178	97.2	323	94.4
4歳	179	99.4	289	99.3
5歳	217	99.1	280	98.6

問12-1～3は問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 平日どのような教育・保育事業等を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が47.3%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が33.2%、「認定こども園」の割合が12.4%となっています。

2013年度調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」の割合が増加し、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が減少しています。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、堺地域、鶴川地域で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	保育施設	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
堺地域	125	32.8	4.8	53.6	6.4	0.8	1.6	—	—	0.8	0.8	0.8	0.8	4.0	0.8	
忠生地域	130	20.0	13.8	46.2	27.7	—	—	0.8	—	—	1.5	—	0.8	1.5	—	
町田地域	198	34.8	14.6	41.9	15.7	4.5	—	—	1.5	0.5	0.5	—	0.5	0.5	—	
鶴川地域	191	34.6	9.9	50.8	7.3	2.1	1.0	0.5	1.6	0.5	—	—	—	2.1	—	
南地域	168	41.1	11.9	45.8	7.1	2.4	—	—	2.4	—	0.6	—	0.6	1.2	0.6	

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、3歳以上に比べ、2歳以下で「認可保育所」の割合が高くなっています。また、2歳以下に比べ、3歳以上で「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	保育施設	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	45	4.4	6.7	84.4	2.2	2.2	2.2	—	2.2	—	—	—	—	—	—	—
1歳	86	4.7	2.3	69.8	5.8	14.0	1.2	—	3.5	—	1.2	—	—	2.3	—	—
2歳	114	11.4	1.8	70.2	6.1	2.6	—	1.8	0.9	2.6	0.9	0.9	1.8	6.1	—	—
3歳	173	41.6	9.2	38.2	14.5	0.6	0.6	—	0.6	—	1.2	—	0.6	—	—	—
4歳	178	47.2	15.7	35.4	14.0	0.6	—	—	1.1	—	—	—	—	2.8	—	—
5歳	215	43.7	19.1	35.8	17.7	—	0.5	—	1.4	—	0.5	—	0.5	—	0.9	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、就労していない人に比べ、就労している人で「認可保育所」の割合が高く、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム	321	4.0	3.7	79.4	8.1	3.4	0.3	0.3	2.5	—	0.6	0.3	0.6	0.3	0.3
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	24	12.5	8.3	70.8	8.3	—	—	—	4.2	—	—	—	—	—	—
パートタイム・アルバイトなど	228	32.0	21.5	43.0	18.0	3.1	1.3	0.4	0.4	—	—	—	0.4	1.8	—
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	7	14.3	—	57.1	28.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	215	76.3	12.1	3.7	14.0	0.5	—	—	0.5	1.4	1.4	—	0.5	4.2	—
これまでに就労したことがない	17	88.2	5.9	5.9	5.9	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、非共働き世帯で「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	時間の利用	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
父子家庭	2	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
母子家庭	29	13.8	17.2	69.0	3.4	3.4	—	—	3.4	—	—	—	—	—	—	—
共働き世帯	532	15.4	10.7	64.5	12.6	3.2	0.8	0.4	1.5	—	0.4	0.2	0.6	0.8	0.2	—
非共働き世帯	260	71.9	11.5	9.2	13.1	0.4	—	—	0.8	1.2	1.2	—	0.4	4.2	0.4	—

【2事業以上利用している場合の利用先】

2事業以上利用している場合の利用先をみると、幼稚園（通常の教育時間の利用）を利用している人で「幼稚園の預かり保育」を併用している割合が高くなっています。

単位：%

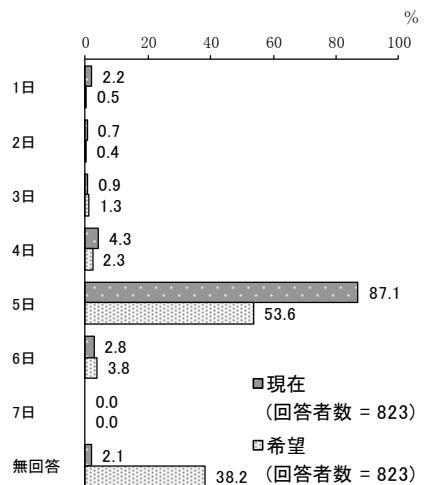
区分	回答者数 (件)	同時に利用している事業														
		教育時間の利用	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ト・セントラル・サポート	その他	無回答
現在利用している事業	幼稚園（通常の教育時間の利用）	273	—	26.0	0.7	1.5	0.4	0.4	—	—	—	—	—	0.7	0.4	—
	幼稚園の預かり保育	92	77.2	—	1.1	5.4	1.1	—	—	—	—	—	—	1.1	—	—
	認可保育所	389	0.5	0.3	—	1.0	0.5	—	0.3	—	0.3	0.3	0.3	—	—	—
	認定こども園	102	3.9	4.9	3.9	—	1.0	—	—	—	—	—	—	1.0	—	—
	小規模保育所	19	5.3	5.3	10.5	5.3	—	—	—	—	—	5.3	—	—	—	—
	家庭的保育（保育ママ）	4	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	—	—
	事業所内保育所	2	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	認証保育所	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	定期利用保育事業	3	—	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の認可外の教育・保育施設	5	—	—	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	居宅訪問型保育事業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ファミリー・サポート・センター	4	50.0	25.0	—	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	15	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問12-2 平日に定期的に利用している主な教育・保育事業等について、どのくらい利用していますか、また、利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。

ア 1週間当たりの利用日数

現在では、「5日」の割合が87.1%と最も高くなっています。

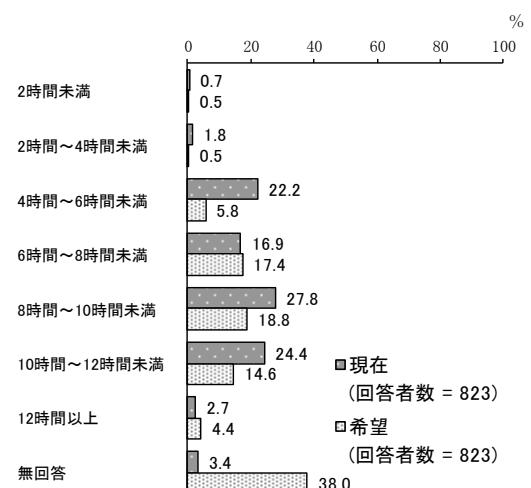
希望でも、「5日」の割合が53.6%と最も高くなっています。



イ 1日当たりの利用時間

07現在では、「8時間～10時間未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「10時間～12時間未満」の割合が24.4%、「4時間～6時間未満」の割合が22.2%となっています。

希望では、「8時間～10時間未満」の割合が18.8%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が17.4%、「10時間～12時間未満」の割合が14.6%となっています。

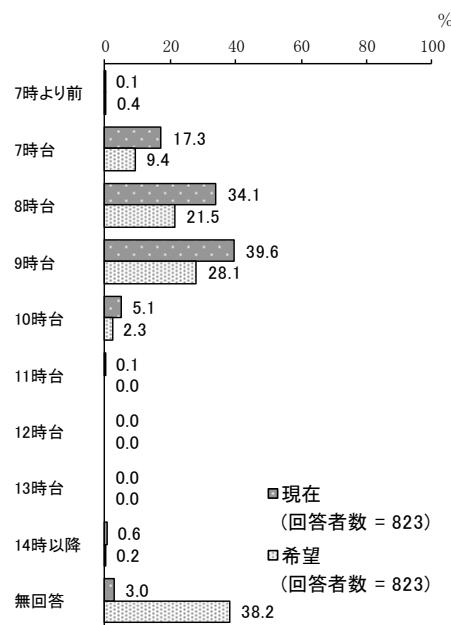


ウ 利用開始時間

現在では、「9時台」の割合が39.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が34.1%、「7時台」の割合が17.3%となっています。

希望では、「9時台」の割合が28.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.5%となっています。

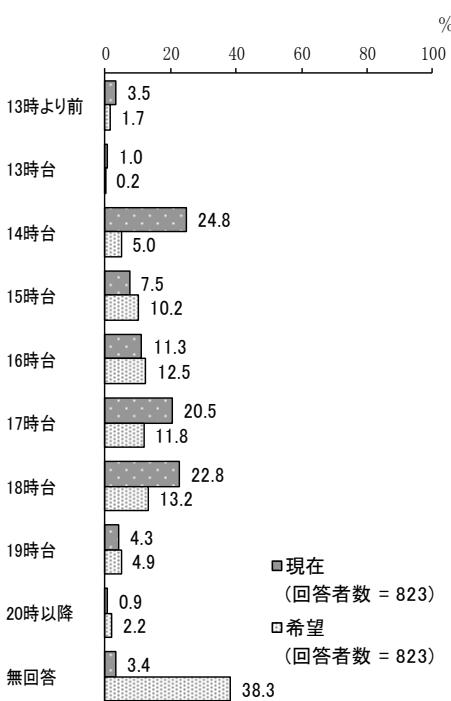
現在と希望で同様の傾向となっています。



エ 利用終了時間

現在では、「14時台」の割合が24.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が22.8%、「17時台」の割合が20.5%となっています。

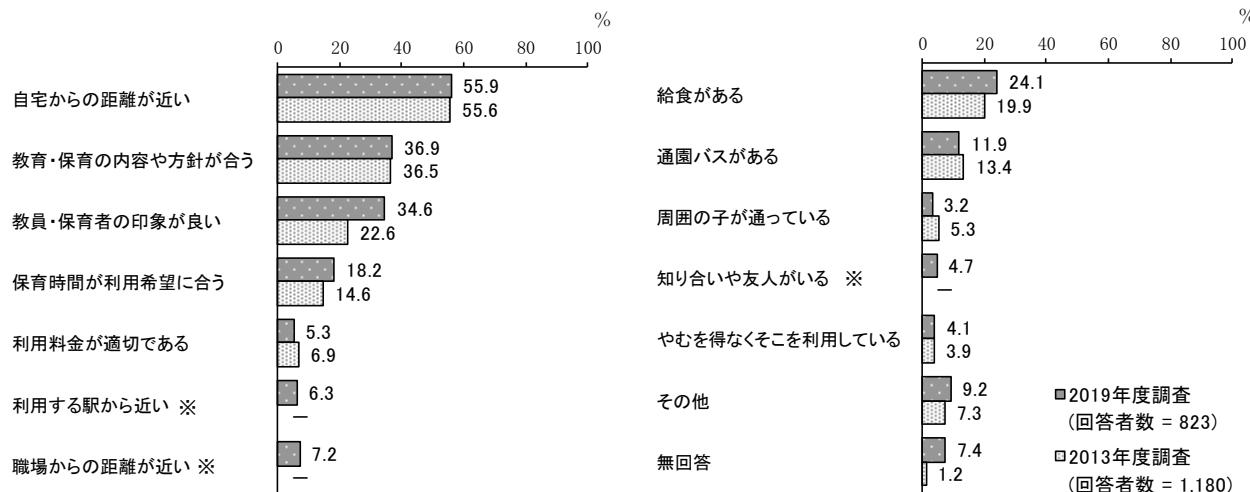
希望では、「18時台」の割合が13.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が12.5%、「17時台」の割合が11.8%となっています。



問12-3 利用している事業の決め手となった理由は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自宅からの距離が近い」の割合が55.9%と最も高く、次いで「教育・保育の内容や方針が合う」の割合が36.9%、「教員・保育者の印象が良い」の割合が34.6%となっています。

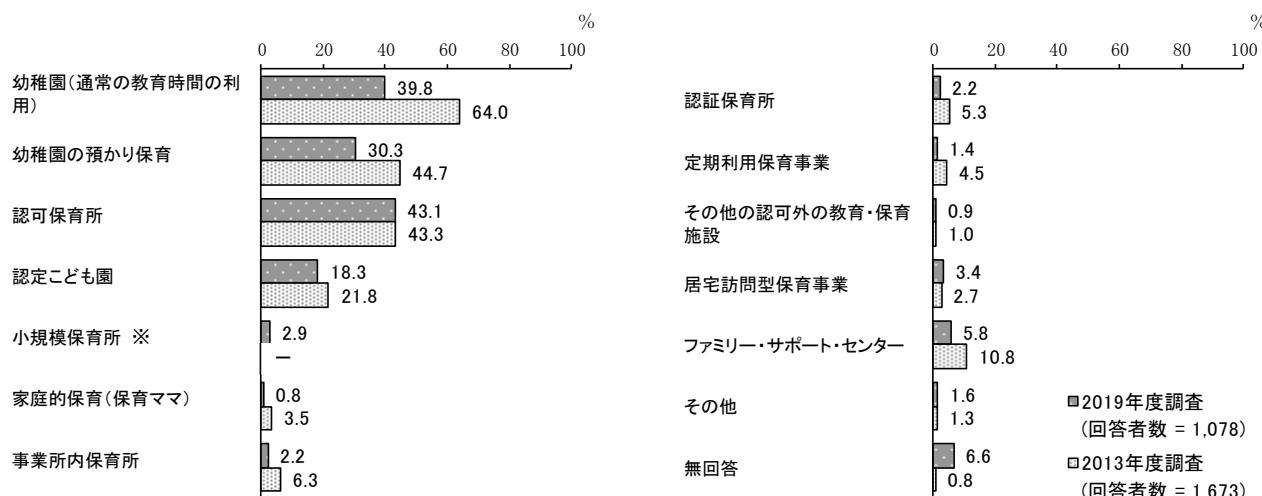
2013年度調査と比較すると、「教員・保育者の印象が良い」の割合が増加しています。



問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用するものとして、今後も利用を続けたい、もしくは、新たに利用したい事業はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が43.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が39.8%、「幼稚園の預かり保育」の割合が30.3%となっています。

2013年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【地域別】

地域別でみると、堺地域、忠生地域、鶴川地域で「認可保育所」の割合が、町田地域、南地域で「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。また、他に比べ、町田地域、南地域で「幼稚園の預かり保育」の割合が、忠生地域、町田地域で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
堺地域	165	40.0	26.7	46.7	13.3	4.8	1.2	3.6	2.4	3.0	—	5.5	3.6	0.6	4.2
忠生地域	173	28.9	25.4	42.8	27.7	1.2	0.6	1.2	—	1.2	1.2	2.3	2.9	1.2	6.4
町田地域	251	40.6	32.7	39.4	22.7	3.6	0.4	3.6	3.2	1.2	1.6	2.8	7.6	1.2	8.0
鶴川地域	238	42.0	28.2	44.5	12.6	2.1	1.3	2.1	2.5	1.3	1.3	3.8	6.7	2.1	6.3
南地域	234	44.4	36.8	43.2	15.8	2.6	0.9	0.4	2.1	0.9	0.4	3.4	7.3	2.1	7.3

【現在利用しているサービス別】

現在利用しているサービス別でみると、現在利用しているサービスをこれからも希望する割合が高くなる傾向にあります。

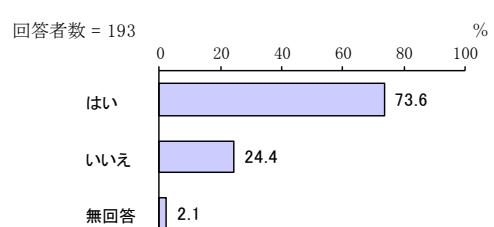
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したいサービス														
		幼稚園 (通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業	ファミリー・サポート・センター	その他		
利用している事業	幼稚園(通常の教育時間の利用)	273	91.9	51.6	5.5	8.1	0.4	1.1	1.5	—	0.4	—	2.9	6.6	1.5	1.5
	幼稚園の預かり保育	92	73.9	88.0	12.0	17.4	2.2	2.2	2.2	—	1.1	—	5.4	10.9	2.2	—
	認可保育所	389	8.0	15.4	87.1	6.2	0.3	0.3	1.8	1.3	—	1.3	4.1	5.7	1.3	4.6
	認定こども園	102	10.8	17.6	12.7	88.2	2.0	—	2.0	1.0	1.0	—	1.0	3.9	—	3.9
	小規模保育所	19	42.1	42.1	47.4	42.1	63.2	—	5.3	5.3	—	—	—	5.3	—	5.3
	家庭的保育 (保育ママ)	4	50.0	100.0	50.0	50.0	—	50.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—
	事業所内保育所	2	—	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
	認証保育所	11	18.2	36.4	18.2	18.2	—	—	—	72.7	—	—	—	—	—	9.1
	定期利用保育事業	3	100.0	66.7	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—
	他の認可外の教育・保育施設	5	—	40.0	60.0	20.0	—	—	—	—	80.0	20.0	40.0	—	—	—
	居宅訪問型保育事業	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	ファミリー・サポート・センター	4	75.0	50.0	—	25.0	—	—	—	25.0	—	—	—	50.0	—	—
	その他	15	46.7	40.0	6.7	6.7	6.7	—	—	—	—	—	6.7	—	53.3	6.7

問13-1は問13について「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「13. その他」にも○をつけた方にうかがいます。

問13-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が73.6%、「いいえ」の割合が24.4%となっています。

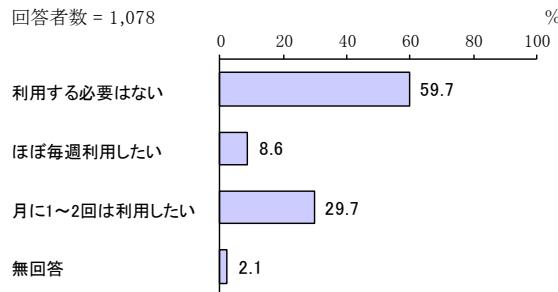


(7) 土曜日と日曜・祝日の教育・保育事業等の利用希望について

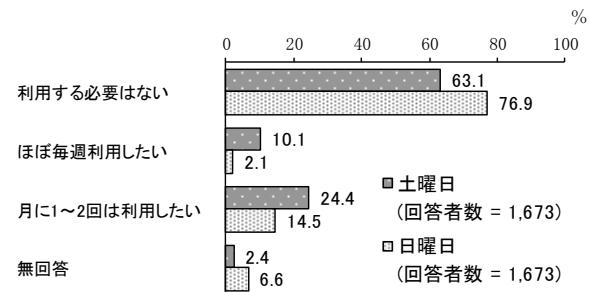
問14 土曜日と日曜・祝日に、保育園・幼稚園等の「定期的な教育・保育事業等」の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が59.7%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が29.7%となっています。

【2019年度調査】



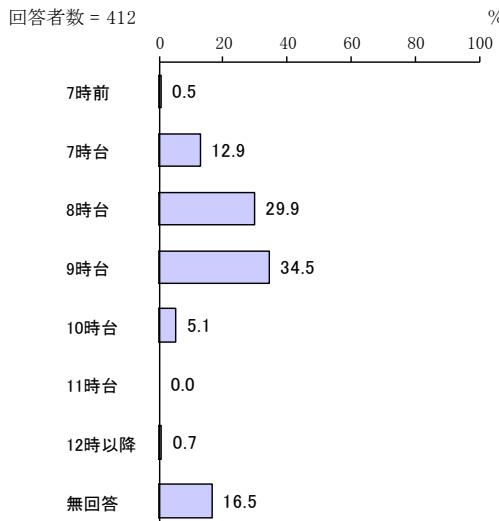
【2013年度調査（参考）】



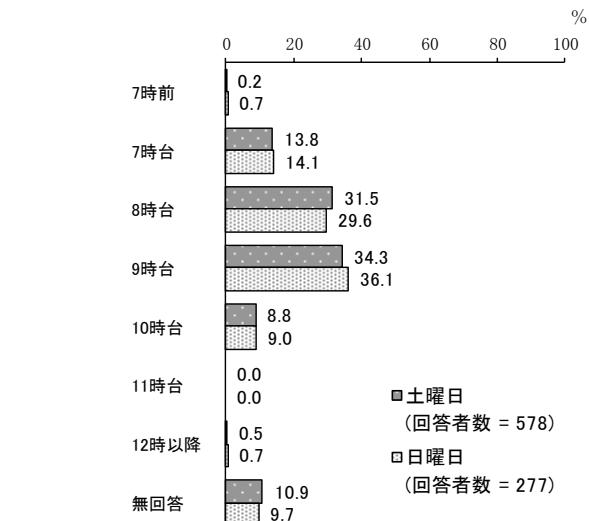
ア 利用希望開始時間

「9時台」の割合が34.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.9%、「7時台」の割合が12.9%となっています。

【2019年度調査】



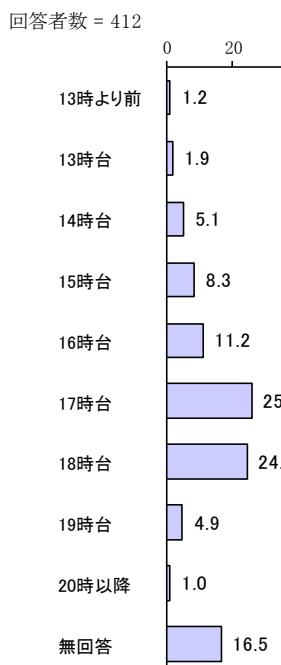
【2013年度調査（参考）】



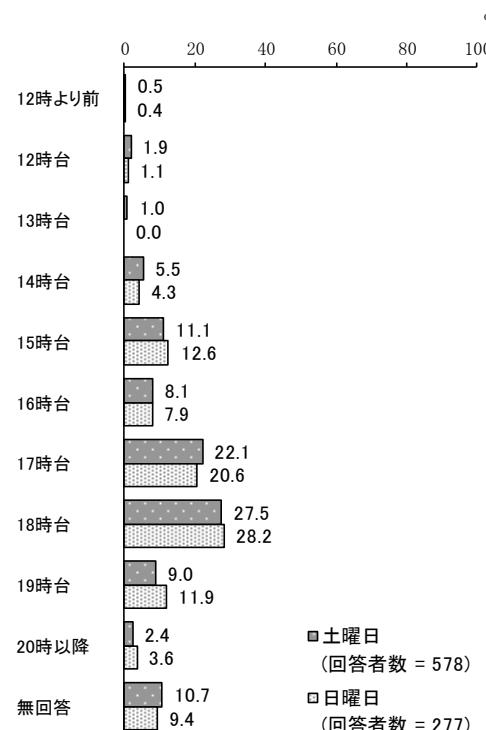
イ 利用希望終了時間

「17時台」の割合が25.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.3%、「16時台」の割合が11.2%となっています。

【2019年度調査】



【2013年度調査（参考）】



問14-1は問14で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

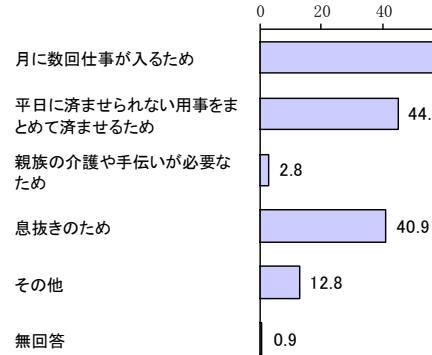
問14-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が57.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が44.7%、「息抜きのため」の割合が40.9%となっています。

【その他の主な意見】

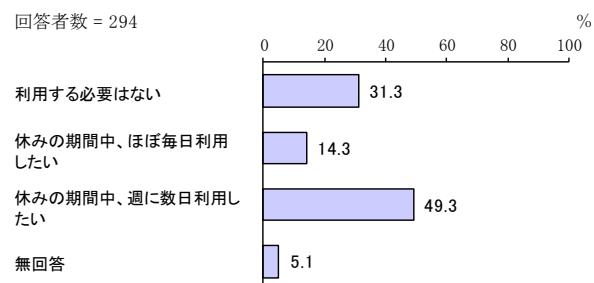
- ・土日祝日に仕事があるため（17件）
- ・学校行事や私用など（7件）
- ・通院のため（3件）
- ・上の子と2人でいる時間を作りたいため（2件）
- ・夫が土日仕事のため（2件） 等

回答者数 = 320



問15 現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、教育・保育事業等の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が49.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が31.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が14.3%となっています。



「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人

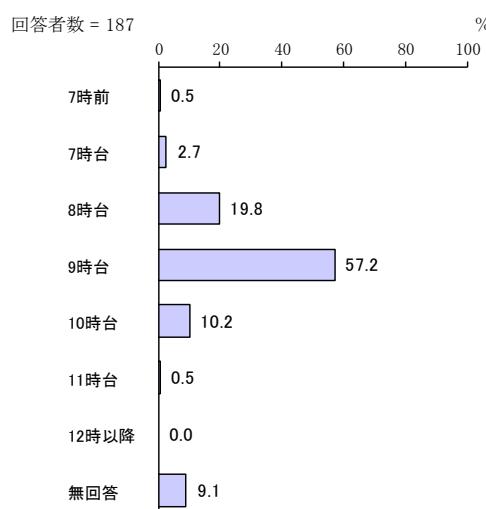
ア 利用希望開始時刻

「9時台」の割合が57.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が19.8%、「10時台」の割合が10.2%となっています。

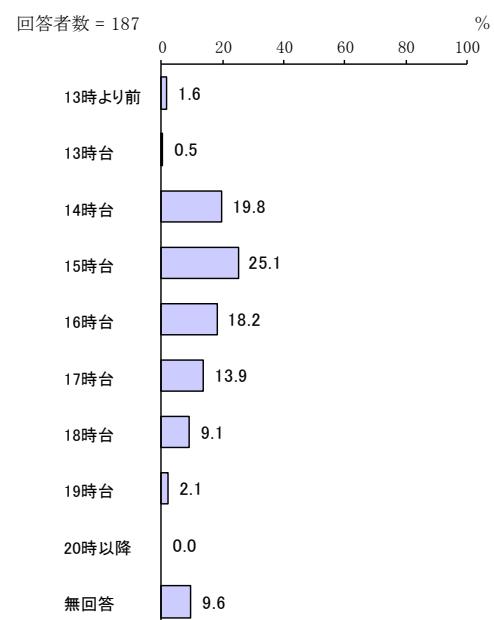
イ 利用希望終了時刻

「15時台」の割合が25.1%と最も高く、次いで「14時台」の割合が19.8%、「16時台」の割合が18.2%となっています。

【利用希望開始時刻】



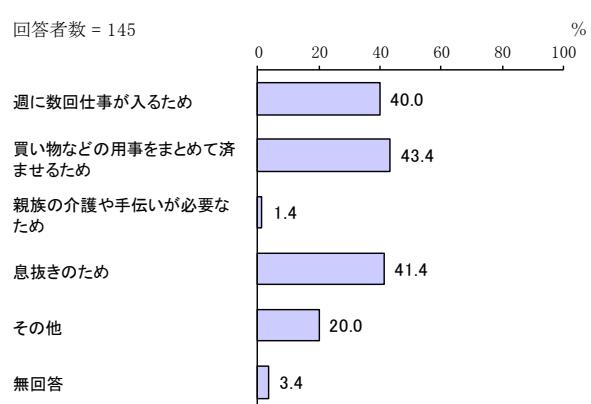
【利用希望終了時間】



問15-1は問15で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物などの用事をまとめて済ませるため」の割合が43.4%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が41.4%、「週に数回仕事が入るため」の割合が40.0%となっています。



【その他の主な意見】

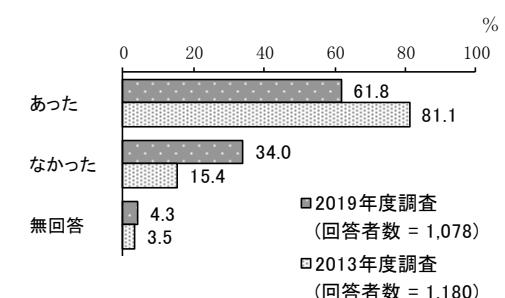
- 子どもが希望するため（16件）
- これから働きたいと思っているため（7件）
- 下の子との時間をつくりたいため（3件）等

（8）病気の際の対応について

問16 この1年間に、あて名のお子さんの病気やケガで保育園・幼稚園等を利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が61.8%、「なかつた」の割合が34.0%となっています。

2013年度調査と比較すると、「あった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「あった」の割合が高くなる傾向がみられます。

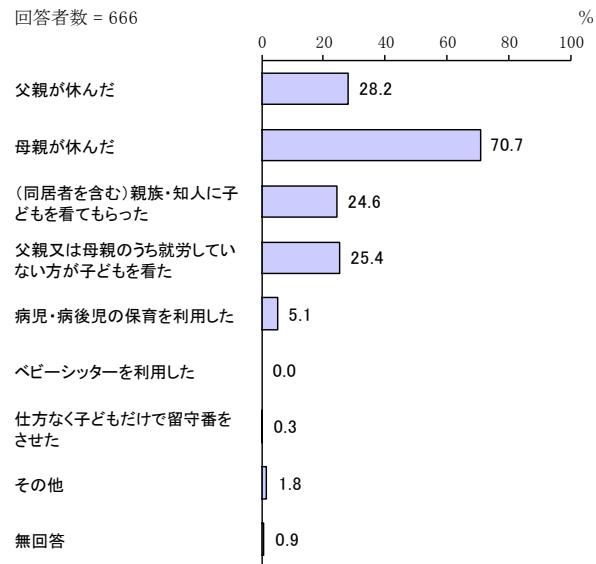
単位：%

区分	回答者数 (件)	あつた	なかつた	無回答
0歳	158	24.1	67.7	8.2
1歳	164	41.5	50.0	8.5
2歳	165	54.5	41.8	3.6
3歳	178	71.3	25.3	3.4
4歳	179	86.6	12.8	0.6
5歳	217	82.0	16.6	1.4

問16-1は問16で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問16-1 どのように対処しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの対処された日数を（　）内に数字でご記入ください。

「母親が休んだ」の割合が70.7%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が28.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が25.4%となっています。



<1年間の対処日数>

2013年度調査と比較すると、『父親が休んだ』で「1～4日」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 日 以上	無回答
1. 父親が休んだ	2019年度 188	59.0	23.4	7.4	0.5	1.1	8.5
	2013年度 194	54.1	28.9	9.3	1.5	1.5	4.6
2. 母親が休んだ	2019年度 471	34.4	18.7	18.9	4.9	7.4	15.7
	2013年度 554	31.2	26.5	19.0	4.9	12.1	6.3
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもを見てもらった	2019年度 164	40.9	19.5	15.2	2.4	4.9	17.1
	2013年度 253	38.3	30.8	11.9	2.8	7.1	9.1
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	2019年度 169	24.9	24.3	16.6	3.6	8.3	22.5
	2013年度 357	28.0	26.3	25.8	3.4	9.0	7.6
5. 病児・病後児の保育を利用した	2019年度 34	58.8	11.8	11.8	—	5.9	11.8
	2013年度 38	60.5	28.9	10.5	—	—	—
6. ベビーシッターを利用した	2019年度 —	—	—	—	—	—	—
	2013年度 5	60.0	—	20.0	—	—	20.0
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2019年度 2	100.0	—	—	—	—	—
	2013年度 9	88.9	—	11.1	—	—	—
8. その他	2019年度 12	25.0	33.3	8.3	—	16.7	16.7
	2013年度 19	21.1	26.3	5.3	10.5	—	36.8

問16-2は問16-1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

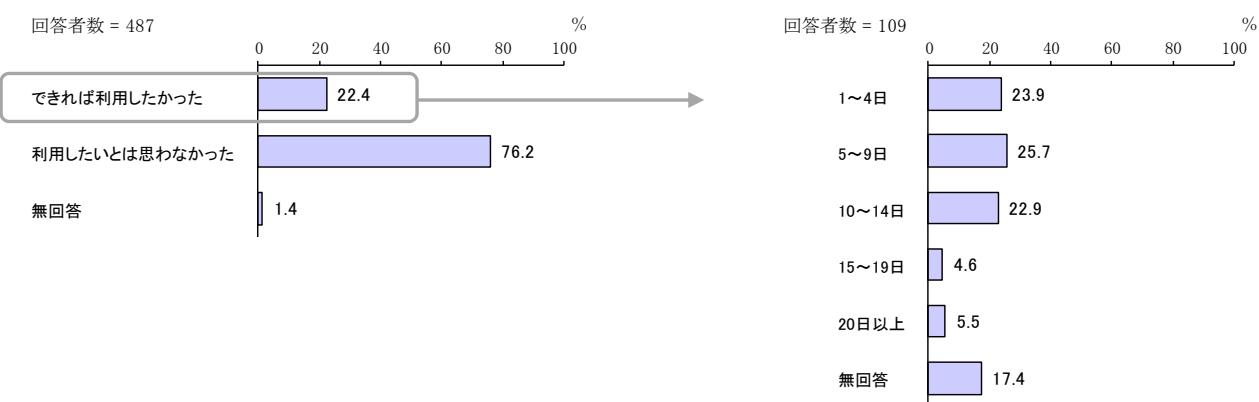
**問16-2 病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。当てはまる番号1つに○をつ
け、日数についても（　）内に数字でご記入ください。**

「できれば利用したかった」の割合が22.4%、「利用したいとは思わなかった」の割合が76.2%となっています。

「できれば利用したかった」と回答した人の利用希望日数

「5～9日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「1～4日」の割合が23.9%、「10～14日」の割合が22.9%となっています。

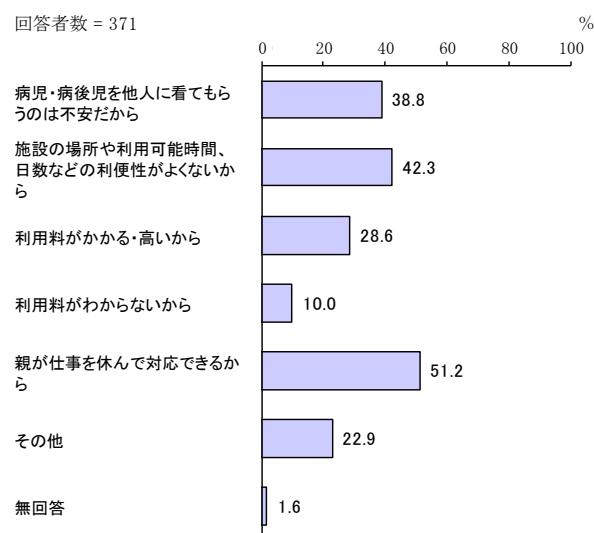
【利用希望日数】



問16-3は問16-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

**問16-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号す
べてに○をつけてください。**

「親が仕事を休んで対応できるから」の割合が51.2%と最も高く、次いで「施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから」の割合が42.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」の割合が38.8%となっています。

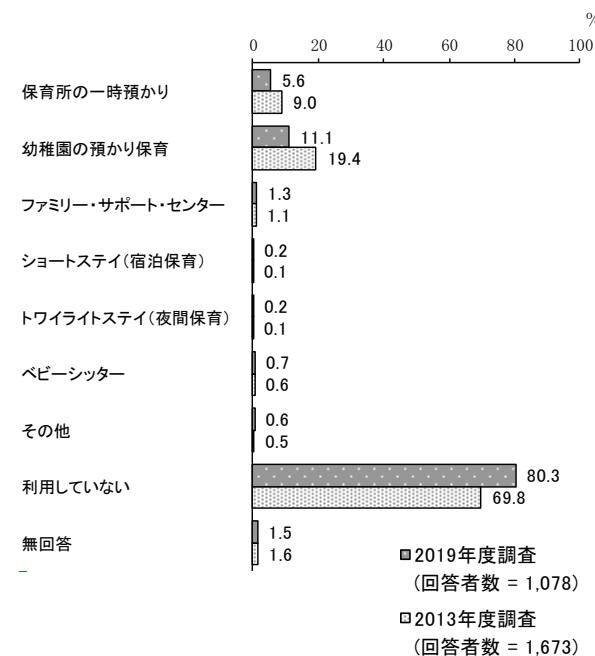


(9) 不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問17 親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュなどの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（およそ）を（　）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が80.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が11.1%となっています。

2013年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加し、「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「利用していない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、4歳、5歳で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	保育所の 一時 預 かり	幼 稚 園 の 預 か り 保 育	セ ン タ ー	フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・	(宿 泊 保 育)	シ ョ ー ト ス テ イ	ト ワ イ ラ イ ト ス テ イ	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
0歳	158	7.6	1.3	1.3	—	—	—	—	—	—	88.6	1.3
1歳	164	7.9	1.2	1.2	—	—	—	2.4	0.6	87.8	1.8	
2歳	165	9.7	1.2	1.2	—	—	—	1.2	1.8	84.8	1.2	
3歳	178	5.6	9.6	1.7	—	—	—	1.1	0.6	83.1	1.1	
4歳	179	1.7	22.9	0.6	0.6	0.6	0.6	—	0.6	73.2	0.6	
5歳	217	2.8	25.3	1.8	0.5	0.5	0.5	—	0.5	67.7	2.8	

<利用日数（年間）>

単位：%

区分	(回答者数)	1 4 日	5 9 日	10 14 日	15 19 日	20 日 以 上	無 回 答
1. 保育所の一時預かり	60	40.0	11.7	15.0	1.7	30.0	1.7
2. 幼稚園の預かり保育	120	20.0	15.0	19.2	5.0	32.5	8.3
3. ファミリー・サポート・センター	14	35.7	14.3	14.3	7.1	14.3	14.3
4. ショートステイ(宿泊保育)	2	—	50.0	—	—	50.0	—
5. トワイライトステイ(夜間保育)	2	—	100.0	—	—	—	—
6. ベビーシッター	8	50.0	—	12.5	—	25.0	12.5
7. その他	7	28.6	—	14.3	—	42.9	14.3

<2013年度調査との比較>

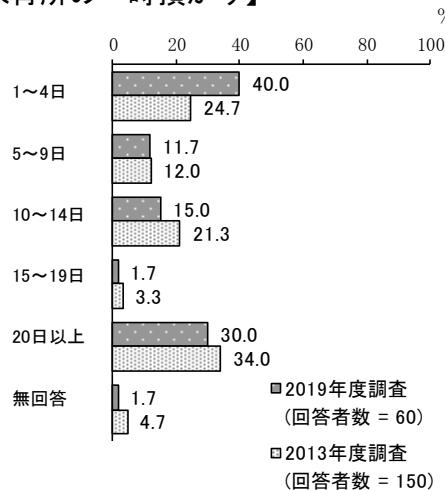
1. 保育所の一時預かり

2013年度調査と比較すると、「1～4日」の割合が増加し、「10～14日」の割合が減少しています。

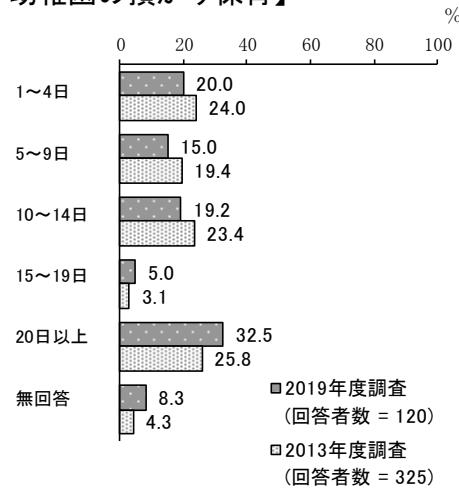
2. 幼稚園の預かり保育

2013年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。

【1. 保育所の一時預かり】



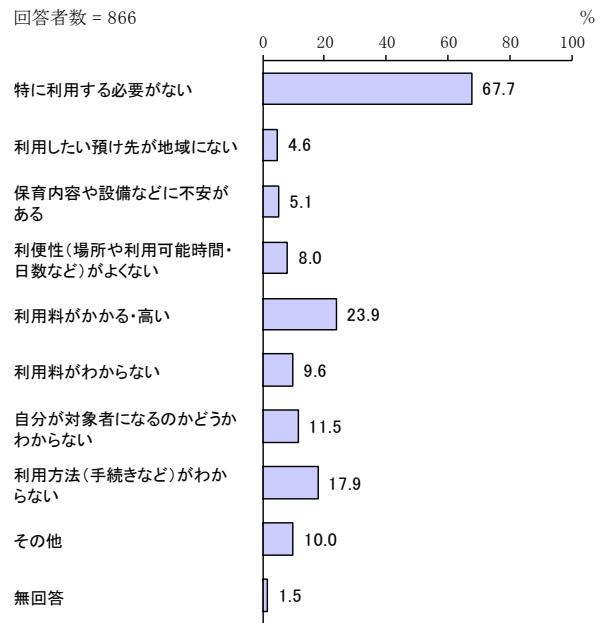
【2. 幼稚園の預かり保育】



問17-1は問17で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問17-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が67.7%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が23.9%、「利用方法(手続きなど)がわからぬい」の割合が17.9%となっています。



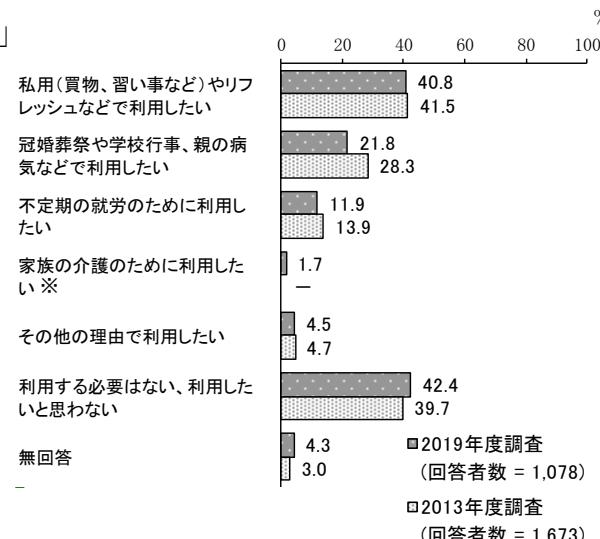
【その他の主な意見】

- ・親族にたのんでいるため(14件)
- ・子どもが嫌がるため(12件)
- ・事前の申し込みが必要なため
緊急時利用できない(11件)
- ・嫌悪感があるため(8件) 等

問18 私用やリフレッシュ、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、あて名のお子さんに保育所の一時預かりを利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用希望の日数を数字でご記入ください。

「利用する必要はない、利用したいと思わない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「私用(買物、習い事など)やリフレッシュなどで利用したい」の割合が40.8%、「冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい」の割合が21.8%となっています。

2013年度調査と比較すると、「冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい」の割合が減少しています。



<利用したい日数（年間）>

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 日 以 上	無 回 答
1. 私用(買物、習い事など)やリフレッシュなどで利用したい	440	14.3	17.7	40.5	1.6	18.4	7.5
2. 冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい	235	31.1	32.8	19.1	0.9	3.4	12.8
3. 不定期の就労のために利用したい	128	11.7	7.8	20.3	1.6	43.0	15.6
4. 家族の介護のために利用したい	18	16.7	16.7	16.7	—	22.2	27.8
5. その他の理由で利用したい	48	18.8	18.8	33.3	2.1	12.5	14.6

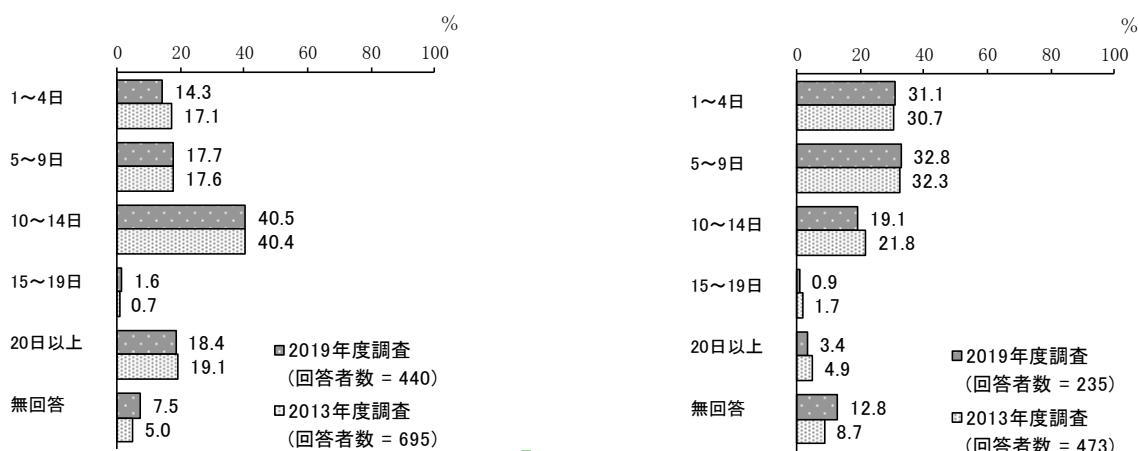
1. 私用（買物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

2. 冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【1. 私用（買物、習い事など）やリフレッシュなど】 【2. 冠婚葬祭や学校行事、親の病気など】



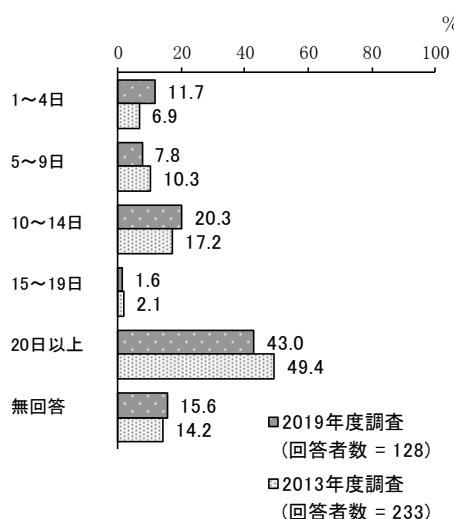
3. 不定期の就労のために利用したい

「20日以上」の割合が43.0%と最も高く、次いで「10~14日」の割合が20.3%、「1~4日」の割合が11.7%となっています。

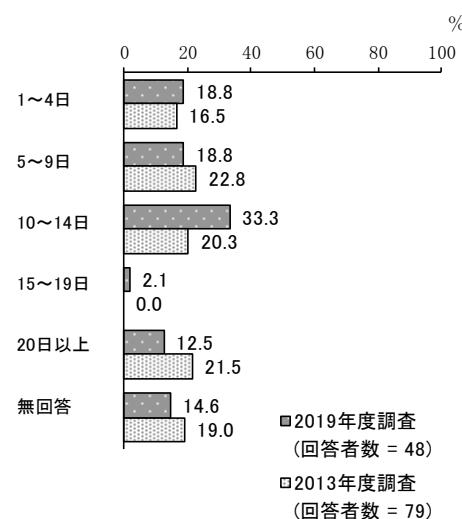
5. その他の理由で利用したい

2013年度調査と比較すると、「10~14日」の割合が増加し、「20日以上」の割合が減少しています。

【3. 不定期の就労のため】

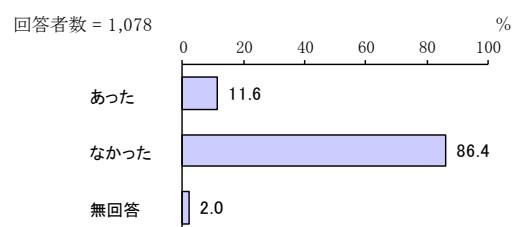


【5. その他】



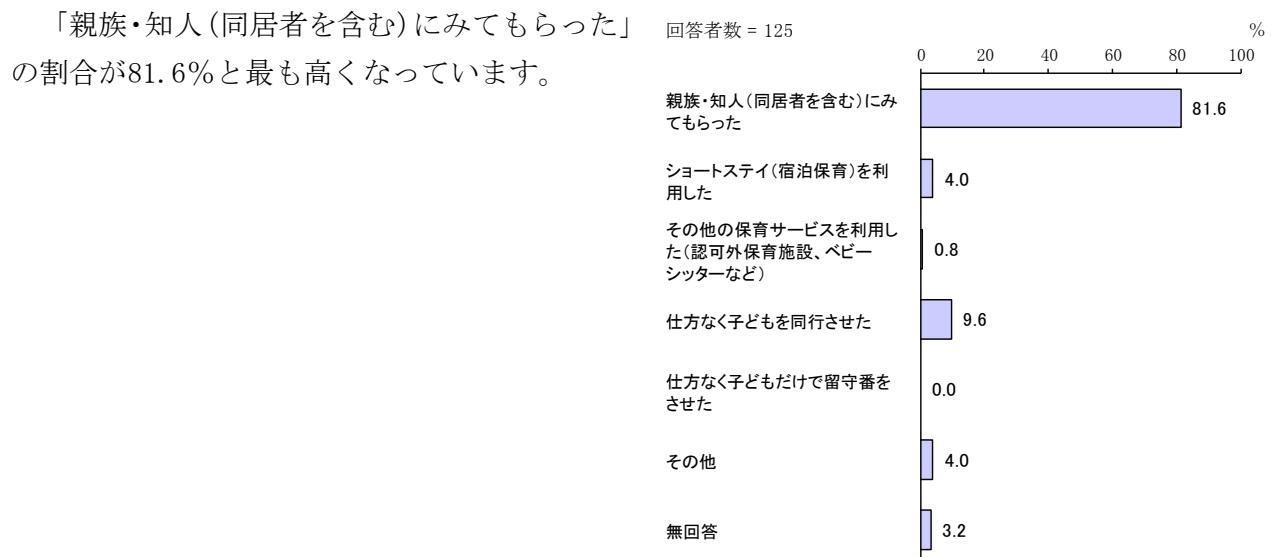
問19 この1年間に、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含む）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が11.6%、「なかつた」の割合が86.4%となっています。



問19-1は問19で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 家族以外にみてもらわなければならぬときはどうしましたか。対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　）内に数字でご記入ください。



<利用泊数(年間)>

単位 : %

区分	回答者数 (件)	1 泊	5 泊	10 泊	15 泊	20 泊以上	無回答
1. 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	102	54.9	21.6	8.8	—	11.8	2.9
2. ショートステイ(宿泊保育)を利用した	5	—	—	—	—	20.0	80.0
3. その他の保育サービスを利用した (認可外保育施設、ベビーシッターなど)	1	—	—	—	—	—	100.0
4. 仕方なく子どもを同行させた	12	50.0	16.7	8.3	—	—	25.0
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	—	—	—	—	—	—	—
6. その他	5	60.0	40.0	—	—	—	—

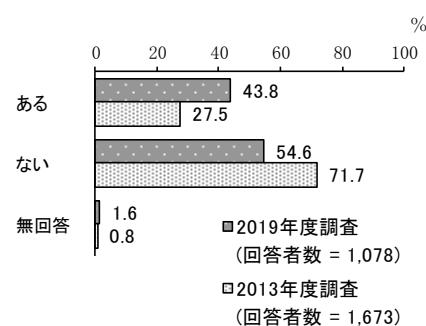
(10) 子育て支援事業の利用状況について

問20 子育てひろば事業を利用したことはありますか(①)。また、今後利用したいと思いますか(②)。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に利用回数等をご記入ください。

①これまでの利用

「ある」の割合が43.8%、「ない」の割合が54.6%となっています。

2013年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

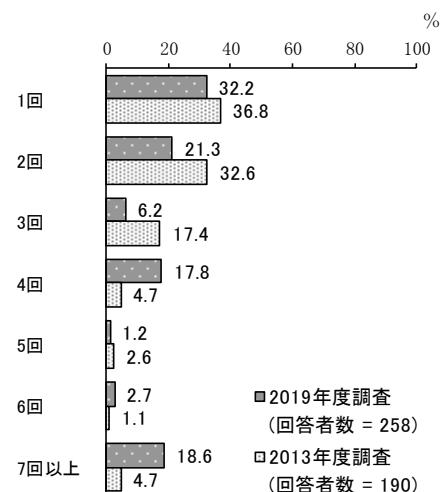
子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳で「ある」の割合が高くなっています。また、4歳、5歳で「ない」の割合が高くなっています。

区分	回答者数(件)	ある	ない	無回答
0歳	158	41.8	55.1	3.2
1歳	164	53.0	46.3	0.6
2歳	165	46.1	53.3	0.6
3歳	178	48.3	50.0	1.7
4歳	179	39.7	59.2	1.1
5歳	217	36.4	61.3	2.3

1か月当たりの利用回数（無回答を除く集計）

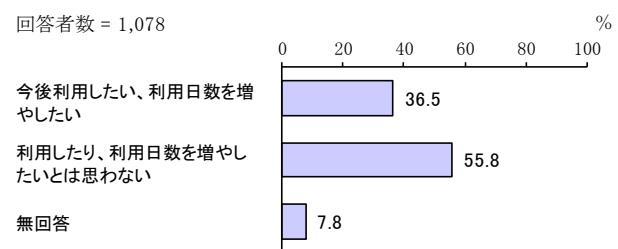
「1回」の割合が32.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.3%、「7回以上」の割合が18.6%となっています。

2013年度調査と比較すると、「2回」「3回」の割合が減少し、「4回」「7回以上」の割合が増加しています。



②今後の利用意向

「今後利用したい、利用日数を増やしたい」の割合が36.5%、「利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が55.8%となってています。



【子どもの年齢別】

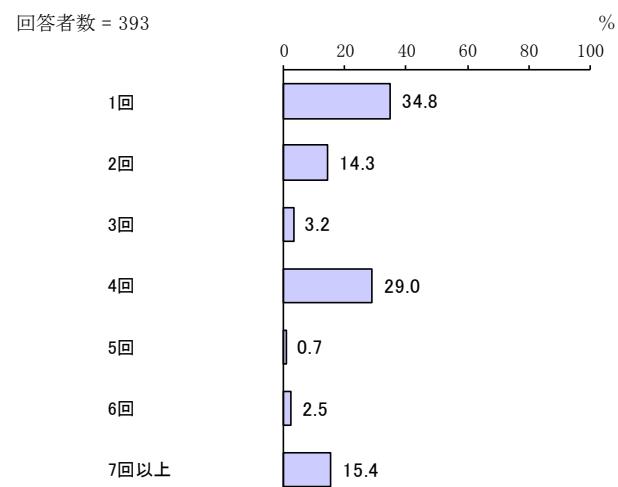
子どもの年齢別でみると、0歳、1歳で「今後利用したい、利用日数を増やしたい」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数(件)	増やし利用したい、今後利用したい、	とは思わない、利用	無回答
0歳	158	63.9	29.7	6.3
1歳	164	48.8	43.9	7.3
2歳	165	38.2	55.8	6.1
3歳	178	33.1	59.0	7.9
4歳	179	17.3	73.7	8.9
5歳	217	25.3	65.0	9.7

1か月当たりの利用希望回数（無回答を除く集計）

「1回」の割合が34.8%と最も高く、次いで「4回」の割合が29.0%、「7回以上」の割合が15.4%となっています。

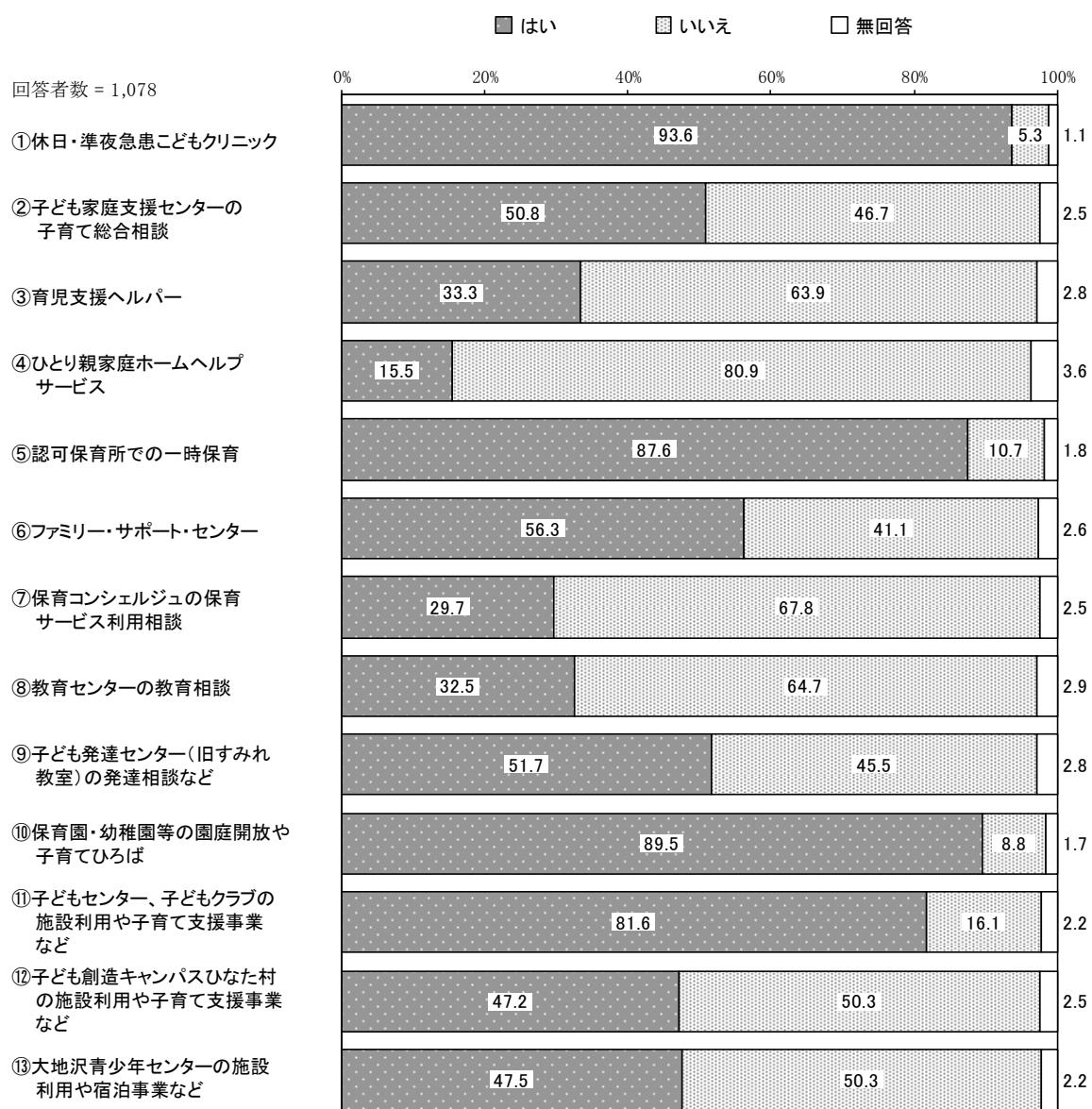


問21 下記のサービスを知っている、または、これまでに利用したことはありますか。
また、今後、利用したいと思いますか。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

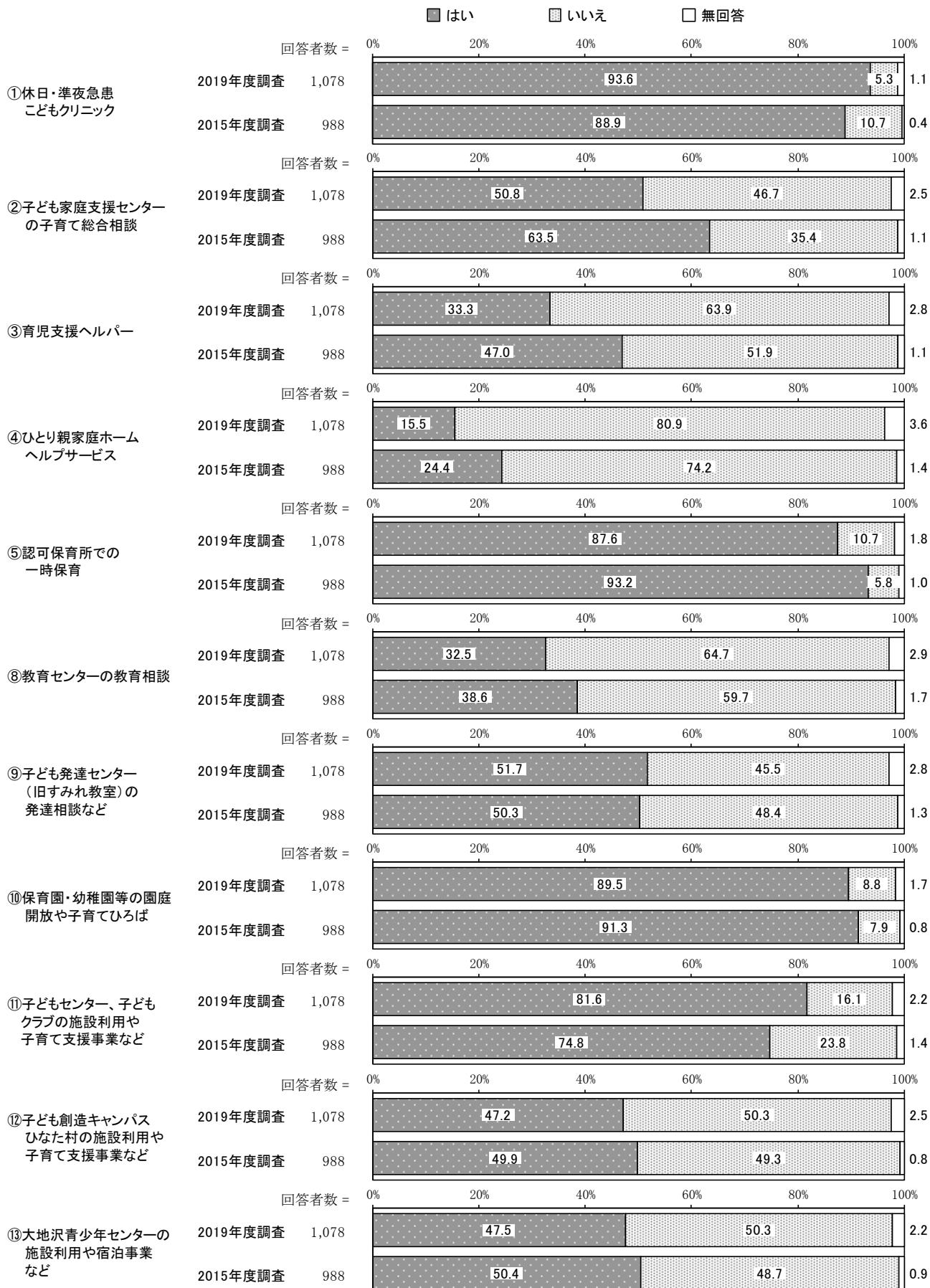
【A 認知度】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑤認可保育所での一時保育』『⑩保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』で「はい」の割合が約9割と高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』で「いいえ」の割合が約8割と高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加し、『②子ども家庭支援センターの子育て総合相談』『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑤認可保育所での一時保育』『⑧教育センターの教育相談』で「はい」の割合が減少しています。



【2015年度調査との比較】

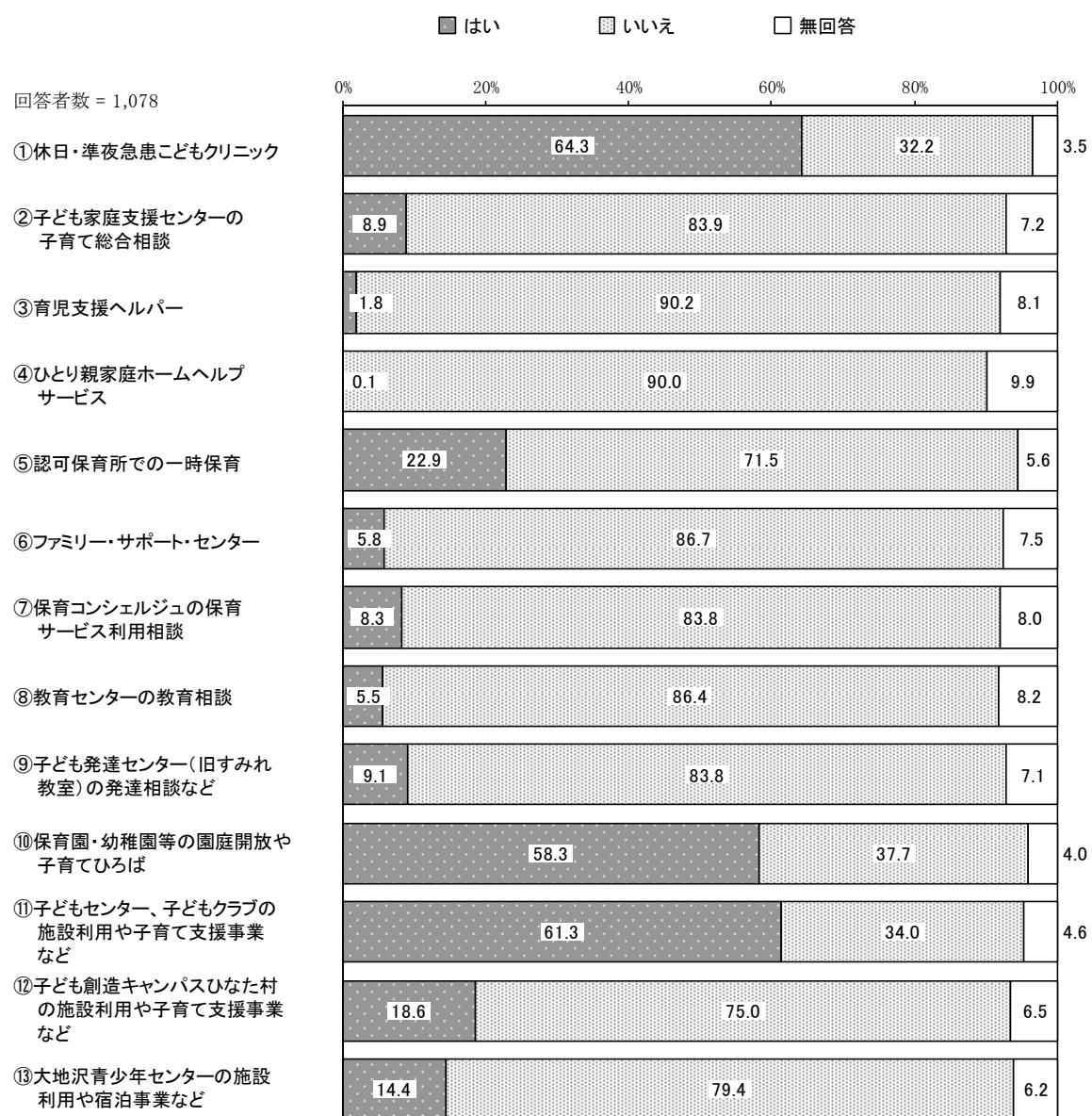


※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

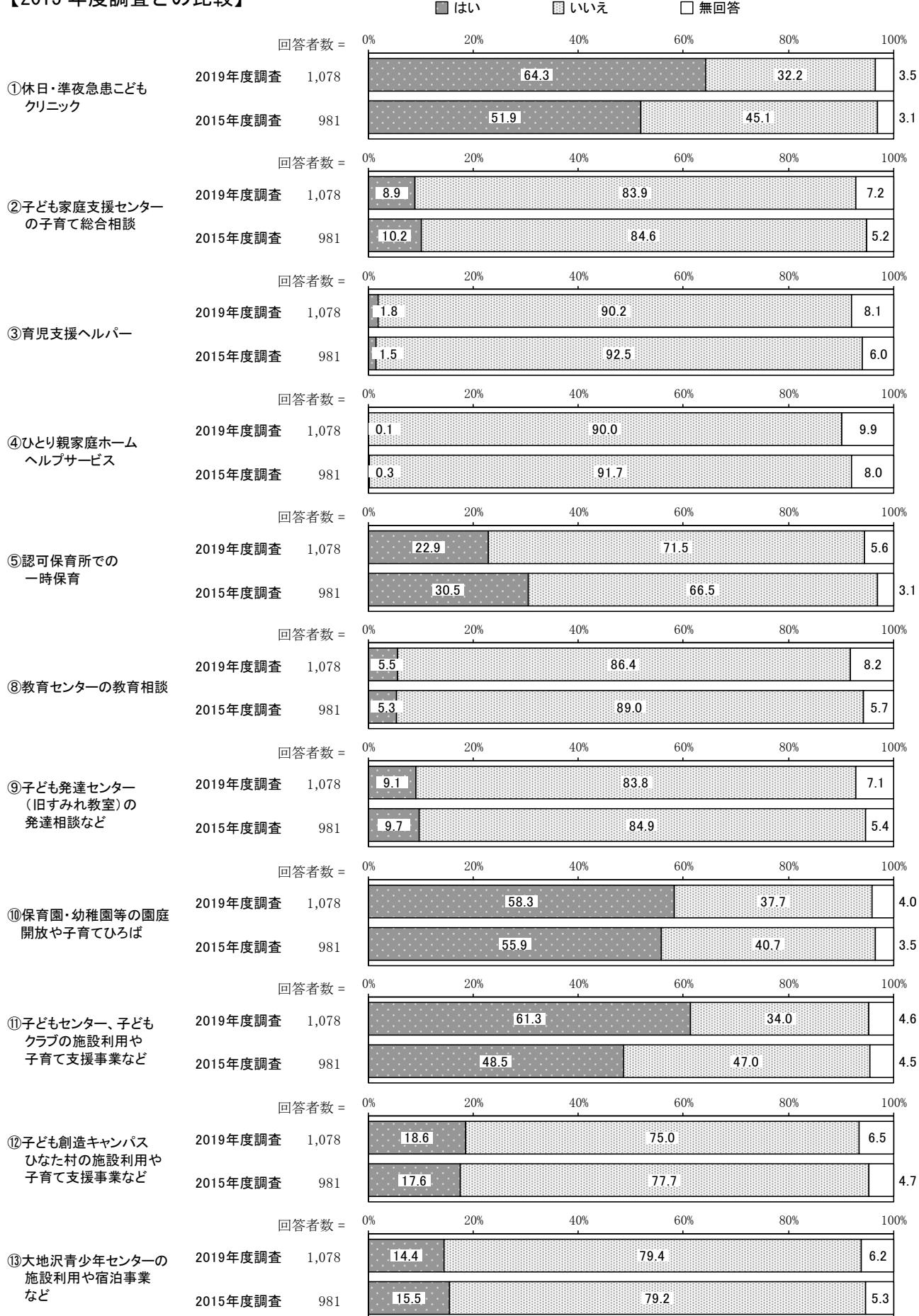
【B 利用状況】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が6割半ばと高くなっています。また、『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』で「いいえ」の割合が約9割と高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加しています。



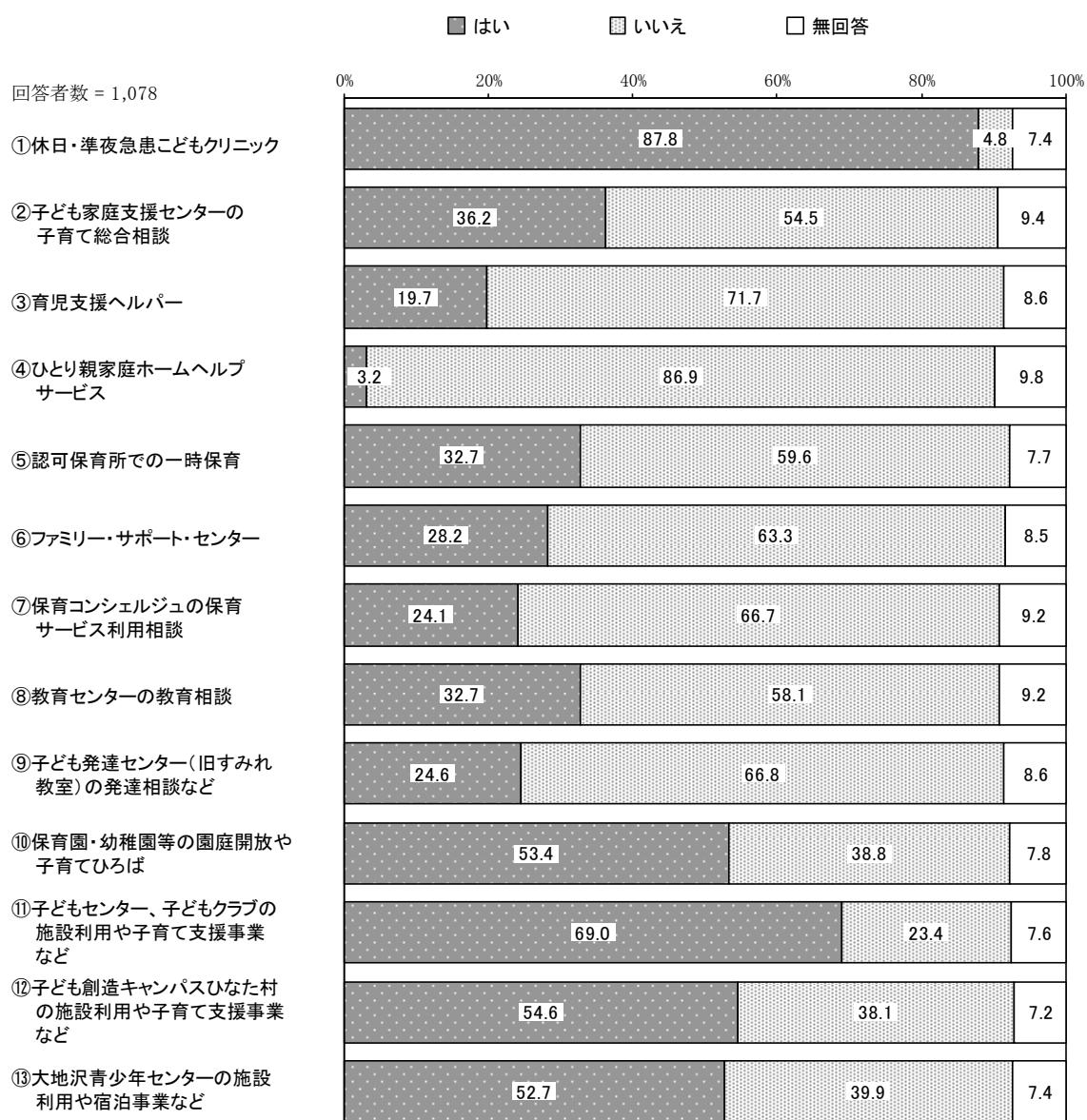
【2015年度調査との比較】



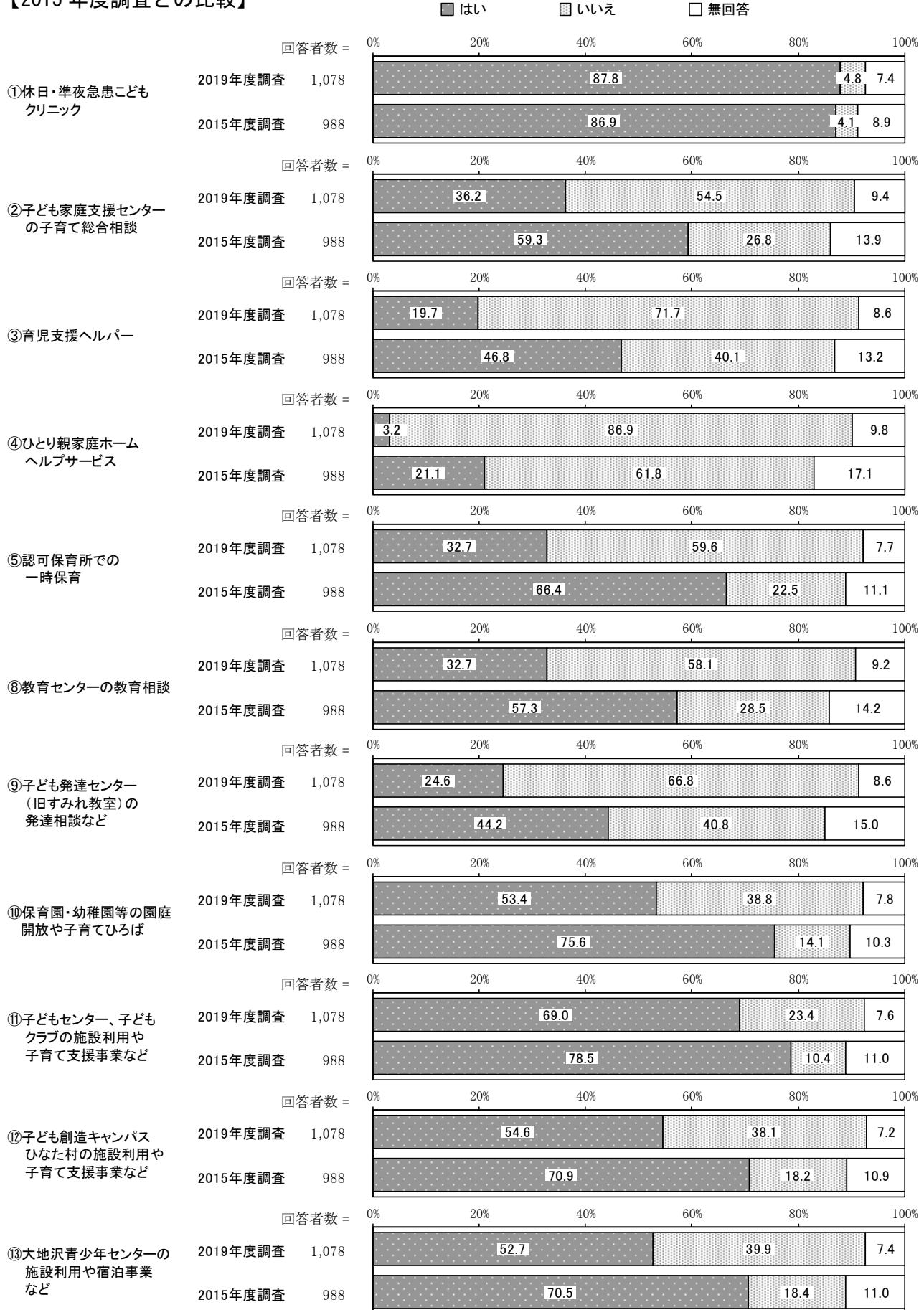
※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

【C 利用意向】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が約9割と高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』で「いいえ」の割合が8割半ばと高くなっています。2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』を除くすべての項目で「はい」の割合が減少しています。



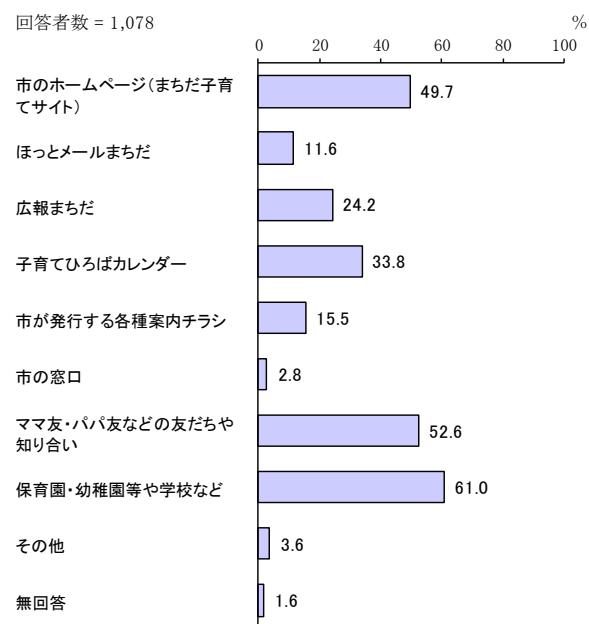
【2015年度調査との比較】



※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

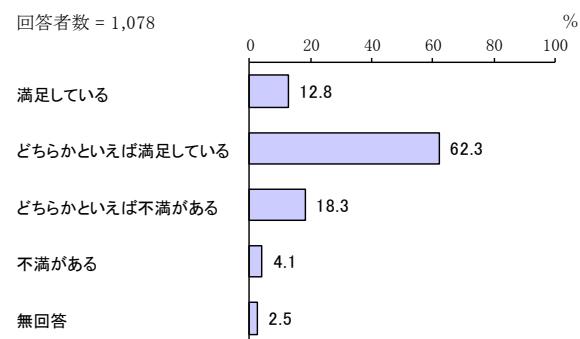
問22 子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育園・幼稚園等や学校など」の割合が61.0%と最も高く、次いで「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い」の割合が52.6%、「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」の割合が49.7%となっています。



問23 子育て支援サービスの情報に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”的割合が75.1%、「どちらかといえば不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”的割合が22.4%となっています。

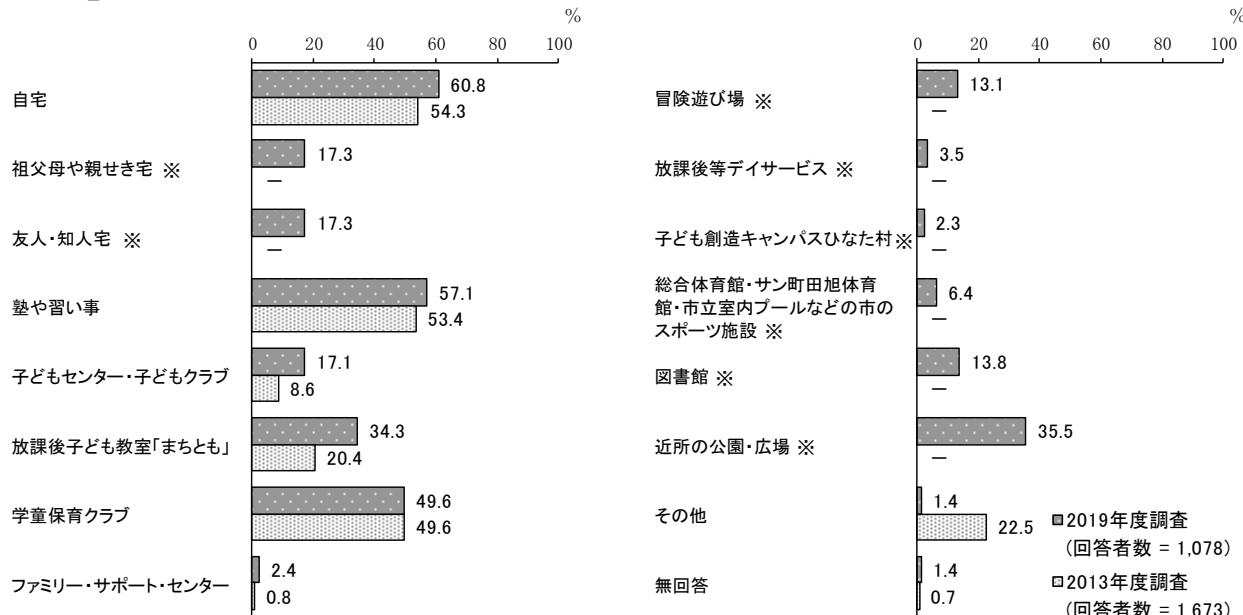


(11) 放課後の過ごし方について

問24 小学校にあがったとき、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

「自宅」の割合が60.8%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が57.1%、「学童保育クラブ」の割合が49.6%となっています。

2013年度調査と比較すると、「自宅」「子どもセンター・子どもクラブ」「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が増加しています。



<1週当たりの利用希望日数>

単位 : %

区分	(件) 回答者 数	1 日							無 回 答	
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日		
1. 自宅	655	16.0	23.8	18.9	5.8	20.2	0.8	3.2	11.3	
2. 祖父母や親せき宅	186	43.0	19.9	10.2	3.2	8.6	0.5	—	14.5	
3. 友人・知人宅	187	59.9	20.3	5.9	—	1.6	—	—	12.3	
4. 塾や習い事	616	41.1	40.3	8.9	1.8	0.6	—	—	7.3	
5. 子どもセンター・子どもクラブ	184	44.6	27.2	9.2	1.6	4.3	—	—	13.0	
6. 放課後子ども教室「まちとも」	370	29.7	23.8	15.7	4.3	13.0	0.3	—	13.2	
7. 学童保育クラブ	535	5.6	8.0	19.6	11.4	45.0	1.3	—	9.0	
8. ファミリー・サポート・センター	26	46.2	11.5	15.4	—	7.7	—	—	19.2	
9. 冒険遊び場	141	57.4	12.1	6.4	0.7	7.1	—	—	16.3	
10. 放課後等デイサービス	38	39.5	21.1	7.9	7.9	10.5	—	—	13.2	
11. 子ども創造キャンパスひなた村	25	76.0	8.0	12.0	—	—	—	—	4.0	
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	69	68.1	15.9	4.3	—	—	—	—	11.6	
13. 図書館	149	71.8	12.8	0.7	0.7	1.3	—	—	12.8	
14. 近所の公園・広場	383	22.2	33.2	19.1	2.9	7.8	0.5	0.3	14.1	
15. その他	15	20.0	—	6.7	—	26.7	6.7	—	40.0	

<2013年度調査との比較>

1. 自宅

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

4. 塾や習い事

2013年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。

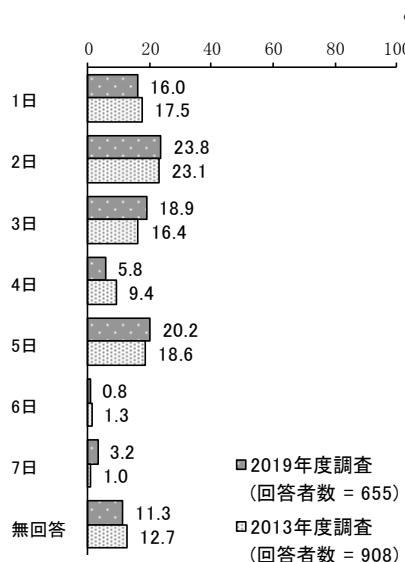
5. 子どもセンター・子どもクラブ

2013年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。

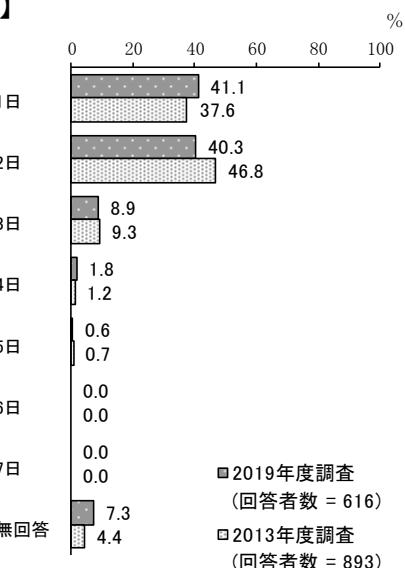
6. 放課後子ども教室「まちとも」

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

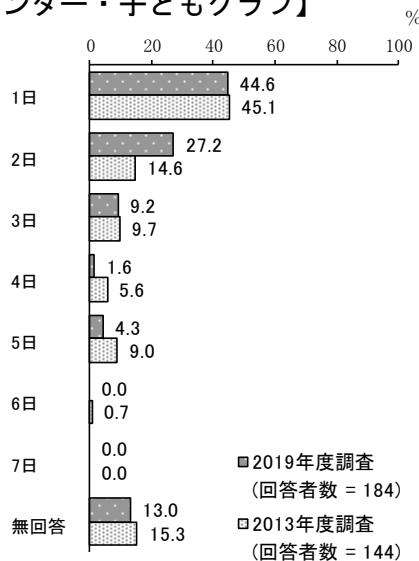
【1. 自宅】



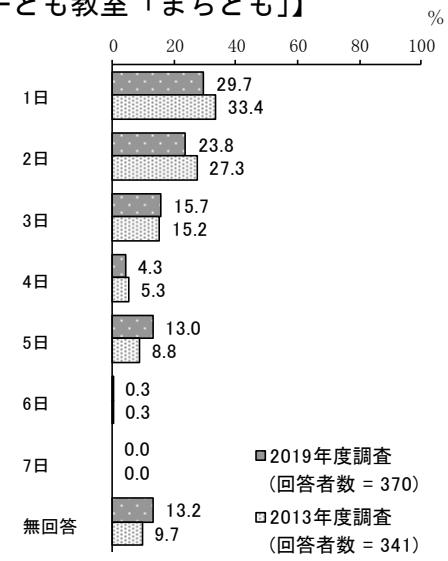
【4. 塾や習い事】



【5. 子どもセンター・子どもクラブ】



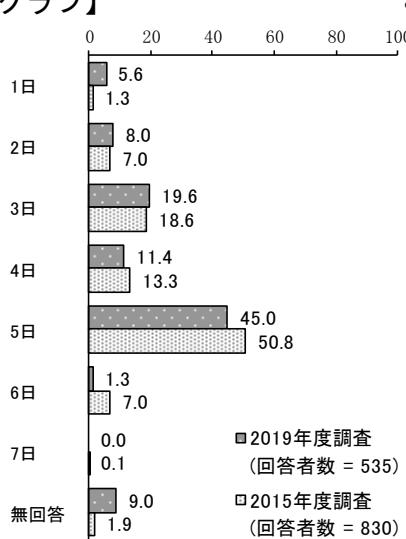
【6. 放課後子ども教室「まちとも」】



7. 学童保育クラブ

2013年度調査と比較すると、「5日」「6日」の割合が減少しています。

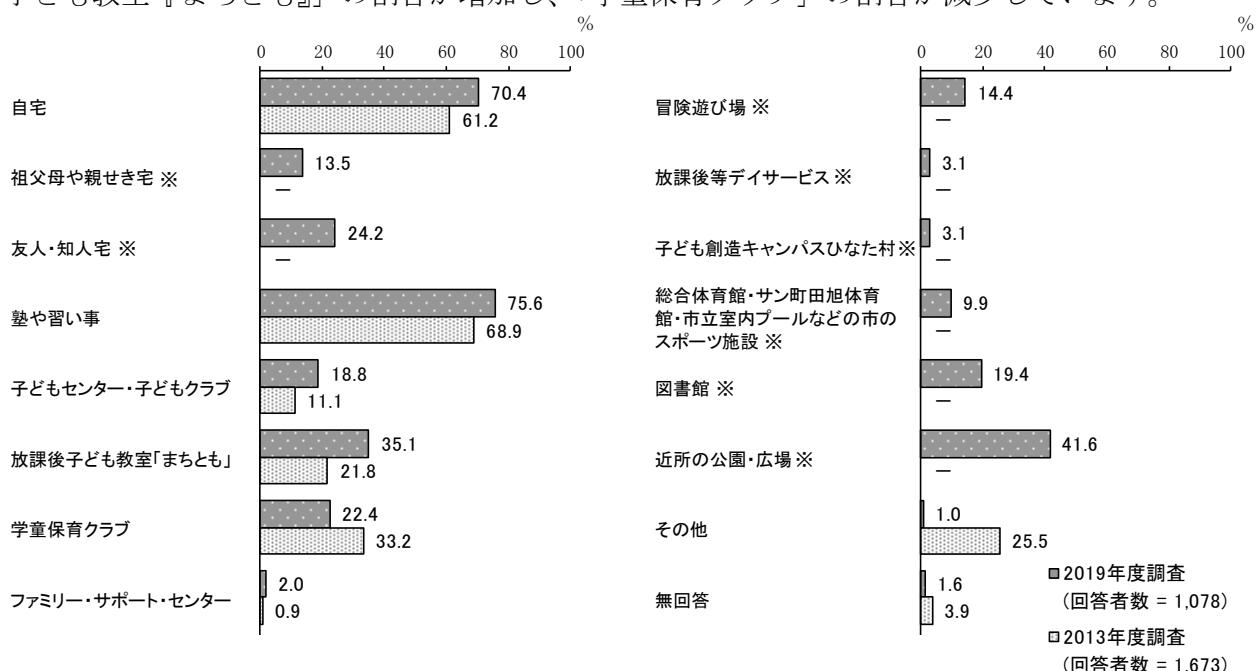
【7. 学童保育クラブ】



問25 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をおどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけて、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

「塾や習い事」の割合が75.6%と最も高く、次いで「自宅」の割合が70.4%、「近所の公園・広場」の割合が41.6%となっています。

2013年度調査と比較すると、「自宅」「塾や習い事」「子どもセンター・子どもクラブ」「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が増加し、「学童保育クラブ」の割合が減少しています。



<1週当たりの利用希望日数>

単位：%

区分	(件) 回答者 数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回答
1. 自宅	759	21.2	22.7	18.1	4.3	18.8	1.1	2.1	11.7
2. 祖父母や親せき宅	145	39.3	20.0	10.3	2.1	12.4	0.7	—	15.2
3. 友人・知人宅	261	53.3	26.1	4.6	0.4	2.3	—	—	13.4
4. 塾や習い事	815	23.8	44.3	17.5	3.1	1.7	0.1	—	9.4
5. 子どもセンター・子どもクラブ	203	38.9	30.0	12.8	2.0	4.9	—	—	11.3
6. 放課後子ども教室「まちとも」	378	30.4	25.7	15.6	4.0	10.6	0.3	0.3	13.2
7. 学童保育クラブ	242	9.1	17.8	22.3	7.0	31.4	—	—	12.4
8. ファミリー・サポート・センター	22	54.5	27.3	4.5	—	—	—	—	13.6
9. 冒険遊び場	155	51.0	18.1	7.7	2.6	5.8	—	—	14.8
10. 放課後等デイサービス	33	33.3	30.3	15.2	—	12.1	—	—	9.1
11. 子ども創造キャンパスひなた村	33	72.7	9.1	3.0	—	3.0	—	—	12.1
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	107	66.4	14.0	4.7	—	3.7	—	—	11.2
13. 図書館	209	60.3	18.2	3.8	1.4	1.9	—	—	14.4
14. 近所の公園・広場	448	26.3	27.9	19.0	2.9	8.3	0.2	0.4	15.0
15. その他	11	9.1	—	18.2	—	18.2	—	—	54.5

<2013年度調査との比較>

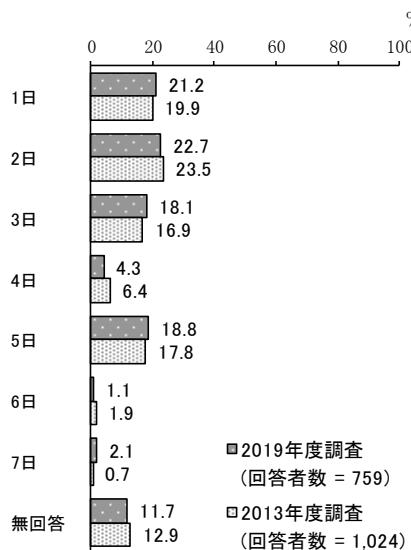
1. 自宅

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

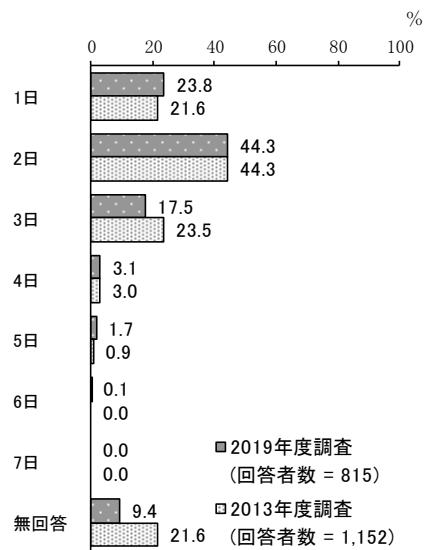
4. 塾や習い事

2013年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。

【1. 自宅】



【4. 塾や習い事】



5. 子どもセンター・子どもクラブ

2013年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。

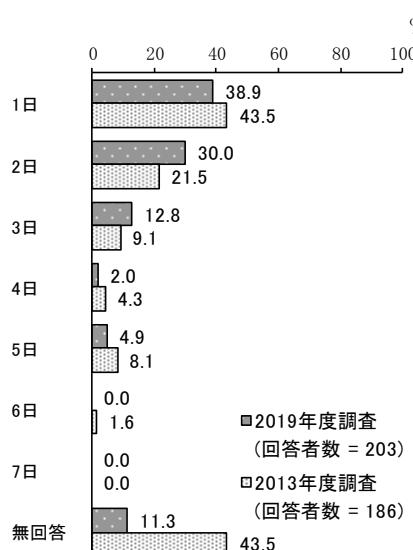
6. 放課後子ども教室「まちとも」

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

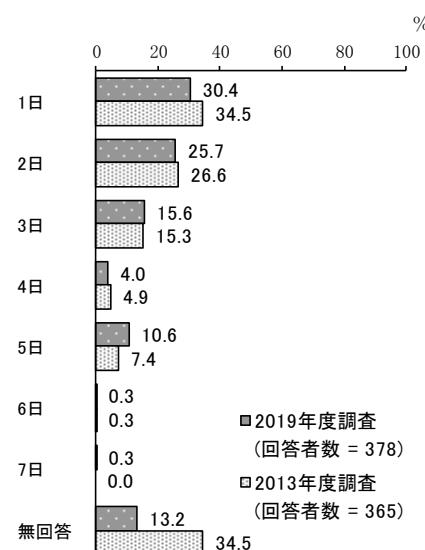
7. 学童保育クラブ

2013年度調査と比較すると、「1日」「2日」の割合が増加し、「5日」「6日」の割合が減少しています。

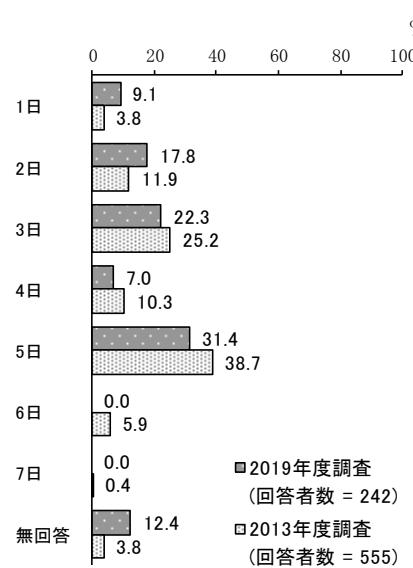
【5. 子どもセンター・子どもクラブ】



【6. 放課後子ども教室「まちとも」】



【7. 学童保育クラブ】

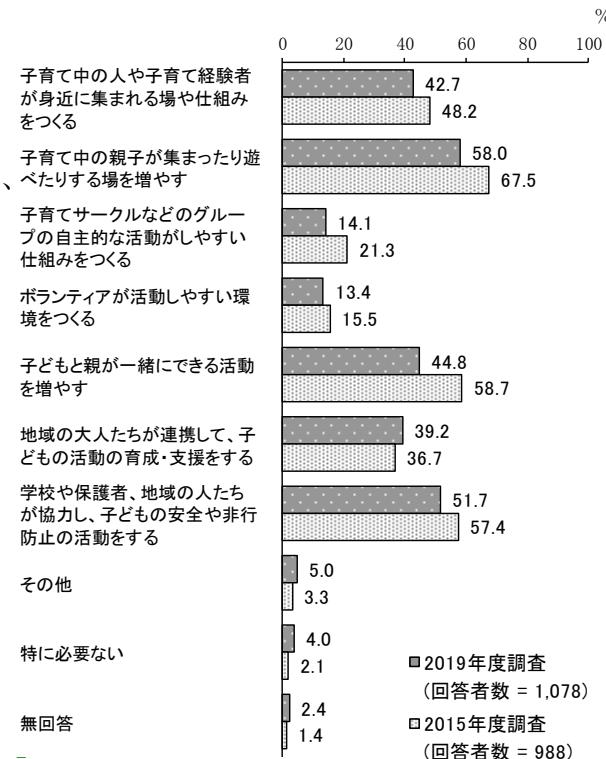


(12) 子育て施策全般について

問26 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取り組みをする必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」の割合が58.0%と最も高く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が51.7%、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が44.8%となっています。

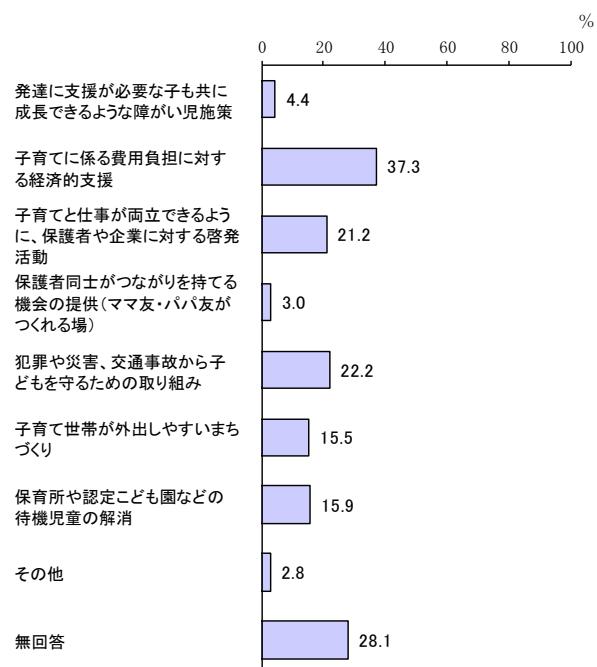
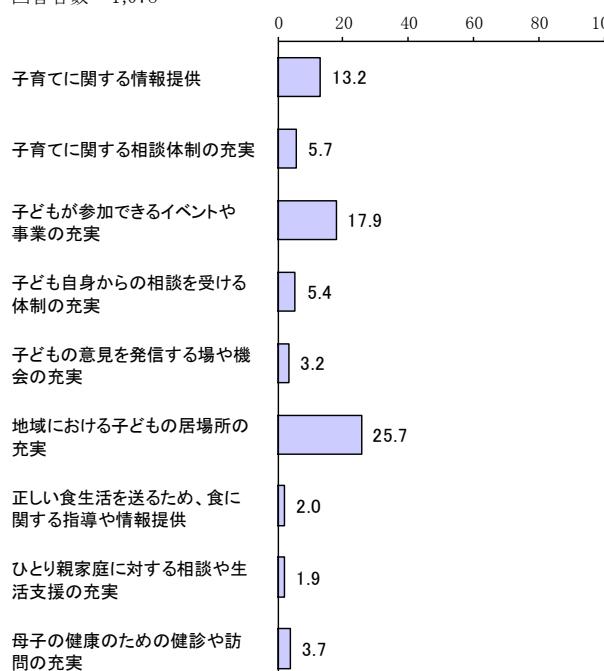
2015年度調査と比較すると、「子育て中の親子が集またり遊べたりする場を増やす」「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が減少しています。



問27 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

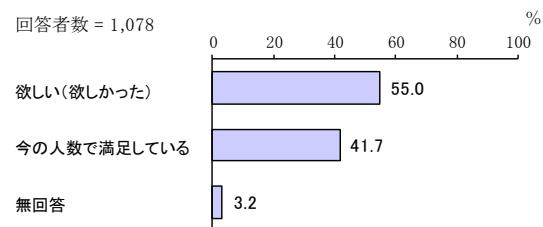
「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が37.3%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が25.7%、「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るために取り組み」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 1,078



問28 問27の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しかった）と考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「欲しい（欲しかった）」の割合が55.0%、「今の人數で満足している」の割合が41.7%となっています。



【子どもの人數別】

子どもの人數別でみると、他に比べ、1人で「欲しい（欲しかった）」の割合が高くなっています。また、3人、4人で「今の人數で満足している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲 しき かっ た)	今 の 人 数 で 満 足 し て い る	無 回 答
1人	332	79.2	17.2	3.6
2人	527	51.6	46.1	2.3
3人	168	23.8	72.0	4.2
4人	34	29.4	61.8	8.8
5人	7	57.1	42.9	—
6人以上	3	66.7	33.3	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中』で「欲しい（欲しかった）」の割合が高くなっています。また、『これまでに就労したことがない』で「今の人數で満足している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲 しき かっ た)	今 の 人 数 で 満 足 し て い る	無 回 答
フルタイム	334	55.7	41.0	3.3
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	73	69.9	30.1	—
パートタイム・アルバイトなど	242	56.2	40.1	3.7
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	15	46.7	46.7	6.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	373	52.0	44.5	3.5
これまでに就労したことがない	25	32.0	64.0	4.0

問29 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

アンケート調査票の自由記述欄において、511人の方から、計752件の意見を寄せていいただきました。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	
(1) 保育園・幼稚園等の対応・受入れ（利用条件）について	42
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園各々で必要なもの準備するものが異なるが、可能であれば統一して欲しい。兄妹が別々の園へ行っているため、園に合わせて都度用意する必要があり入園時は不便を感じた。 ・実家が遠方にあるため、通常の保育だけでは対応できないこともある。 ・認可保育園の一時預かりの予約がとりづらい。枠を拡大してもらいたい。 ・自分が急病の時、急遽預ける事が出来る場所があるとありがたい。 ・認可保育園でも、リフレッシュ目的での預かりを認めて欲しい。 	
	など
(2) 保育園・幼稚園等の夜間・休日、長期休暇の受入れについて	11
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・今、共稼ぎの世帯が増え、日曜、祝日に仕事の人が増えている。休日保育のキャンセル待ちが毎日仕事の負担になっている家庭も少なくない。 ・保育園を3歳以降は21時まで預けられるようにして欲しい。 ・幼稚園等で行っている長期休み等の学童預りをもっと充実させて欲しい。 	
	など
(3) 保育園・幼稚園等の利用料について	21
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の料金が高い。費用の負担をおさえて（補助を増やして）もらいたい。 ・在園している子（兄弟）がいる場合は2人目以降安くなるが、年が離れてしまい在園児が1人になってしまうと高い。在園に関わらず、兄弟の数でカウントして欲しい。 ・保育無償化などで教育にお金を使うのはよいが、認可外に預けている人は対象外など、対象にならない人がいるのはおかしい。子育てをしている全員を対象にすべきだと思う。 	
	など
(4) 保育園・幼稚園等の質の向上について	17
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の手当を厚くして、保育士の成り手や優秀な方の採用を積極的にし、保育士への教育も手厚く支援してもらいたい。 ・保育料の無償化ではなく保育士の給料・待遇を良くし保育の質をあげるべきだと思う。 ・市内でも施設や受けられる教育に地域差があるように感じる。 	
	など
(5) 待機児童（施設整備）について	42
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子育てをしているので、確実に保育園に入れるよう、認可保育園の増設、保育士の人材確保等の取り組みに力を入れてもらいたい。 ・年度途中だと入りにくい制度は不公平だと思う。 ・保育園に入れない中、認定こども園の存在に救われた。 ・認定こども園の保育型の受入人数が少なすぎると思う。 	
	など

分類回答	件数
2. 小学校就学後の生活について	
(1) 小学校（通学路含む）について	27
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校や中学校での施設の老朽化や、設備について、もっと充実して欲しい。 ・小学校1年生には、幼保小の連携強化や、サポート体制の強化、先生以外の見守りがあると助かる。 ・小学校に上ると、PTAの活動は、働いている家庭にとって負担。安心して、仕事と子育てを両立できる仕組みをつくってもらいたい。 ・通学路、登園路に歩道、車道の区別があいまいで危険な道路が多いので整備して欲しい。 など 	
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	47
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生以降の子どもが健やかに過ごせるように学童保育クラブを小学校6年生までにして欲しい。 ・放課後子ども教室「まちとも」を、長期休暇中（春、夏、冬休み）も実施して欲しい。 ・夏休み等の長期休暇に働いている人の子ども全員が預けられる体制を作って欲しい。 ・学童保育クラブも20時まで対応して欲しい。 など 	
3. 子育て支援全般について	
(1) 子どもの居場所やイベント（親子イベント、子どもセンター、子育てひろば事業など）について	65
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・土日の子育て支援のイベントが少ないので、増やして欲しい。（平日就労していると行けない） ・ママ友を作ることができたり、親子で気軽に参加できるイベントや、働いている親が集まるコミュニティやイベントがあれば良いと思う。 ・どこからでも徒歩20分以内で児童館にいけるように配置して欲しい。 ・大きな子どもセンターや公園でのイベントが沢山あるのはとてもありがたい。子どもたちが笑顔で過ごせるような街にして欲しい。地域とのつながりを大切にしたいと思う。 など 	
(2) 病児・病後児保育や障がい児への支援について	20
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・医療が必要な子どもの受け入れ体制を保育園、幼稚園で進めて欲しい。 ・病児・病後児保育の施設が少なくて不便。 ・小学校に上がると発達相談を相談する所（病院の先生以外で）がなく、困ってしまうことがある。また、仕事をしていると他の保護者とのつながりもなく、解消できる取組みがあると良いと思った。 など 	
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	62
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みを匿名でできるようにして欲しい。電話相談等もしつこく名前を聞かれるので相談をためらってしまう。 ・市の制度や施設は充実していると思うが、SNS等での情報発信に力を入れると良いと思う。 ・詳しく調べないと知りえないような制度や手続きが多くて、「知らない人は損をする」というものがある。手続き等についてはもう少し情報発信、告知を行う方が良い。 ・調べたり、聞いたりしなくても当たり前に情報が伝わる様な取組みに期待する。 など 	

分類回答	件数
4. 子育て環境について	
(1) 公園・遊び場・外出について	122
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・公園や広場が少なくなっているので、のびのびと活発に子どもが遊べる場所の確保を望む。室内遊び場などがあっても良いと思う。 ・駐車場があり、遊具が整備されている安心して遊ばせることができる公園がない。 ・ママ友や家族で気軽に外出できる場所がもっと増えると良い。 ・公園の遊具が古くて、使用をためらうことがある。新しくして欲しい。 	
	など
(2) 公共施設等について	16
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・病院などに駐車場を多くして欲しい。 ・ベビーカーで外出することが多いが、道路がでこぼこしていて歩きにくい。段差が気になる。 ・図書館が少ない。もっと充実させてもらいたい。 	
	など
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	44
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターでの〇ヶ月健診の時、保護者同士(職員もまじえて)で話を出来る場を作つても良いかと思った。 ・小学校に入ってからも、世帯収入に関係なく医療費の免除を考えて欲しい。 ・乳児健診などは、市の外れに住んでいる人にとっては場所も時間も厳しい。 ・準夜間こどもクリニックが遠くてとても不便。 	
	など
(4) 地域との協力について	17
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な催しや、子育て広場事業などに参加し、市や町のボランティアの方々の取り組みのおかげで、地域ぐるみで子育てできていることに感謝している。 ・パパ友、ママ友を増やすより、地域の人たちの連携や防犯対策などが満足にできている街づくりを望む。 ・以前よりも育児に関心を持ち、子どもと積極的に関わりを持ちたいと思う父親が増えたと感じるが、まだまだ地域ぐるみで父親が参加できる育児環境は少ないと感じる。 ・地域で子どもを守るといっても、今は同じマンションの人に挨拶もしない時代。コミュニケーションの取り方が難しい。 	
	など
5. 子育て中の保護者の状況について	
(1) 社会制度等(育休・就労状況・男女の子育て意識など)について	27
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいることで、どうしても母親がフルで仕事が出来ない状況はいまだ変わっていないと思う。一番変わらなくてはいけないのは、父親の意識とそれを理解する社会(会社)ではないだろうか。父親も親としてきちんと子育てを担う事が出来る様な環境が整えば、行政がそこまでサービスを手厚くしなくとも状況がかなり改善するのでは、と思う。 ・子育てしながら働きやすい職場環境や子育てに理解のある会社が増えて欲しい。 ・共働きの場合、子どもの用事で有給を取得するのは、まだまだ圧倒的に母親の方が多いと思う。夫側の有給を、妻側に付与する制度があっても良いように思う。 	
	など

分類回答	件数
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	50
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・出産費用の自己負担分をなくす、18歳までの授業料は無料など、子どもを育てるにはお金がかかるので、早急に検討してもらいたい。 ・手当などを給付するよりも、子どもに関係する学費(給食費など鉛筆1本から全て)や、医療費(予防接種など)の全てが無償化される方が子どものためになるし、子どもが増えていくことになると思う。今の時代、とても子育てがしやすい環境とは言えない社会だと思う。 ・子だくさんで生活が苦しい家庭もあるので、子1人に対する支援を手厚くして欲しい。 など 	
(3) 防犯・防災・安全について	21
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・車の通りが激しい道の横断歩道の歩行者が待つ場所に、ポールのようなものがあればと思う場所がいくつかある。 ・車等による接触事故が多く、子どもの安全が守れてない環境である。見通しの悪い道路、通園、通学、公園、子どもがいそうな場合の安全を強化して欲しい。 ・夜の外灯を増やすなど、できるところから改善できればと思う。不審者も対策して欲しい。 <p>など</p>	
6. その他	101
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・町田での子育てにすごく満足している。結婚して越してきたが、どんどん町田が好きになる。 ・リユース品の取り組みは有難かった。 ・まだ子育てが始まったばかりで分からないことだらけだが、町田市の子育て支援に期待したい。 ・安全・安心な子育てができる環境を整えて欲しい。 ・中学校で給食が出るようにして欲しい。 <p>など</p>	

(13) 調査票

いたいたいご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

【就学前のお子さんの保護者の方へ】

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

2013年11月に発足しました「町田市子ども・子育て会議」は、町田市の諮問（依頼）を受け、子ども施策について審議を行っております。この度、町田市では子ども施設の中心的計画となっている「新・町田市子どもマスタークリーン」と「町田市子ども・子育て支援事業計画」が2019年度末で計画終了となることから、2020年度にかけて新たに計画を策定することになりました。そのため「町田市子ども・子育て会議」では、この新たな計画について答申（回答）するための検討を行っておりれます。

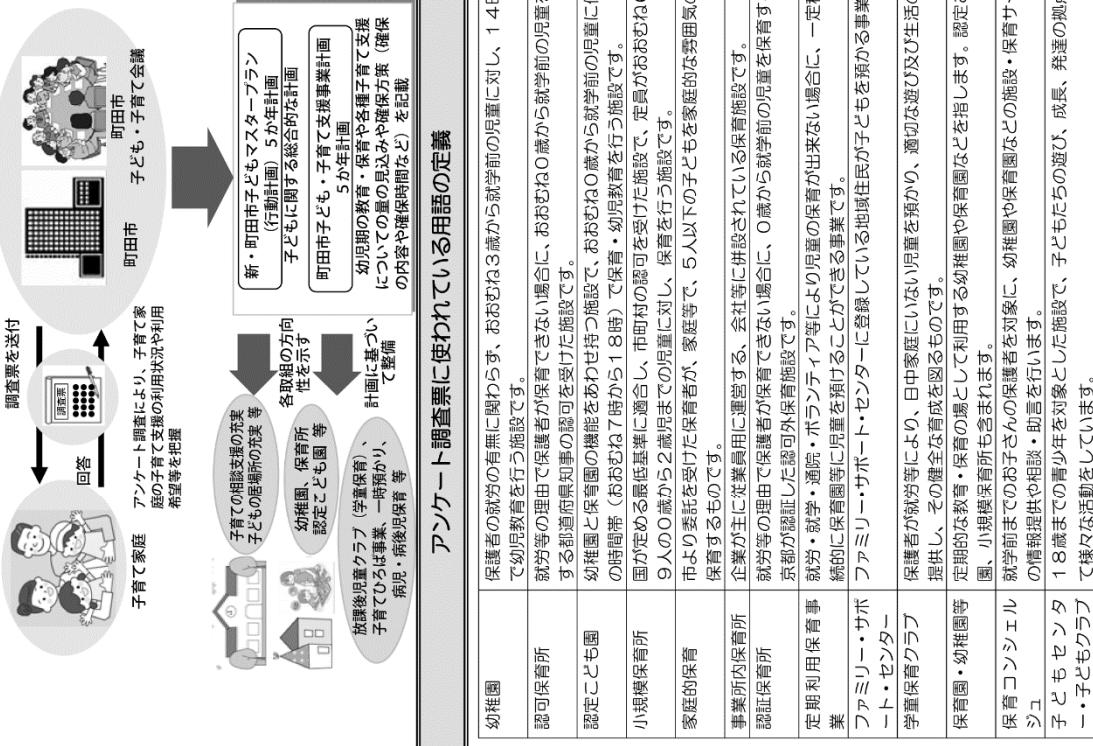
子育て支援は、共働き世帯の増加など、社会状況が変化する中で充実が求められています。新たに計画のために、皆様のひだりの状況や、保護者の子育てに関する現状や考え方などをお聞きし、講論を深めてまいります。このアンケート調査は、市内にお住まいの小学校就学前のお子さんがいる世帯を対象として、無作為で2,000人の方にお送りしております。なお、この調査は無記名であり、お答えいただいた内容は、施策の検討のみに利用させていただくもので、回答者が特定されること、他の目的ご利用されることはありません。

2019年5月

町田市子ども・子育て会議 会長 金子和正

- ・このアンケート調査は住民基本台帳の中から、小学校就学前のお子さんをお持ちの方を無作為で抽出させていただきました。（抽出日：2019年4月10日）
- ・ご回答は、できるかぎりあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。
- ・鉛筆や黒のボールペンなどでご回答ください。
- ・回答は選択肢の番号に〇をつけていくだけの場合と、数字を記入していただく場合があります。また、設問によって、「1つに〇」、「3つまでに〇」、「当てはまる番号すべてに〇」など、回答数を指定している場合には、指定の範囲内で〇をつけてください。
- ・数字で時間（時刻）を記入する場合には、2.4時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- ・ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**5月21日（火）までに**郵便局へご投函ください。（切手は不要です。）
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】町田市 子ども生活部 子ども総務課 企画総務係 電話：042-724-2876 FAX：050-3101-8377



家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。（ ）内に数字で記入ください。

〒（ ）-（ ）

問2 あて名のお子さんの生年月を（ ）内に数字で記入ください。

西暦（ ）年（ ）月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何いらっしゃいますか。あて名のお子さんの生年月もご記入ください。
() 内に数字でご記入ください。2人以上の場合は、末のお子さんの生年月：西暦（ ）年（ ）月生まれ
() 人

子育ての悩みについてうかがいます。

問4 この調査票にご回答いただく方ほどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）

→問5は問4で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. 配偶者がある 2. 配偶者はない

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、お子さんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 父母共に	4. 子のきょうだい	5. 祖父母	6. その他（ ）
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後かきづけ	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする (日用品や食材など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
⑦子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑧保育園・幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
⑨保育園・幼稚園等や学校の保護者会などの参加	1	2	3	4	5	6

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いすれもない

問8 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
2. 保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと
3. 子どもの疲労や洋服・洋服に関すること
4. 育児の方法がよくわからぬないこと
5. 子どもの接し方に自信がないこと
6. 話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がないこと
7. 仕事がしくて子どもとの時間が取れないこと
8. 自分の時間が持てないないこと
9. 子どもの反応づきやすい（いじめなどを含む）に関すること
10. 子どもの就園・就学・進学などに関すること
11. 子どもの就園・就学・進学などに関すること
12. 子育てに専して配偶者・パートナーの協力が少ないとこと
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 家族の介護を行わなければならないこと
15. 経済的にゆとりがないこと
16. 住居や周辺の環境が良くないことに
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
18. その他（ ）
19. 特にない

問9 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. いる／ある
2. いない／ない

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先是、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. 祖父母などの家族
3. 友だち（ママ友・パパ友）
4. 職場の同僚
5. 保育園・幼稚園等、学校、学童保育クラブなど
6. 教育センター
7. 保健所
8. 子ども家庭支援センター
9. 地域子育て相談センター
10. 保育コンシェルジュ
11. 保育園・幼稚園等の施設
12. 子どもセンター・子どもクラブ
13. カガツつけの病院・診療所
14. その他（ ）

※地域子育て相談センター：育児についての相談を受け、子育てを支援している施設

保護者の就労状況についてうかがいます。

【問10】は（1）母親と（2）父親それぞれについて、お答えいただきます。ひとり親家庭の方は（1）か（2）どちらかにお答えください。その他の保護者はP7の問1～2へお進みください。】

問10 現在の就労状況をお答えください。
（1）母親【父子家庭の場合は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中
- 3. パートタイム・アルバイトなど（フルタイム以外の就労）
- 4. パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

問10-2へ

- ① 1週当たり平均就労日数（ ）日
- ② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
③ 家を出る時間（ ）時 帰宅時間（ ）時 ※時間は24時間表記で記入

- （2）父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・介護休暇中
- 3. パートタイム・アルバイトなど（フルタイム以外の就労）
- 4. ハートタイム・アルバイトなどで、現在産休・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

問10-2へ

問10-2は問10で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字を記入ください。

（1）母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

- 希望する就労形態
 - ア. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）
 - イ. ハートタイム・アルバイトなど（「ア」以外）
- 週（ ）日 1日当たり（ ）時間

3. （ ）年より先に就労したい

（2）父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

- 希望する就労形態
 - ア. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）
 - イ. ハートタイム・アルバイトなど（「ア」以外）
- 週（ ）日 1日当たり（ ）時間

3. （ ）年より先に就労したい

職場の面立支援制度についてうかがいます。

問11 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいづれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それそれにについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | 母親（いづれかに○） | 父親（いづれかに○） |
|-------------------|-------------------|
| 1. 働いていないかった | 1. 働いていないかった |
| 2. 取得している（取扱中である） | 2. 取得している（取扱中である） |
| 3. 取得していない | 3. 取得していない |

→問11-1～3は問11で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
問11-1 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヵ月のときに離乳復帰（予定含む）しましたか。

（1）母親

（ ）内に数字で記入ください。

- | 母親 | 父親 |
|-----------|-----------|
| （ ）歳（ ）ヶ月 | （ ）歳（ ）ヶ月 |

問11-2 傷病は認可保育所などの入所に合わせたタイミングでしたか。当てはまる番号1つに○をつけしてください。
（2）父親

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない
- 3. ハート・アルバイトなど（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
- 4. ハート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問11-3 勤務先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

母親	父親
(　)歳(　)か月まで	(　)歳(　)か月まで

平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況についてうかがいます。

問12 あて名のお子さんは現在、保育園・幼稚園等の「定期的な教育・保育事業等」を利用していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- [1. 利用している] [2. 利用していない]

問12-1～3は問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
問12-1 平日どのような教育・保育事業等を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(用語についてはP2の「アンケート調査票に使われている用語の定義」をご覧ください。)

1. 幼稚園（通常の教育時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（上記1の通常の就園に加え、教育時間を延長して預かる事業（定期的な利用））
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模保育所（0～2歳、19名までの施設）
6. 家庭的保育（保育ママ）
7. 事業所内保育所（会社等に併設されている保育施設）
8. 認証保育所
9. 定期利用保育事業
10. その他の認可外の教育・保育施設
11. 居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）
12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
13. その他（　）

問12-2 平日に定期的に利用している主な教育・保育事業等について、どのくらい利用していますか、
また、利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、(　)内に具体的な数字で記入ください。

- (1) 現在の利用状況 時間は、例) 9時～18時のように24時間制で記入ください。
週(　)日 1日当たり(　)時間 時間帯(　)時～(　)時

- (2) 希望
週(　)日 1日当たり(　)時間 時間帯(　)時～(　)時

問12-3 利用している事業の決め手となった理由は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自宅からの距離が近い
2. 教育・保育の内容や方針が合う
3. 教員・保育者の印象が良い
4. 保育時間の利用希望に合う
5. 利用料金が適切である
6. 利用する転校から近い
8. 給食がある
10. 周囲の子が通っている
12. やむを得なくそこを利用している
13. その他（　）

問13 現在、利用している、利用していないにかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用するものとして、今後も利用を継続したい、もしくは、新たに利用したい事業はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の教育時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（上記1の通常の就園に加え、教育時間を延長して預かる事業（定期的な利用））
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模保育所（0～2歳、19名までの施設）
6. 家庭的保育（保育ママ）
7. 事業所内保育所（会社等に併設されている保育施設）
8. 認証保育所
9. 定期利用保育事業
10. その他の認可外の教育・保育施設
11. 居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）
12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
13. その他（　）

問13-1 特に幼稚園・幼稚園の預かり保育または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にうかがいます。

問13-2 当てはまる番号1つに○をつけください。

1. はい

2. いいえ

問13-3 1は問13について「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にうかがいます。

問13-4 土曜日と日曜・祝日の教育・保育事業等の利用希望についてうかがいます。

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

問14 土曜日と日曜・祝日に、保育園・幼稚園等の「定期的な教育・保育事業等」の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

問14-1 土曜14時～18時までに○をつけた方にうかがいます。

問14-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 忙しきりため
5. その他（　）

問15 現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。（それ以外の方には問16に進んでください。）
あて名のお子さんにについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、教育・保育事業等の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

問16 利用する必要はない

1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
2. 休みの期間中、週に数日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

→問15－1は問15で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問15－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物などの用事をまとめて済ませるために
- 3. 両親の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他（ ）

病気の際の対応についてうかがいます。

問16 この1年間に、あて名のお子さんの病気やケガで保育園・幼稚園等を利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. あつた
- 2. なかった

→問16－1は問16で「1. あつた」に○をつけた方にうかがいます。

問16－1 どのように対処しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの対処された日数を（ ）内に数字で記入ください。

1年間の対処方法		日数(年間)
1. 父親が休んだ		() 日
2. 母親が休んだ		() 日
3. (同居者を含む) 両親・知人などもを看病でもらつた		() 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看に		() 日
5. 病児・病後児の保育を利用した		() 日
6. ベビーシッターを利用する		() 日
7. 仕方なく子どもだけ留守番をさせた		() 日
8. その他（ ）		() 日

→問16－2は問16－1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

問16－2 病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字で記入ください。

- 1. できれば利用したかった → 年間（ ）日
- 2. 利用しづらいとは思わなかった → 年間（ ）日

→問16－3は問16－2で「2. 利用したいと思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問16－3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 病児・病後児を他人に見てもらうのは不安だから
- 2. 施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから
- 3. 利用料がかかる・高いから
- 4. 利用料がわからぬから
- 5. 網が仕事を休んで対応できるから
- 6. その他（ ）

不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問17 類の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュなどの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字で記入ください。

利用している事業		日数(年間)
1. 保育所の一時預かり		() 日
2. 幼稚園の預かり保育		() 日
3. ファミリー・サポート・センター		() 日
4. ショートステイ（宿泊保育）		() 日
5. トワイライトステイ（夜間保育）		() 日
6. ベビーシッター		() 日
7. その他（ ）		() 日
8. 利用していない		() 日

※ 保育所の一時預かり：日中、家庭での保育が一時的に困難になつた場合、認可保育所等で、一時的にお子さんをお預かりする事業。

※ 幼稚園の預かり保育：幼稚園等で教育時間の前後や長期休業期間中に一時的に児童の保育を行う事業。

※ ショートステイ（宿泊保育）：保護者の病気や出産、家族の介護などで一時的に養育ができないとなったときに宿泊を伴いお子さんをお預かりする事業；保護者の船宿が運転となる時に、子どもだけで留守番させるわけにいかない場合等に利用できる宿泊を伴わざお子さんをお預かりする事業。

▶ 間17－1は問17で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
問17－1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 特に利用する必要がない
- 2. 利用したい預け先が地域がない
- 3. 保育内容や設備などに不安がある
- 4. 利便性（場所や利用可能時間・日数など）がよくない
- 5. 利用料がかかる・高い
- 6. 利用料がわからぬ
- 7. 自分が対象者になるのかどうかわからぬ
- 8. 利用方法（手続きなど）がわからぬ
- 9. その他（ ）

問18 私用やリフレッシュ、結婚式祭や親の病気、あるいは就労のため、あて名のお子さんに保育所の一時預かりを利用したいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけて、利用希望の日数を数字で記入ください。

利用したい理由		日数(年間)
1. 私用（買物、習い事など）	やリフレッシュなどで利用したい	() 日
2. 結婚式祭や学校行事、親の病気などで利用したい		() 日
3. 不定期の就労のために利用したい		() 日
4. 家族の介護のために利用したい		() 日
5. その他（ ）		() 日
6. 利用する必要はない、利用したいと思わない		() 日

問19 この1年間に、泊りかけて家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（抜け先が見つからなかった場合も含む）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あつた
 2. なかつた

→問19-1は問19で「1. あつた」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 家族以外にみてもらわなければどうしましたか。お nouf 方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの番数も（ ）内に数字でご記入ください。

対処方法	泊数（年間）
1. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	() 泊
2. ショートステイ（宿泊保育）を利用した	() 泊
3. その他の保育サービスを利用した (認可外保育施設、ベビーシッターなど)	() 泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
5. 仕方なく子どもだけ留守番をさせた	() 泊
6. その他（ ）	() 泊

子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問20 子育てひろば事業を利用したことありますか（①）。また、今後利用したいと思いませんか（②）。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内に利用回数等をご記入ください。

①これまでの利用

1. ある
 - 1週当たり（ ）回 もしくは1か月当たり（ ）回程度
 - もしくは1年当たり（ ）回程度
2. ない

②今後の利用意向

1. 今後利用したい、利用日数を増やしたい
 - 1週当たり（ ）回 もしくは1か月当たり（ ）回程度
 - もしくは1年当たり（ ）回程度
2. 利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
 - 理由（ ）

※ 子育てひろば事業：認可保育園等で親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場を設ける事業。

問21 下記のサービスを知っている、または、これまでに利用したことありますか、また、今後、利用したいと思いますか。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがあります	C 今後利用したい
①休日・準夜急患こどもクリニック	1. はい	2. いいえ	1. はい
②子ども家庭支援センターの子育て総合相談	1. はい	2. いいえ	1. はい
③育児支援ヘルパー	1. はい	2. いいえ	1. はい
④ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑤認可保育所での一時保育	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑥ファミリー・サポート・センター	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑧教育センターの教育相談	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談など	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑩保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用	1. はい	2. いいえ	1. はい
や子育て支援事業など	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑫子ども食堂やキャンパスひろばの施設利用や支援事業など	1. はい	2. いいえ	1. はい
⑬大地図青少年センターの施設利用や宿泊事業など	1. はい	2. いいえ	1. はい
※ 子ども家庭支援センターの子育て総合相談：育児不安や育児負担を軽減するため、必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスの紹介・調整をし、問題の解決に向けた支援をするもの。 ※ 育児支援ヘルパー：出席後育児、家事等の援助を必要とする保護者に対し、ヘルパーを派遣するもの。 ※ ひとり親家庭ホームヘルプセンター：ひとり親家庭で、保育所や学童クラブなどの派遣するもの。 ※ 教育センターの教育相談：専門のカウンセラーが学校教育上の課題についての相談を受け、支援していくもの。 ※ 子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業：施設開設や乳幼児向けのイベントなどを行っているもの。			

	1. 市のホームページ（まちだ子育てサイト）	2. ほっとメールまちだ
3. 広報まちだ	4. 子育てひろばカレンダー	
5. 市が実行する各種業内チラシ	6. 市の窓口	
7. ママ友・パパ友などの友だちややり合い	8. 保育園・幼稚園等や学校など	
9. その他（ ）		

問22 子育てに関する情報を具体的にどのようにして得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満がある
4. 不満がある

問23 子育て支援サービスの情報に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. 満足している

放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 24 小学校にあがつたとき、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのように過ごさせたいですか。当ではまる番号すべてに○をつけ、それそれ希望する週当たりの日数を数字で記入ください。（用語についてはP 2 のアンケート調査票に使われている用語の定義）もあわせてご覧ください。

1. 自宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
2. 祖父母や親せき宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
3. 友人・知人宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
4. 読や習い事 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
5. 子どもセンター・子どもクラブ 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
6. 放課後子ども教室「まちども」 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
7. 学童保育クラブ 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
8. ファミリー・サポート・センター 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
9. 冒険遊び場 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
10. 放課後等ディーサービス 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
11. 子ども創造キャンバスひなた村 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
13. 図書館 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
14. 近所の公園・広場 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
15. その他（ ） 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい

※ 放課後子ども教室「まちども」：放課後に小学校の校庭や体育館等を、小学生の自由な遊び、学習や体験の場として提供する事業
※ 冒険遊び場、市内公園等に市が設置し、地域団体等が運営する、木登りや穴を掘つての遊び場。
※ 放課後等ディーサービス：授業の終了後や休日等、支援が必要と認められた障がいのある児童に対して、生活能力向上のため必要な訓練や社会との交流促進を行う事業。

問 25 小学校高学年（4～6 年生）になつたら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごさせたいですか。当ではまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字で記入ください。

1. 自宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
2. 祖父母や親せき宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
3. 友人・知人宅 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
4. 読や習い事 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
5. 子どもセンター・子どもクラブ 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
6. 放課後子ども教室「まちども」 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
7. 学童保育クラブ 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
8. ファミリー・サポート・センター 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
9. 冒険遊び場 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
10. 放課後等ディーサービス 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
11. 子ども創造キャンバスひなた村 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
13. 図書館 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
14. 近所の公園・広場 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい
15. その他（ ） 過（ ）日くらいい 過（ ）日くらいい

子育て施策全般についてうかがいます。

問 26 安心して子育てをするためには、地域の人どどのような取り組みをする必要があると思いますか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の入浴や子育て経験者が身近に集まる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まつたり遊びたりする場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと一緒にできる活動を増やす
6. 地域の人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他（ ）
9. 特に必要ない

問 27 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 子育てに関する情報提供
2. 子育てに関する相談体制の充実
3. 子どもが参加できるイベントや事業の充実
4. 子ども自身からの相談を受ける体制の充実
5. 子どもの意見を発信する場や機会の充実
6. 地域における子ども居場所の充実
7. 正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供
8. 正しい家庭教育に対する相談や生活支援の充実
9. 母子の健康のための健診や訪問の充実
10. 犯罪に支障が必要な子どもと共に成長できるようつなぎかい見施策
11. 子育てに係る費用負担に対する経済的支援
12. 仕事が両立できる機会の提供（ママ友・パパ友がつくれる場）
13. 保護者同士がつながりをつくるための取り組み
14. 犯罪や災害、交通事故から子どもを守るために
15. 子育て世帯が外出しやすいまちづくり
16. 保育所や認定こども園などの待機児童の解消
17. その他（ ）

問 28 問 27 の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しいかった）と考えますか。当ではまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 欲しい（欲しいかった）
2. 今の人数で満足している

問29 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

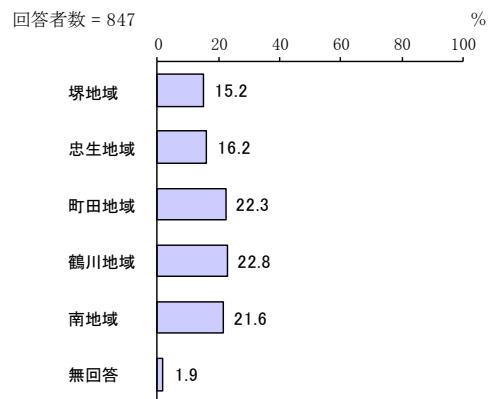
切手は貼らずに同封の封筒に入れて、5月21日（火）までにポストへご投函ください。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

2 小学校低学年保護者

(1) 家族の状況について

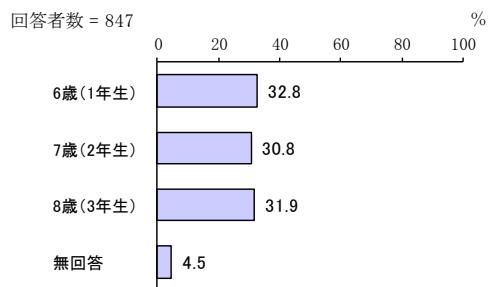
問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。() 内に数字でご記入ください。

「鶴川地域」の割合が22.8%と最も高く、次いで「町田地域」の割合が22.3%、「南地域」の割合が21.6%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を() 内に数字でご記入ください。

「6歳(1年生)」の割合が32.8%と最も高く、次いで「8歳(3年生)」の割合が31.9%、「7歳(2年生)」の割合が30.8%となっています。

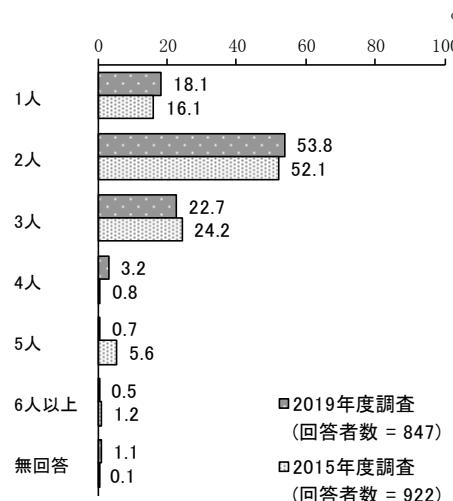


問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。2人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

ア 子どもの人数

「2人」の割合が53.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が22.7%、「1人」の割合が18.1%となっています。

2015年度調査と比較して、大きな変化はみられません。



【地域別】

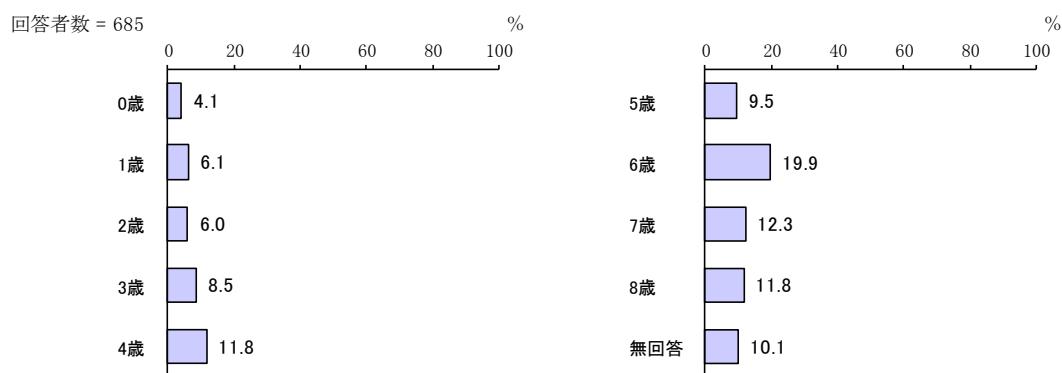
地域別でみると、他に比べ、町田地域、鶴川地域、南地域で「2人」の割合が、忠生地域で「3人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	(件) 回答者 数	1人	2人	3人	4人	5人	6人 以上	無回答
堺地域	129	23.3	43.4	29.5	3.1	—	0.8	—
忠生地域	137	12.4	49.6	32.1	5.1	0.7	—	—
町田地域	189	16.9	58.2	20.6	2.6	—	0.5	1.1
鶴川地域	193	18.1	58.5	19.2	2.6	0.5	1.0	—
南地域	183	20.2	56.8	18.0	3.3	1.6	—	—

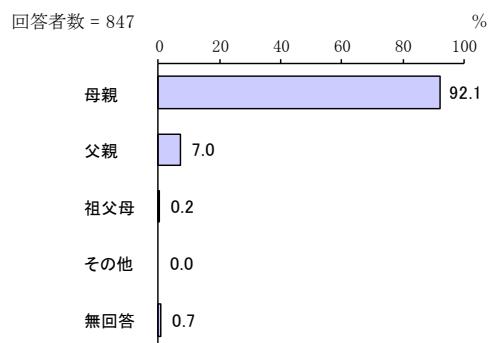
イ 末子の年齢

「6歳」の割合が19.9%と最も高く、次いで「7歳」の割合が12.3%、「4歳」、「8歳」の割合が11.8%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

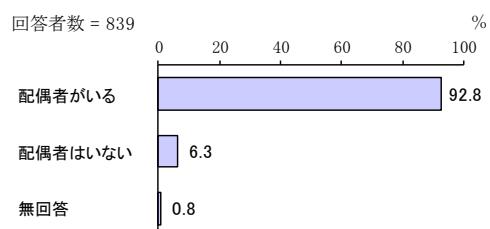
「母親」の割合が92.1%と最も高くなっています。



問4で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が92.8%、「配偶者はいない」の割合が6.3%となっています。

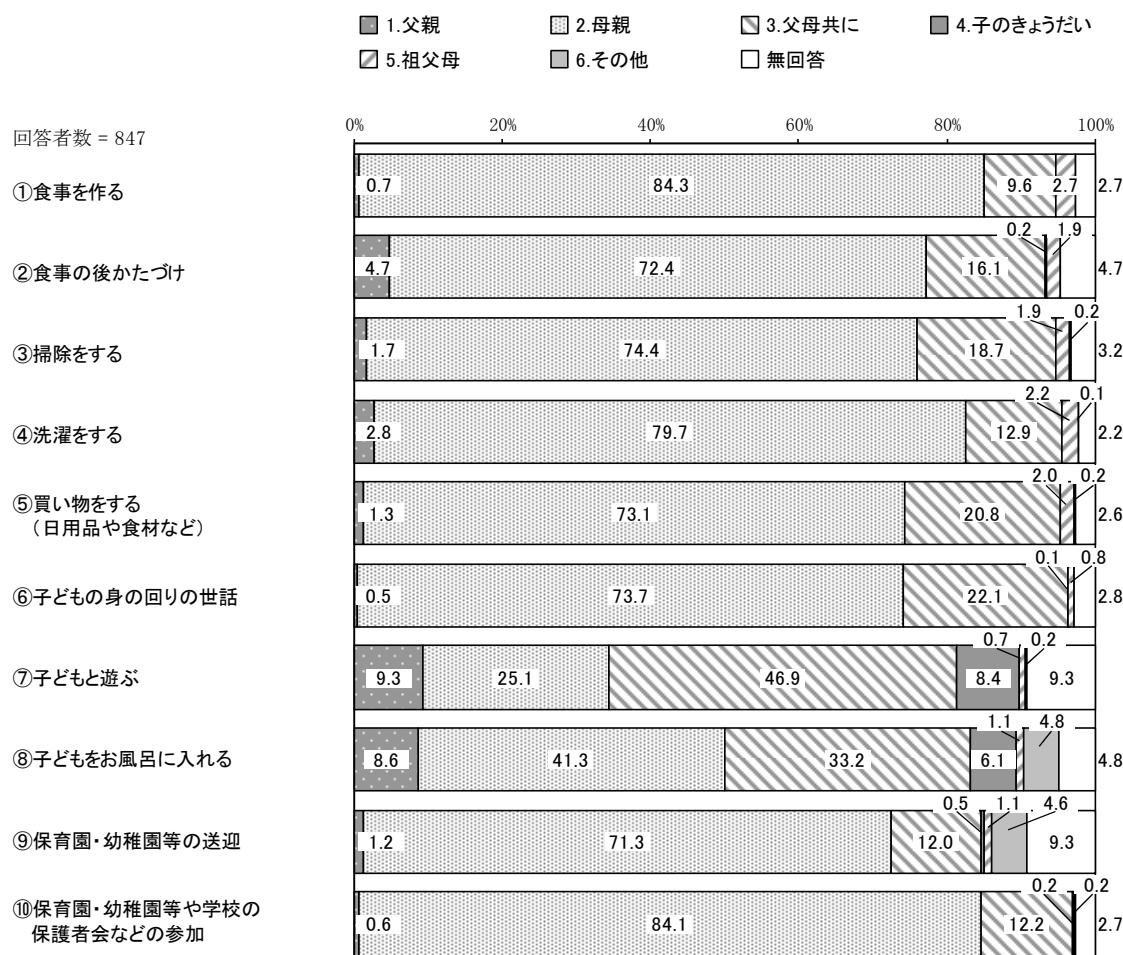


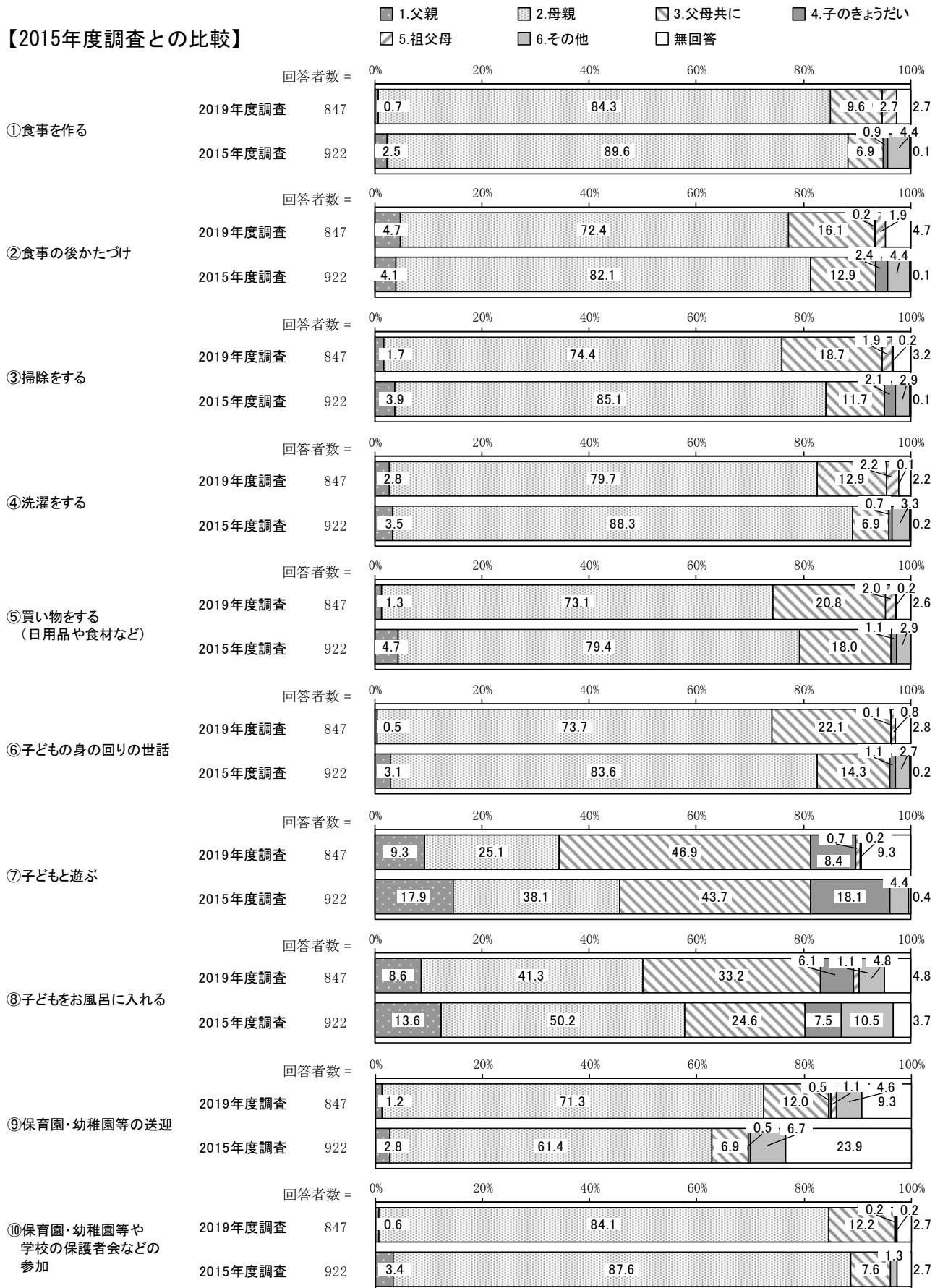
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、お子さんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

『①食事を作る』『⑩保育園・幼稚園等や学校の保護者会などの参加』で「2.母親」の割合が、『⑦子どもと遊ぶ』で「3.父母共に」の割合が高くなっています。

2015年度調査と比較すると、選択肢が一部異なるものの、『③掃除をする』『④洗濯をする』『⑥子どもの身の回りの世話』『⑧子どもをお風呂に入れる』『⑨保育園・幼稚園等の送迎』では「3.父母共に」の割合が増加しています。一方、『⑦子どもと遊ぶ』で「1.父親」「4.子のきょうだい」の割合が、『⑧子どもをお風呂に入れる』で「1.父親」の割合が減少しています。また、『⑨保育園・幼稚園等の送迎』『⑩保育園・幼稚園等や学校の保護者会などの参加』を除いた項目で「2.母親」の割合が減少しています。





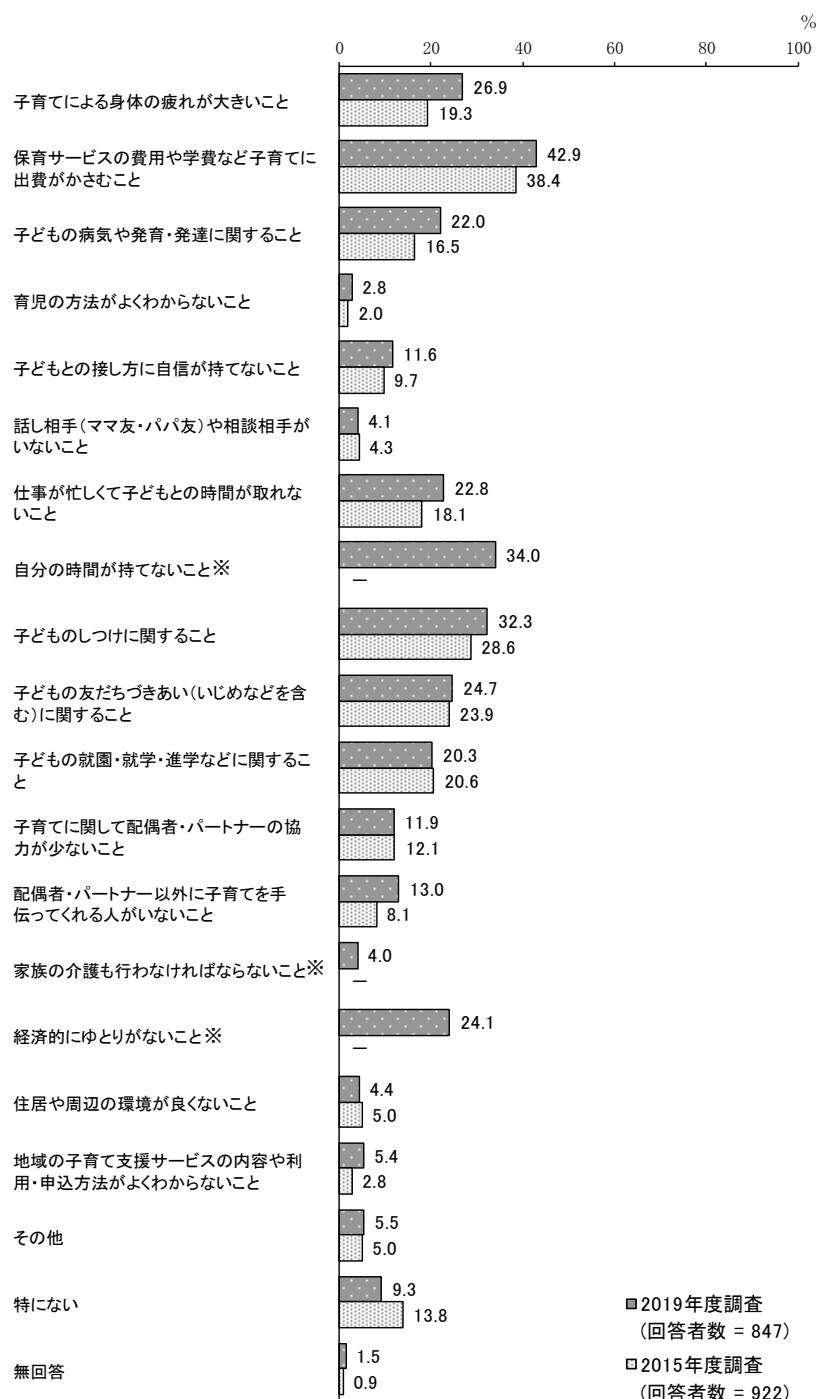
※2015年度調査では「5. 祖父母」の選択肢はありませんでした。

(3) 子育ての悩みについて

問7 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が42.9%と最も高く、次いで「自分の時間が持てないこと」の割合が34.0%、「子どものしつけに関するここと」の割合が32.3%となっています。

2015年度調査と比較すると、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子どもの病気や発育・発達に関するここと」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

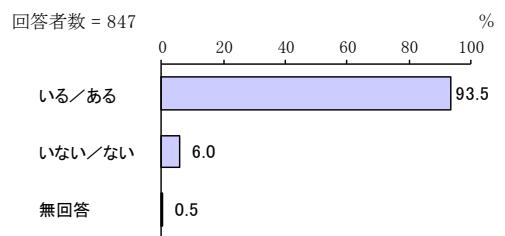
母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイム』で「仕事が忙しくて子どもの時間が取れないこと」「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。また、就労していない人に比べ、就労している人で「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	その他	特にない	無回答	
フルタイム	236	28.4 43.6 20.8	3.0 12.3 4.2 60.6 47.5 31.8	22.9 19.9 13.1 9.7 4.2 24.6 3.4 4.7 5.1 5.9 1.7			
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	6	33.3 83.3 33.3	— 16.7 — 16.7 66.7 33.3 33.3 33.3 33.3 16.7 — 16.7 — — 16.7 — —				
パートタイム・アルバイトなど	313	24.3 47.3 21.1	2.2 10.5 4.5 12.5 31.9 31.9 24.9 20.4 12.1 16.0 2.9 27.8 4.5 3.5 5.8 8.3 1.9				
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	4	25.0 25.0 25.0	— 25.0 — — 25.0 50.0 25.0 25.0 — 25.0 — 25.0 50.0 — — 25.0 —				
以前は就労していたが、現在は就労していない	250	29.2 37.6 23.6	3.6 12.8 2.8 2.8 24.0 33.2 26.4 20.0 10.0 12.4 4.8 19.6 4.4 8.0 6.4 14.4 0.8				
これまでに就労したことがない	24	16.7 33.3 29.2	— — 4.2 — 16.7 20.8 25.0 25.0 8.3 8.3 12.5 20.8 — 8.3 — 8.3 —				

問8 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

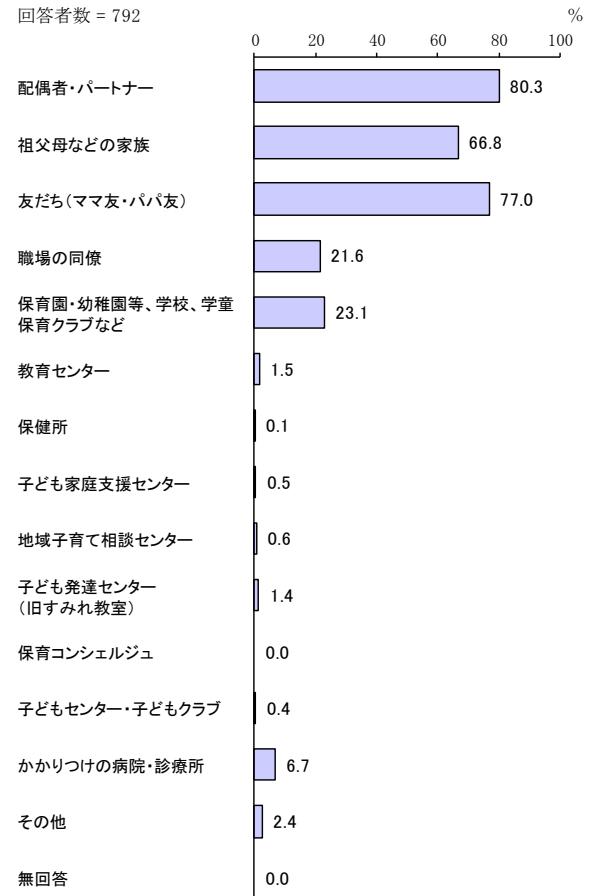
「いる／ある」の割合が93.5%、「いない／ない」の割合が6.0%となっています。



問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が80.3%と最も高く、次いで「友だち（ママ友・パパ友）」の割合が77.0%、「祖父母などの家族」の割合が66.8%となっています。



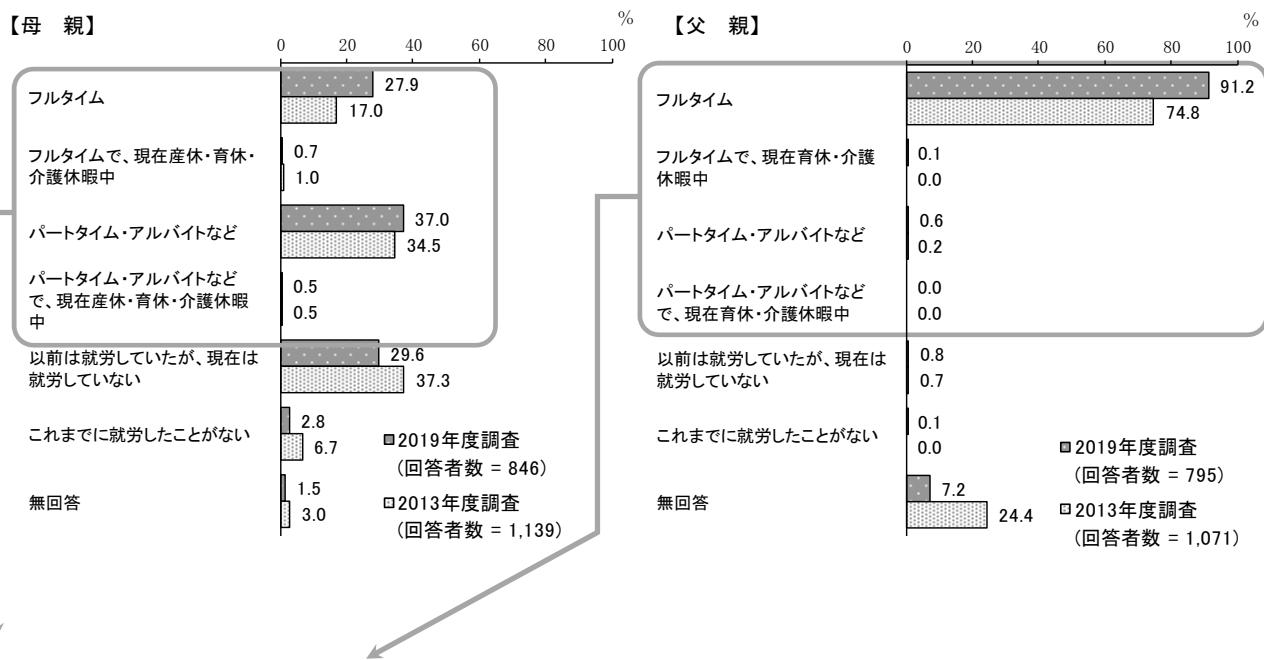
(4) 保護者の就労状況について

問9 現在の就労状況をお答えください。

母親では、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が37.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が29.6%、「フルタイム」の割合が27.9%となっています。

2013年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

父親では、「フルタイム」の割合が91.2%と最も高くなっています。

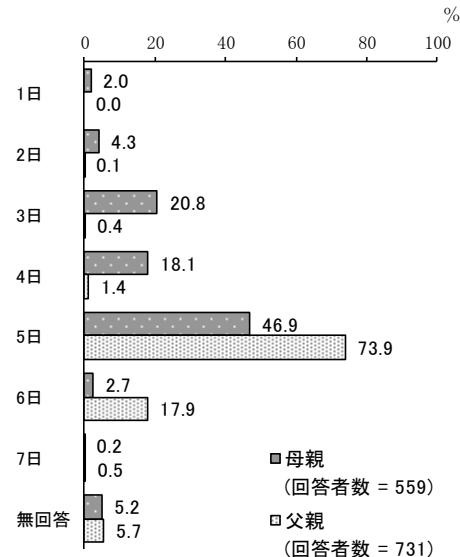


就労している人の就労状況

ア 1週当たり平均就労日数

母親では、「5日」の割合が46.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.8%、「4日」の割合が18.1%となっています。

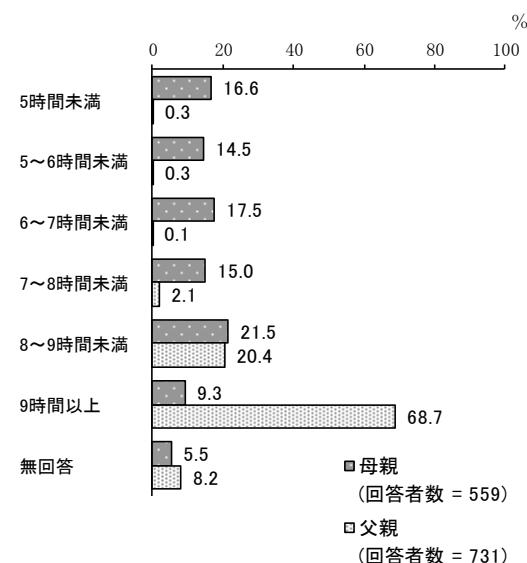
父親では、「5日」の割合が73.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.9%となっています。



イ 1日当たり平均就労時間

母親では、「8~9時間未満」の割合が21.5%と最も高く、次いで「6~7時間未満」の割合が17.5%、「5時間未満」の割合が16.6%となっています。

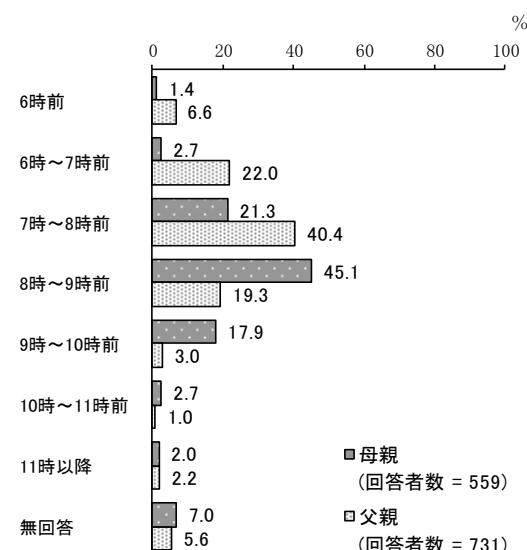
父親では、「9時間以上」の割合が68.7%と最も高く、次いで「8~9時間未満」の割合が20.4%となっています。



ウ 家を出る時間

母親では、「8時~9時前」の割合が45.1%と最も高く、次いで「7時~8時前」の割合が21.3%、「9時~10時前」の割合が17.9%となっています。

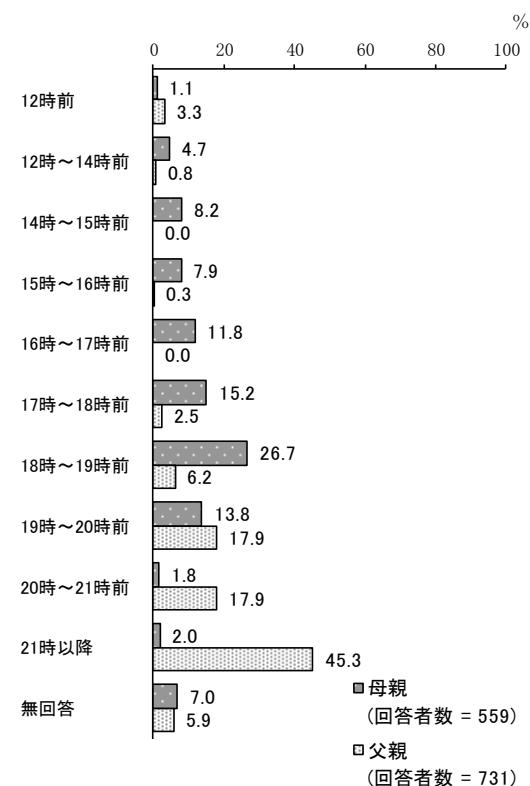
父親では、「7時~8時前」の割合が40.4%と最も高く、次いで「6時~7時前」の割合が22.0%、「8時~9時前」の割合が19.3%となっています。



工 帰宅時間

母親では、「18時～19時前」の割合が26.7%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が15.2%、「19時～20時前」の割合が13.8%となっています。

父親では、「21時以降」の割合が45.3%と最も高く、次いで「19時～20時前」、「20時～21時前」の割合が17.9%となっています。



問9で「3.」または「4.」(パート・アルバイトなどで就労)に○をつけた方にうかがいます。

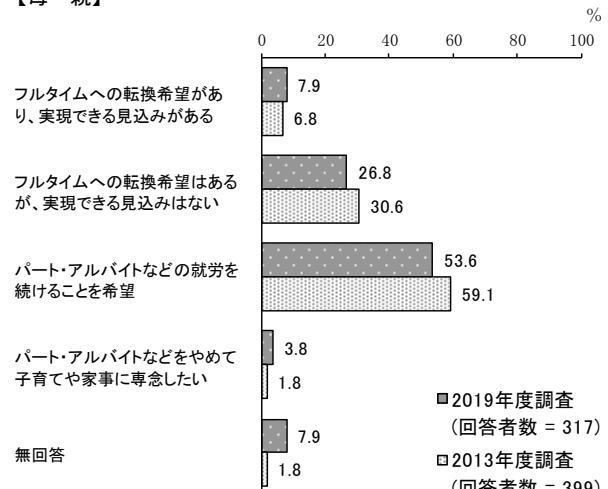
問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が53.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が26.8%となっています。

2013年度調査と比較すると、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

父親では、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が2件、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

【母 親】



問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいいます。

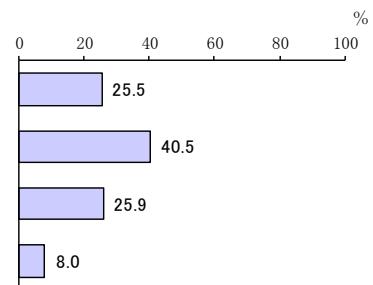
問9-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する
() 内には数字でご記入ください。

母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が40.5%と最も高く、次いで「1年より先に就労したい」の割合が25.9%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が25.5%となっています。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

【母 親】

回答者数 = 274



1. 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人

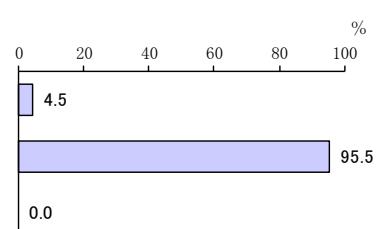
希望する就労形態

母親では、「フルタイム」の割合が4.5%、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が95.5%となっています。

父親では、「フルタイム」が2件、「パートタイム・アルバイトなど」が1件となっています。

【母 親】

回答者数 = 111



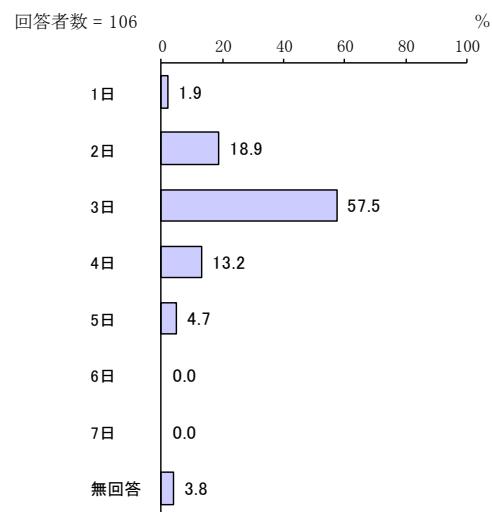
2. 「パートタイム・アルバイトなど」と回答した人

ア 1週当たりの就労希望日数

母親では、「3日」の割合が57.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.9%、「4日」の割合が13.2%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】

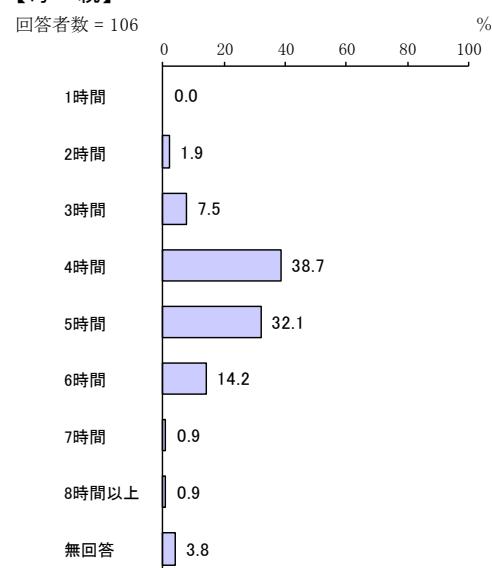


イ 1日当たりの就労希望時間

母親では、「4時間」の割合が38.7%と最も高く、次いで「5時間」の割合が32.1%、「6時間」の割合が14.2%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



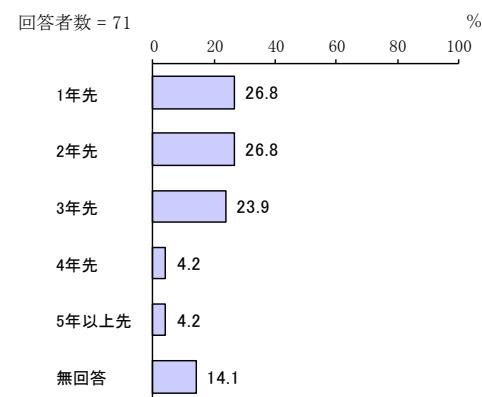
3. 「1年より先に就労したい」と回答した人

何年後に就労したいか

母親では、「1年先」、「2年先」の割合が26.8%と最も高く、次いで「3年先」の割合が23.9%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



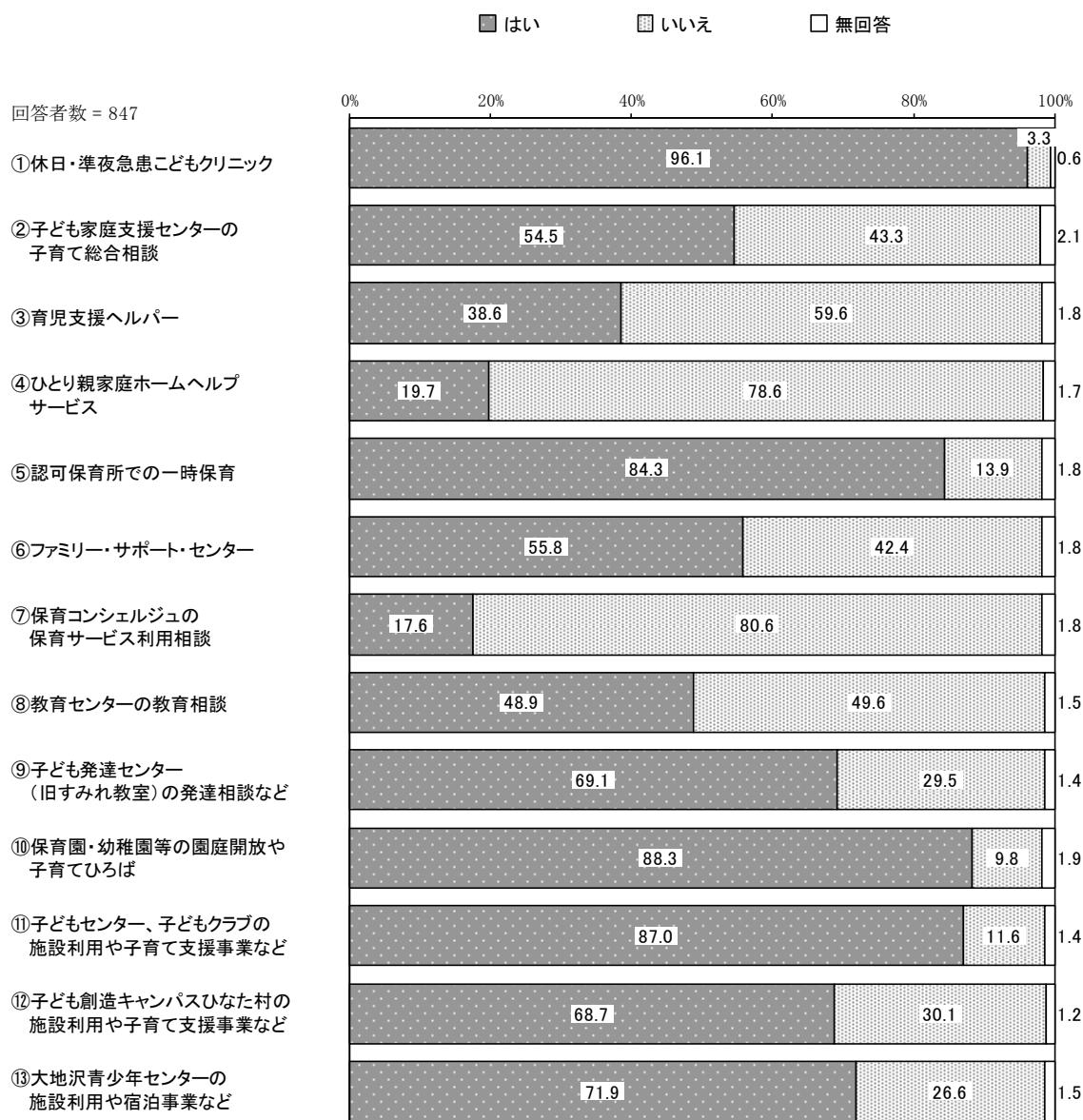
(5) 子育て支援事業の利用状況について

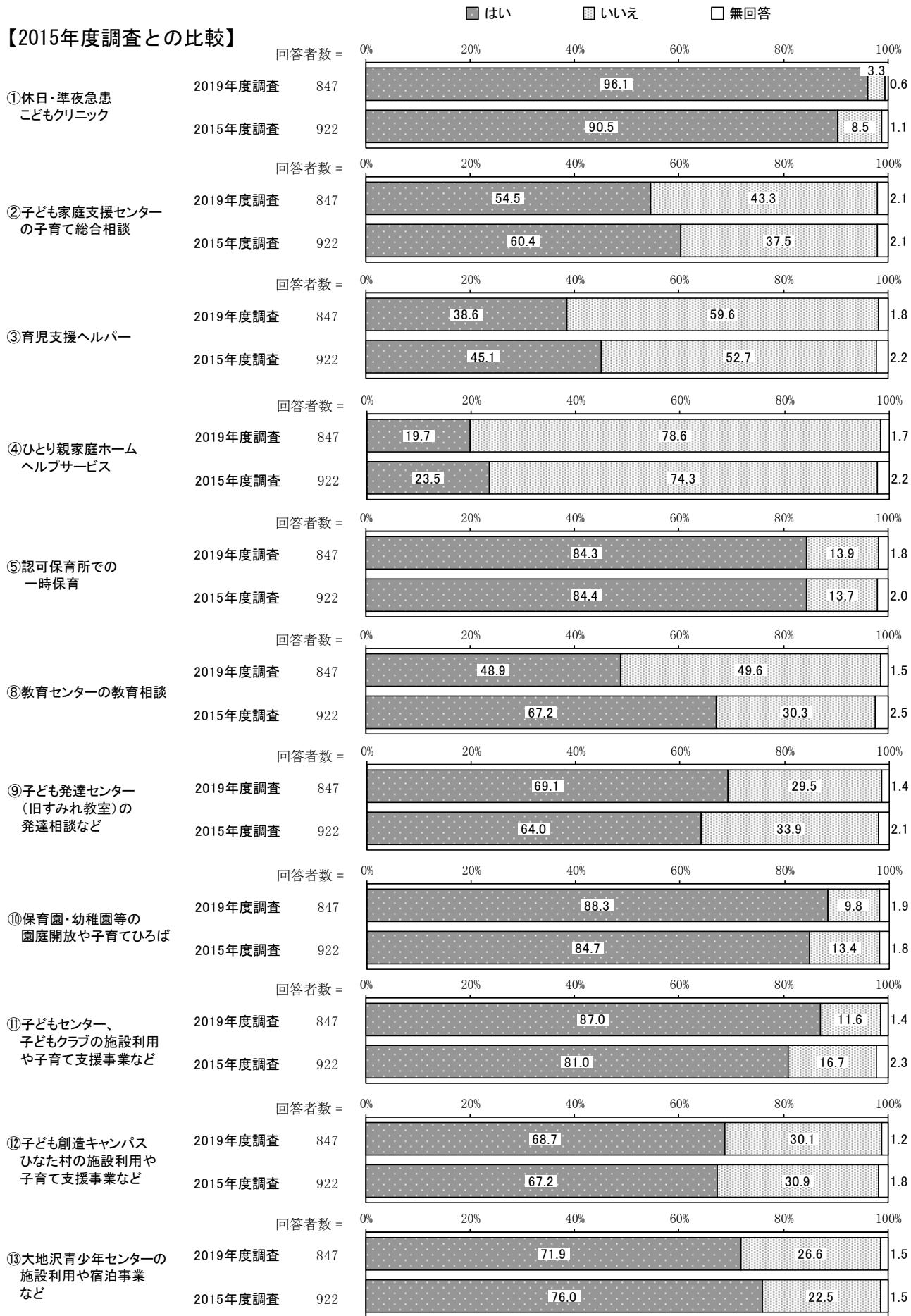
問10 下記のサービスを知っている、または、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 認知度】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が9割半ばと高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』で「いいえ」の割合が約8割と高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談など』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加しています。一方、『②子ども家庭支援センターの子育て総合相談』『③育児支援ヘルパー』『⑧教育センターの教育相談』で「はい」の割合が減少しています。



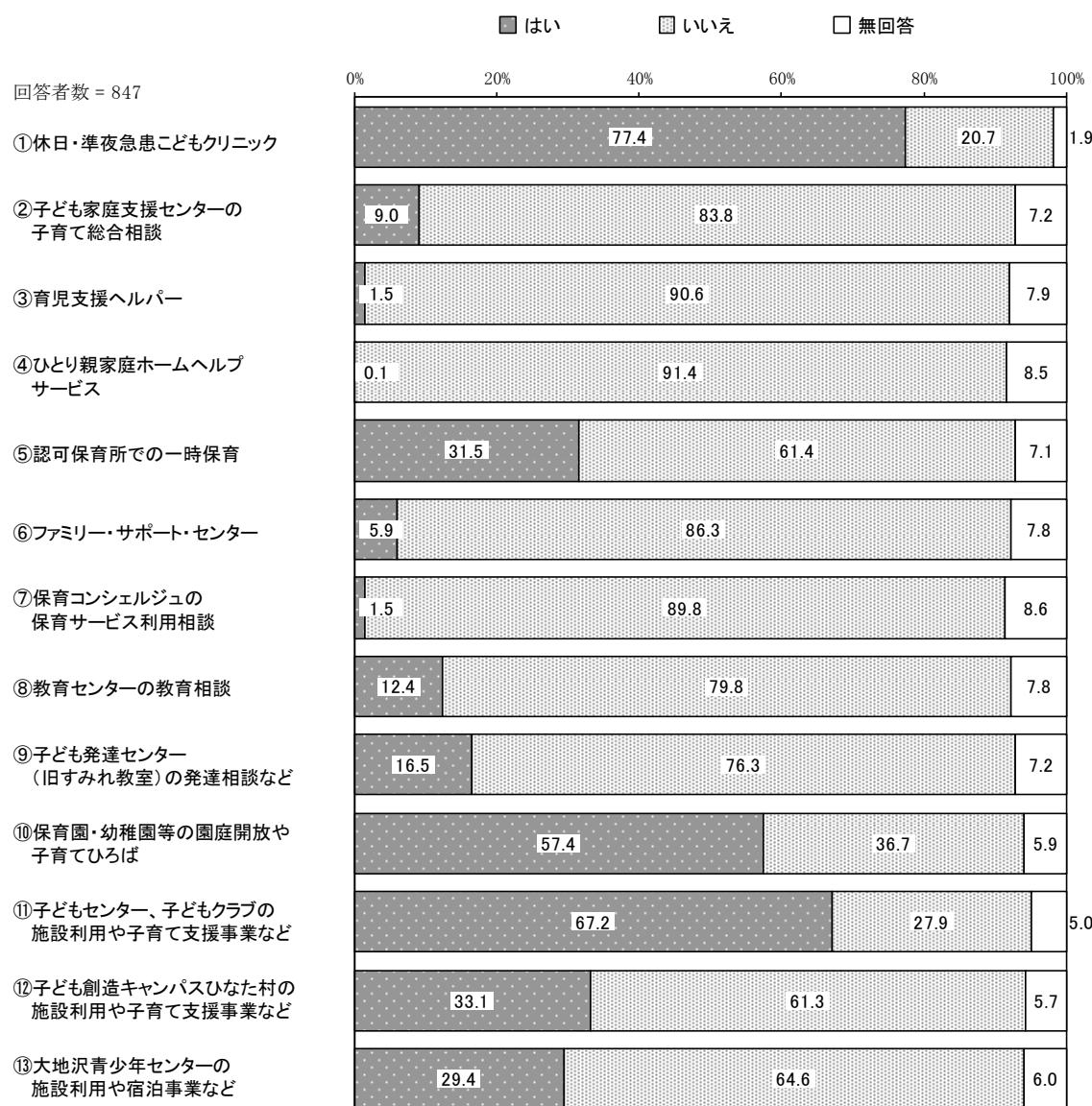


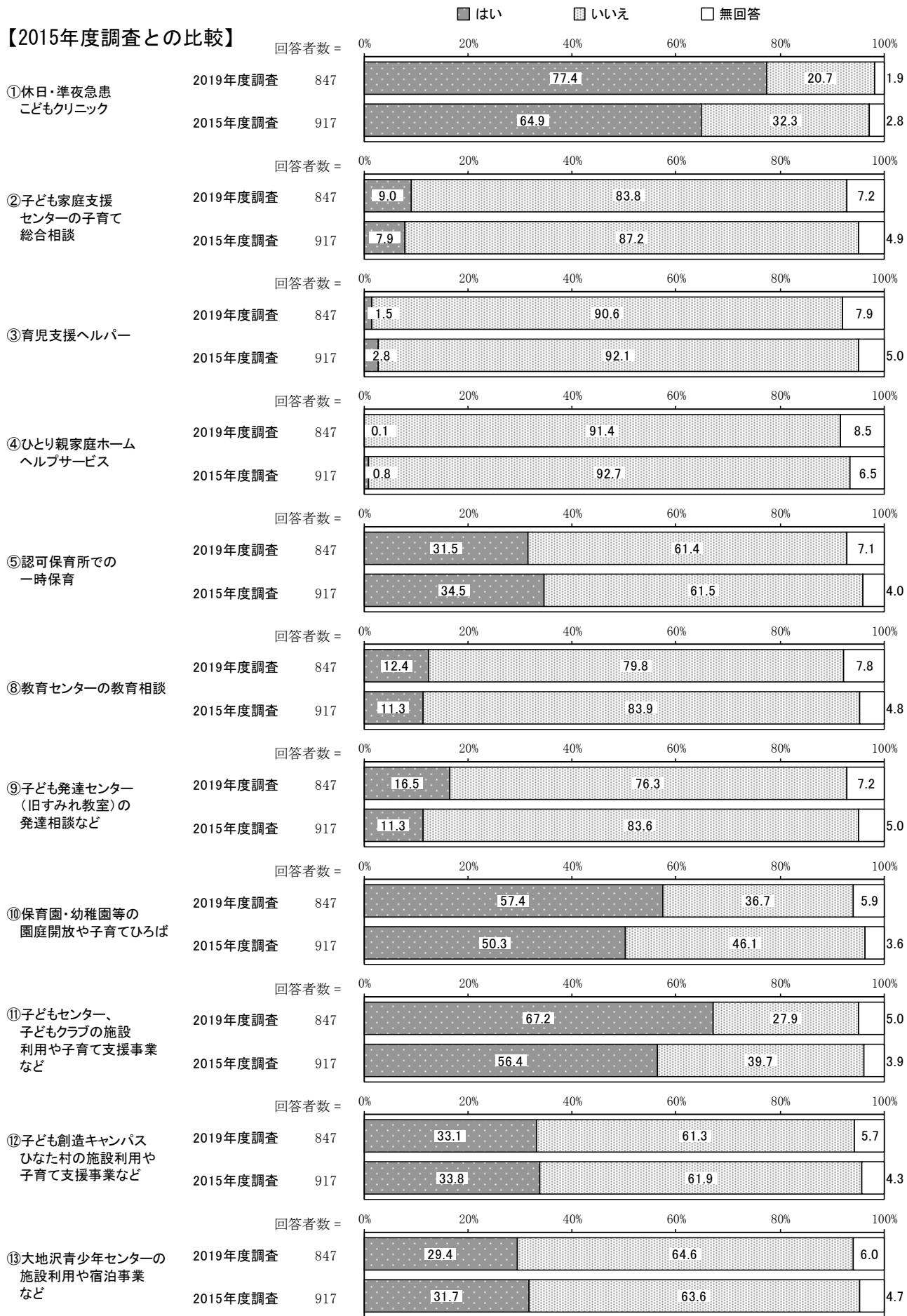
※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

【B 利用状況】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が7割半ばと高くなっています。また、『②子ども家庭支援センターの子育て総合相談』『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』で「いいえ」の割合が高く約8~9割となっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談など』『⑩保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加しています。



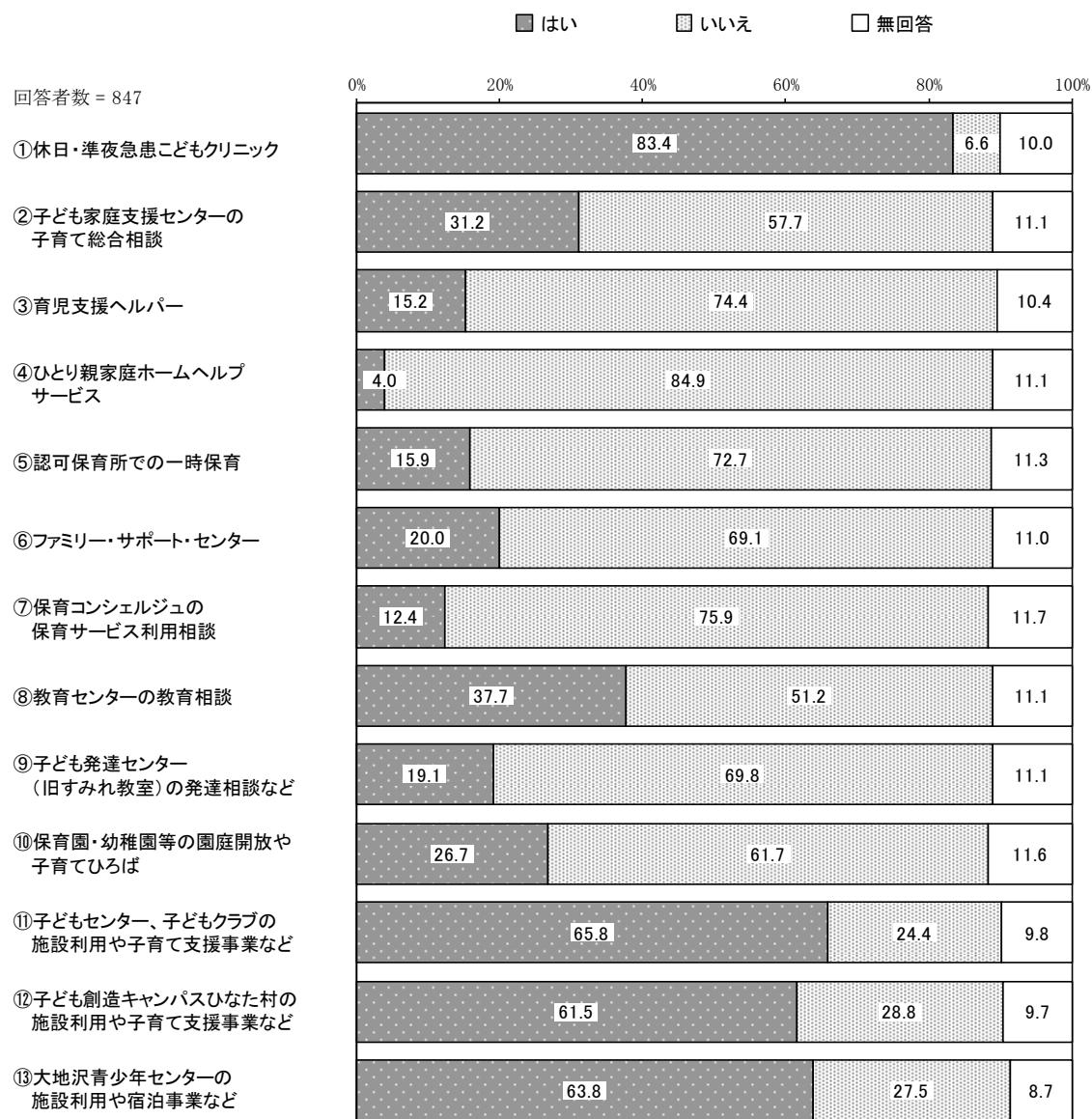


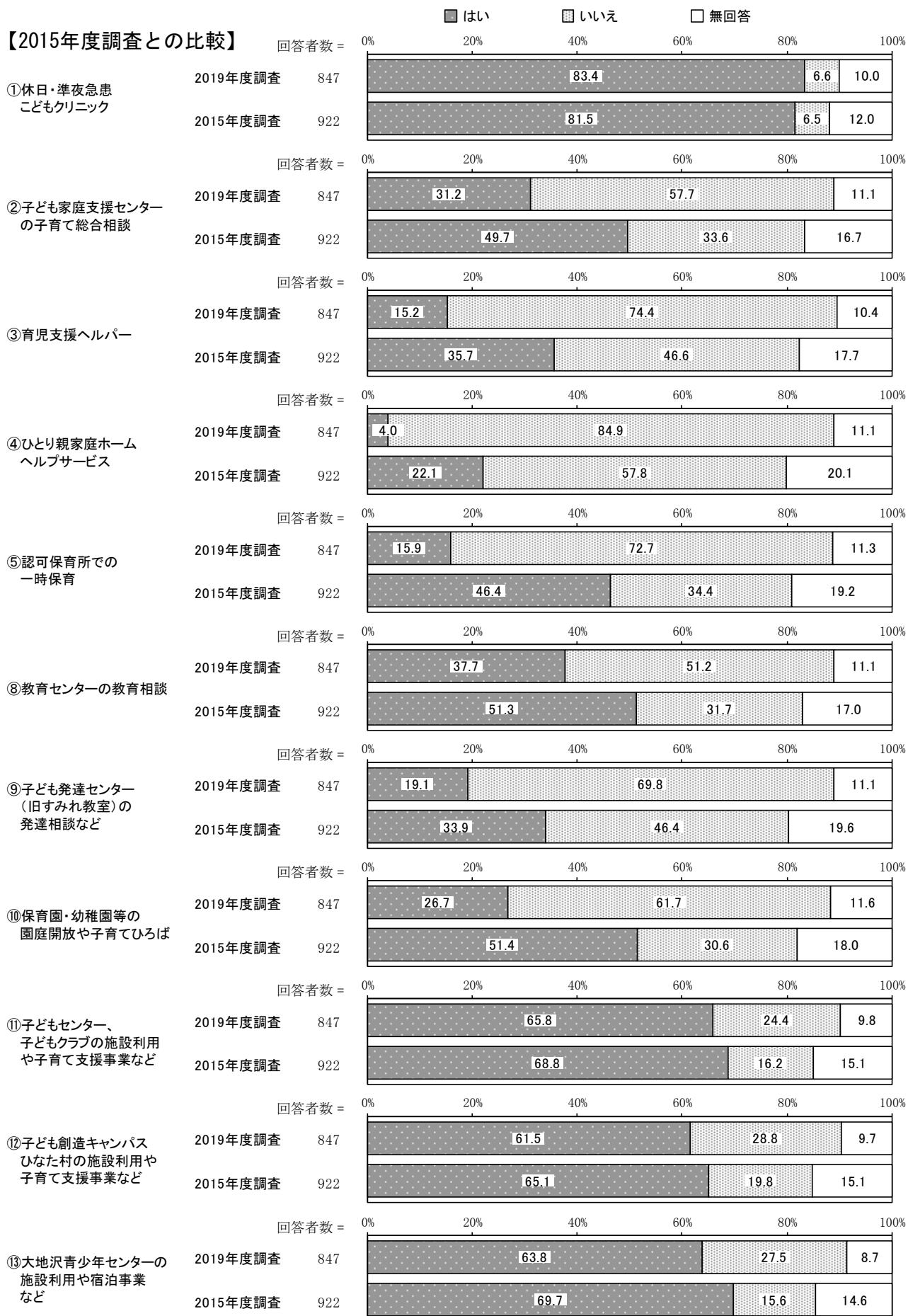
※ ⑥ファミリー・サポート・センター、⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

【C 利用意向】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が8割を超え、高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』で「いいえ」の割合が8割を超え、高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』を除いた事業で「はい」の割合が減少しています。

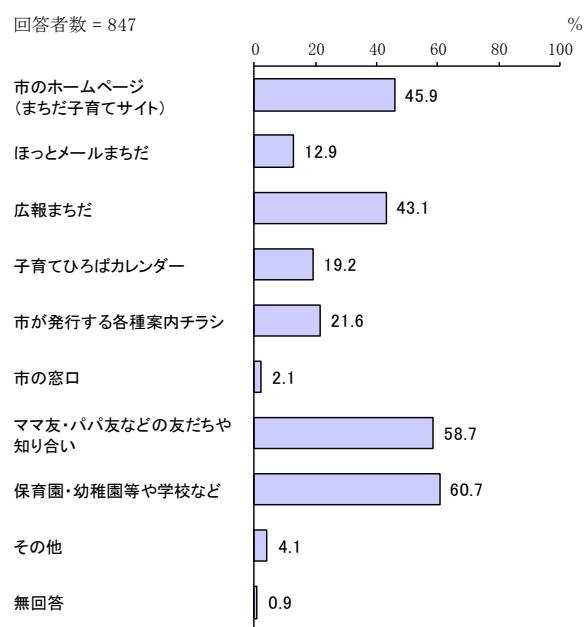




※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

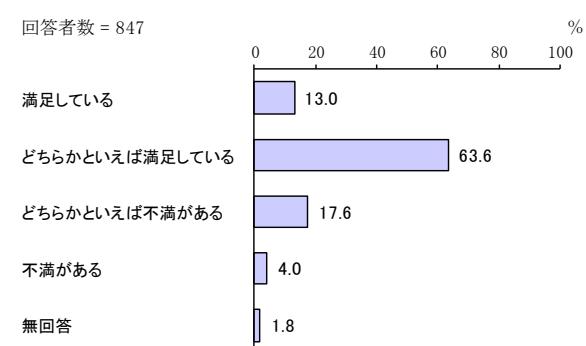
問11 子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育園・幼稚園等や学校など」の割合が60.7%と最も高く、次いで「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い」の割合が58.7%、「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」の割合が45.9%となっています。



問12 子育て支援サービスの情報に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”的割合が76.6%、「どちらかといえば不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”的割合が21.6%となっています。

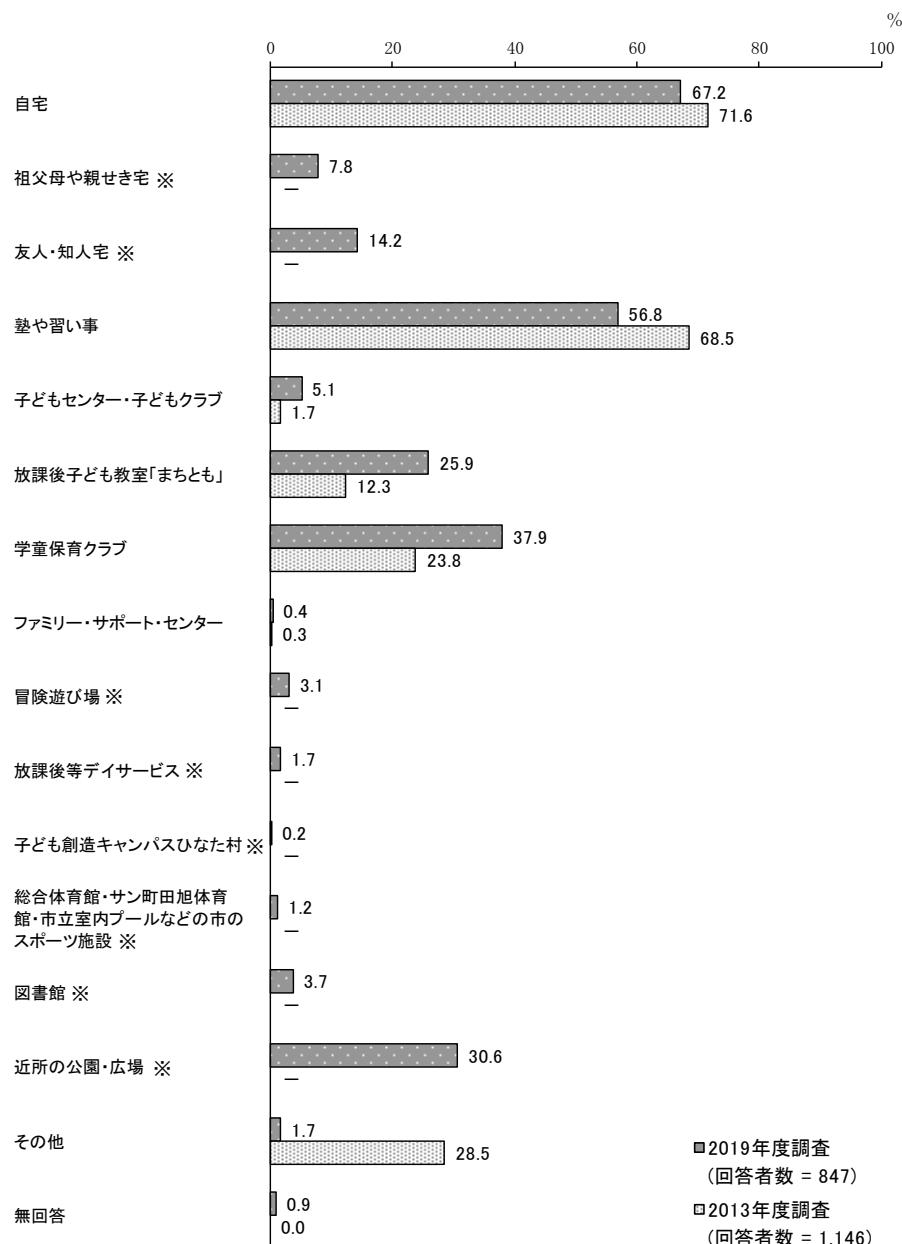


(6) 放課後の過ごし方について

問13 小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ過ごしている週当たりの日数を数字でご記入ください。

「自宅」の割合が67.2%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が56.8%、「学童保育クラブ」の割合が37.9%となっています。

2015年度調査と比較すると、「放課後子ども教室『まちとも』」「学童保育クラブ」の割合が増加し、「塾や習い事」の割合が減少しています。



<1週当たりの利用希望日数>

単位：%

区分	(件) 回答者 数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回答
1. 自宅	569	19.7	18.6	17.6	8.1	28.8	0.9	2.5	3.9
2. 祖父母や親せき宅	66	50.0	16.7	10.6	1.5	10.6	3.0	—	7.6
3. 友人・知人宅	120	67.5	21.7	6.7	—	—	—	—	4.2
4. 塾や習い事	481	31.0	38.9	18.3	8.1	1.9	—	0.2	1.7
5. 子どもセンター・子どもクラブ	43	60.5	11.6	7.0	—	14.0	2.3	—	4.7
6. 放課後子ども教室「まちとも」	219	49.3	22.8	14.6	3.2	1.8	—	—	8.2
7. 学童保育クラブ	321	1.6	4.4	14.3	20.9	53.6	1.6	—	3.7
8. ファミリー・サポート・センター	3	33.3	—	—	33.3	—	—	—	33.3
9. 冒険遊び場	26	61.5	3.8	7.7	—	—	—	—	26.9
10. 放課後等デイサービス	14	21.4	21.4	14.3	7.1	28.6	7.1	—	—
11. 子ども創造キャンパスひなた村	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立 室内プールなどの市のスポーツ施設	10	80.0	—	—	—	—	—	—	20.0
13. 図書館	31	77.4	9.7	—	—	—	—	—	12.9
14. 近所の公園・広場	259	42.1	30.9	10.4	3.5	3.9	0.8	—	8.5
15. その他	14	21.4	35.7	7.1	7.1	7.1	—	7.1	14.3

<2013年度調査との比較>

1 週当たりの利用希望日数

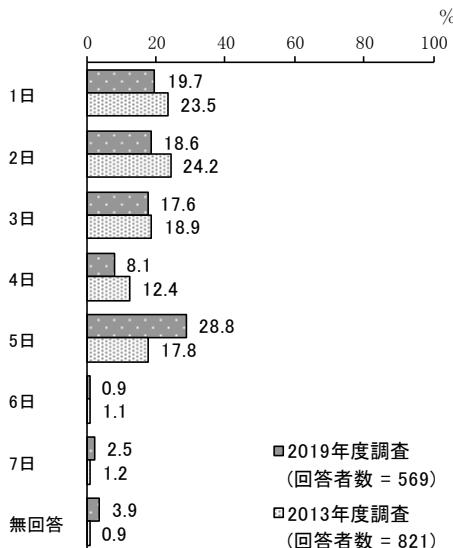
1. 自宅

2013年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加し、「2日」の割合が減少しています。

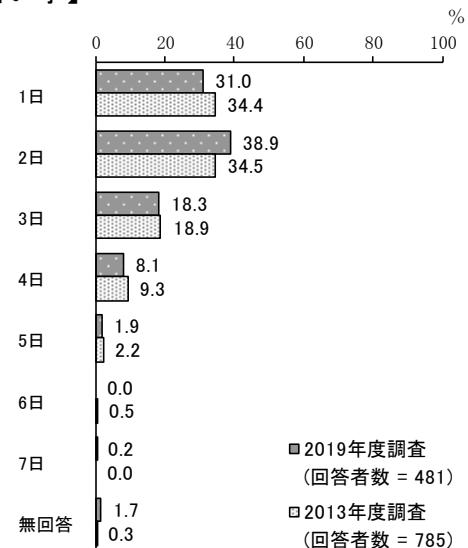
4. 塾や習い事

2013年度調査と比較して、大きな変化はみられません。

【1. 自宅】



【4. 塾や習い事】



5. 子どもセンター・子どもクラブ

2013年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加し、「1日」「2日」の割合が減少しています。

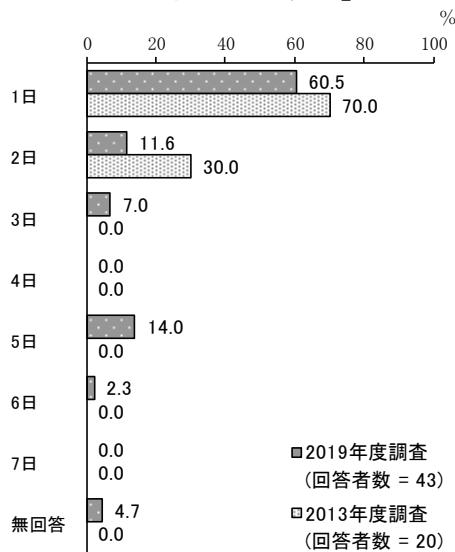
6. 放課後子ども教室「まちとも」

2013年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加し、「1日」「2日」の割合が減少しています。

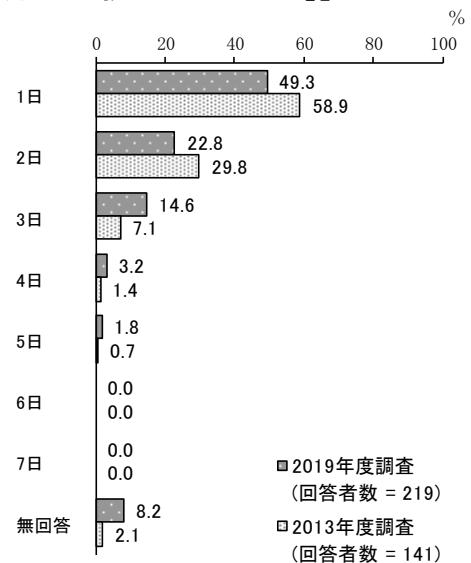
7. 学童保育クラブ

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

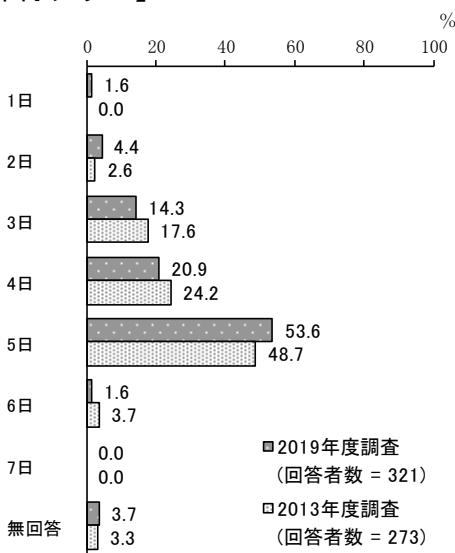
【5. 子どもセンター・子どもクラブ】



【6. 放課後子ども教室「まちとも」】



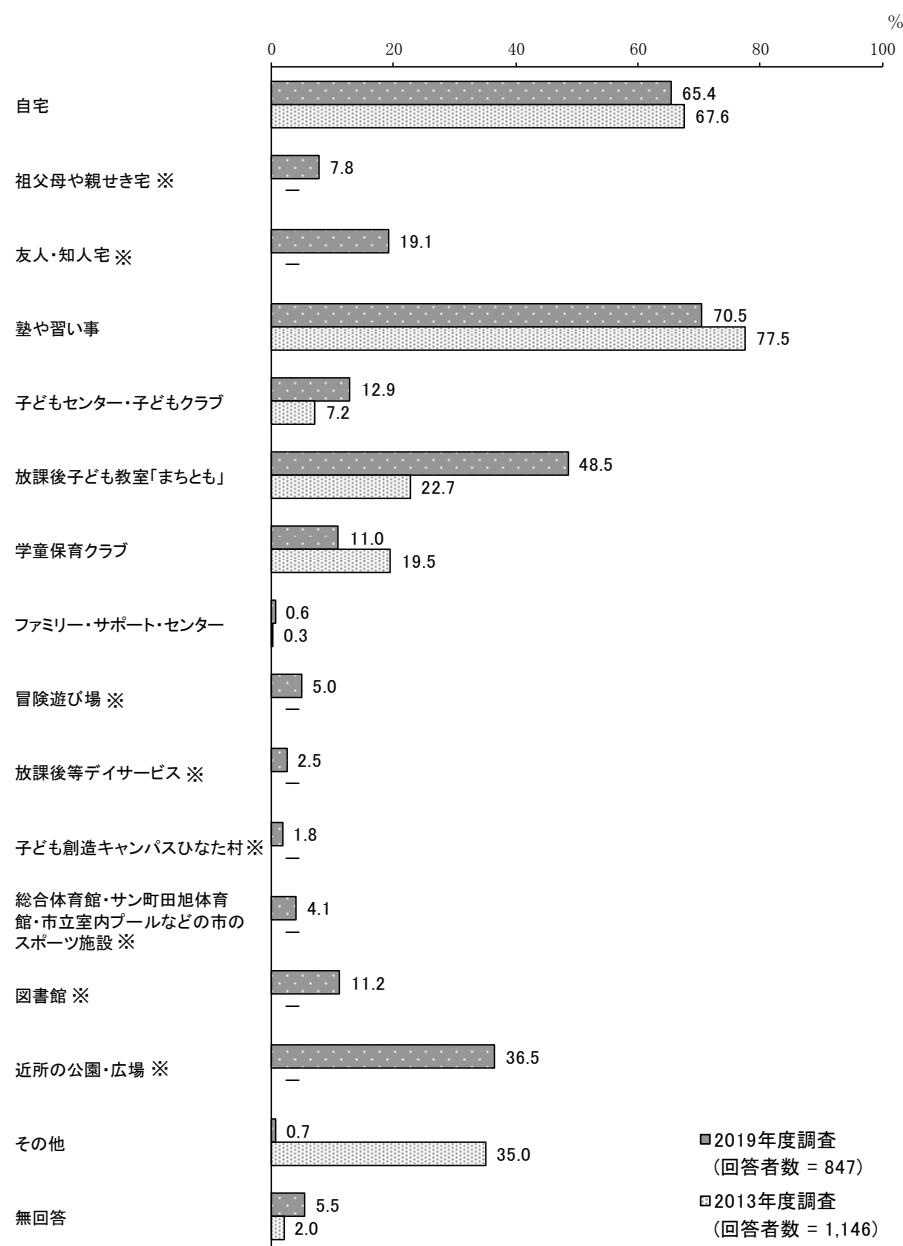
【7. 学童保育クラブ】



問14 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間はどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけて、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

「塾や習い事」の割合が70.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が65.4%、「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が48.5%となっています。

2015年度調査と比較すると、「子どもセンター・子どもクラブ」「放課後子ども教室『まちとも』」の割合が増加し、「塾や習い事」「学童保育クラブ」の割合が減少しています。



<1週当たりの利用希望日数>

単位：%

区分	(件) 回答者数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回答
1. 自宅	554	24.5	24.5	17.7	4.0	20.4	0.2	0.9	7.8
2. 祖父母や親せき宅	66	48.5	18.2	9.1	1.5	12.1	—	—	10.6
3. 友人・知人宅	162	67.9	17.3	5.6	—	—	—	—	9.3
4. 塾や習い事	597	22.8	40.9	20.8	7.4	2.3	0.2	—	5.7
5. 子どもセンター・子どもクラブ	109	43.1	19.3	15.6	1.8	5.5	—	—	14.7
6. 放課後子ども教室「まちとも」	411	30.2	28.7	17.8	4.4	10.2	—	—	8.8
7. 学童保育クラブ	93	5.4	9.7	28.0	8.6	38.7	2.2	—	7.5
8. ファミリー・サポート・センター	5	60.0	—	—	—	—	—	—	40.0
9. 冒険遊び場	42	50.0	11.9	19.0	—	—	—	—	19.0
10. 放課後等デイサービス	21	19.0	4.8	28.6	9.5	28.6	4.8	—	4.8
11. 子ども創造キャンパスひなた村	15	53.3	20.0	—	—	—	—	—	26.7
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	35	77.1	5.7	—	—	—	—	—	17.1
13. 図書館	95	65.3	8.4	2.1	—	1.1	—	—	23.2
14. 近所の公園・広場	309	35.0	32.7	14.6	2.3	4.5	0.6	—	10.4
15. その他	6	—	16.7	—	—	50.0	—	—	33.3

<2013年度調査との比較>

1 週当たりの利用希望日数

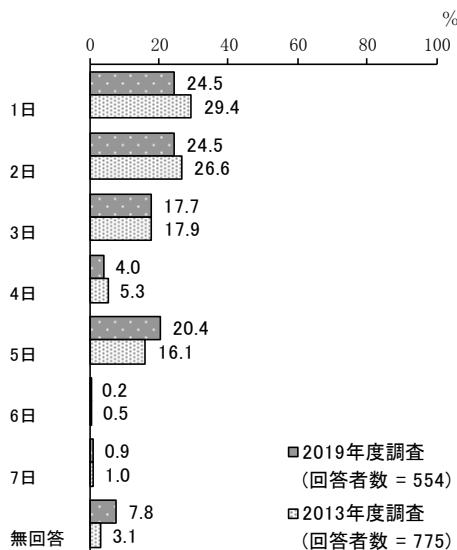
1. 自宅

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

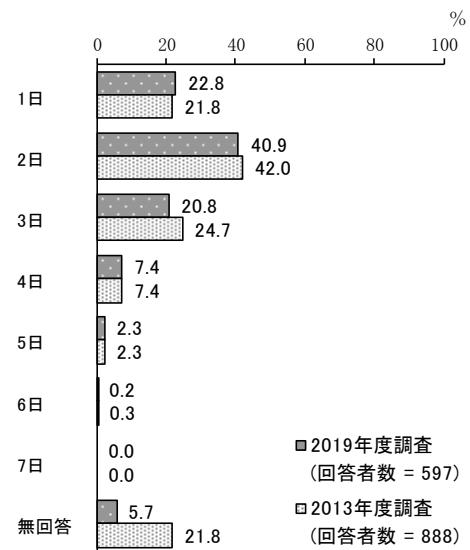
4. 塾や習い事

2013年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【1. 自宅】



【4. 塾や習い事】



5. 子どもセンター・子どもクラブ

2013年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。

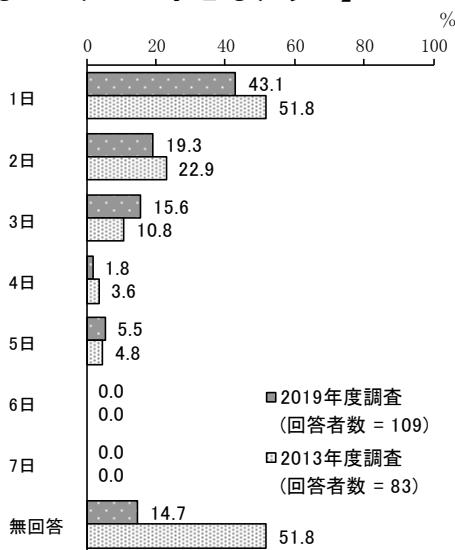
6. 放課後子ども教室「まちとも」

2013年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。

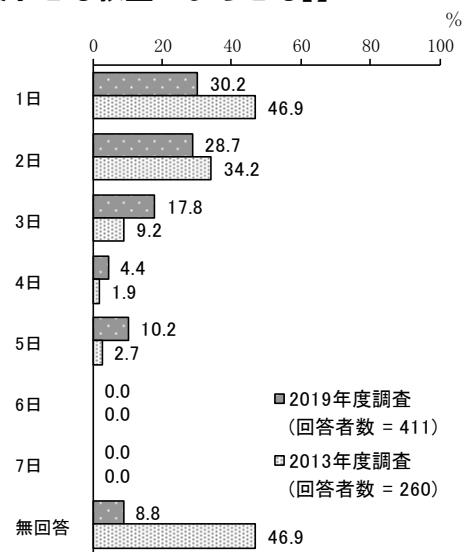
7. 学童保育クラブ

2013年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

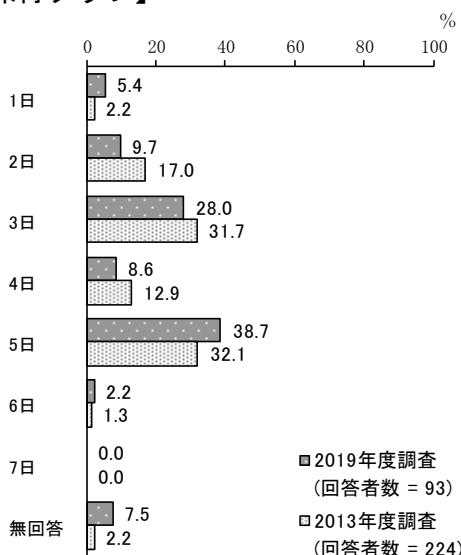
【5. 子どもセンター・子どもクラブ】



【6. 放課後子ども教室「まちとも」】



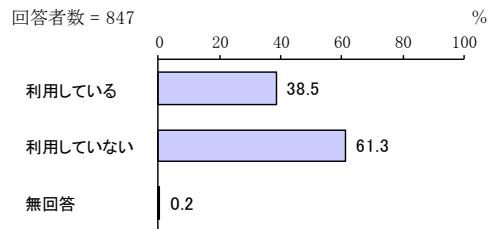
【7. 学童保育クラブ】



(7) 学童保育クラブについて

問15 あなたは学童保育クラブを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

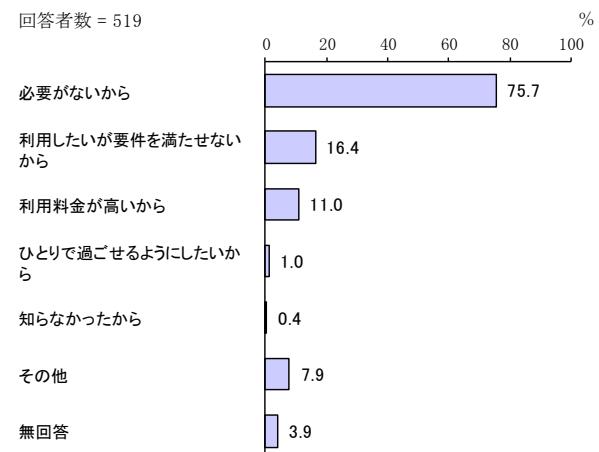
「利用している」の割合が38.5%、「利用していない」の割合が61.3%となっています。



問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 学童保育クラブを利用していない理由を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

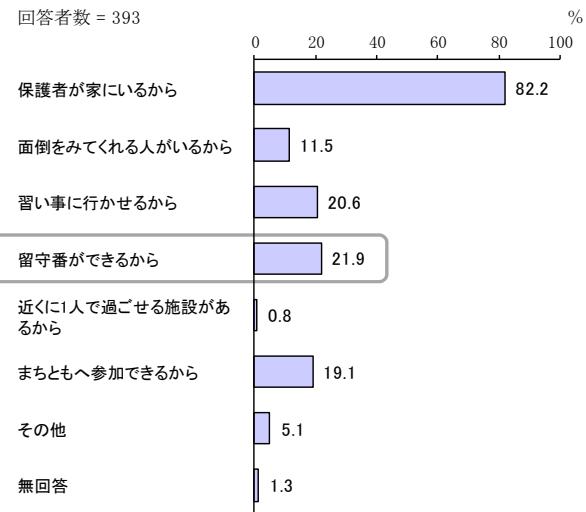
「必要がないから」の割合が75.7%と最も高く、次いで「利用したいが要件を満たせないから」の割合が16.4%、「利用料金が高いから」の割合が11.0%となっています。



問15-1で「1. 必要がないから」に○をつけた方にうかがいます。

問15-2 必要がない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

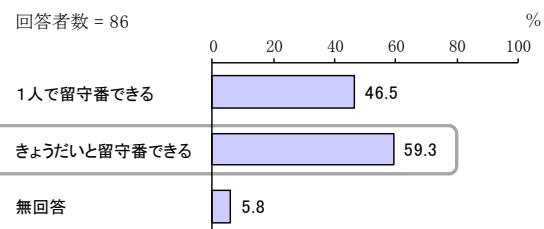
「保護者が家にいるから」の割合が82.2%と最も高く、次いで「留守番ができるから」の割合が21.9%、「習い事に行かせるから」の割合が20.6%となっています。



「留守番ができるから」と回答した人

誰と留守番できるか

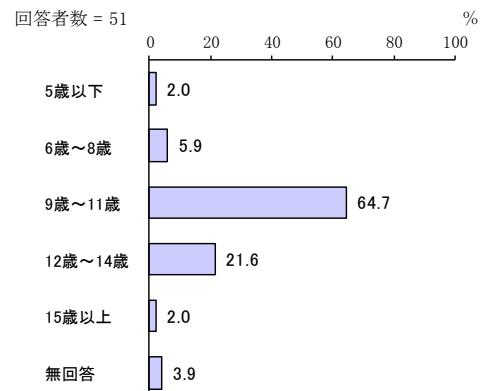
「1人で留守番できる」の割合が46.5%、「きょうだいと留守番できる」の割合が59.3%となってています。



「きょうだいと留守番できる」と回答した人

きょうだいの年齢

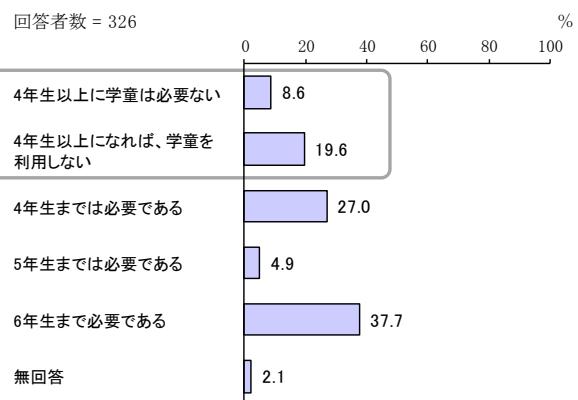
「9歳～11歳」の割合が64.7%と最も高く、次いで「12歳～14歳」の割合が21.6%となっています。



問15で「1. 利用している」に○をついた方にうかがいます。

問15-3 町田市の学童保育クラブでは、4年生以上の利用ができません。あなたのお考えに
もっとも近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

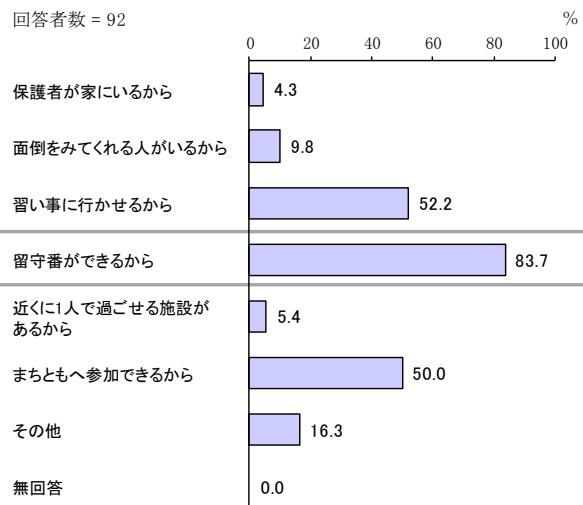
「6年生まで必要である」の割合が37.7%と最も高く、次いで「4年生までは必要である」の割合が27.0%、「4年生以上になれば、学童を利用しない」の割合が19.6%となっています。



問15-3で「1. 4年生以上は必要ない」「2. 4年生以上になれば、学童を利用しない」に○をついた方にうかがいます。

問15-4 必要がない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「留守番ができるから」の割合が83.7%と最も高く、次いで「習い事に行かせるから」の割合が52.2%、「まちともへ参加できるから」の割合が50.0%となっています。



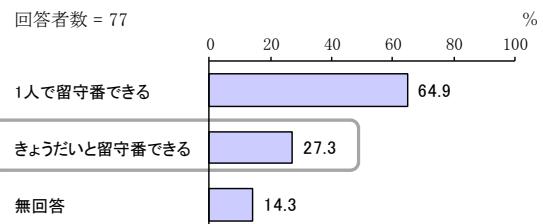
【その他の主な意見】

- ・夏休み以外は必要ない（6件）
- ・自ら主体的に活動する習慣をつけるのに相応しい年齢になると考えるから（3件）
- ・友だちと自由に遊びたくなるから（2件）等

「留守番ができるから」と回答した人

誰と留守番できるか

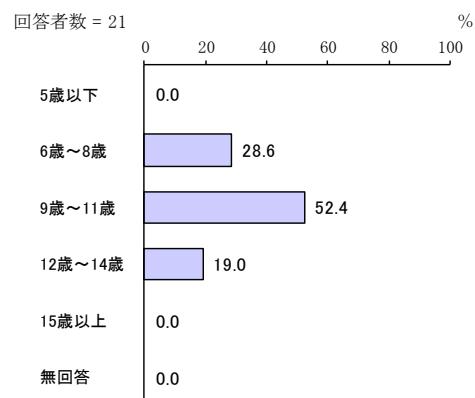
「1人で留守番できる」の割合が64.9%、「きょうだいと留守番できる」の割合が27.3%となっています。



「きょうだいと留守番できる」と回答した人

きょうだいの年齢

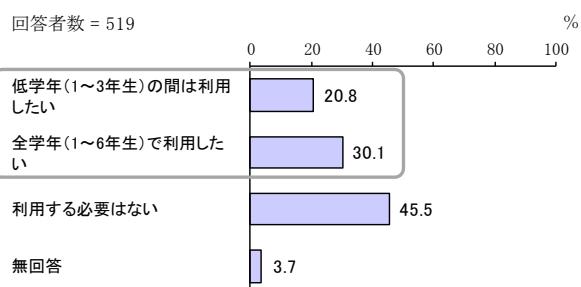
「9歳～11歳」の割合が52.4%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が28.6%、「12歳～14歳」の割合が19.0%となっています。



問16は学童保育クラブを利用していない方にうかがいます。

問16 夏休み・冬休みなどの長期休暇中に限り、学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「全学年(1～6年生)で利用したい」の割合が30.1%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が20.8%となっています。



「低学年(1～3年生)の間は利用したい」「全学年(1～6年生)で利用したい」と回答した人

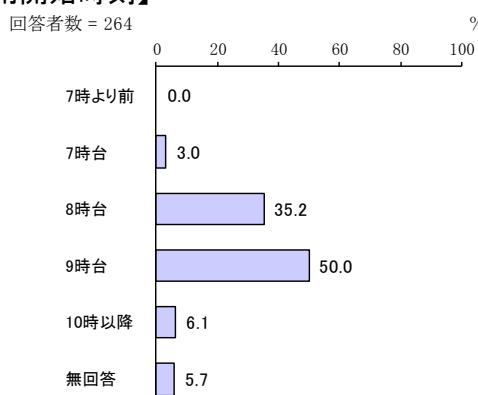
ア 希望利用開始時刻

「9時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が35.2%となっています。

イ 希望利用終了時刻

「15時台」の割合が28.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.5%、「16時台」の割合が12.1%となっています。

【希望利用開始時刻】



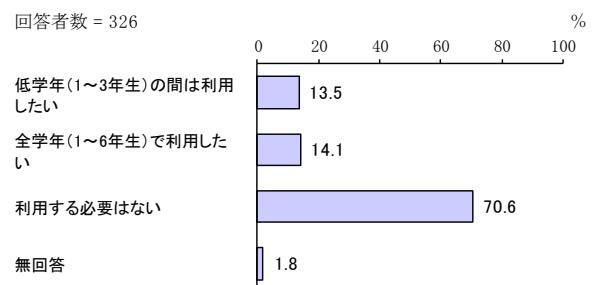
【希望利用終了時刻】



問17～25までは学童保育クラブを利用している方にうかがいます。

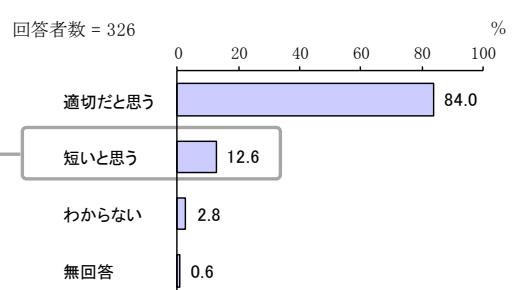
問17 日曜日・祝祭日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が70.6%と最も高く、次いで「全学年(1～6年生)で利用したい」の割合が14.1%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が13.5%となっています。



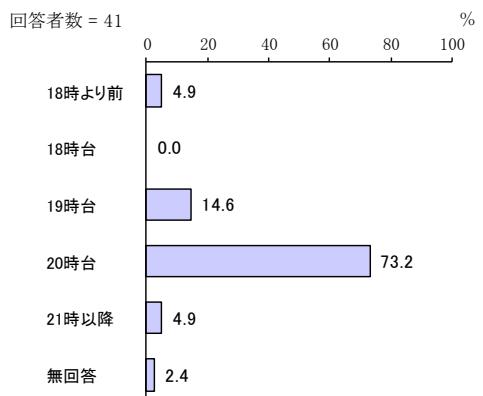
問18 平日(授業のある日)の学童保育クラブの開所時間について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「適切だと思う」の割合が84.0%と最も高く、次いで「短いと思う」の割合が12.6%となっています。



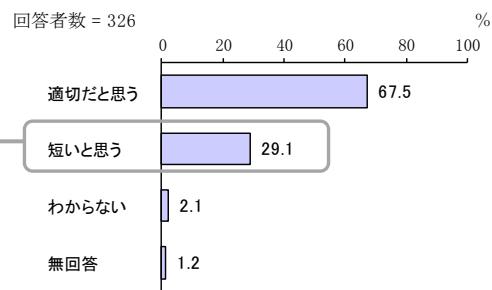
「短いと思う」と回答した人が適切だと思う時間

「20時台」の割合が73.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が14.6%となっています。



問19 学校休業日の学童保育クラブの開所時間について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「適切だと思う」の割合が67.5%と最も高く、次いで「短いと思う」の割合が29.1%となっています。



「短いと思う」と回答した人

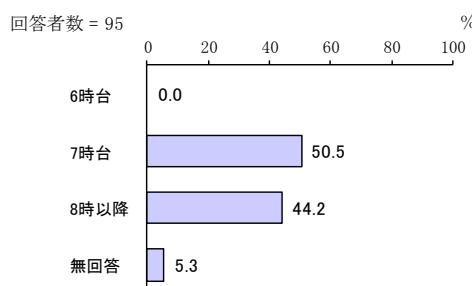
ア 適切だと思う開始時刻

「7時台」の割合が50.5%と最も高く、次いで「8時以降」の割合が44.2%となっています。

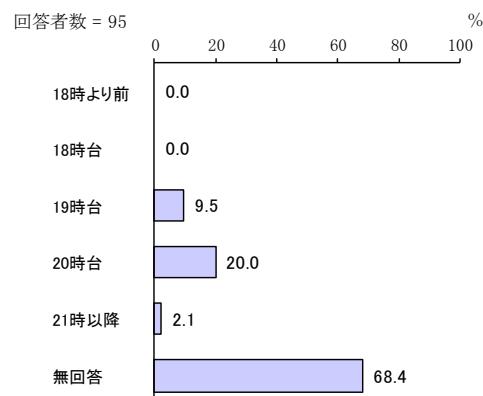
イ 適切だと思う終了時刻

「20時台」の割合が20.0%と最も高くなっています。

【適切だと思う開始時刻】

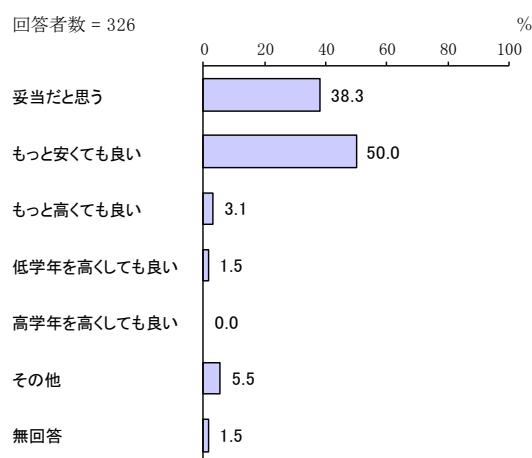


【適切だと思う終了時刻】



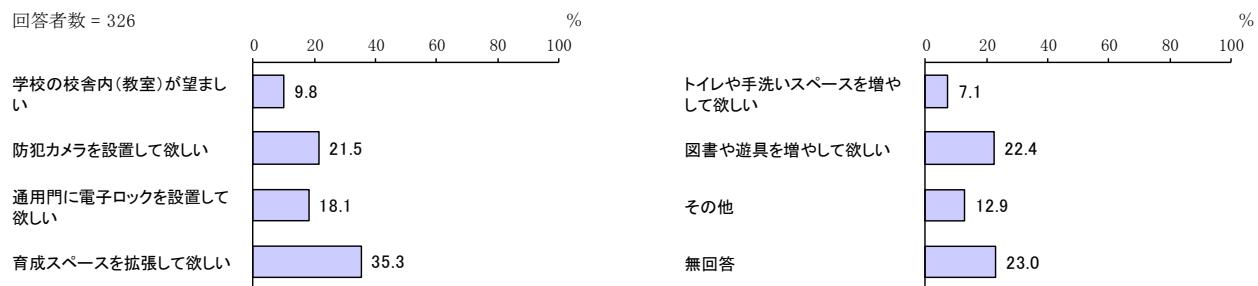
問20 町田市の育成料（利用料金）について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「もっと安くても良い」の割合が50.0%と最も高く、次いで「妥当だと思う」の割合が38.3%となっています。



問21 通っている学童保育クラブの施設面で望むことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「育成スペースを拡張して欲しい」の割合が35.3%と最も高く、次いで「図書や遊具を増やして欲しい」の割合が22.4%、「防犯カメラを設置して欲しい」の割合が21.5%となっています。

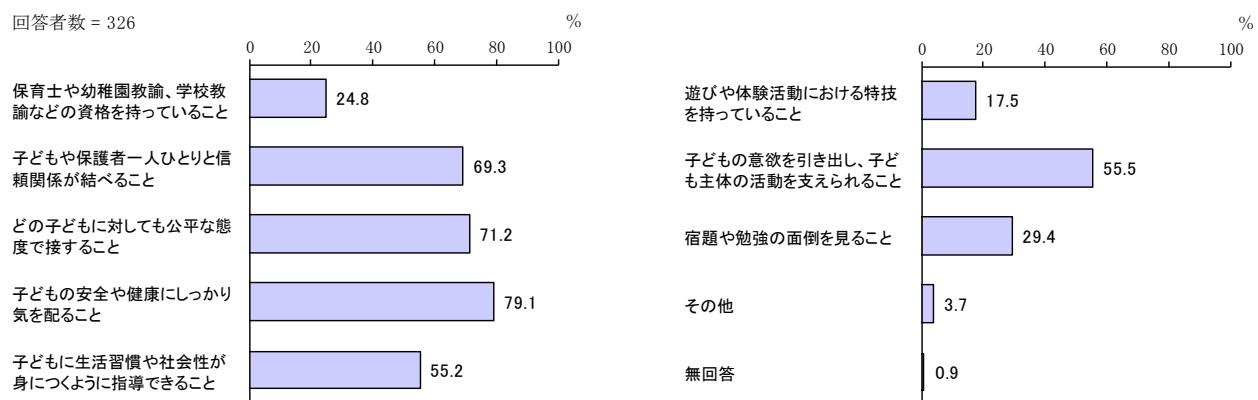


【その他の主な意見】

- ・今までよい (11件)
- ・駐車場を利用させてほしい (5件)
- ・全体的に古いので、新しくなるとありがたい (2件) 等

問22 学童保育クラブで働く指導員に対して、あなたが一番求めたいことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

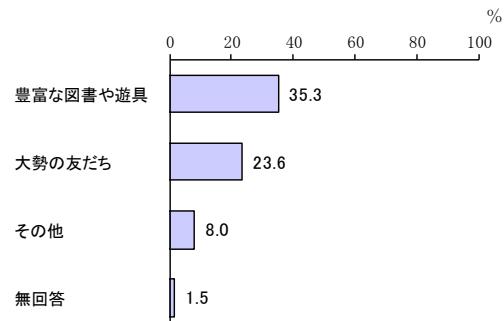
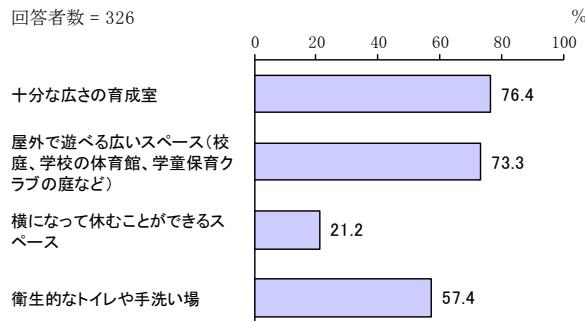
「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」の割合が79.1%と最も高く、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」の割合が71.2%、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」の割合が69.3%となっています。



問23 学童保育クラブで、お子さんが安全、安心かつ健全に過ごすために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「十分な広さの育成室」の割合が76.4%と最も高く、次いで「屋外で遊べる広いスペース（校庭、学校の体育館、学童保育クラブの庭など）」の割合が73.3%、「衛生的なトイレや手洗い場」の割合が57.4%となっています。

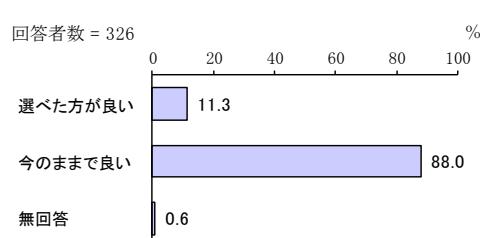
回答者数 = 326



問24 現在、利用できる学童保育クラブは学校ごとに決まっていますが、自由に選べた方が良いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「選べた方が良い」の割合が11.3%、「今まで良い」の割合が88.0%となっています。

回答者数 = 326



問24で「1. 選べた方が良い」に○をつけた方にうかがいます。

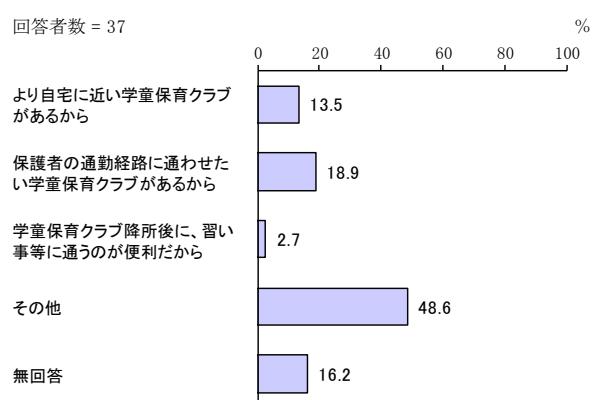
問24-1 その理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「保護者の通勤経路に通わせたい学童保育クラブがあるから」の割合が18.9%と最も高く、次いで「より自宅に近い学童保育クラブがあるから」の割合が13.5%となっています。

【他の主な意見】

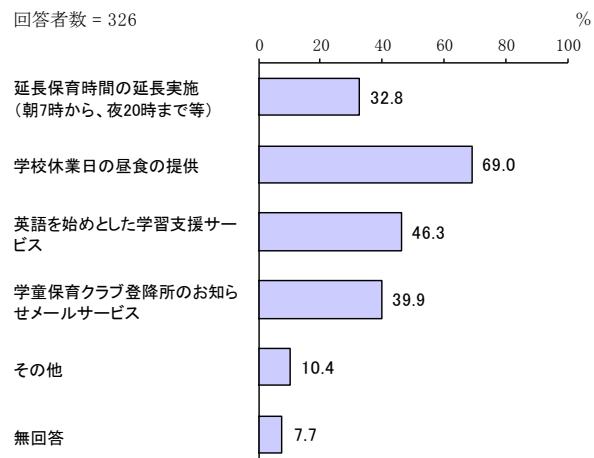
- ・トラブルがあった時に他の選択肢があった方がよい。その子によって合う学童を選べるとよい。合わずに苦しい思いをしている子もいるので。(6件)
- ・1人帰りできる時間帯に違いがあったり、家庭ごとの事情に合わせてお迎え方法に選択の幅がありして学童によって違いがあるから (4件)
- ・学童によって質に差があるから (3件) 等

回答者数 = 37



問25 学童保育クラブで「あつたらいいな」と思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校休業日の昼食の提供」の割合が69.0%と最も高く、次いで「英語を始めとした学習支援サービス」の割合が46.3%、「学童保育クラブ登降所のお知らせメールサービス」の割合が39.9%となっています。



【その他の主な意見】

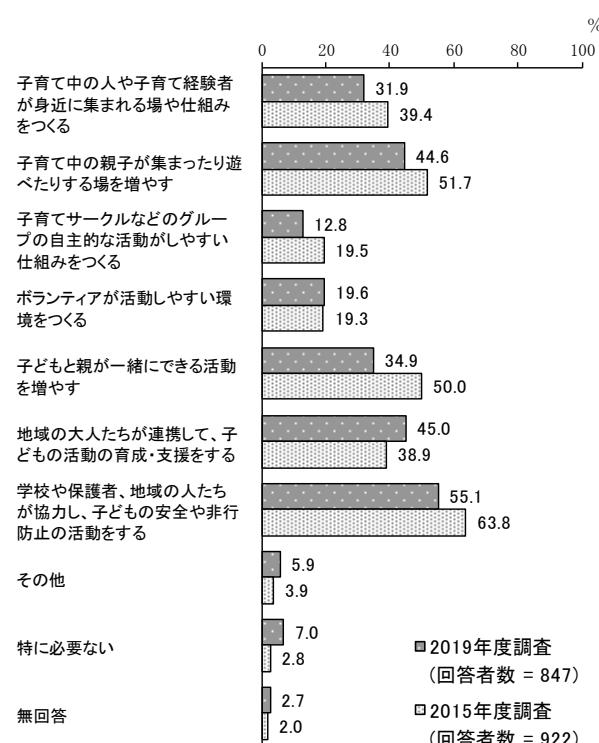
- ・習い事への出入り（5件）
- ・小学4年生以降も通えるようにしてほしい（5件）
- ・満足している（4件）
- ・開閉所時間を延長してほしい（4件）
- ・長期休みの利用（4件） 等

（8）子育て施策全般について

問26 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取り組みをする必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

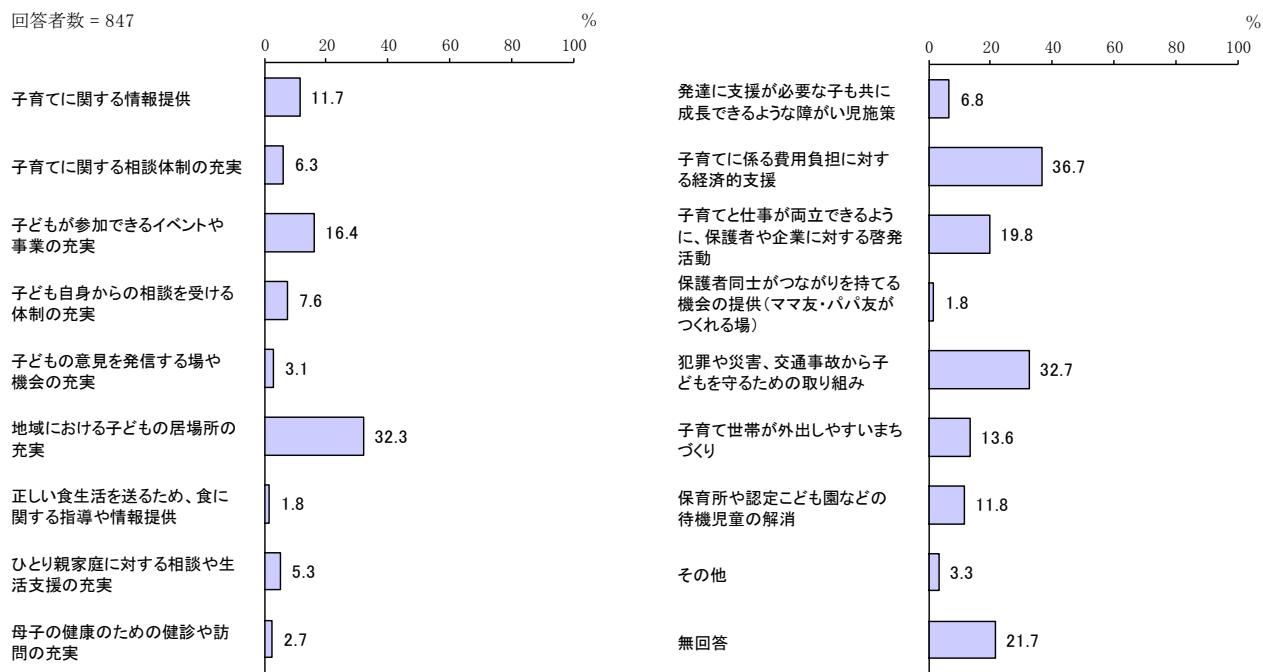
「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が55.1%と最も高く、次いで「地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする」の割合が45.0%、「子育て中の親子が集まったり遊びたりする場を増やす」の割合が44.6%となっています。

2015年度調査と比較すると、「地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする」の割合が増加し、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が減少しています。



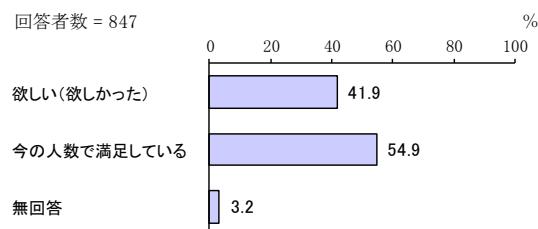
問27 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が36.7%と最も高く、次いで「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るために取り組み」の割合が32.7%、「地域における子どもの居場所の充実」の割合が32.3%となっています。



問28 問27の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しかった）と考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「欲しい（欲しかった）」の割合が41.9%、「今の人數で満足している」の割合が54.9%となって います。



【子どもの人数別】

子どもの人数別でみると、他に比べ、1人で「欲しい（欲しかった）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲しかった)	満足して いる 今の人数で	無回答
1人	153	62.1	32.0	5.9
2人	456	44.1	53.1	2.9
3人	192	24.0	74.0	2.1
4人	27	29.6	66.7	3.7
5人	6	33.3	66.7	—
6人以上	4	—	100.0	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『パートタイム・アルバイトなど』、『これまでに就労したことがない』で「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲しかった)	満足して いる 今の人数で	無回答
フルタイム	236	43.6	53.0	3.4
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	6	33.3	66.7	—
パートタイム・アルバイトなど	313	38.7	58.1	3.2
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	4	50.0	50.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	250	45.2	52.0	2.8
これまでに就労したことがない	24	41.7	58.3	—

問29 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

アンケート調査票の自由記述欄において、372人の方から、計584件の意見を寄せていいただきました。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	
(1) 保育園・幼稚園等の対応・受入れ（利用条件）について	10
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育を利用したくても空きがなく、使いたい時に使えず、通院さえもあきらめざるを得ない状態。 ・0歳の一時保育の受け入れ先が少なく困った記憶がある。 ・仕事上朝7時からの預かりをして欲しい（延長保育ではなく）。 	
など	
(2) 保育園・幼稚園等の夜間・休日、長期休暇の受入れについて	2
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・町田駅周辺には21時頃まで開いている園が認可、認証園では数少なく、1歳から21時まで預かってもらえる園に通った。 ・就労で児童が在籍している場合、公休日に預かりをしてくれる園とそうでない園があるのは、公平ではないと思う。 	
(3) 保育園・幼稚園等の利用料について	10
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園の無償化は的がずれていると思うのでやめて欲しい。 ・保育園、こども園も全てが所得に応じた料金体系となっていて、子どもが多い分、お金もかかるのに、ある程度（決して高所得ではないのに）の年収で料金があがる。 ・保育料が少々高い。 	
など	
(4) 保育園・幼稚園等の質の向上について	6
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園でただ詰め込むだけでなく、質を高め、子どもたちが安心して幼少期を過ごせるようにならなければ、少子化は解消されないのでと思う。 ・保護者（家庭）よりも園の充実、先生の支援をして欲しい。 ・保育園には必ず栄養士をおいて欲しい。 	
など	
(5) 待機児童（施設整備）について	8
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童を解消してほしい。 ・そもそもなぜ幼稚園というシステムが時代に適した形に変更できないのか。保育園の数を増やせないなら幼稚園を受け皿の一つとして改善してほしい。 ・経済的に安定し、配偶者も共に社会で自立するために共働きをしたいと考えているが、保育園に入れず仕事を探すこともできず、また、仕事が見つからないので保育園に入れず負のスパイラルに陥っている。 	
など	

分類回答	件数
2. 小学校就学後の生活について	
(1) 小学校（通学路含む）について	61
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校も担任の先生による指導の差があるよう思う。もう少し同じ指導内容にしてほしいと思う。 ・PTAには可能な限り協力していきたいと思うが、平日昼間中心の活動、専業の母親中心の活動には参加が難しい。新しいあり方を検討してもらいたい。 ・最近、通学中の交通事故のニュースをよく見る。子どもが安心安全に登下校できるような取組みを行ってもらいたい。 ・人手不足や働き方等の問題が大きくなっているので、先生の待遇改善や体制の見直しを行い、優秀な人材を集めることの方が重要と考える。 	
	など
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	105
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生以上でも学童保育クラブのような場所があれば1人親としてはフルタイムで働きに出やすい。 ・放課後子ども教室「まちとも」をもっと充実させて欲しい。 ・学童保育クラブを小学校4年生以上も通えるようにして欲しい（夏休みなどの長期休暇含む）。 	
	など
3. 子育て支援全般について	
(1) 子どもの居場所やイベント（親子イベント、子どもセンター、子育てひろば事業など）について	41
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がると親子で遊ぶ（触れ合う）時間が少なくなってくるので、高学年向けの親子イベントをたくさん増やして欲しい。例）男→親子サッカーなど。女→親子クッキングなど。親子で楽しめる活動をして欲しい。 ・子どもセンターに遊びに行かせたくても路線バスの本数が少なく道路も安全とはいせず、子どもだけで遊びに行かせることが難しい。 ・子どもセンターが住んでいる地域からは親の送迎が必要な距離なので、子どもセンターが小さくても良いからあるといいと思う。 	
	など
(2) 病児・病後児保育や障がい児への支援について	29
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児（医療ケア含む）の受け皿をもっと増やして欲しい。 ・障がいがあることで入学が大変だった（理解されない）。 ・病気の時など病児保育を利用したいと思うが低学年までなのでもう少し対象年齢を広げて欲しい。 	
	など
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	20
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・町田市や学校、学童保育クラブ、保育園からの情報がまだアナログなものが主流で情報が届きにくい。確認もしにくい。アプリやWebサービスがあったとしても存在を知らないのでもう少し分かりやすいと良いと思う。 ・市の子育て支援の情報は待っているだけでは得られないのが普通なのか。施設などへは遠くて気軽に利用できない。何ができる所かすら知らない。 ・市ではいろいろな支援や活動をされていると思うが、その取組みを知る機会がなく、もったいない。積極的に情報を収集しないと有益なサービスを知ることができない現状を改善して皆がサービスを受けやすくなると良いと思う。 	
	など

分類回答	件数
4. 子育て環境について	
(1) 公園・遊び場・外出について	61
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少なく、遊ぶ所がない。仕方なく自宅前（危なくはない所）にいると、近所からうるさいとクレーム（別にうるさくしていない。公園にいてもクレームあり）。子どもたちがのびのび遊べる場と、周りの理解がなく、本当に子育てしづらいという話をよくしている。 ・小学生になり運動量が増えてきたが、近くに体を思いきり動かすことのできる広場があると良い。自由に使える広場があればキャッチボールや花火など親子のコミュニケーションを図る良い場になると思う。自分が子どもの時に普通にできていた遊びが出来なくて歯がゆい気持ちになる。 ・もっと子どもが屋外、屋内問わず、のびのびと遊べる大きな公園や広場が町田市内にあるとうれしい。 	
	など
(2) 公共施設等について	8
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって、体育館、子どもセンターや図書館が近くにないため、利用ができない。 ・歩道はのんびり歩けるようにスペースの確保や、電動自転車のスピード制限、自動車の運転手の規則、道路の整備など整ったら子育てしやすかったと思う。 ・文学館を子どもたちのスポットとしてよく使っている。 	
	など
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	34
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝の小児科当番医を増やして欲しい。 ・深夜も診察してもらえる小児科を設置して欲しい。 ・福祉会館の休日・準夜急患こどもクリニックはとても便利。 ・医療費の無償化をして欲しい。 	
	など
(4) 地域との協力について	25
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人も、通学路の危険な場所を見守ってくれたり、パトロールしてくれたりしていて、事故や犯罪防止に関してとても安心している。 ・子ども会、PTA活動、地域活動を一生懸命参加すればするほど、自分の子どもとの時間が減ったりするのはどうなのかといつも思っている。 ・子育てと介護、子どもとお年寄りが分離せず、共に助け合っていけるような地域の仕組みなど、一部の方だけでなく、地域全体で発展してもらえると嬉しい。 ・子を持つ親だけでなく地域で子どもを守りたい。もちろんそのためには子を持つ親の地域活動の参加は必要に思う。 	
	など

分類回答	件数
5. 子育て中の保護者の状況について	
(1) 社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	29
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調不良で仕事を休む、早退等で会社に連絡等するとき、肩身が狭い。母親の働きやすい環境づくりに取組んでもらえるとうれしい。 ・共働き家庭で、男の人より女の人が子育てしながらの仕事がどれだけ大変か、不安かを、企業にもっと伝えて欲しい。 ・小さい子どものときから、男女が共に子育てをすることが普通であることを教育することは大切だと思う。PTA活動、自治会の仕事、子育て全般を女性が担っていることが多い、男性の姿が見えないのは、今の育児が女性主体であることを物語っていると思う。ぜひ男性の子育ての参加が促されることを望む。 	
	など
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	43
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにはとてもお金がかかるので収入の規定をもうけず一律で配布して欲しい。税金を多く払っているのに手当てがもらえないのは不公平だと思ってしまう。 ・子どもが小さいうちの支援だけでなく、高校や大学へ進学する際の支援がもっと充実して欲しい。先のことを考えると不安が大きく、子どもがもっと欲しいと思ってもなかなか実現させることができない（主に経済的不安）。また、子どもが小さいうちはどうしても働きたくても働けないと感じることが多い。 ・突然父親を亡くした場合の支援が少なすぎ。離婚などの理由の1人親とは別に支援が必要。 	
	など
(3) 防犯・防災・安全について	24
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・道が暗いので街灯を増やして欲しい。路地に入ると暗い所が多い。スクールゾーンを増やす。歩道が狭すぎる。 ・子どもだけに関わらず、緊急時の避難場所などが全く足りていないように感じる。 ・数人の子どもを連れて行くには交通量のわりに歩道が狭く、危険が多いので散歩などがしたくても控えてしまうのが実情。広くて安全な歩道や、暗くなっても安心して歩ける見通しの良さやライトの設置などが改善されると良いと思う。 	
	など
6. その他	68
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・育児サポートがより充実して欲しい。家事補助、通学通園支援、家庭に来て相談にのってくれるなど。 ・児童虐待の事件を見るたびに、子どもたちを守る社会であるように、行政も社会もどんどん踏み込んで欲しいと思う。子どもたちをしっかりと守れる社会になってほしい。 ・中学校での給食ができると良い。子どもの食を考えると中学校での給食は必要だと思う。 	
	など

(9) 調査票

いたいたいご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願ひ申し上げます。

【小学校低学年のお子さんの保護者の方へ】 子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

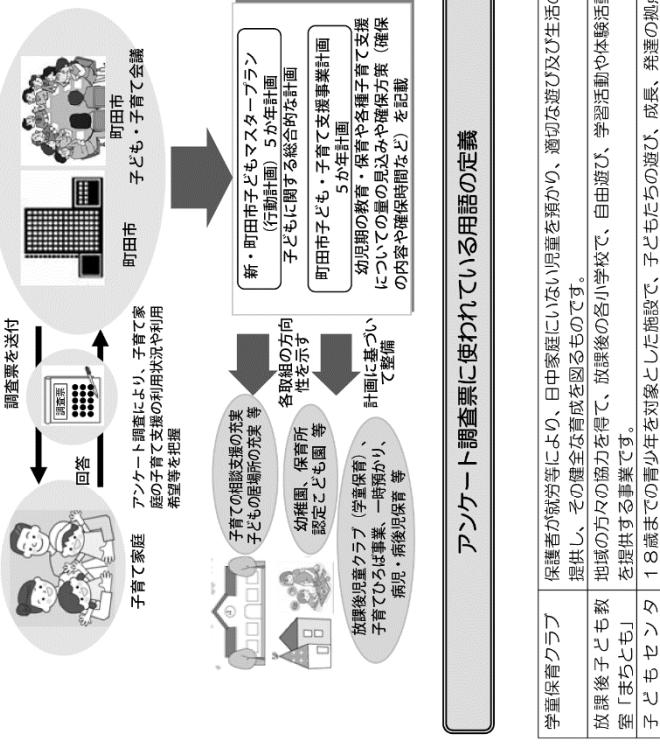
2013年11月に発足しました「町田市子ども・子育て会議」は、町田市の諮問（依頼）を受け、子ども施策について審議を行っております。この度、町田市では子ども施策の中心的計画となる「新・町田市子どもマスタープラン」と「町田市子ども・子育て支援事業計画」が2019年度末で計画を終了となることから、2020年度に向けて新たに計画を策定することになりました。そのため、「町田市子ども・子育て会議」では、この新たな計画について答申（回答）するための検討を行っております。

子育て支援は、共働き世帯の増加など、社会状況が変化する中で充実が求められています。新たに計画のために、皆様にお子様のふだんの状況や、保護者の子育てに関する現状や考え方などをお聞きし、議論を深めていきたいと考えております。

つきましては、ご多忙のことなじみます。このアンケート調査は、市内にお住まいの小学生低学年（1～3年生）のお子さんがいる世帯を対象として、無作為で1,500人の方にお送りしておられます。なお、この調査は無記名であり、お答えいただいた内容は、施設の検討のみに利用させていただくもので、回答者が特定されることはありません。

この調査の目的を理解していただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 2019年5月 町田市子ども・子育て会議 会長 金子和正
- このアンケート調査は住民基本台帳の中から、小学生低学年（1～3年生）のお子さんをお持ちの方を無作為で抽出させていただきました。（抽出日：2019年4月10日）
 - ご回答は、できるかぎり名のないお子さんの保護者の方がご回答ください。
 - ・鉛筆や黒のボールペンなどでご記入ください。
 - 回答は選択肢の番号に○をつけたりぬく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、設問によって、「1つに〇」、「3つまでに〇」、「当たるはまる番号すべてに〇」など、回答数を指定している場合には、指定の範囲内で〇をつけてください。
 - 数字で時間（時刻）を記入する場合には、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
 - ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、5月21日（火）までに郵便局へご投函ください。（切手は不要です。）
 - 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 【お問い合わせ】町田市 子ども生活部 子ども総務課 企画総務係 電話：042-724-2876 FAX：050-3101-8377



アンケート調査票に使われている用語の定義

学童保育クラブ	保護者が就労等により、日中家庭にいない児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。
放課後子ども教室「まちども」	地域の方々の協力を得て、放課後の各小学校で、自由遊び、学習活動や体験活動の場を提供する事業です。
放課後児童クラブ	18歳までの青少年を対象とした施設で、子どもたちの遊び、成長、発達の観点として様々な活動を行っています。
保育園・幼稚園等	定期的な教育・保育の場として利用する幼稚園や保育園などを指します。認定こども園、小規模保育所も含められます。
保育コンシェルジュ	就学前までの赤ちゃんの保護者を対象に、幼稚園や保育園などの施設・保育サービスの情報提供や相談・助言を行います。
ファミリー・サポート・センター	ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業です。

家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。()内に数字で記入ください。

〒()-()

問2 あて名のお子さんの生年月を()内に数字で記入ください。

西暦()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何へいらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人數を()内に数字で記入ください。2人以上の場合は、末のお子さんの生年月もご記入ください。

()人

問4 この調査票をご回答いただく方はどなたですか。おさんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他()

→問5は問4で「1・」または「2・」に○をついた方にうかがいます。

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がある 2. 配偶者はない

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、おさんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 父母共に	4. 子のきょうだい	5. 祖父母	6. その他()
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後がにづけ	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする (日用品や食材など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑨保育園・幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
⑩保育園・幼稚園等や学校の保護者会などの参加	1	2	3	4	5	6

子育ての悩みについてうかがいます。

問7 子育てにに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
2. 保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと
3. 子どもの疲労や発育・発達に関するここと
4. 育児の方法がよくわからぬないこと
5. 子どもの成長方に自信が持てないこと
6. 話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がないこと
7. 仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
8. 自分の時間が持てないないこと
9. 子どものしつけに関するここと
10. 子どもの友だちづきあい（いいめなど）を含む）に関するここと
11. 子どもの就園・就学・進学などに関するここと
12. 子育てに関する配偶者・パートナーの協力力が少ないこと
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 家族の介護を行わなければならぬことに
15. 経済的にゆとりがないこと
16. 住居や周辺の環境が良くないこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからぬること
18. その他（ ）
19. 特にない（ ）

問8 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある
2. いない／ない

→問8-1は問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関する、気軽に相談できる先是、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. 祖父母などの家族
3. 友だち（ママ友・パパ友）
4. 職場の同僚
5. 保育園・幼稚園等、学校、学童保育クラブなど
6. 教育センター
7. 保健所
8. 子ども家庭支援センター
9. 地域子育て相談センター（旧すみれ教室）
10. 保育コンシェルジュ
11. かかりつけの病院・診療所
12. 子どもセンター・子どもクラブ
13. その他（ ）
14. その他（ ）

※地域子育て相談センター：育児についての相談を受け、子育てを支援している施設

保護者の就労状況についてうかがいます。

【問9】は（1）母親と（2）父親それれにについて、お答えいただきます。ひとり親家庭の方は（1）か（2）のどちらかにお答えください。その他の保護者はP7の問10へお進みください。】

問9 現在の就労状況をお答えください。
（1）母親（父子家庭の場合は記入不要です）当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をついた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中
- 3. ハーフタイム・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. ハーフタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

- （2）父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をついた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。
- ① 1週当たり平均就労日数（ ）日
② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
③ 家を出る時間（ ）時 帰宅時間（ ）時 ※時間は24時間表記で記入
… → 間9-2へ

- （2）父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をついた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中
- 3. ハーフタイム・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. ハーフタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

- （2）父親
① 1週当たり平均就労日数（ ）日
② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
③ 家を出る時間（ ）時 帰宅時間（ ）時 ※時間は24時間表記で記入
… → 間9-2へ

問9-1は問9で「3.」または「4.」（パート・アリバイトなどで就労）に○をついた方にうかがいます。

問9-1 フルタイムへの転換希望ありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. ハート・フルタイムなど、「フルタイム」以外の就労を続けることを希望
- 4. ハート・アリバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. ハート・アリバイトなど、「フルタイム」以外の就労を続けることを希望
- 4. ハート・アリバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問9-2は問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をついた方にうかがいます。

問9-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけて、該当する（ ）内には数字でご記入ください。

（1）母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度就労）
 - イ. ハートタイム・アリバイトなど（「ア」以外）
- 一週（ ）日 1日当たり（ ）時間
3. （ ）年より先に就労したい

（2）父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度就労）
 - イ. ハートタイム・アリバイトなど（「ア」以外）
- 一週（ ）日 1日当たり（ ）時間
3. （ ）年より先に就労したい

子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問10 下記のサービスを知っている、または、これまでに利用したことありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。(①)～(③)の事業ごとに、A～Cのそれそれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
(1)休日・連夜急患に子どもクリニック	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(2)子ども家庭支援センターの子育て総合相談	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(3)育児支援ヘルパー	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(4)ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(5)認可保育所での一時保育	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(6)ファミリー・サポート・センター	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(7)保育コンシェルジュの保育サービス利用 相談	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(8)教育センターの教育相談	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(9)子ども発達センター（旧みれ教室）の 癡達相談など	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(10)保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(11)子ども発達センター、子どもクラブの施設利用 や子育て支援事業など	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(12)子ども創造キャンパスひろばに村の施設 利用や子育て支援事業など	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
(13)大地渋毒ひろばセンターの施設利用や 宿泊事業など	1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ 1. はい 2. いいえ		
※ 子ども家庭支援センターの子育て総合相談：育児不安や育児負担を軽減するため、必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスの紹介、調査をし、問題の解決に向けて支援するもの。 ※ ひとり親家庭ホームヘルプサービス：専門のカウンセラーや専門の相談員によるひとり親家庭で、保健所や学童クラブなどの利活用をしてもらうために実施するもの。 ※ 育児支援ヘルパー：出産後育児、家事等の援助が必要とする保護者に対する相談を受け、支援していくもの。 ※ 教育セシナーの教育相談：専門のカウンセラーや専門の相談員によるひとり親家庭で、保健所や学童クラブなどを流するもの。 ※ ひだり難産院ホームヘルプセンター：出産後育児、家事等の援助が必要とする保護者に対する相談を受け、支援していくもの。 ※ 保育園・幼稚園等や学校など			

問11 子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字で記入ください。	1. 市のホームページ（まちだ子育てサイト） 2. ホットメールまちだ 3. 広報まちだ 5. 市が発行する各種案内チラシ 7. ママ友・ママ友などの友たちややり合い 9. その他（ ）	4. 子育てひろばカレンダー 6. 市の窓口 8. 保育園・幼稚園等や学校など 10. 放課後等ディイサークス 11. 子ども創造キャンパスひろばに村 12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設 13. 図書館 14. 近所の公園・広場 15. その他（ ）
問12 子育て支援サービスの情報に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。	1. 満足している 2. どちらかといえば満足している 3. どちらかといえば不満がある 4. 不満がある	（ ）

放課後の過ごし方についてうかがいます。

問13 小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのように過ごしている（用語についてはP2の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください）。

1. 自宅	週（ ）	日くら（ ）
2. 祖父母や親せき宅	週（ ）	日くら（ ）
3. 友人・知人宅	週（ ）	日くら（ ）
4. 勉や習い事	週（ ）	日くら（ ）
5. 子どもセンター・子どもクラブ	週（ ）	日くら（ ）
6. 放課後子ども教室「まちども」	週（ ）	日くら（ ）
7. 学童保育クラブ	週（ ）	日くら（ ）
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）	日くら（ ）
9. 冒険遊び場	週（ ）	日くら（ ）
10. 放課後等ディイサークス	週（ ）	日くら（ ）
11. 子ども創造キャンパスひろばに村	週（ ）	日くら（ ）
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	週（ ）	日くら（ ）
13. 図書館	週（ ）	日くら（ ）
14. 近所の公園・広場	週（ ）	日くら（ ）
15. その他（ ）	（ ）	日くら（ ）

問14 小学校高学年（4～6年生）になつたら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごしておこなつですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字で記入ください。

1. 自宅	週（ ）	日くら（ ）
2. 祖父母や親せき宅	週（ ）	日くら（ ）
3. 友人・知人宅	週（ ）	日くら（ ）
4. 勉や習い事	週（ ）	日くら（ ）
5. 子どもセンター・子どもクラブ	週（ ）	日くら（ ）
6. 放課後子ども教室「まちども」	週（ ）	日くら（ ）
7. 学童保育クラブ	週（ ）	日くら（ ）
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）	日くら（ ）
9. 冒険遊び場	週（ ）	日くら（ ）
10. 放課後等ディイサークス	週（ ）	日くら（ ）
11. 子ども創造キャンパスひろばに村	週（ ）	日くら（ ）
12. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	週（ ）	日くら（ ）
13. 図書館	週（ ）	日くら（ ）
14. 近所の公園・広場	週（ ）	日くら（ ）
15. その他（ ）	（ ）	日くら（ ）

学童保育クラブについてうかがいます。

問 15 あなたは学童保育クラブを利用していますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。	<input type="radio"/> 1. 利用している	<input type="radio"/> 2. 利用していない
→問 15-1は問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。		
問 15-1 学童保育クラブを利用していない理由を教えてください。	1. 必要がないから	
	2. 利用したいが要件を満たせないから	
	3. 利用料金が高いから	
	4. ひとりで過ごせるようにしたいから	
	5. 知らなかったから	
	6. その他()	

→問 15-2は問 15-1で「1. 必要がないから」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-2 必要がない理由は何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が家にいるから	2. 面倒をみてくれる人がいるから
3. 習事に行かせるから	4. 留守番ができるから
→①1人で留守番できる【きょううだい】の年齢()歳】	
②きょううだいと留守番できる【きょううだい】の年齢()歳】	
5. 近くに1人で過ごせる施設があるから	6. まちどもへ参加できるから
7. その他()	

→問 15-3は問 15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-3 町田市の学童保育クラブでは、4歳以上の利用できません。あなたの考え方にもっとも近いのはどちらですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 4歳以上に学童保育は必要ない	2. 4歳以上になれば、学童を利用したい
3. 4歳生までは必要である	4. 5歳生までは必要である
5. 6歳生までは必要である	
→問 15-4は問 15-3で「1. 4歳生以上は必要ない」「2. 4歳以上になれば、学童を利用しない」に○をつけた方にうかがいます。	
問 15-4 必要がない理由は何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。	
1. 保護者が家にいるから	2. 面倒をみてくれる人がいるから
3. 習事に行かせるから	4. 留守番ができるから
→①1人で留守番できる	
②きょううだいと留守番できる【きょううだい】の年齢()歳】	
5. 近くに1人で過ごせる施設があるから	6. まちどもへ参加できるから
7. その他()	

問 16 夏休み・冬休みなどの長期間休暇中に限り、学童保育クラブの利用希望はありますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	2. 全学年（1～6年生）で利用したい	3. 利用する必要はない
→利用したい時間帯()時から()時まで ※時間は24時間表記で記入		

→問 15-1は問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 17～2.5までは学童保育クラブを利用している方にお聞きします。

1. 日曜日・祝祭日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。	2. 全学年（1～6年生）で利用したい	3. 利用する必要はない
→()時までが適切だと思う。※時間は24時間表記で記入		

→問 15-2は問 15-1で「1. 必要がないから」に○をつけた方にうかがいます。

問 18 平日（授業のある日）の学童保育クラブの開所時間[※]について、あなたの考え方にもっとも近いものはどれですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 適切だと思う	2. 短いと思う【（ ）時までが適切だと思う】	3. わからない
→()時までが適切だと思う。または()時までが適切だと思う ※時間は24時間表記で記入		
※開所時間：学校の授業がある日は、下校時から18時まで。（延長18時～19時まで）		
問 19 学校休業日の学童保育クラブの開所時間 [※] について、あなたの考え方にもっとも近いものはどれですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。		
1. 適切だと思う	2. 短いと思う【（ ）時からが適切だと思う。または()時までが適切だと思う】	3. わからない
→()時までが適切だと思う。または()時までが適切だと思う ※時間は24時間表記で記入		

→問 15-3は問 15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 20 町田市の育成料（利用料金[※]）について、あなたの考え方にもっとも近いものはどれですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1.妥当と思う	2.もっと安くても良い	3.もっと高くても良い	4.低学年を高くしても良い	5.高学年を高くしても良い	6.その他()
→利用料金：月額9,000円。世帯の所得に応じた減額・免除の制度あり。					
問 21 通っている学童保育クラブの施設面で望むことはありますか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。					
1. 1. 妥当と思う	2. もっと安くても良い	3. 多い	4. 少ない	5. どちらでも良い	6. その他()
→問 15-3は問 15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。					
問 15-3 町田市の学童保育クラブでは、4歳以上の利用できません。あなたの考え方にもっとも近いのはどちらですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。					
1. 4歳生までは必要ない	2. 4歳生以上になれば、学童を利用したい	3. 4歳生までは必要ある	4. 5歳生までは必要ある	5. 6歳生までは必要ある	

→問 15-4は問 15-3で「1. 4歳生以上は必要ない」「2. 4歳生以上になれば、学童を利用しない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 必要がない理由は何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が家にいるから	2. 面倒をみてくれる人がいるから	3. 習事に行かせるから	4. 留守番ができるから	5. トイレや手洗いスペースを増やして欲しい	6. 図書や遊具を増やして欲しい	7. その他()
→利用料金：月額9,000円。世帯の所得に応じた減額・免除の制度あり。						
問 22 学童保育クラブで働く指導員に対して、あなたが一番求めたいことは何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。						
1. 保育士や幼稚園教諭、学校教諭などの資格を持つていること	2. 子どもや保護者一人ひとりと信頼関係を結べること	3. どの子どもに対しても公平な態度で接すること	4. 子どもの安全や健康にしっかりと気を配ること	5. 子どもの安全や社会性が身につくよう指揮できること	6. 遊びや体験活動における特技を持っていること	7. 子どもの意欲を引き出し、子ども主体の活動を支えること
8. 働きや勉強の面倒を見るること	9. その他()					

問23 学童保育クラブで、お子さんが安全・安心かつ健全に過ごすために必要なことは何だと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 十分な広いの育教室
2. 屋外で遊べる広いスペース（校庭、学校の体育館、学童保育クラブの壁など）
3. 横にならべて休むことができるスペース
4. 衛生的なトイレや手洗い場
5. 豊富な図書や道具
6. 大勢の友だち
7. その他（ ）

問24 現在、利用できる学童保育クラブは学校ごとに決まっていますが、自由に選べた方が良いですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 選べた方が良い
2. 今まで思い

問24-1 は問24で「1. 選べた方が良い」に○をついた方にうかがいます。

1. より自宅に近い学童保育クラブがあるから
2. 保護者の通勤経路に適わせたい学童保育クラブがあるから
3. 学童保育クラブ降所後に、習い事等に通うのが便利だから
4. その他（ ）

問25 学童保育クラブで「あつたらしいな」と思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 延長保育時間の延長実施（朝7時から、夜20時まで等）
2. 学校休業日の昼食の提供
3. 英語を始めとした学習支援サービス
4. 学童保育クラブ登録所のお知らせメールサービス
5. その他（ ）

子育て施策全般についてうかがいます。

問26 安心して子育てをするためには、地域の人どのように取り組みをする必要があると思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中のへや子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まりたがり遊びにする場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親が一緒にできる活動を増やす
6. 地域の人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や防犯の活動をする
8. その他（ ）
9. 特に必要ない

問27 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 子育てに関する情報提供
2. 子育てに関する相談体制の充実
3. 子どもが参加できるイベントや事業の充実
4. 子ども自身からの相談を受ける体制の充実
5. 子どもの意見を評議する場や機会の充実
6. 地域における子どもの居場所の充実
7. 正しい食生活を送るために、食に関する指導や情報提供
8. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
9. 母子の健康のための健診や訪問の充実
10. 発達に支障が必要な子どもと共に成長できるような障がい児施設
11. 子育てに係る費用負担に対する経済的支援
12. 子育てと仕事が両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動
13. 保護者同士がつながりを持てる機会の提供（ママ友・パパ友がつくれる場）
14. 犯罪や災害、交通事故から子どもを守るためにの取り組み
15. 子育て世帯が外出しやすいまちづくり
16. 保育所や認定こども園などの待機児童の解消
17. その他（ ）

問28 問27の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しかった）
と考えます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 欲しい（欲しかった）
2. 今の人数で満足している

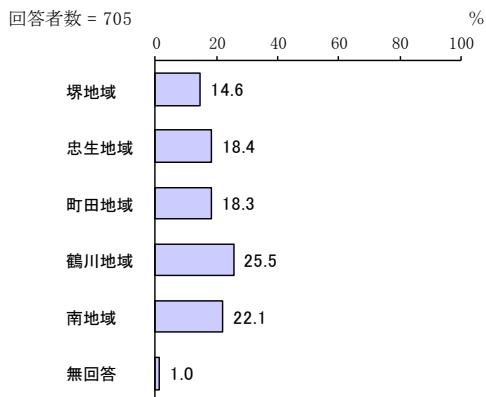
問29 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

3 小学校高学年保護者

(1) 家族の状況について

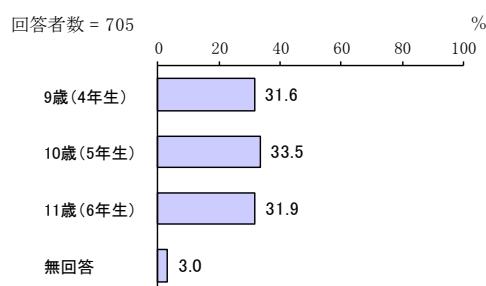
問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。() 内に数字でご記入ください。

「鶴川地域」の割合が25.5%と最も高く、次いで「南地域」の割合が22.1%、「忠生地域」の割合が18.4%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を() 内に数字でご記入ください。

「10歳（5年生）」の割合が33.5%と最も高く、次いで「11歳（6年生）」の割合が31.9%、「9歳（4年生）」の割合が31.6%となっています。

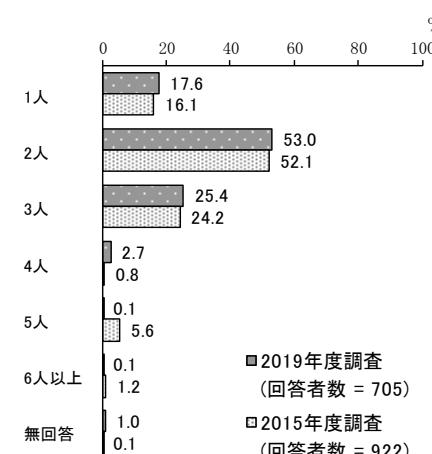


問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。2人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

ア 子どもの人数

「2人」の割合が53.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が25.4%、「1人」の割合が17.6%となっています。

2015年度調査と比較すると、「5人」の割合が減少しています。



【地域別】

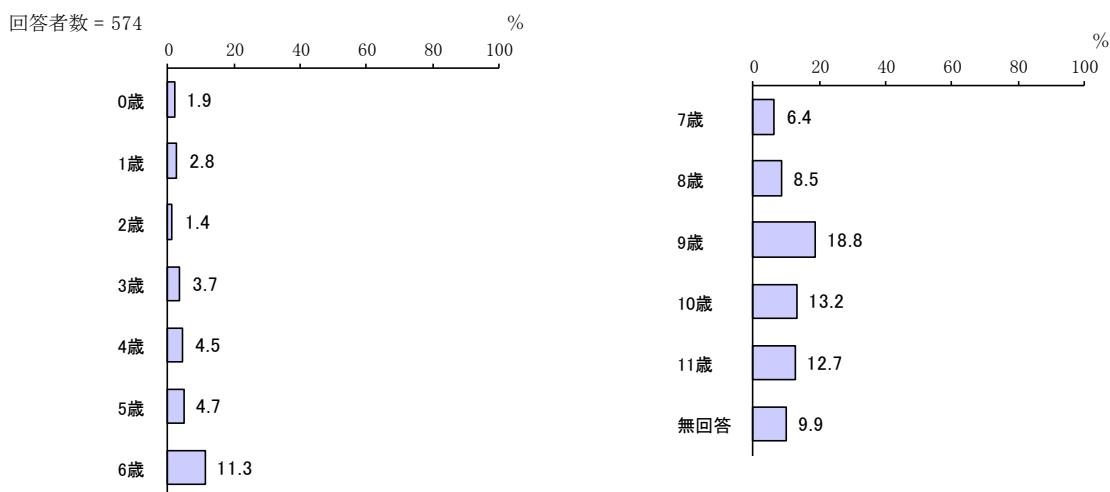
地域別でみると、他に比べ、堺地域で「3人」の割合が、南地域で「2人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	(件) 回答者 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	無 回答
堺地域	103	14.6	50.5	34.0	1.0	—	—	—
忠生地域	130	22.3	48.5	25.4	3.1	—	0.8	—
町田地域	129	18.6	52.7	24.0	3.9	0.8	—	—
鶴川地域	180	18.9	54.4	25.0	1.1	—	—	0.6
南地域	156	13.5	59.0	22.4	4.5	—	—	0.6

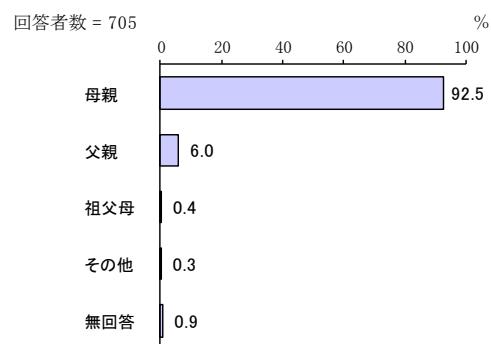
イ 末子の年齢

「9歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「10歳」の割合が13.2%、「11歳」の割合が12.7%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

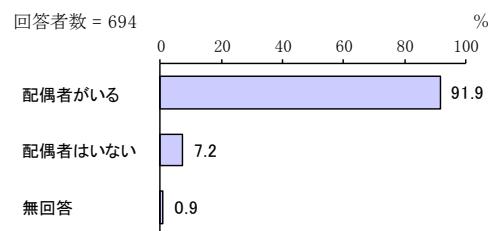
「母親」の割合が92.5%と最も高くなっています。



問4で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が91.9%、「配偶者はいない」の割合が7.2%となっています。

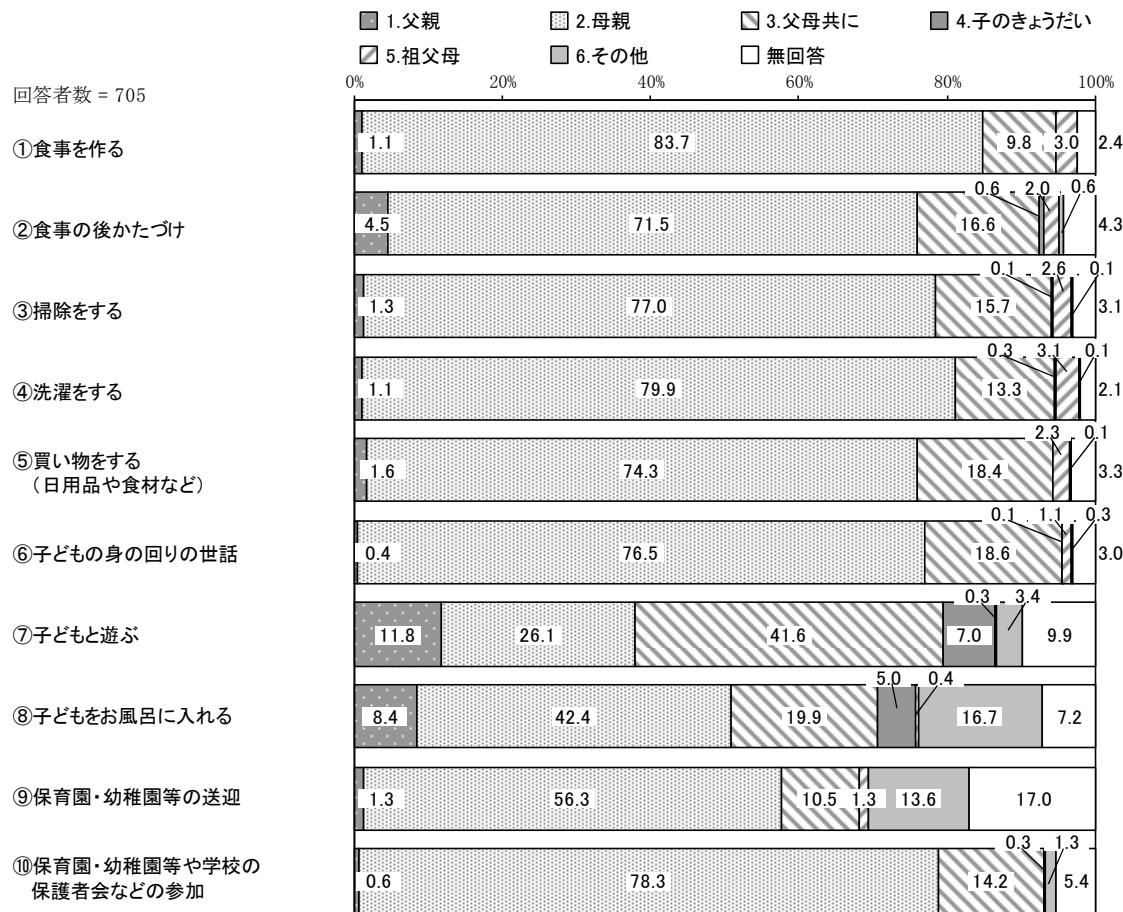


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

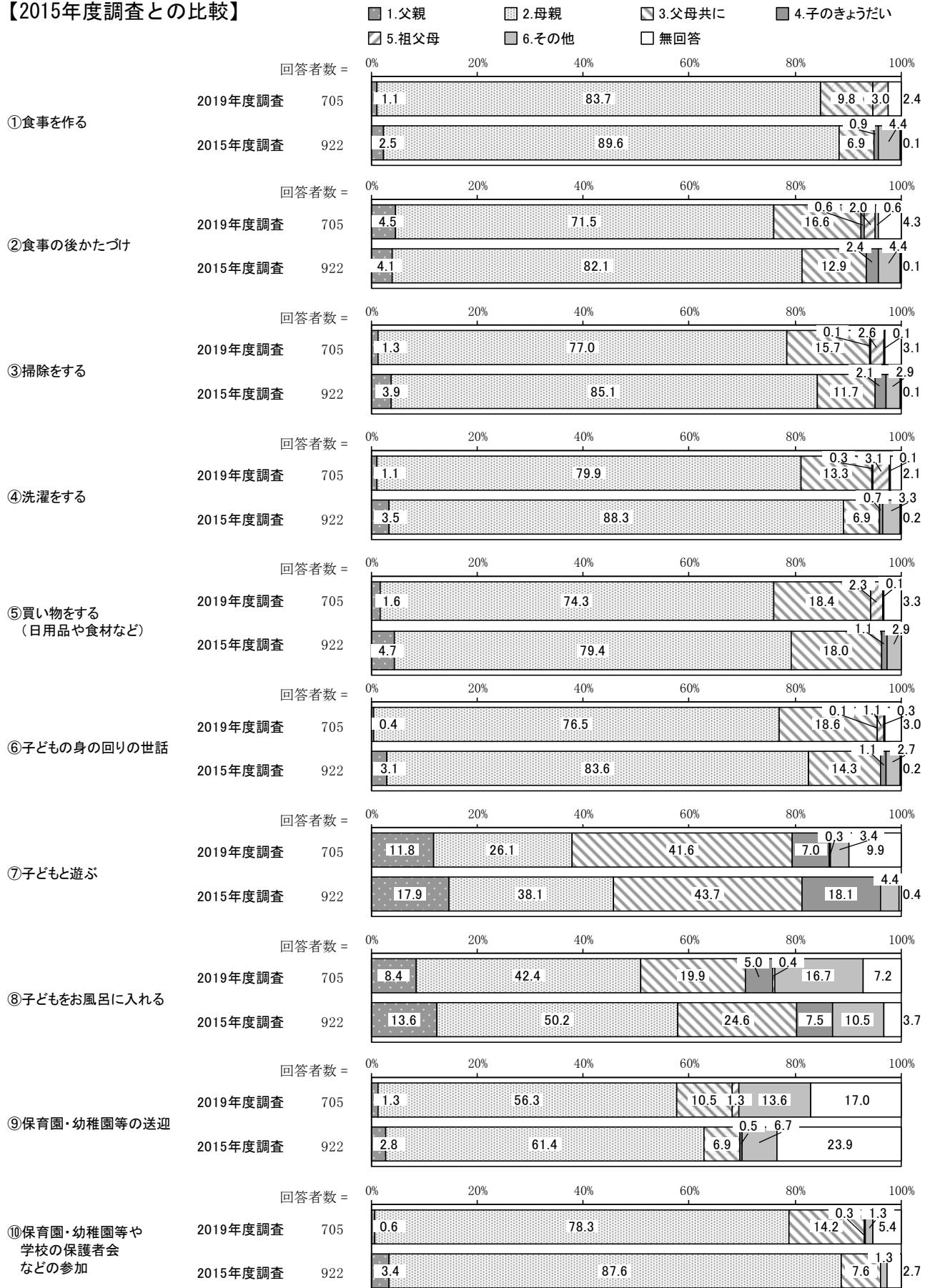
問6 家事や子育てを、主に行っている人は、お子さんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

『①食事を作る』で「2. 母親」の割合が、『⑦子どもと遊ぶ』で「3. 父母共に」の割合が高くなっています。

2015年度調査と比較すると、選択肢が一部異なるものの、『④洗濯をする』『⑩保育園・幼稚園等や学校の保護者会などの参加』では「3. 父母共に」の割合が増加しています。一方、『⑦子どもと遊ぶ』で「1. 父親」「4. 子のきょうだい」の割合が、『⑧子どもをお風呂に入れる』で「1. 父親」の割合が減少しています。また、すべての項目で「2. 母親」の割合が減少しています。



【2015年度調査との比較】



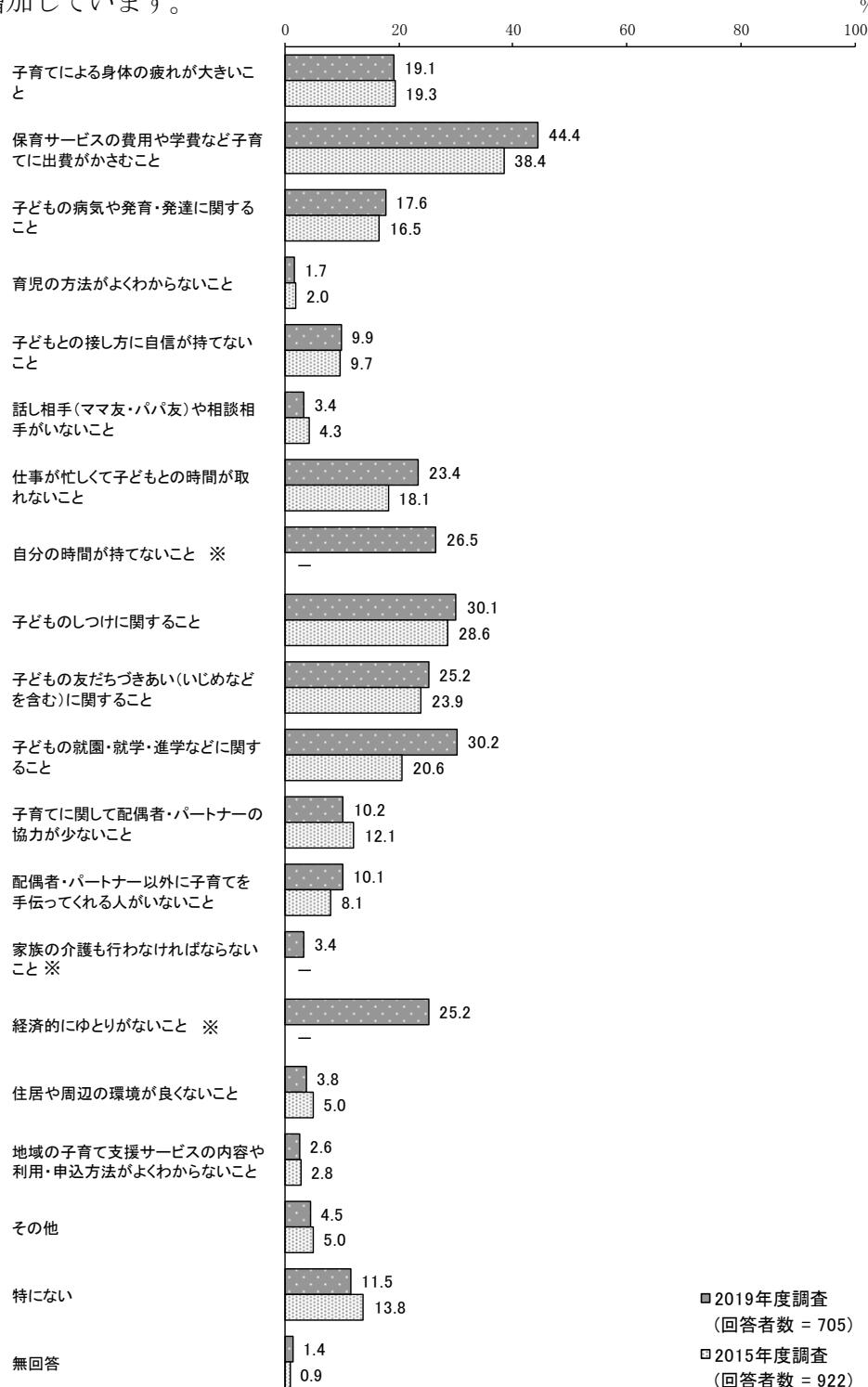
※2015年度調査では「5. 祖父母」の選択肢はありませんでした。

(3) 子育ての悩みについて

問7 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が44.4%と最も高く、次いで「子どもの就園・就学・進学などに関するここと」の割合が30.2%、「子どものしつけに関するここと」の割合が30.1%となっています。

2015年度調査と比較すると、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」「子どもの就園・就学・進学などに関するここと」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

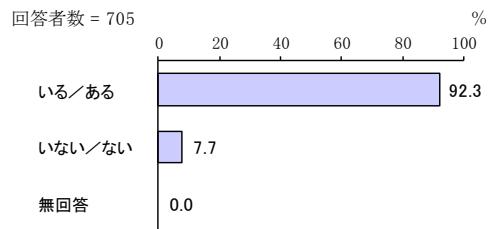
母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイム』で「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」の割合が高くなっています。また、『フルタイム』、『以前は就労していたが、現在は就労していない』で「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関するこ	子どものしつけに関するこ	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関するこ	子どもの就園・就学・進学などに関するこ	と育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこ	家族の介護も行わなければならぬこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからぬこと	その他	特にな	無回答	
フルタイム	191	24.6	42.9	15.2	2.1	7.3	3.1	53.9	38.7	31.4	23.0	29.8	6.3	7.9	2.6	27.7	5.2	2.6	4.7	8.4	2.1		
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	8	12.5	87.5	50.0	—	25.0	12.5	50.0	25.0	25.0	37.5	12.5	—	25.0	—	12.5	—	—	12.5	—	—	—	
パートタイム・アルバイトなど	343	14.9	46.1	14.9	0.9	9.0	1.5	14.9	25.1	29.7	23.6	31.2	13.4	10.2	3.5	25.7	2.9	1.7	4.1	12.0	1.2		
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
以前は就労していたが、現在は就労していない	133	21.8	40.6	23.3	3.0	14.3	6.0	3.8	15.8	30.8	31.6	30.8	10.5	13.5	3.8	20.3	4.5	3.8	6.0	12.8	0.8		
これまでに就労したことがない	18	16.7	44.4	22.2	—	16.7	11.1	—	11.1	33.3	33.3	27.8	—	5.6	5.6	27.8	5.6	5.6	—	16.7	—		

問8 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

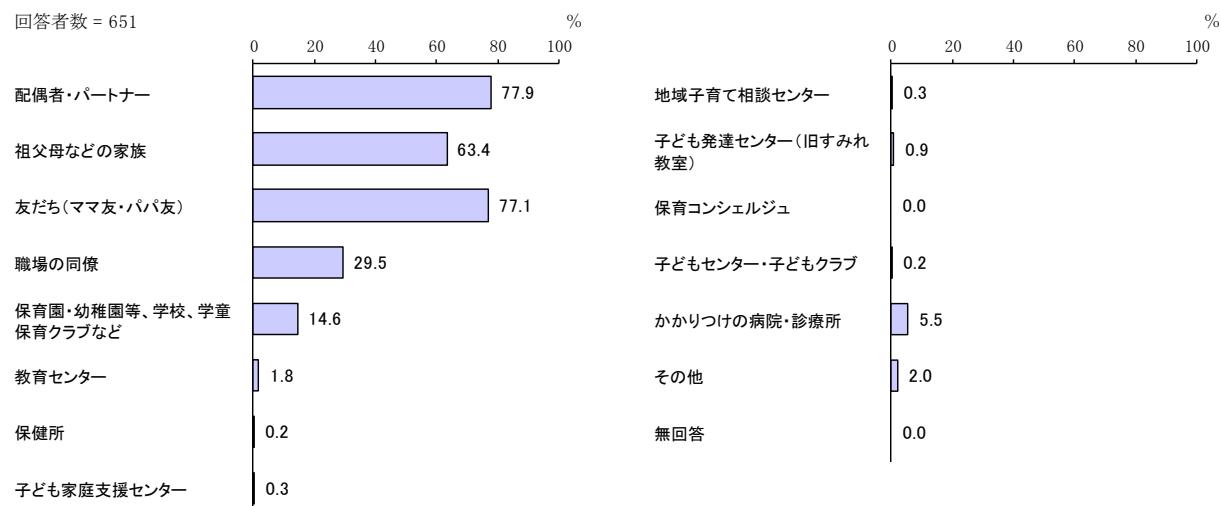
「いる／ある」の割合が92.3%、「いない／ない」の割合が7.7%となっています。



問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が77.9%と最も高く、次いで「友だち（ママ友・パパ友）」の割合が77.1%、「祖父母などの家族」の割合が63.4%となっています。



(4) 保護者の就労状況について

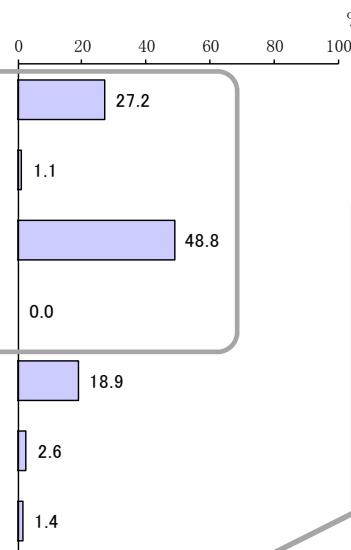
問9 現在の就労状況をお答えください。

母親では、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が48.8%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が27.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が18.9%となっています。

父親では、「フルタイム」の割合が90.3%と最も高くなっています。

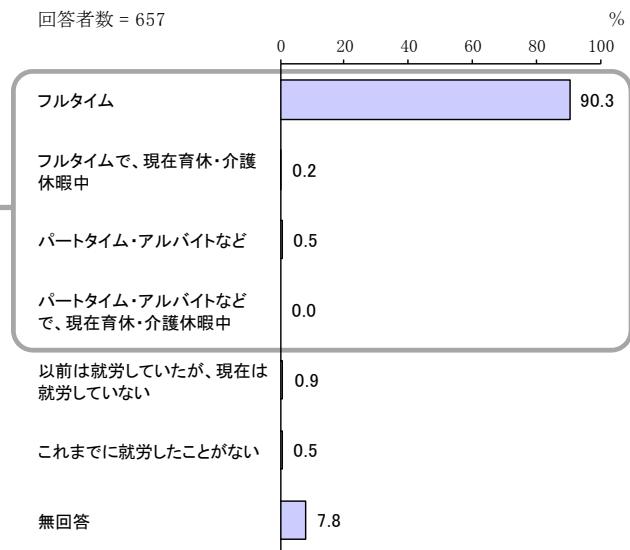
【母 親】

回答者数 = 703



【父 親】

回答者数 = 657



就労している人の就労状況

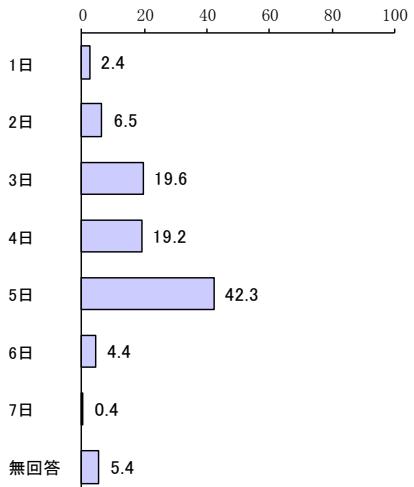
ア 1週当たり平均就労日数

母親では、「5日」の割合が42.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.6%、「4日」の割合が19.2%となっています。

父親では、「5日」の割合が75.5%と最も高く、次いで「6日」の割合が15.9%となっています。

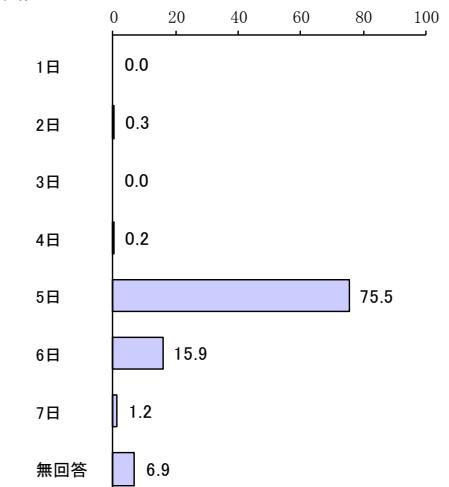
【母 親】

回答者数 = 542



【父 親】

回答者数 = 597

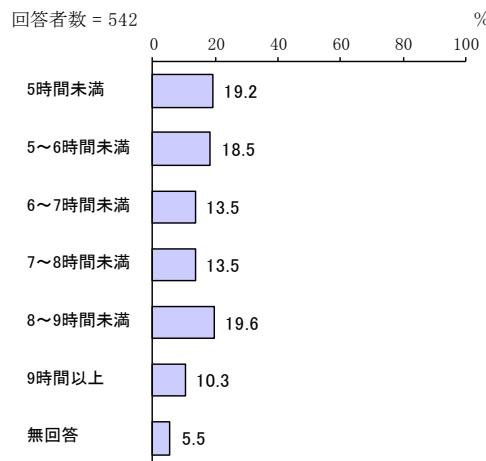


イ 1日当たり平均就労時間

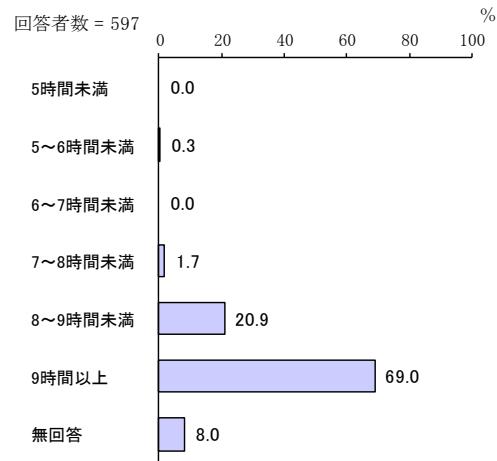
母親では、「8～9時間未満」の割合が19.6%と最も高く、次いで「5時間未満」の割合が19.2%、「5～6時間未満」の割合が18.5%となっています。

父親では、「9時間以上」の割合が69.0%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が20.9%となっています。

【母 親】



【父 親】

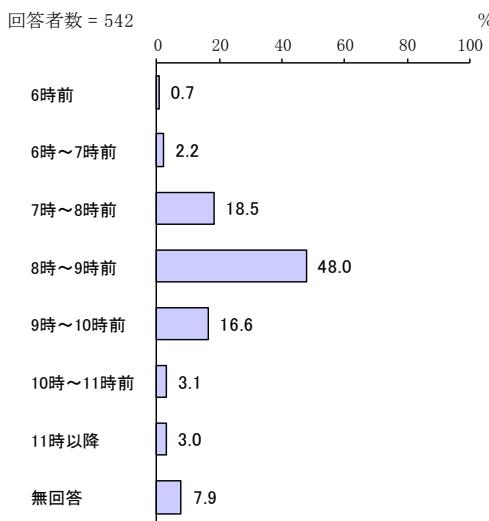


ウ 家を出る時間

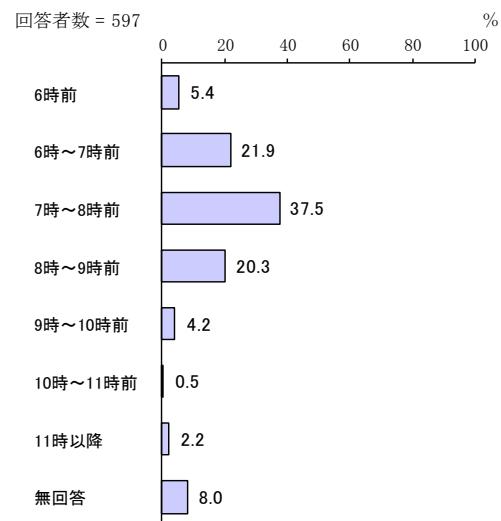
母親では、「8時～9時前」の割合が48.0%と最も高く、次いで「7時～8時前」の割合が18.5%、「9時～10時前」の割合が16.6%となっています。

父親では、「7時～8時前」の割合が37.5%と最も高く、次いで「6時～7時前」の割合が21.9%、「8時～9時前」の割合が20.3%となっています。

【母 親】



【父 親】

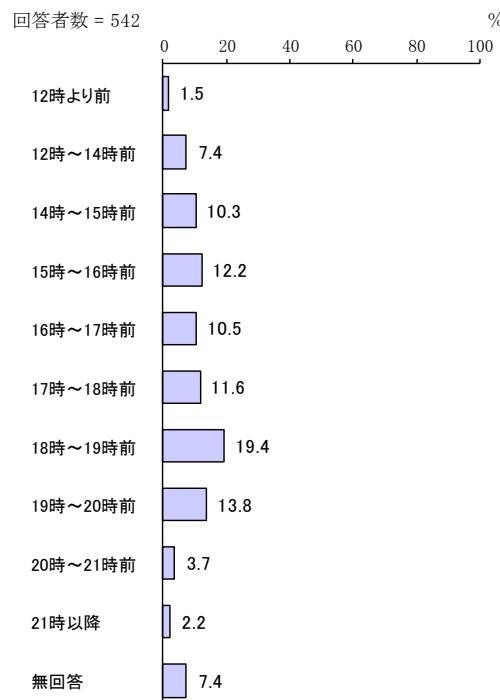


工 帰宅時間

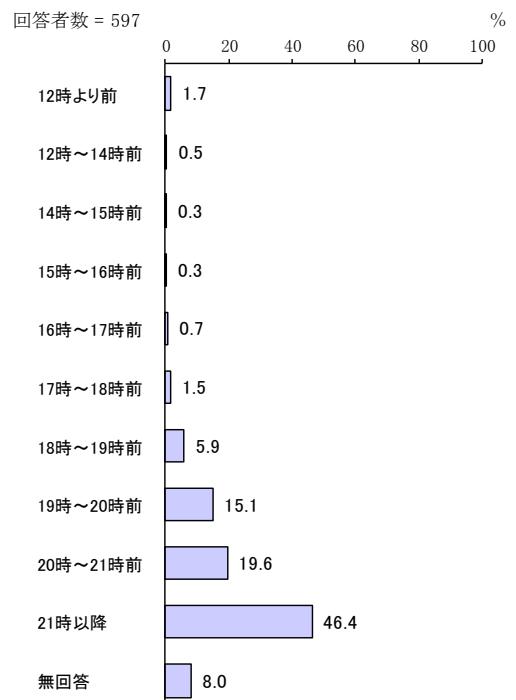
「18時～19時前」の割合が19.4%と最も高く、次いで「19時～20時前」の割合が13.8%、「15時～16時前」の割合が12.2%となっています。

父親では、「21時以降」の割合が46.4%と最も高く、次いで「20時～21時前」の割合が19.6%、「19時～20時前」の割合が15.1%となっています。

【母 親】



【父 親】



問9で「3.」または「4.」(パート・アルバイトなどで就労)に○をつけた方にうかがいます。

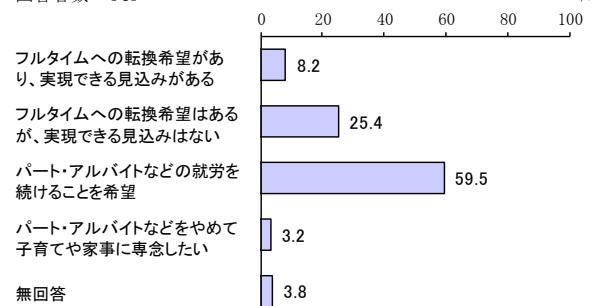
問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が59.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.4%となっています。

父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が1件となっています。

【母 親】

回答者数 = 343



問9-2は問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

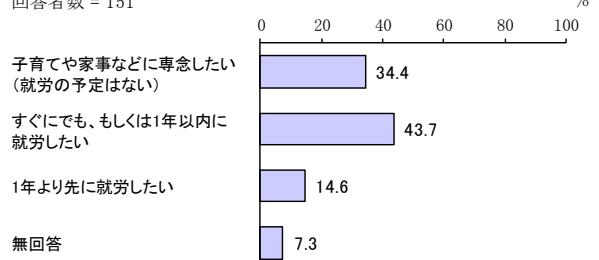
問9-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が43.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が34.4%、「1年より先に就労したい」の割合が14.6%となっています。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件となっています。

【母 親】

回答者数 = 151



1. 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人

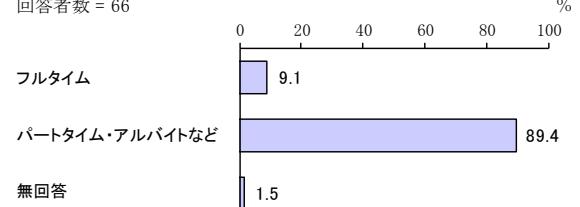
希望する就労形態

母親では、「フルタイム」の割合が9.1%、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が89.4%となっています。

父親では、「フルタイム」が3件となっています。

【母 親】

回答者数 = 66



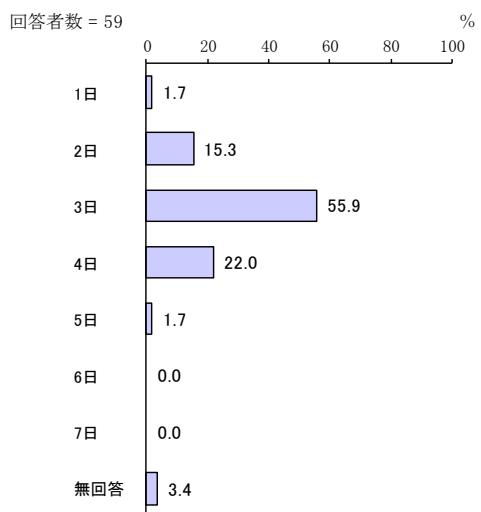
2. 「パートタイム・アルバイトなど」と回答した人

ア 1週当たりの就労希望日数

母親では、「3日」の割合が55.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が22.0%、「2日」の割合が15.3%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】

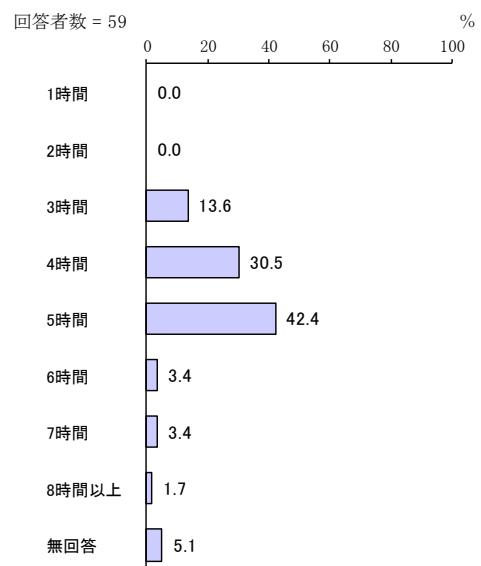


イ 1日当たりの就労希望時間

母親では、「5時間」の割合が42.4%と最も高く、次いで「4時間」の割合が30.5%、「3時間」の割合が13.6%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



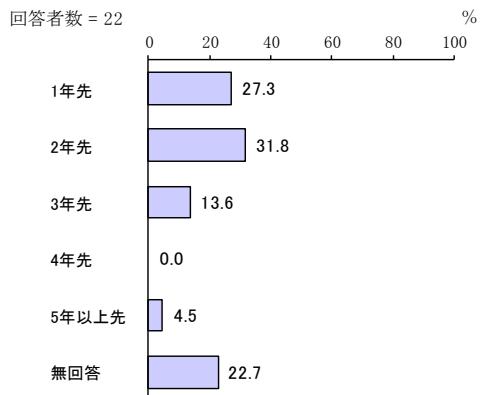
3. 「1年より先に就労したい」と回答した人

何年後に就労したいか

母親では、「2年先」の割合が31.8%と最も高く、次いで「1年先」の割合が27.3%、「3年先」の割合が13.6%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

【母 親】



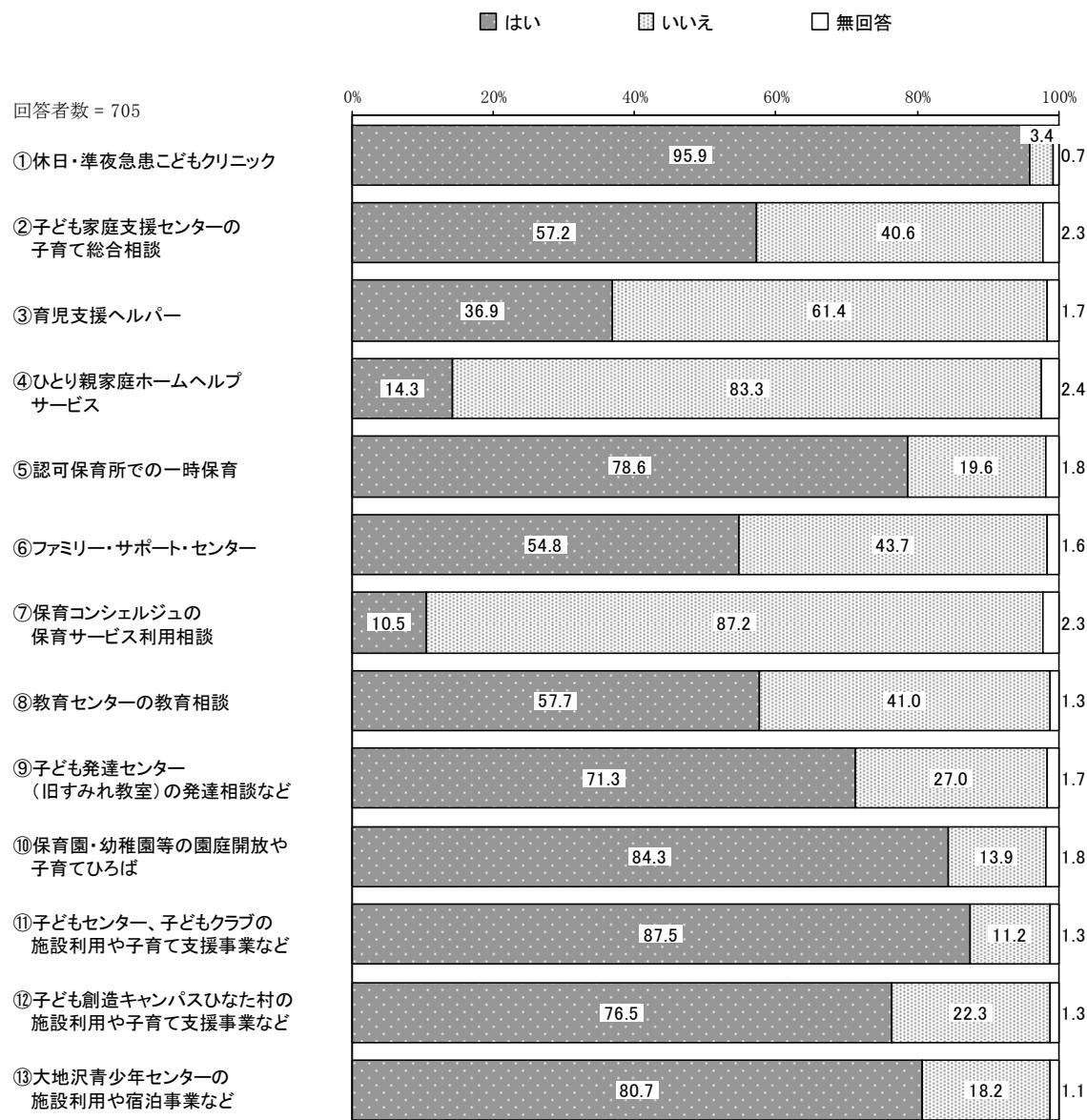
(5) 子育て支援事業の利用状況について

問10 下記のサービスを知っている、または、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

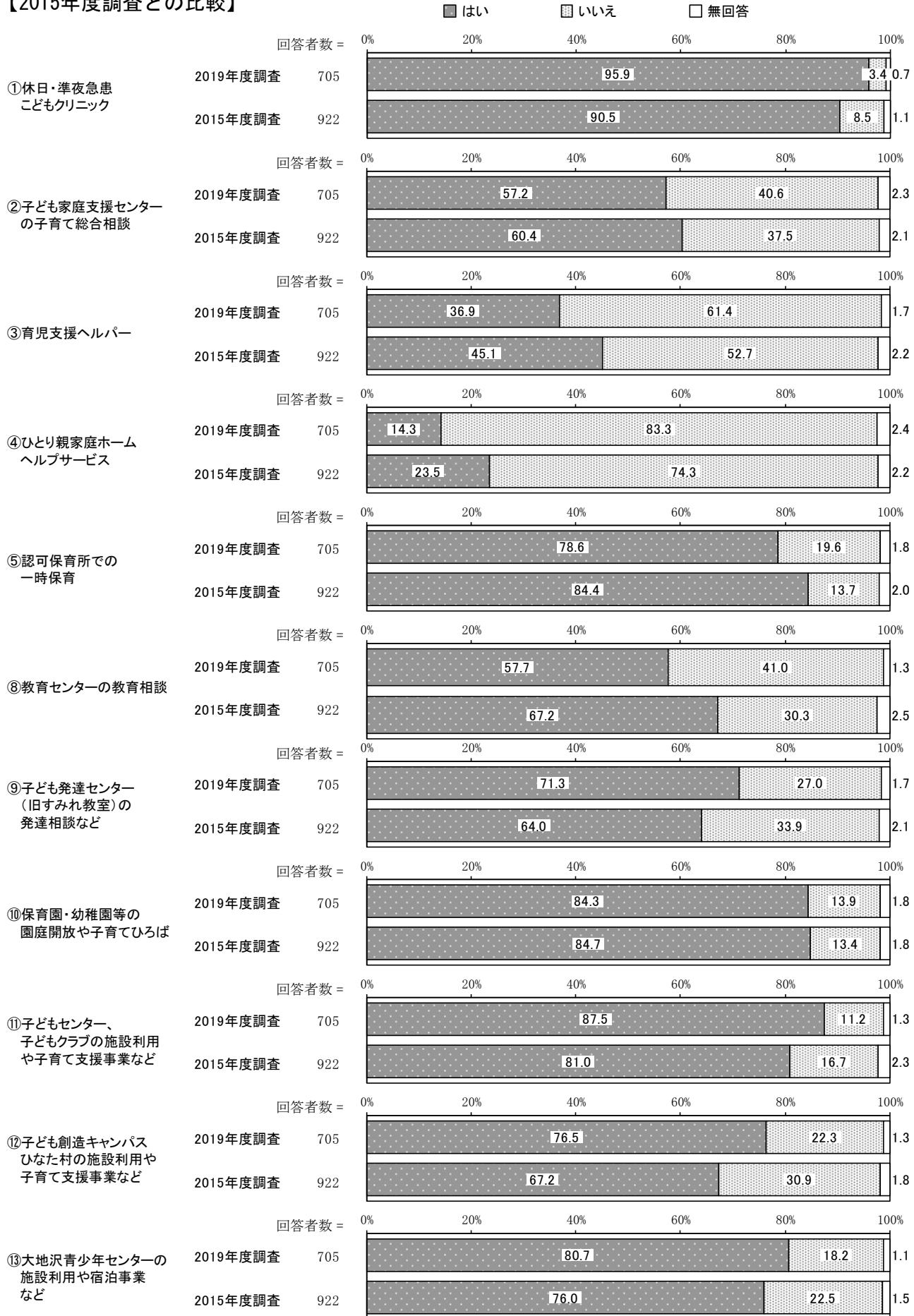
【A 認知度】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が9割半ばと高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』で「いいえ」の割合が8割を超える、高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談など』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加しています。一方、『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑤認可保育所での一時保育』『⑧教育センターの教育相談』で「はい」の割合が減少しています。



【2015年度調査との比較】

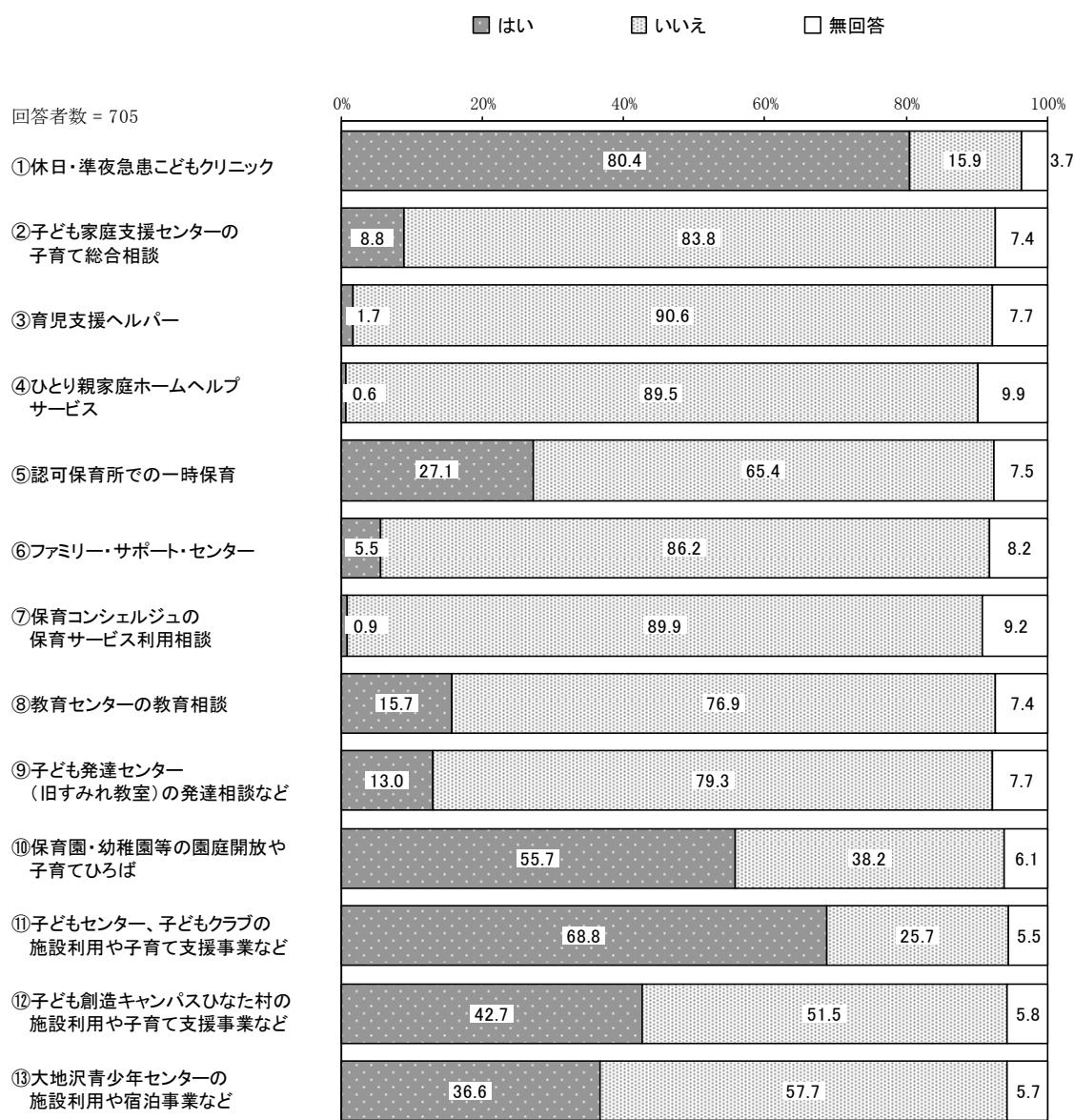


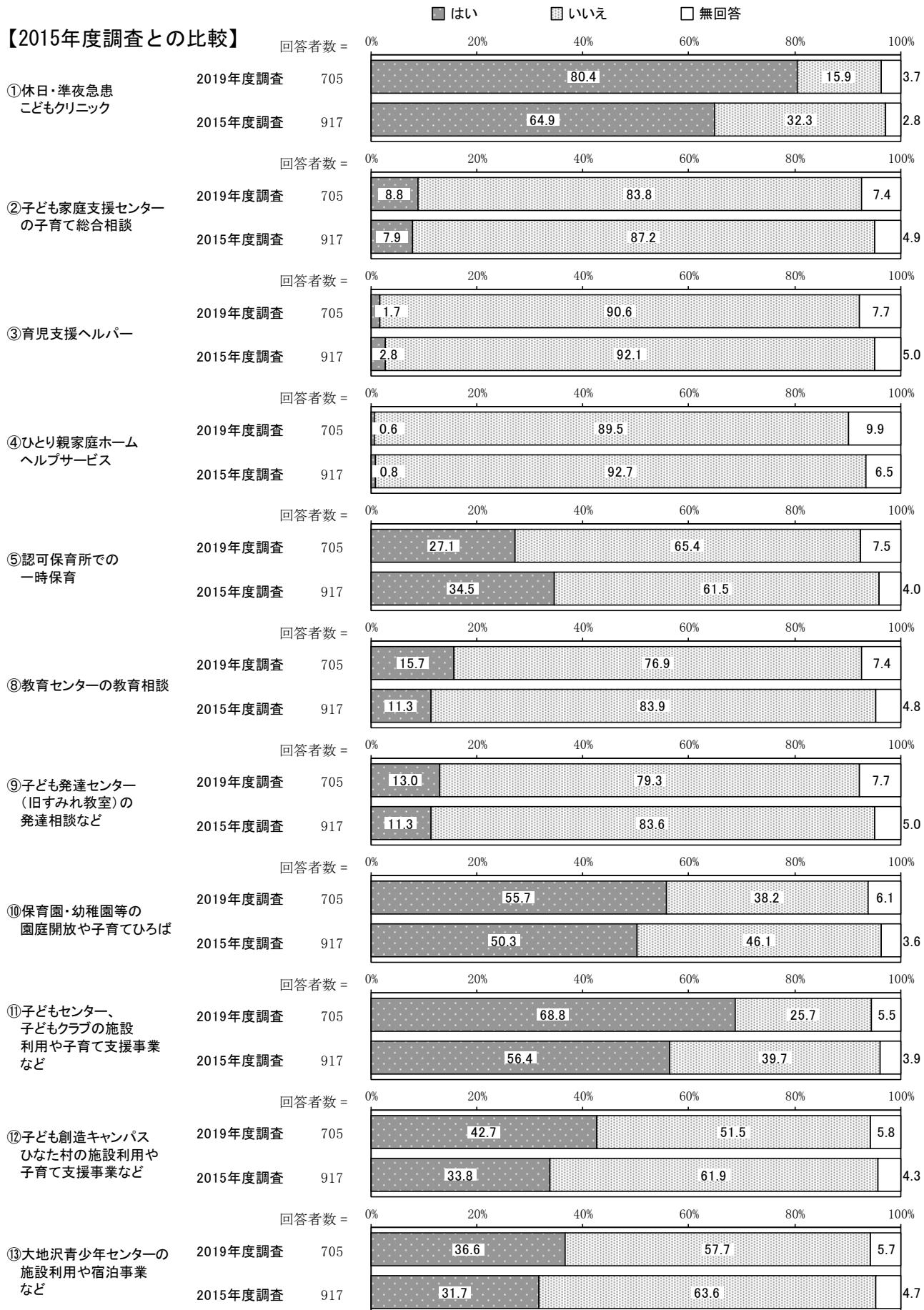
※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

【B 利用状況】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が約8割と高くなっています。また、『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』で「いいえ」の割合が約9割と高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』で「はい」の割合が増加しています。一方、『⑤認可保育所での一時保育』で「はい」の割合が減少しています。



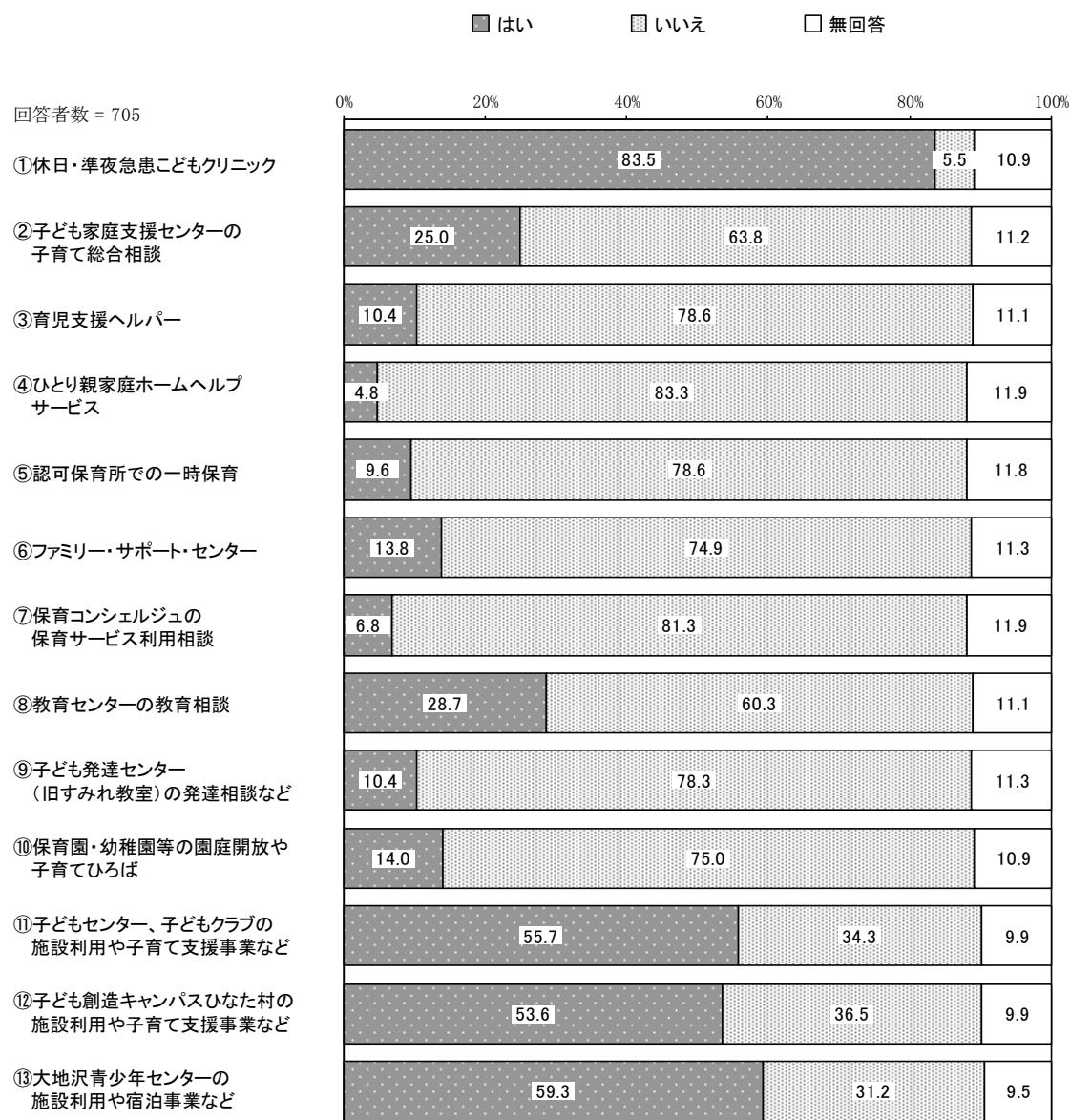


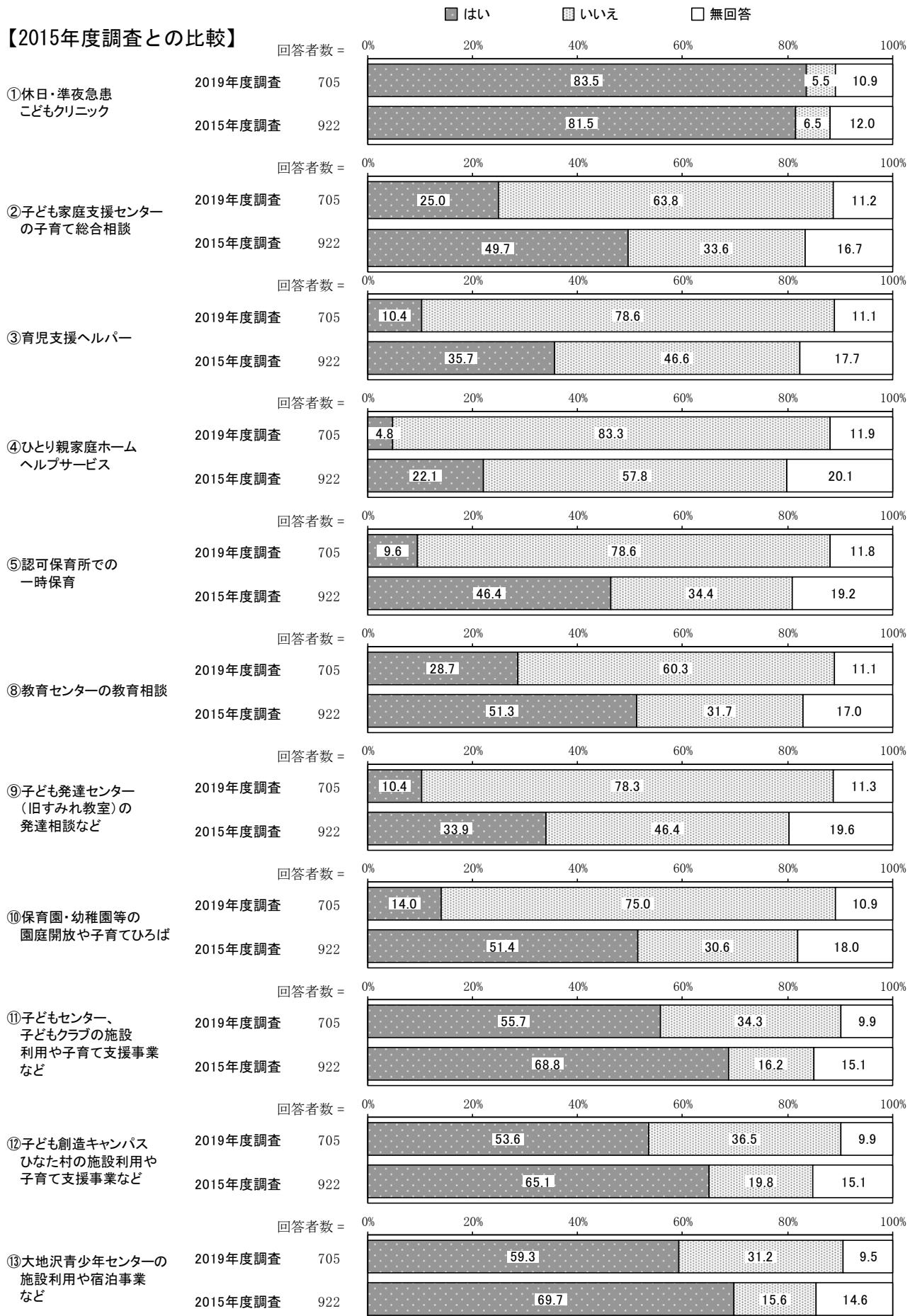
※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

【C 利用意向】

『①休日・準夜急患こどもクリニック』で「はい」の割合が8割を超え高くなっています。また、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』で「いいえ」の割合が8割を超えて高くなっています。

2015年度調査と比較すると、『①休日・準夜急患こどもクリニック』を除いた項目で「はい」の割合が減少しています。

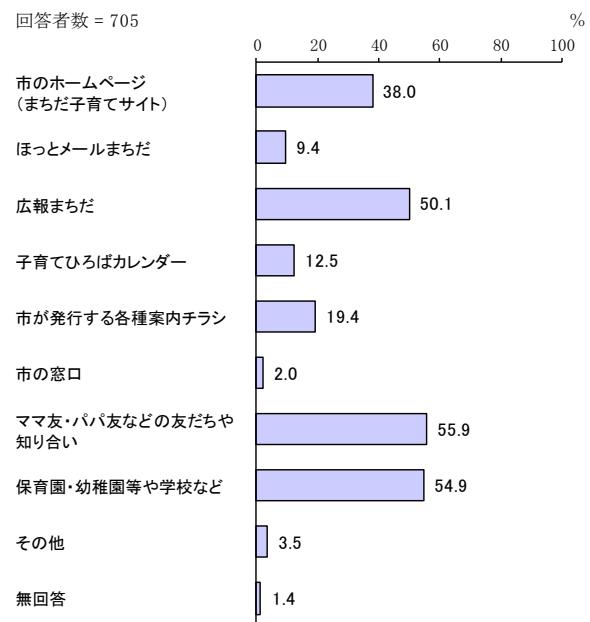




※『⑥ファミリー・サポート・センター』、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は2019年度調査から新たに追加し、比較ができないため項目を除いています。

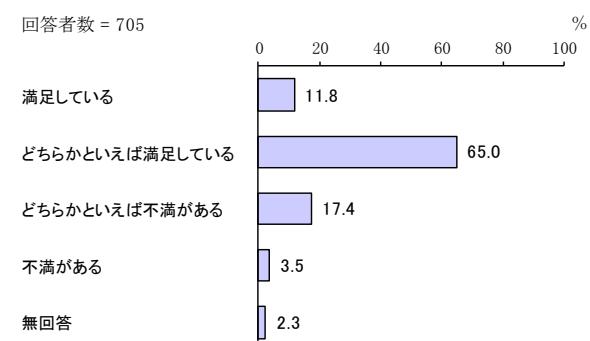
問11 子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い」の割合が55.9%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園等や学校など」の割合が54.9%、「広報まちだ」の割合が50.1%となっています。



問12 子育て支援サービスの情報に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

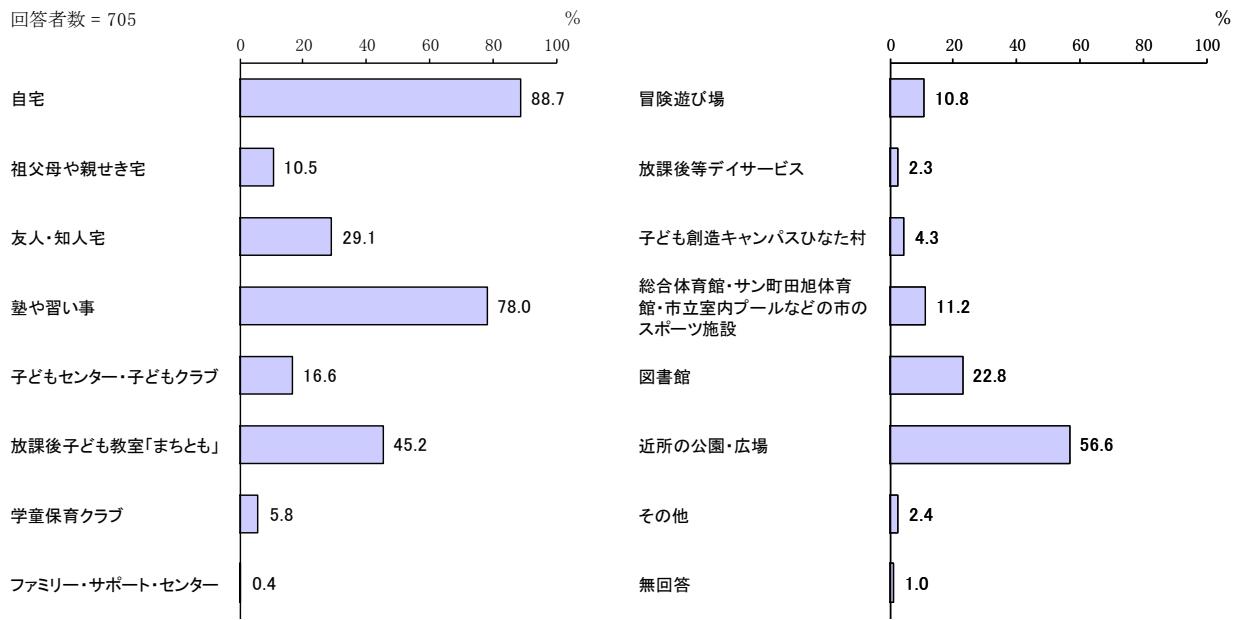
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が76.8%、「どちらかといえば不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が20.9%となっています。



(6) 放課後の過ごし方について

問13 小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか、また、過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。

「自宅」の割合が88.7%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が78.0%、「近所の公園・広場」の割合が56.6%となっています。



ア 過ごしている場所【実際の場所】

1週あたりの利用希望日数をみると、『③友人・知人宅』で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
①自宅	625	14.6	21.1	14.9	12.6	27.0	1.6	5.3	2.9
②祖父母や親せき宅	74	39.2	10.8	6.8	1.4	20.3	-	-	21.6
③友人・知人宅	205	60.0	20.5	3.9	1.0	0.5	-	-	14.1
④塾や習い事	550	20.0	30.2	25.8	13.3	5.6	0.5	0.2	4.4
⑤子どもセンター・子どもクラブ	117	28.2	5.1	4.3	-	-	-	-	62.4
⑥放課後子ども教室「まちとも」	319	29.2	8.2	4.1	2.5	3.8	-	-	52.4
⑦学童保育クラブ	41	2.4	7.3	2.4	2.4	2.4	-	-	82.9
⑧ファミリー・サポート・センター	3	-	-	-	-	-	-	-	100.0
⑨冒険遊び場	76	11.8	2.6	-	-	-	-	-	85.5
⑩放課後等デイサービス	16	25.0	18.8	-	-	6.3	-	-	50.0
⑪子ども創造キャンパスひなた村	30	6.7	-	-	-	-	-	-	93.3
⑫総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設	79	12.7	-	-	1.3	-	-	-	86.1
⑬図書館	161	15.5	1.9	-	-	-	-	-	82.6
⑭近所の公園・広場	399	29.8	21.6	8.5	6.8	4.5	0.3	0.3	28.3
⑮その他	17	5.9	23.5	5.9	5.9	17.6	5.9	-	35.3

イ 過ごさせたい場所【希望の場所】

1週あたりの利用希望日数をみると、『⑫総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設』で「1日」の割合が高くなっています。

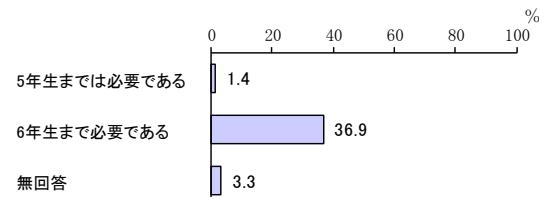
単位：%

区分	(件) 回答者 数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
①自宅	625	12.0	14.2	11.7	3.0	9.9	1.1	2.2	45.8
②祖父母や親せき宅	74	28.4	16.2	5.4	1.4	10.8	—	1.4	36.5
③友人・知人宅	205	41.0	12.2	3.4	—	—	—	—	43.4
④塾や習い事	550	12.0	22.4	16.0	7.1	2.4	0.5	—	39.6
⑤子どもセンター・子どもクラブ	117	49.6	17.1	8.5	2.6	2.6	—	—	19.7
⑥放課後子ども教室「まちとも」	319	34.2	24.1	15.4	5.6	6.3	0.3	—	14.1
⑦学童保育クラブ	41	9.8	17.1	17.1	7.3	34.1	—	—	14.6
⑧ファミリー・サポート・センター	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—
⑨冒険遊び場	76	72.4	14.5	6.6	—	1.3	—	—	5.3
⑩放課後等デイサービス	16	25.0	56.3	—	—	6.3	—	—	12.5
⑪子ども創造キャンパスひなた村	30	66.7	13.3	6.7	—	3.3	—	—	10.0
⑫総合体育館・サン町田旭体育館・ 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	79	77.2	13.9	—	2.5	2.5	—	—	3.8
⑬図書館	161	70.2	14.9	5.0	—	1.2	—	—	8.7
⑭近所の公園・広場	399	27.3	22.6	15.8	4.8	7.3	0.3	—	22.1
⑮その他	17	11.8	11.8	11.8	—	11.8	—	—	52.9

(7) 学童保育クラブについて

問14 町田市の学童保育クラブでは、4年生以上の利用ができません。あなたのお考えに
もっとも近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「6年生まで必要である」の割合が36.9%と最も高く、次いで「4年生以上になれば、学童を利用しない」の割合が22.0%、「4年生までは必要である」の割合が18.7%となっています。



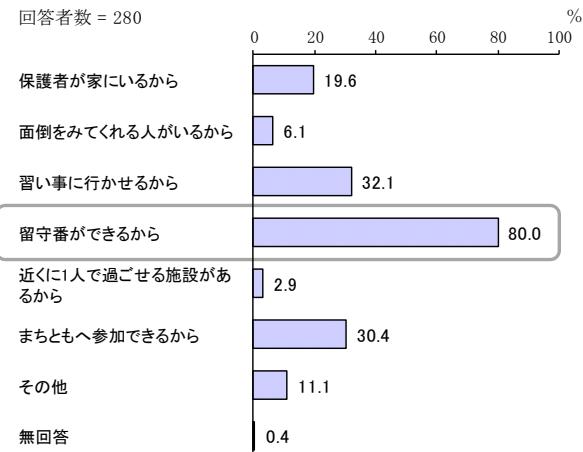
問14で「1. 4年生以上は必要ない」「2. 4年生以上になれば、学童を利用しない」に○をついた方にうかがいます。

問14-1 必要がない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「留守番ができるから」の割合が80.0%と最も高く、次いで「習い事に行かせるから」の割合が32.1%、「まちともへ参加できるから」の割合が30.4%となっています。

【その他の主な意見】

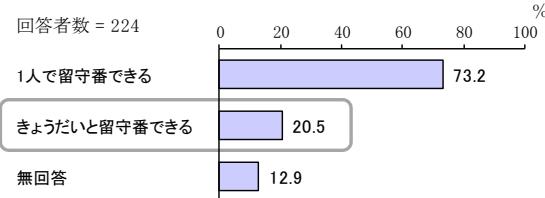
- ・友だちと外で遊ぶことが増えた（15件）
- ・本人が望まない（9件）
- ・長期休暇の一時利用ができれば大変助かる（3件）
- ・6時間になり下校が遅いため（3件） 等



「留守番ができるから」と回答した人

誰と留守番できるか

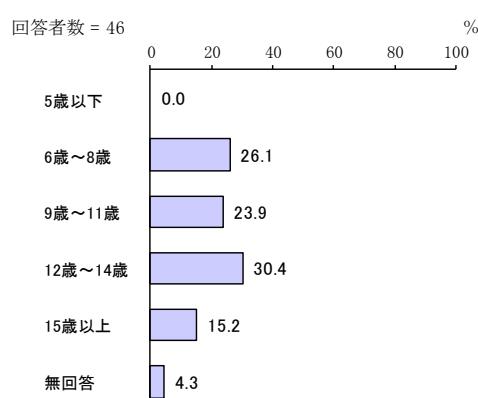
「1人で留守番できる」の割合が73.2%、「きょうだいと留守番できる」の割合が20.5%となっています。



「きょうだいと留守番できる」と回答した人

きょうだいの年齢

「12歳～14歳」の割合が30.4%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が26.1%、「9歳～11歳」の割合が23.9%となっています。

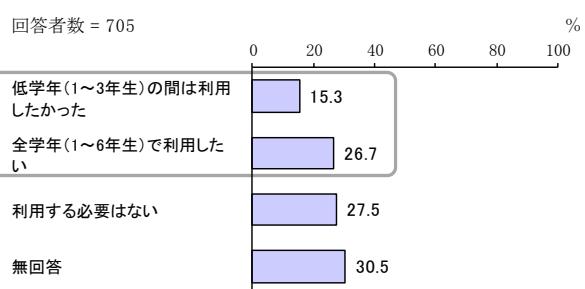


学童保育クラブを今まで利用していない方にうかがいます。

※学童保育クラブを利用している方も回答している場合があります。

問15 夏休み・冬休みなどの長期休暇中に限り、学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が27.5%と最も高く、次いで「全学年(1~6年生)で利用したい」の割合が26.7%、「低学年(1~3年生)の間は利用したかった」の割合が15.3%となっています。



「低学年(1~3年生)の間は利用したかった」「全学年(1~6年生)で利用したかった」と回答した人

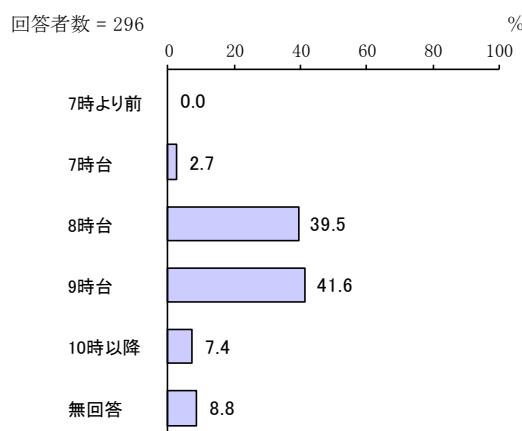
ア 希望利用開始時刻

「9時台」の割合が41.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が39.5%となっています。

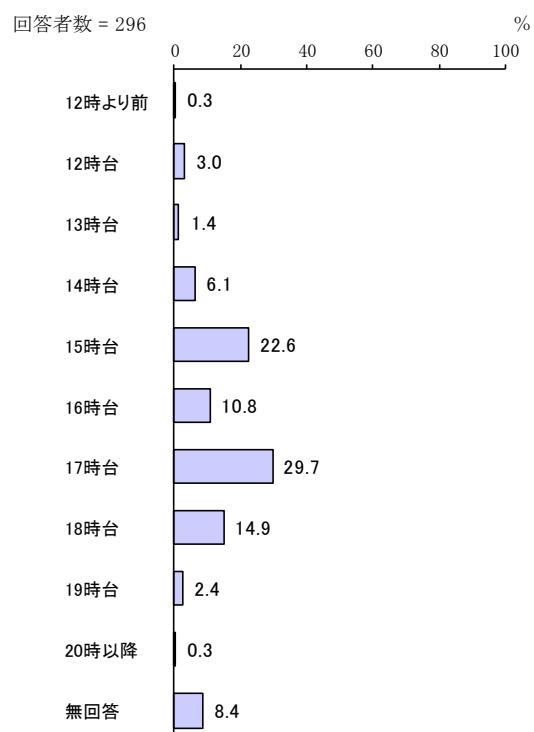
イ 希望利用終了時刻

「17時台」の割合が29.7%と最も高く、次いで「15時台」の割合が22.6%、「18時台」の割合が14.9%となっています。

【希望利用開始時刻】



【希望利用終了時刻】

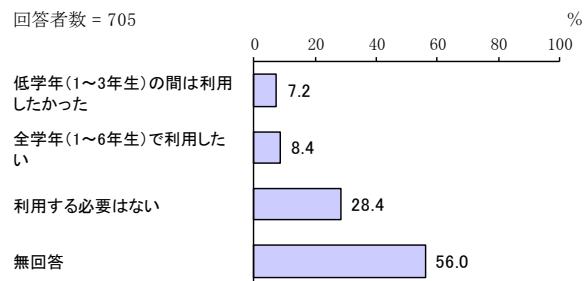


問16～20までは学童保育クラブを利用していた方にうかがいます。

※学童保育クラブを利用していない方も回答している場合があります。

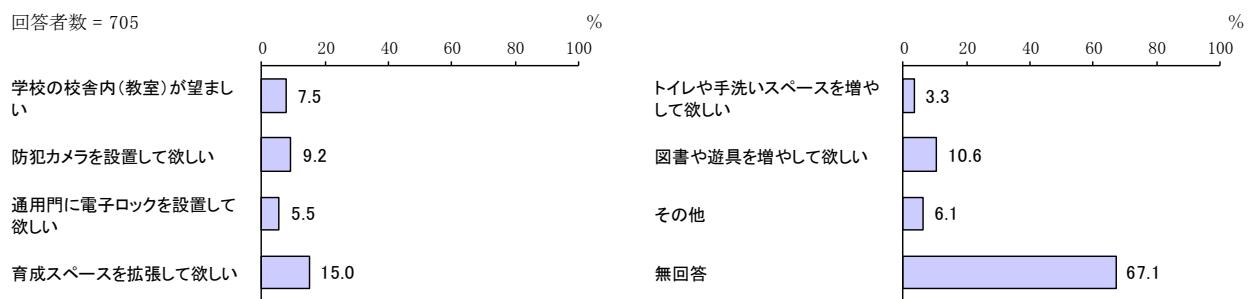
問16 日曜日・祝祭日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が28.4%と最も高くなっています。



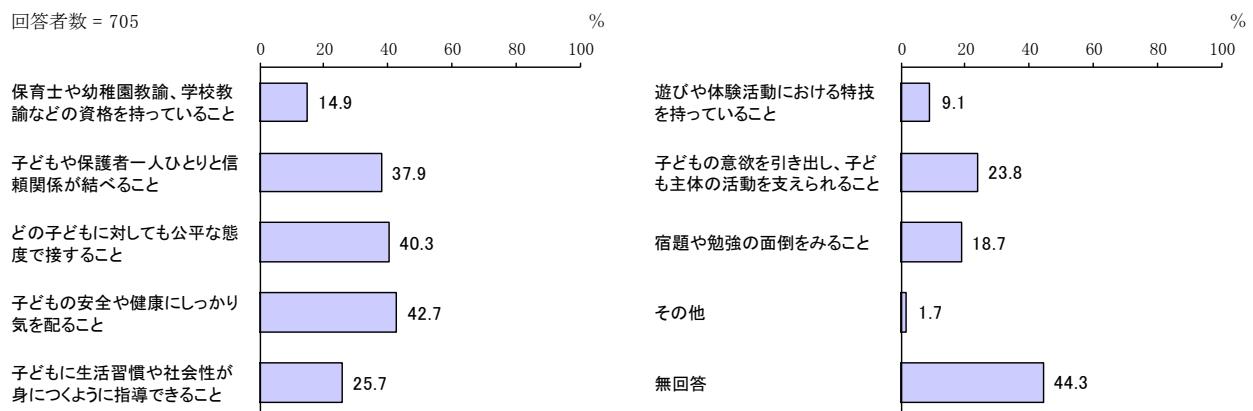
問17 通っていた学童保育クラブの施設面で望むことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「育成スペースを拡張して欲しい」の割合が15.0%と最も高く、次いで「図書や遊具を増やして欲しい」の割合が10.6%となっています。



問18 学童保育クラブで働く指導員に対して、あなたが一番求めたいことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

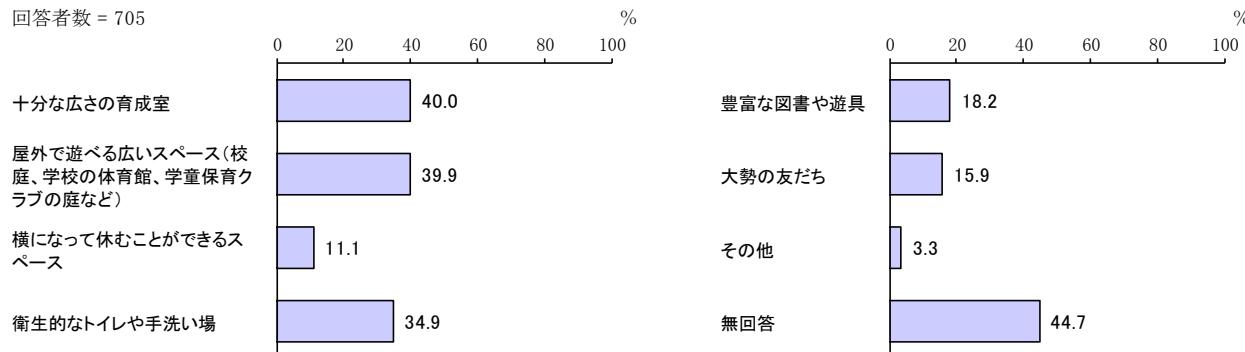
「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」の割合が42.7%と最も高く、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」の割合が40.3%、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」の割合が37.9%となっています。



問19 学童保育クラブで、お子さんが安全、安心かつ健全に過ごすために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「十分な広さの育成室」の割合が40.0%と最も高く、次いで「屋外で遊べる広いスペース（校庭、学校の体育館、学童保育クラブの庭など）」の割合が39.9%、「衛生的なトイレや手洗い場」の割合が34.9%となっています。

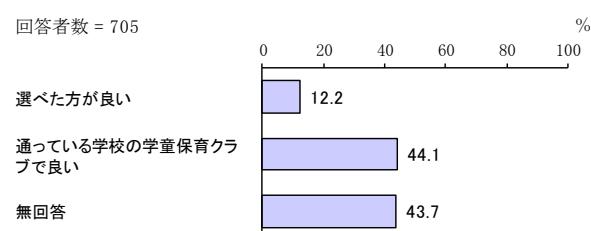
回答者数 = 705



問20 学童保育クラブを高学年で実施した場合、利用する学童保育クラブは自由に選べた方が良いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「選べた方が良い」の割合が12.2%、「通っている学校の学童保育クラブで良い」の割合が44.1%となっています。

回答者数 = 705

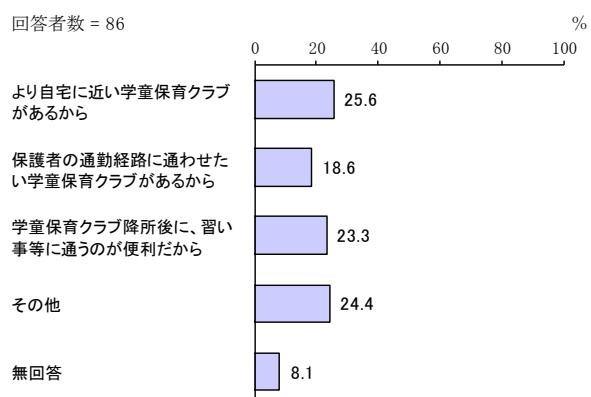


問20で「1. 選べた方が良い」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 その理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「より自宅に近い学童保育クラブがあるから」の割合が25.6%と最も高く、次いで「学童保育クラブ降所後に、習い事等に通うのが便利だから」の割合が23.3%、「保護者の通勤経路に通わせたい学童保育クラブがあるから」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 86



【他の主な意見】

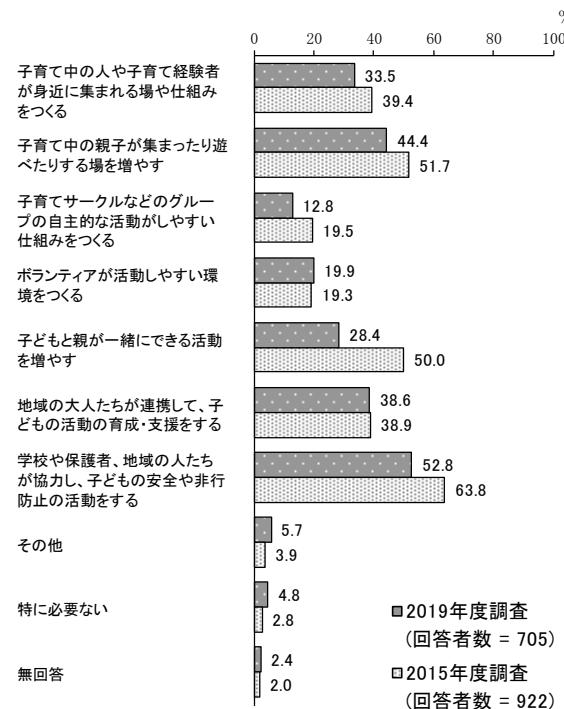
- ・それぞれの家庭のニーズに答えられたほうが良いと思うから（8件）
- ・本人が希望したところに行かせたい（7件）
- ・学友関係でトラブルがある場合（3件） 等

(8) 子育て施策全般について

問21 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取り組みをする必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

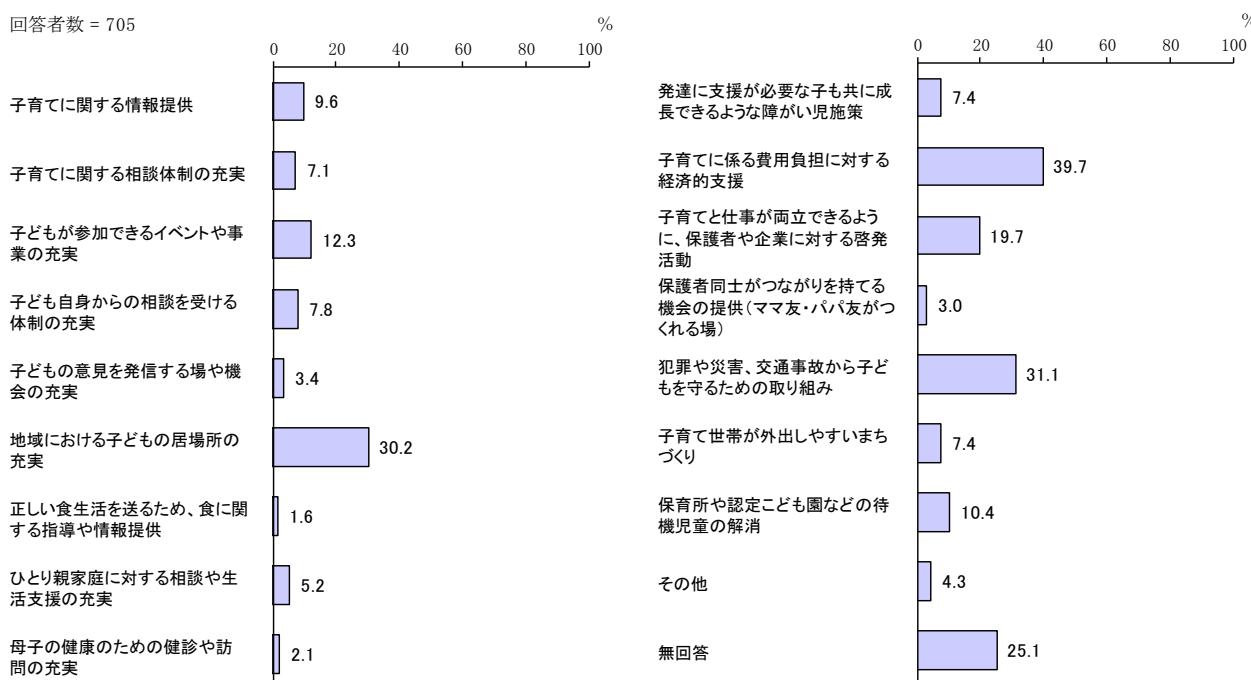
「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が52.8%と最も高く、次いで「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」の割合が44.4%、「地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする」の割合が38.6%となっています。

2015年度調査と比較すると、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が減少しています。



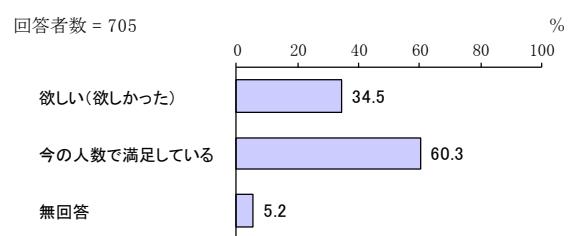
問22 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が39.7%と最も高く、次いで「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取り組み」の割合が31.1%、「地域における子どもの居場所の充実」の割合が30.2%となっています。



問23 問22の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しかった）と考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「欲しい（欲しかった）」の割合が34.5%、「今の人数で満足している」の割合が60.3%となっています。



【子どもの人数別】

子どもの人数別でみると、他に比べ、1人で「欲しい（欲しかった）」の割合が高くなっています。また、3人で「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲しかった)	今 の 人 数 で 満 足 し て い る	無回答
1人	124	58.9	35.5	5.6
2人	374	32.9	61.2	5.9
3人	179	22.3	74.3	3.4
4人	19	36.8	57.9	5.3
5人	1	—	100.0	—
6人以上	1	—	—	100.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、全区分で「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数 (件)	欲しい (欲しかった)	今 の 人 数 で 満 足 し て い る	無回答
フルタイム	191	37.2	57.6	5.2
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	8	37.5	62.5	—
パートタイム・アルバイトなど	343	35.3	60.6	4.1
パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	133	29.3	61.7	9.0
これまでに就労したことがない	18	27.8	66.7	5.6

問24 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

アンケート調査票の自由記述欄において、205人の方から、計280件の意見を寄せていいただきました。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	
(1) 保育園・幼稚園等の対応・受入れ（利用条件）について	2
主な意見 ・フルタイムで働く人だけが保育園を利用できる事に長年納得できない。 ・一時保育は登録したが、用意する物が多すぎて気軽に利用できず、一度も利用しなかった。	
(3) 保育園・幼稚園等の利用料について	6
主な意見 ・3人目を入園させたが、年が離れているため、1人目扱いになるのはおかしい。上の子に学費がかかるので、子の人数で公平にして欲しかった。 など	
(5) 待機児童（施設整備）について	3
主な意見 ・待機児童が解消されないので保育料の無料化は不公平。 ・すでに成人している子どものころに比べると、手厚くなっていると感じる。これから子育てる方のために、保育園など、どこの地域でも困らないような対策が必要だと思う。 など	
2. 小学校就学後の生活について	
(1) 小学校（通学路含む）について	22
主な意見 ・学校と市と教育委員会の連絡がもっとつながっているとよい。 ・家庭の経済的理由で、塾に行けない子どもたちが多いと思うので、学校のシステムを変えるべきだと思う。レベルの低いクラス（算数）は設けてあるのに、レベルの高いクラスはないので、理解が早い子どもはどんどん先に進める（応用をやらせる）クラスがあつても良いと思う。 ・PTA活動や、学童保育クラブの父母会活動（イベント企画や運営など）が重すぎて、子育てと仕事の両立に影響を及ぼしている。最低限、子どもたちが安心・安全・衛生的な生活を送るためのベースを整えることが一番大事であり、過度なイベントや遊びを大人が与えすぎることには、疑問を感じる。 ・学校によって教育に差がある。人数が多すぎて先生が対応出来ていない。もっと教育に力を入れてほしい。習い事をしていないと、学校の教育だけでは差が広がってしまう。 など	

分類回答	件数
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	43
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生になり、学童保育クラブがなくなるので、フルタイムの仕事を辞めた。夏休み、春休み、冬休みの子どもの居場所に困っている人たちがたくさんいる。学校を開放してもらいたい。 ・どの学校でも天気にかかわらず参加できるまちともになってほしい。フルタイムで働いていると、安全な遊び場、天気などによって公園で遊べないこともあり、結果的に習い事を増やしてしまうことになる。 ・学童保育クラブは、小学校4年生以上は平日なくとも（まちともがあるので）大丈夫だが、夏休みなど、一時的に預かってもらえるように制度を変えてもらいたい。 ・学童保育クラブは小学校6年生まで必要。小学校4年生になれば放課後の数時間は留守番できるかもしれないが、長い夏休みに朝から1日家に1人でいるのは無理。 ・保育園の一時保育のように学童保育クラブでも一時保育をして欲しい。学童保育クラブをつまらないと言ってやめる子も多い。学童保育の内容に変化をつけた方がいいと思う。 	
など	
3. 子育て支援全般について	
(1) 子どもの居場所やイベント（親子イベント、子どもセンター、子育てひろば事業など）について	16
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターがあればそこを拠点にいろいろなイベントができる、子どもたちはさまざまな体験ができ、友だちの輪ができ、地域とのつながりもできると思う。 ・市で主催のイベントも日曜日や祝日にも開催されると参加しやすい。近くの通っている学校を利用して日曜・祝日に行うイベントなどあれば参加しやすい。 ・子どもが学校活動以外に、地域で、スポーツ・芸術などのイベント・サークル・クラブ活動をもっと増やして欲しい。 	
など	
(2) 病児・病後児保育や障がい児への支援について	5
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育があるのは本当にありがたいが、枠が狭い。できたら病児保育の充実をお願いしたい。 ・まだまだ発達障がいのある子に偏見があると思う。子どもたちにも、こんな子もいるとわかってもらえると良いと思う。 	
など	
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	11
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・町田市は子育てに関する取組みがとても充実していて助かっています。相談もしやすく、受入れ体制もしっかりしているので、まずは気軽に相談できるシステムがあるとよいと思います。 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービスについて、詳しく知りたいと思いました。 ・子どもが1人でいる時間がある中、夜間の保育サポートなど、どう利用してよいか分かりにくいです。 	
など	

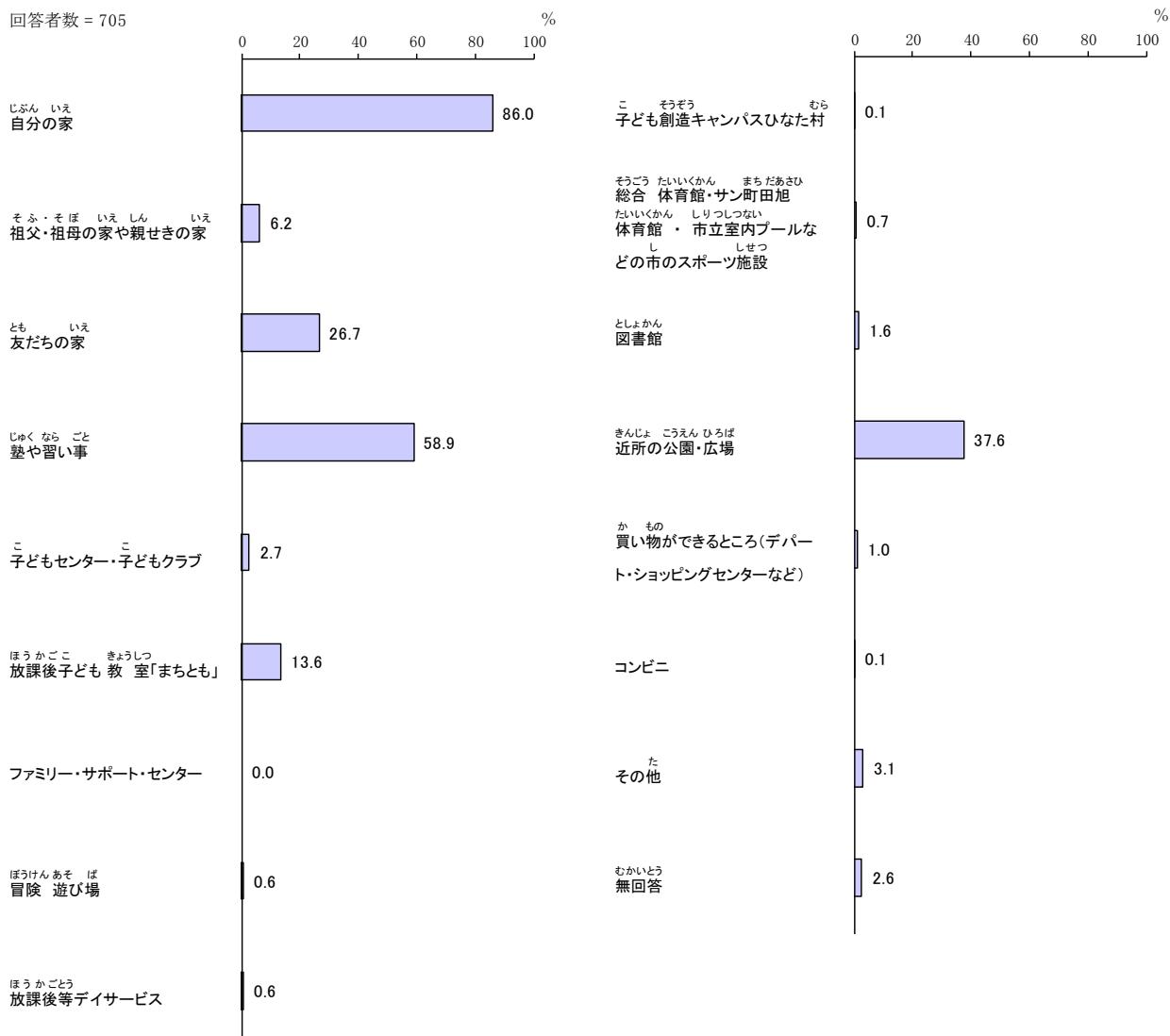
分類回答	件数
4. 子育て環境について	
(1) 公園・遊び場・外出について	43
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画は楽しいが、子育ての相談相手を見つけたり、悩みを話したりはできないので、重視しない。近所に相談相手がいることが重要だと思うので、子ども（親も含む）の居場所と遊び場所の充実をお願いしたい。 ・学童期は、大人の手を離れて活動する時間が長いので、子どもの居場所が安全であることを希望する。緑や公園が多いことは恵まれていますが、不審者情報も多く、子どもが安心して遊べる場所が増えるといい。 ・最近は小さい子向けの子育て支援は検討・重視されているが、高学年の子どもが遊べる様な場所や遊具が大変少なく思う。公園の遊具も危ないからと減少し、種類も少ない。特にボール遊びはだめな公園ばかり、路上でキックボードに乗っても危ないと言われる。とても窮屈に暮らしている子どもは小さい子だけではないので、年齢に応じた遊び場を作って欲しい。 ・子どもが放課後遊べる場所（公園等）が少ないので増やして欲しい。 ・子どもたちがおもいきり遊べる場が少ないのでもっと広場を増して欲しい。公園はボール遊び禁止、市営の芝も市営以外の人は禁止、と言われ狭い場所でゲームをすることが増えてしまう。年齢に分けた遊び場の工夫がもっと欲しい。 	など
(2) 公共施設等について	6
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の施設が遠くてなかなか連れていけない。車がないと場所が不便。児童館、図書館、体育館、プールなど、増やすか、市の持ちものでない所も開放してもらえると助かる。 	など
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	13
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが風邪をひき、親にもうつったとき、子どもがみてもらう病院で親もみてもらうことができれば、どんなに楽だろうと思ったことがある。 ・医療費や教育費は所得制限で分けず、必要な人が必要な時に、手続きして支払われる方法もよいと思う。なぜなら医療費無料でも必要なく使われる事は無駄だが突然の出来事で多くの支払いがあった時、いろんな家族の状況で、必要となることがあった時は、助かると思う。 ・子どもの成長に伴いとにかくお金がかかって大変。児童手当、医療費補助を18歳までにして欲しい。 	など
(4) 地域との協力について	15
主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校のサークル活動として、ボランティアのグループをつくって、地域に関われる役に立つ活動をしてもらいたい。 ・子どもの安全を守るために見守り等、地域のボランティアさんを増やす施策をつくって欲しい。通学路での不審者情報の多さに対し、大人の目が少ないと思う。 ・自分が住んでいる地域は、比較的に子育てしやすいと感じているが、更に良い環境になればと思う。子どもが元気に明るく育つのを地域で見守れたらと思う。 	など

分類回答	件数
5. 子育て中の保護者の状況について	
(1) 社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	11
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・共働きなので、私がすべて子どもと家事と仕事とやっている。男女平等といいながらも女性が家事もすることが比率的には多いと思う。もう少し女性も働きやすかつたり、子どもの世話も負担を減らせるように、リーズナブルな家事代行やシッターさんがいればよいと思っている。 ・3人目は欲しいが、必ずしも育休産休が取れる訳ではない社会。3人目以降は取れなかつたら更に手厚い待遇をして欲しい。 <p style="text-align: right;">など</p>	
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	23
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、小学校、中学校は義務教育で授業料等はかからないが、給食費、教材費も無償化して欲しい。結構お金がかかり、兄妹がいればそれだけ金額がかかるので大変。収入によっては返ってきますが、その収入設定も下げて欲しい。 ・将来子どもにいくらかかるのか、金額に対する不安が大きすぎる。母親が子育て、家事、仕事も全てこなす現状で、これ以上フルタイムで働くなど無理。 ・子どもの教育費、子育てるかんきょう、まわりの理解など、まだまだ発展途上な気がする。特にお金に対しては、年収が低い人は国から支援があるが、中流家庭以上は援助を受けられない。 ・所得制限による医療費や児童手当などの不利を廃止して欲しい。 <p style="text-align: right;">など</p>	
(3) 防犯・防災・安全について	8
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・海外に比べると犯罪率は低いが、通り魔、変質者など、子どもを狙った犯罪がここ数年増えていると思う。子どもの安全を守るためにには、地域の方の反対（プライバシーなど）が多少あっても、防犯カメラなどは必要以上に付けて欲しいと思う。 ・防災に関して、もう少し専門的なご指導をするイベント、機会があると助かる。 ・小学校以降は子どもが一人で歩いたり自転車に乗ったりする機会が多くなるので、交通安全対策、防犯対策を充実させて欲しい。 <p style="text-align: right;">など</p>	
6. その他	53
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢によって、家庭の状況は変化するので、一律な支援サービスは利用しにくい。学校の参観や保護者会、個人面談（1回15分）の都合をつけるのも大変なのに、相談もサービス自体もほとんど平日で利用できない。 ・中学校での給食を始めて欲しい。 ・子育て中のフォローは、子どもの年齢によって違うので、大変だと思う。子の年齢に応じた段階的で継続的なフォローの仕組みを考えて欲しい。 ・仕事でどうしても夜に家を空けることもあるので、そうした面のサービスを充実してもらえるとありがたい。 ・子育てをする家庭はそれぞれに子育てに対する考えが違い、生活も違う。また、母親が働くか否かについても理由があつたり、必要がなかつたりする。いろいろな選択肢があり、個々の家庭が自分たちにとってより良いものが選べることを希望する。 <p style="text-align: right;">など</p>	

(9) 4年生以上の子ども本人について

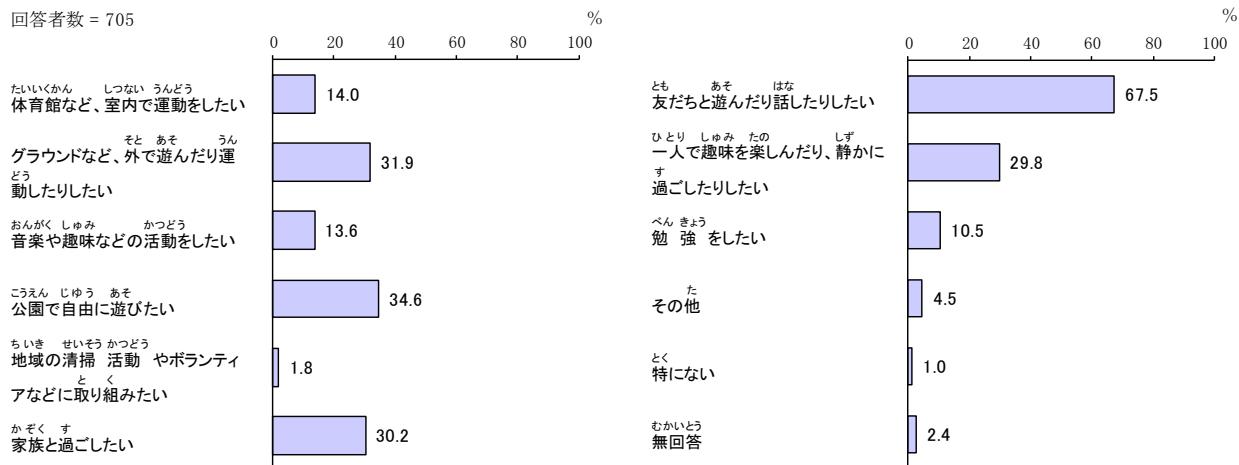
問1 放課後（夕方）はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自分の家」の割合が86.0%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が58.9%、「近所の公園・広場」の割合が37.6%となっています。



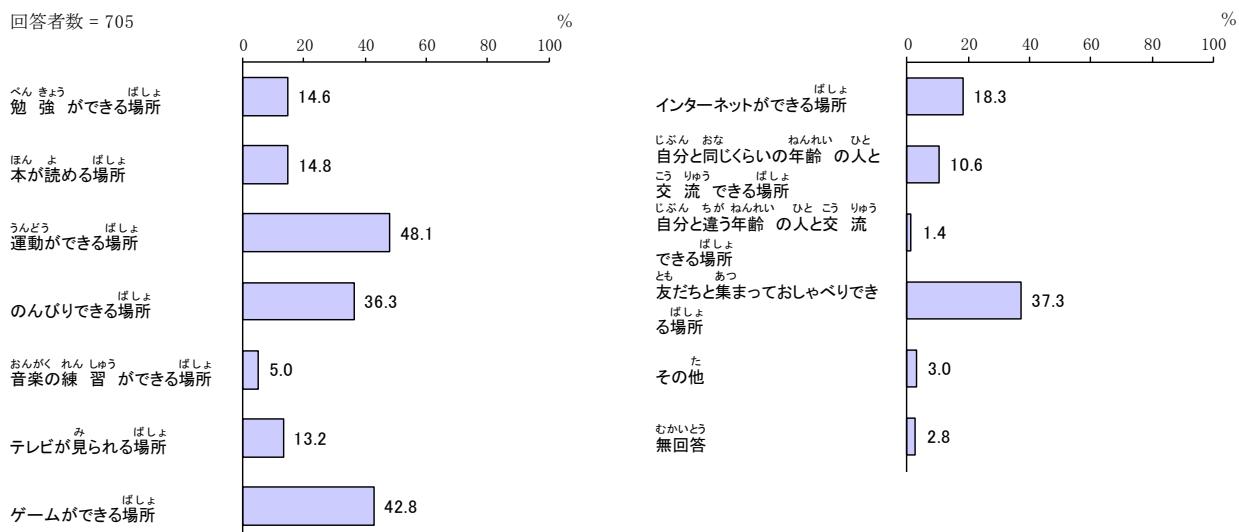
とい ほ う か ご ゆうがた す あ ばんごう
問2 放課後（夕方）はどのように過ごしたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

とも あそ はな わりあい もっと こうえん じゅう あそ
「友だちと遊んだり話したりしたい」の割合が67.5%と最も高く、次いで「公園で自由に遊びたい」の割合が34.6%、「グラウンドなど、外で遊んだり運動したりしたい」の割合が31.9%となっています。



とい ほ う か ご ゆうがた とも す ばしょ ばしょ ばしょ あ
問3 放課後（夕方）に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

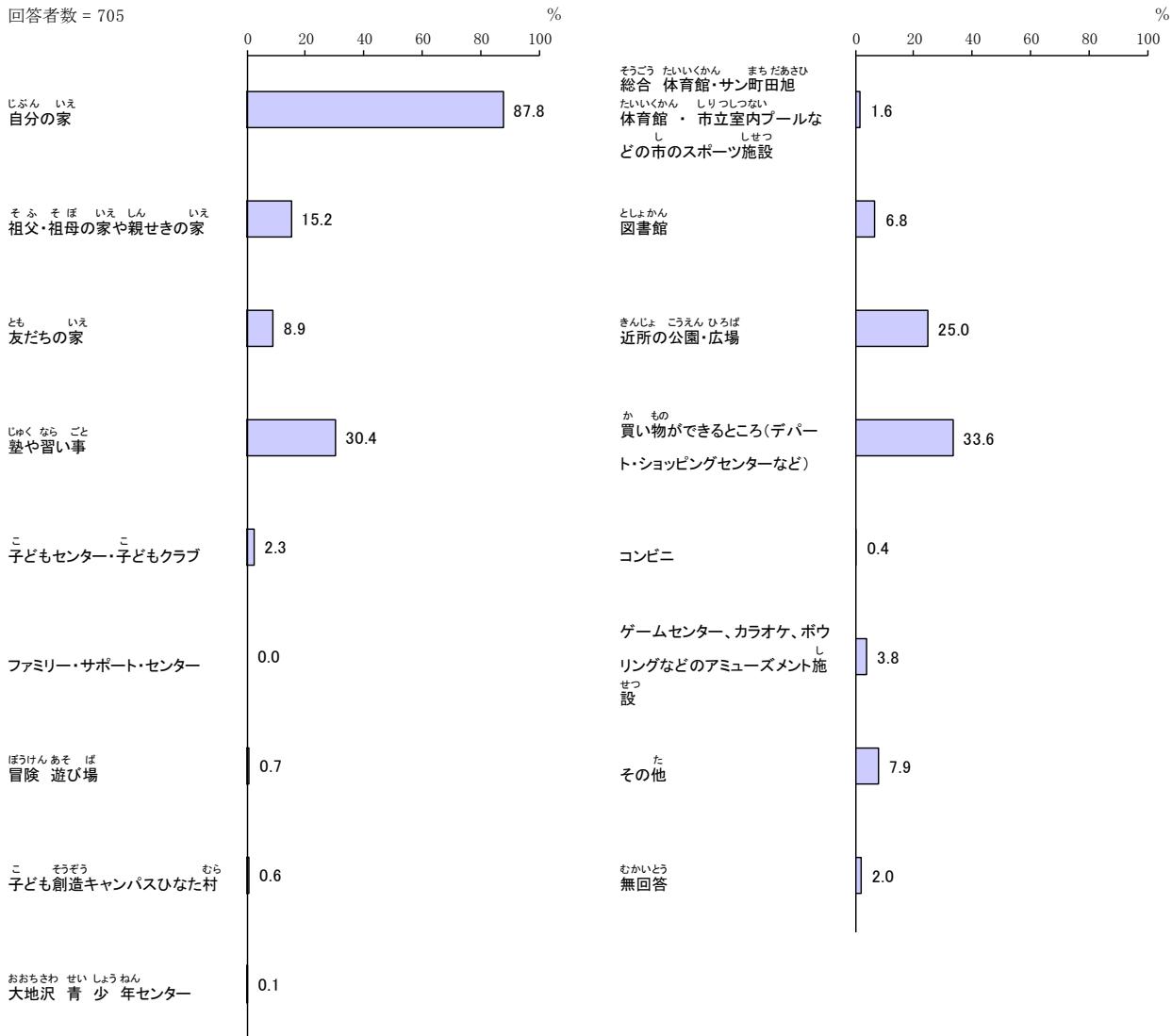
うんどう ばしょ わりあい もっと ばしょ わりあい
「運動ができる場所」の割合が48.1%と最も高く、次いで「ゲームができる場所」の割合が42.8%、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が37.3%となっています。



とい きゅうじつ おお あ ぱんごう
問4 休日はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自分の家」の割合が87.8%と最も高く、次いで「買い物ができるところ（デパート・ショッピングセンターなど）」の割合が33.6%、「塾や習い事」の割合が30.4%となっています。

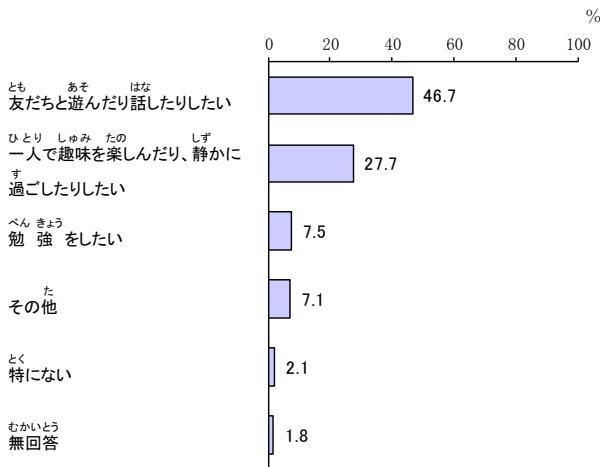
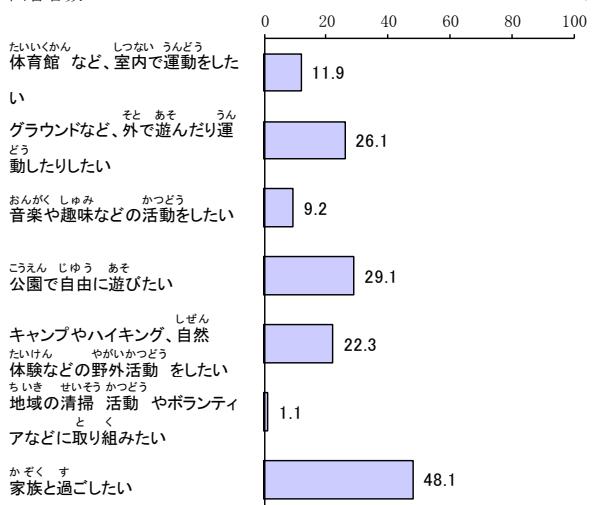
回答者数 = 705



とい きゅうじつ す あ ばんごう
問5 休日はどのように過ごしたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「家族と過ごしたい」の割合が48.1%と最も高く、次いで「友だちと遊んだり話したりしたい」の割合が46.7%、「公園で自由に遊びたい」の割合が29.1%となっています。

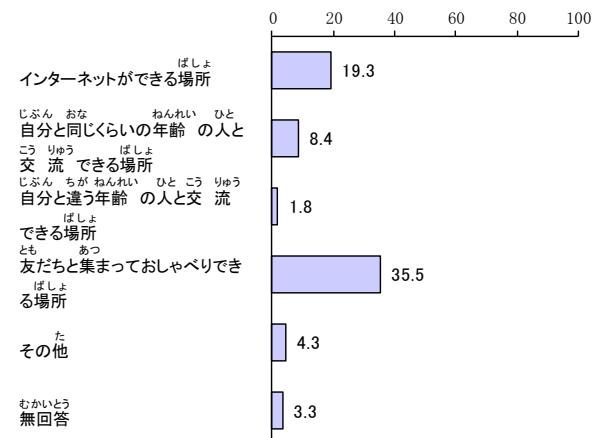
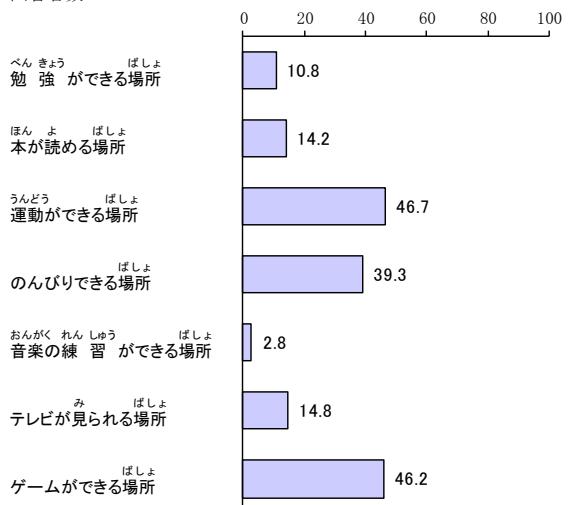
回答者数 = 705



とい きゅうじつ とも す ばしょ ばしょ あ
問6 休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる
番号3つまでに○をつけてください。

「運動ができる場所」の割合が46.7%と最も高く、次いで「ゲームができる場所」の割合が46.2%、「のんびりできる場所」の割合が39.3%となっています。

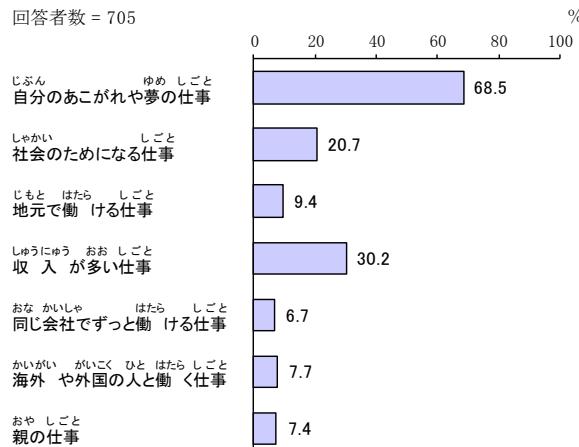
回答者数 = 705



とい
問7 将来はどのような仕事につきたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自分のあこがれや夢の仕事」の割合が68.5%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が30.2%、「社会のためになる仕事」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 705



アルバイトやフリーターなど

高い技術や資格が必要な仕事

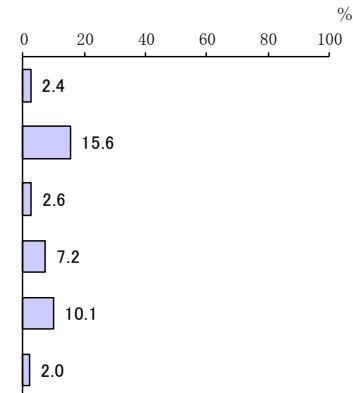
働きたくない

その他

まだわからない

むかいとう

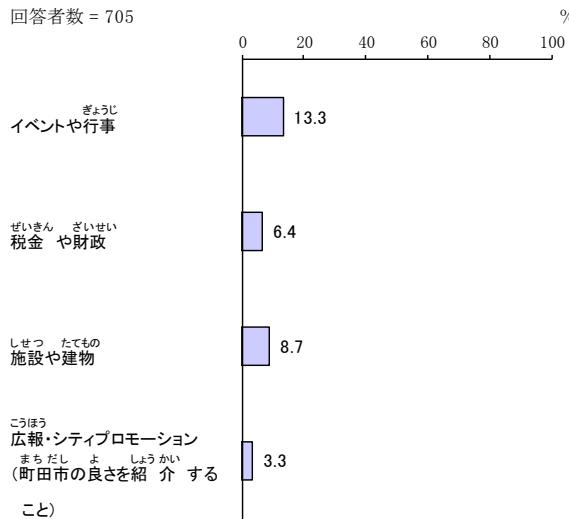
無回答



とい
問8 自分の意見を町田市に言えるなら、どのようなことに対して意見を言いたいですか。主に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「公園や遊び場」の割合が37.6%と最も高く、次いで「防犯・防災などの安全」の割合が15.2%、「イベントや行事」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 705



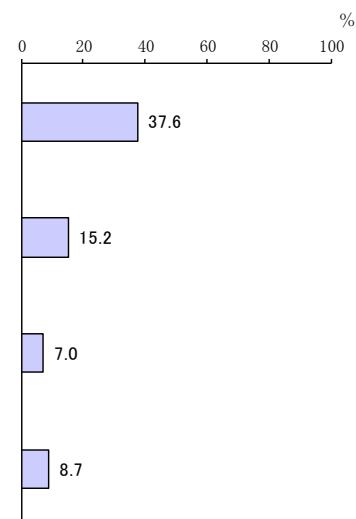
公園や遊び場

防犯・防災などの安全

その他

むかいとう

無回答



(10) 調査票

いたいたいご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願ひ申し上げます。

【小学校高学年のお子さんの保護者の方へ】 子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

2013年11月に発足しました「町田市子ども・子育て会議」は、町田市の諮問（依頼）を受け、子ども施策について審議を行っております。この度、町田市では子ども施策の中心的計画となる、「新・町田市子どもマスタープラン」と「町田市子ども・子育て支援事業計画」が2019年度末で計画終了となることから、2020年度に向けて新たに計画を策定することになりました。そのため「町田市子ども・子育て会議」では、この新たな計画について答申（回答）するための検討を行っております。

子育て支援は、共働き世帯の増加など、社会状況が変化する中で充実が求められています。新たな計画のために、皆様にお子様のふだんの状況や、保護者の子育てに関する現状や考え方などをお聞きし、議論を深めていきたいと考えております。

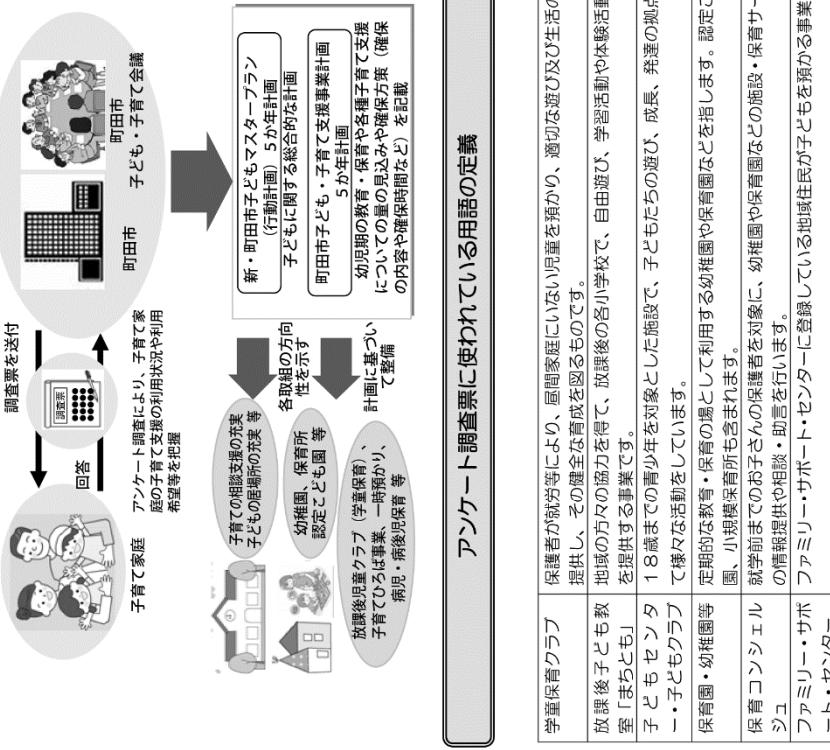
つきましては、ご多忙のこと存じますが、皆様の率直なご意見、ご要望をお寄せください。また、このアンケート調査は、市内にお住まいの小学生高学年（4～6年生）のお子さんがいる世帯を対象として、無作為で1,500人の方にお送りしております。なお、この調査は無記名であり、お答えいただいた内容は、施設の検討のみに利用させていただくもので、回答者が特定されることはありません。

この調査の目的を理解していただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

2019年5月

- 町田市子ども・子育て会議 会長 金子和正
このアンケート調査は住民基本台帳の中から、小学生高学年（4～6年生）のお子さんをお持ちの方を無作為で抽出させていただきました。（抽出日：2019年4月10日）
- ご回答は、できる限りお子さんの保護者の方が記入ください。
- 13ページからは、あて名のお子さんご本人がご記入ください。
- 鉛筆や黒のボールペンなどでご記入ください。
- 回答は選択肢の番号に〇をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、該箇によつて、「1つに〇」、「3つまでに〇」、「当てはまる番号すべてに〇」など、回答数を指定している場合には、指定の範囲内で〇をつけてください。
- 数字で時間（時刻）を記入する場合には、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、5月21日（火）までにポストへご投函ください。
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】町田市 子ども生活部 子ども総務課 企画総務係 電話：042-724-2876 FAX：050-3101-8377



アンケート調査票に使われている用語の定義

子育て保育クラブ	保護者が就労等により、屋間家庭にいない児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後の各小学校で、自由遊び、学習活動や体験活動の場を提供する事業です。
放課後子供クラブ	18歳までの青少年を対象とした施設で、子どもたちの遊び、成長、発達の観点として様々な活動を行っています。
セイント・セントラル・子どもクラブ	定期的な教育・保育の場として利用する幼稚園や保育園などを指します。認定こども園、小規模保育所も含まれます。
保育園・幼稚園等	就学前までのお子さんの保護者を対象に、幼稚園や保育園などの施設・保育サービスの情報提供や相談・助言を行います。
保育コンシェルジュ	ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業です。
ファミリー・サポート・センター	

家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。（ ）内に数字で記入ください。
〒（ ）-（ ）

問2 あて名のお子さんの生年月を（ ）内に数字で記入ください。
西暦（ ）年（ ）月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字で記入ください。2人以上の場合は、末のお子さんの生年月もご記入ください。
()人

問4 この調査票をご回答いただく方はどなたですか。おさんからみた関係で、当たはまる番号1つに○をつけてください。
1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）

→問5は問4で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問5 この調査票をご回答いただいた方の配偶関係について、当たはまる番号1つに○をつけてください。
1. 配偶者がある 2. 配偶者はない

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、おさんからみてどなたですか。①～⑩の項目ごとに、1.～6.のいずれかに○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 父母共に きょうだい	4. 子の きょうだい	5. 祖父母	6. その他
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後が丁寧	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする (日用品や食料など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの 世話をする	1	2	3	4	5	6
⑦子どもをお風呂に 入れる	1	2	3	4	5	6
⑧保育園・幼稚園等の 送迎	1	2	3	4	5	6
⑨保育園・幼稚園等や 学校の保護者会などの 参加	1	2	3	4	5	6

子育ての悩みについてうかがいます。

問7 子育てに関するご意見、または気になることはどうなことですか。当てはまる番号で○をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
2. 保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと
3. 子どもの疲労や発育・発達に関すること
4. 育児の方法がよくわからぬないこと
5. 子どもの成長方に自信が持てないこと
6. 話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がないこと
7. 仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
8. 自分の時間が持てないないこと
9. 子どものしつけに関すること
10. 子どもの友だちづきあい（いいめなどを含む）に関するここと
11. 子どもの就園・就学・進学などに関すること
12. 子育てに関する配偶者・パートナーの協力力が少ないこと
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 家族の介護を行わなければならぬこと
15. 経済的にゆとりがないこと
16. 住居や周辺の環境が良くないこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからぬこと
18. その他（ ）
19. 特にない（ ）

問8 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある
2. いない／ない

→問8-1は問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関するお話し、気鋭に相談できる先是、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. 祖父母などの家族
3. 友だち（ママ友・パパ友）
4. 職場の同僚
5. 保育園・幼稚園等、学校、学童保育クラブなど
6. 教育センター
7. 保健所
8. 子ども家庭支援センター
9. 地域子育て相談センター（旧すみれ教室）
10. 子ども発達センター
11. 保育コンサルタント
12. 子どもセンター・子どもクラブ
13. かかりつけの病院・診療所
14. その他（ ）

※地域子育て相談センター：育児についての相談を受け、子育てを支援している施設

保護者の就労状況についてうかがいます。

【問9】は（1）母親と（2）父親それについて、お答えいただきます。ひとり親家庭の方は、（1）か（2）どちらかにお答えください。その他の保護者は、P7の問10へお進みください。】

問9 現在の就労状況をお答えください。

- （1）母親（父子家庭の場合は記入不要です）当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をつけた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。
- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - 2. フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中
 - 3. パートタイム・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
 - 4. パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中
 - 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - 6. これまでに就労したことがない
- 間9-2へ

- （2）父親【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をつけた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。
- ① 1週当たり平均就労日数（ ）日
 - ② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
 - ③ 家を出る時間（ ）時
 - ④ 帰宅時間（ ）時
 - ⑤ 滞留時間（ ）時
- 間9-2へ

- （2）父親【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。また、1.～4.に○をつけた方は、就労日数・時間などを（ ）内に数字でご記入ください。
- 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - 2. フルタイムで、現在産休・育休休暇中
 - 3. パートタイム・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
 - 4. パートタイム・アルバイトなどで、現在産休・介護休暇中
 - 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - 6. これまでに就労したことがない
- 間9-2へ

問9-2は問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
問9-2 就労希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。

（1）母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 2. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度就労）
 - イ. パートタイム・アルバイトなど（「ア」以外）

（2）父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 2. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度就労）
 - イ. パートタイム・アルバイトなど（「ア」以外）

（1）母親

- 問9-1は問9で「3.」または「4.」（パート・アルバイトなどで就労）に○をつけた方にうかがいます。
問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけください。
- （1）母親
- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
 - 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - 3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
 - 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問10 下記のサービスを知っていますか。(①～⑬)の事業ごとに、A～Cのそれぞれに○をつけください。
それがに○をつけてください。

A 知っている B これまでに利用したことがあります C 今後利用したい

①休日・準夜急患こどもクリニック
②子ども家庭支援センターの子育て総合相談
③育児支援ヘルパー
④ひとり親家庭ホームヘルプサービス
⑤認可保育所での一時保育
⑥ファミリー・サポート・センター
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用
⑧教育センターの教育相談
⑨子ども派遣センター（旧すみれ教室）の発達相談など
⑩保育園・幼稚園等の園庭開放や子育てひろば
⑪子どもセンター・子どもクラブの施設利用
⑫子ども支援キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など
⑬大地冴青少年センターの施設利用や
⑭専門機関やサービスセンターの子育て総合相談
※ 子ども家庭支援センターの子育て総合相談：育児不安や育児相談を解消するため、必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスセンターの紹介・講座をし、問題の解決に向けた支援をするもの。
※ 育児支援ヘルパー：出産後育児、家事等の援助を必要とする保護者に対し、ヘルパーを派遣するもの。
※ ひとり親家庭ホームヘルプセンター：児童のいるひとり親家庭で、保育所や学童クラブなどの利用をしてもらおうと、専門機関が生じる時、一定期間ホームヘルパーを派遣するもの。
※ 教育センターの教育相談：専門のカウンセラーが子育て支援事業・施設開放や幼稚兒向けのイベントなどを行っているもの。
※ 子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業・施設開放や幼稚兒向けのイベントなどを行っているもの。

⑮その他()
※ 放課後子ども教室「まちとも」：放課後に小学校の校舎や体育館等、小学生の自由な遊び、学習や体験の場として提供する事業。
※ 目録遊び場：市内公園等に市が設置し、地域団体等が運営する、木登りや穴を駆つての遊び場。
※ 冒険・挑戦・体験を体感できる子どもの遊び場。
※ 放課後等ディサービス：授業の終了後や休日に、支援が必要と認められた障がいのある児童に対して、生活能力向上のため必要な訓練や社会との交流促進を行う事業。

放課後の過ごし方にについてうかがいます。

問13 小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごしていますか。当ではまる番号すべてに○をつけて、「はい」「いいえ」の定義もあわせてご覧ください。

	【実際の場所】	【希望の場所】
	過ごしている場所	過ごせたい場所
①自宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
②祖父母や親せき宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
③友人・知人宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
④塾や習い事	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑤子どもセンター・子どもクラブ	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑥放課後子ども教室「まちとも」	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑦学童保育クラブ	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑧ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑨冒険遊び場	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑩放課後等ディサービス	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑪子ども創造キャンパスひなた村	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑫総合体育館・サン町田旧体育館・市立室内プールなど 市のスポーツ施設	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑬図書館	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑭近所の公園・広場	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
⑮その他()	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい

問11 子育てに関する情報を具体的にどのようなもので情報を得ていますか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

- 市のホームページ（まちだ子育てサイト）
 - ほっこりメールまちだ
 - 広報まちだ
 - 子育てひろばカレンダー
 - 市が発行する各種案内チラシ
 - 市の窓口
 - ママ友・ママ友などの友たちや知り合い
 - 保育園・幼稚園等や学校など
 - その他（ ）
- 満足している
 - どちらかといえば満足している
 - どちらかといえば不満がある
 - 不満がある

学童保育クラブについてうかがいます。

問14 町田市の学童保育クラブでは、4年生以上利用ができますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 4年生以上に学童は必要ない
- 2. 4年生以上には必要ある
- 3. 4年生までは必要ある
- 4. 5年生までは必要ある
- 5. 6年生まで必要ある

→問14-1は問14で「1. 4年生以上は必要ない」「2. 4年生以上には必要ある」に○をついた方にうかがいます。

問14-1 必要がない理由はですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 保護者が家にいるから
- 2. 面倒をみてくれる人がいるから
- 3. 習い事に行かせるから
- 4. 留守番ができるから
→①1人で留守番できる
②きょううたいと留守番できる【きょううたいの年齢（ ）歳】
- 5. 近くに1人で過ごせる施設があるから
- 6. まちこどもへ参加できるから
- 7. その他（ ）

問15 夏休み・冬休みなどの長期休暇中に限り、学童保育クラブの利用希望はありますか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したかった
- 2. 全学年（1～6年生）で利用したい
- 3. 利用する必要はない

問16～20までは学童保育クラブを利用していた方にうかがいます。

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したかった
- 2. 全学年（1～6年生）で利用したい
- 3. 利用する必要はない

問17 通っていた学童保育クラブの施設面で望むことはありますか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 学校の校舎内（教室）が望ましい
- 2. 防犯カメラを設置して欲しい
- 3. 通用門に電子ロックを設置して欲しい
- 4. 育成スペースを拡張して欲しい
- 5. トイしゃ手洗いスペースを増やして欲しい
- 6. 図書や道具を増やして欲しい
- 7. その他（ ）

問18 学童保育クラブで働く指導員に対して、あなたが一番求めたいことは何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 保育士や幼稚園教諭、学校教諭などの資格を持っていること
- 2. 子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が築べること
- 3. どの子どもに別しても公平な態度で接すること
- 4. 子どもの安全や健康にしっかり気を配ること
- 5. 子どもに生活習慣や社会性が身につくように指導できること
- 6. 遊びや体験活動における特技を持つていること
- 7. 子どもの意欲を引き出し、子ども主体の活動を支えられること
- 8. 音楽や勉強の面倒をみること
- 9. その他（ ）

子育て施設全般についてうかがいます。

問21 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取り組みをする必要があると思いますか。 当たる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の人が子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まつたり遊びたりする場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもご親が一緒にできる活動を増やす
6. 地域の人たちが連携して、子どもの活動の育成・支援をする
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他（
9. 特に必要ない
）

問22 市の子育て支援への取り組みや少子化対策として、期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 子育てに関する情報提供
2. 子育てに関する相談体制の充実
3. 子どもが参加できるイベントや事業の充実
4. 子ども自身からの相談を受ける体制の充実
5. 子どもの意見を尊重する場や機会の充実
6. 地域における子どもの居場所の充実
7. 正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供
- 8.ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
9. 母子の健診のための健診や訪問の充実
10. 発達に支援が必要な子ども共に成長できるような障がい児施策
11. 子育てに係る費用負担に対する経済的支援
12. 子育てに仕事が両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動
13. 保護者同士がつながりを持てる機会の提供（ママ友・パパ友がつくれる場）
14. 犯罪や災害、交通事故から子どもを守るために取り組み
15. 子育て世帯が外出しやすいまちづくり
16. 保育所や認定こども園などの待機児童の解消
17. その他（
）

問23 問22の取り組みが充実したとして、あなたは、現在よりさらにお子さんが欲しい（欲しかった）と考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 欲しい（欲しかった）
2. 今の人数で満足している

問24 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

みんなさんの生活などに関するアンケート調査

ここからの質問は、ある名のご本人
(小学4年生以上の本人) がお答えください

- ・今回、町田市で新しい子どもについての言葉をつくるために、みなさんのふだんのようすや考へていることなどをお聞きしたいと思います。
- ・むずかしく考へず、「あなた」が思つたとおりにお答えください。
- ・えんぴつや黒のボールペンなどでご記入ください。
- ・質問は全部で8問あります。
- ・回答は選択肢の番号に○をつけてください。また、質問によって、「1つに○」、「3つまでに○」、などがあります。指定の数のなかで○をつけください。

4年生以上のご本人にお聞きします。

問1 放課後(夕方) はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 1. 自分の家
- 2. 祖父・祖母の家や親せきの家
- 3. 友だちの家
- 4. 聖地や聖い事
- 5. 子どもセンター・子どもクラブ
- 6. 放課後子ども教室「まちども」
- 7. ファミリー・サポート・センター
- 8. 冒険遊び場
- 9. 放課後等ティーサービス
- 10. 子ども創造チャレンジひびな村
- 11. 合成体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設
- 12. 図書館
- 13. 公園・公園
- 14. 買い物ができるところ(デパート・ショッピングセンターなど)
- 15. コンビニ
- 16. その他()

問2 放課後(夕方) はどのように過ごしましたですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 1. 体育館など、室内で運動をしたい
- 2. クラウンドなど、外で遊んだり運動したりしたい
- 3. 音楽や趣味などの活動をしたい
- 4. 公園で自由に遊びたい
- 5. 他の誰かと一緒に活動やボランティアなどに取り組みたい
- 6. 家族と一緒にしたい
- 7. 友だちと一緒に話したりしたい
- 8. 一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたりしたい
- 9. 勉強をしたい
- 10. その他()
- 11.特にない

- 問3 放課後（ラクラク）に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。
1. 勉強ができる場所
 2. 本が読める場所
 3. 運動ができる場所
 4. のんびりできる場所
 5. 音楽の練習ができる場所
 6. テレビが見られる場所
 7. ゲームができる場所
 8. インターネットができる場所
 9. 自己と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
 10. 自分と同じ年齢の人と交流できる場所
 11. 友だちと一緒にまとめておしゃべりできる場所
 12. その他（ ）

問4 休日はどうことにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自分の家
2. 祖父・祖母の家や親せきの家
3. 友だちの家
4. 墓や習い事
5. 子どもセンター・子どもクラブ
6. ファミリー・サポート・センター
7. 舞台遊び場
8. 子ども創造キャラバンひなた村
9. 天地丸青少年センター
10. 総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなど市のスポーツ施設
11. 図書館
12. 近所の公園・広場
13. 買い物ができるところ（デパート・ショッピングセンターなど）
14. コンビニ
15. ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
16. その他（ ）

問6 休日に友だちと一緒に場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 効率ができる場所
2. 本が読める場所
3. 運動ができる場所
4. のんびりできる場所
5. 音楽の練習ができる場所
6. テレビが見られる場所
7. ゲームができる場所
8. インターネットができる場所
9. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
10. 自分と同じ年齢の人と交流できる場所
11. 友だちと一緒にまとめておしゃべりできる場所
12. その他（ ）

問7 将来はどのような仕事につきたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自分のあこがれや夢の仕事
2. 社会のためになる仕事
3. 地元で働ける仕事
4. 賃入が多い仕事
5. 同じ会社でずっと働ける仕事
6. 海外や外国の人ひと働く仕事
7. 犬の仕事
8. アルバイトやフリーターなど
9. 高い技術や資格が必要な仕事
10. 働きたくない
11. その他（ ）
12. まだわからない

問5 休日はどうに過ごしたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 体育館など、室内で運動をしたい
2. グラウンドなど、外で遊んだり運動したりしたい
3. 音楽や曲などの活動をしたい
4. 公園で自由に遊びたい
5. キャンプやハイキング、自然体験などの野外活動をしたい
6. 地域の講習会活動やボランティアなどに取り組みたい
7. 象徴ごとに遊びたい
8. 友だちと一緒に遊びしたりしたい
9. 一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたい
- 10.勉強をしたい
11. その他（ ）
12. 特にない（ ）

問6 自分の意見を町田市に言えるなら、どのようなことにに対して意見を言いたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. イベントや行事
2. 税金や賦課
3. 施設や建物
4. 広報・シティプロモーション（町田市の良さを紹介すること）
5. 公園や遊び場
6. 防犯・防災などの安全
7. その他（ ）

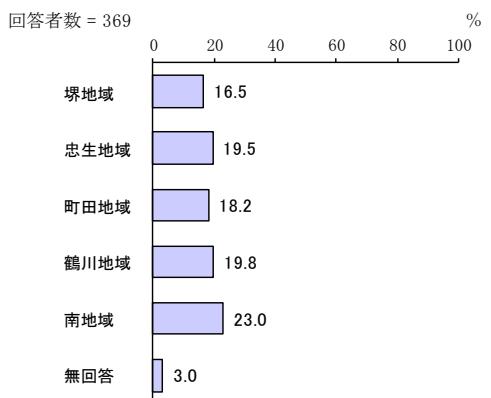
質問は以上になります。
ご協力ありがとうございました。

4 中学生・高校生

(1) 家族の状況について

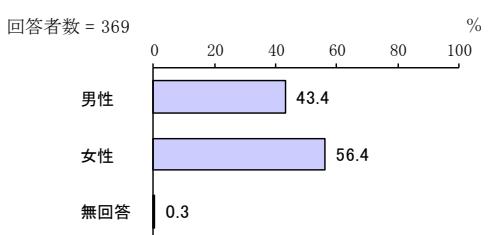
問1 お住まいの郵便番号をうかがいます。() 内に数字でご記入ください。

「南地域」の割合が23.0%と最も高く、次いで「鶴川地域」の割合が19.8%、「忠生地域」の割合が19.5%となっています。



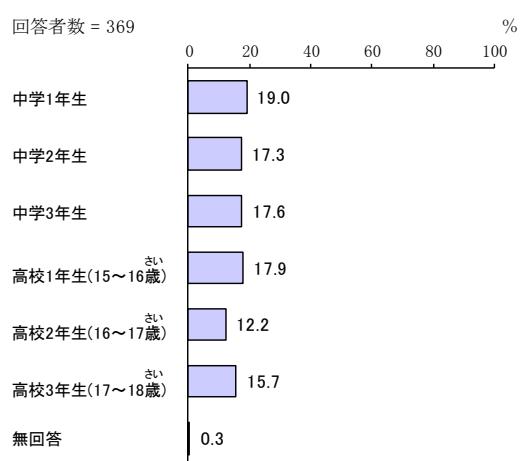
問2 性別を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「男性」の割合が43.4%、「女性」の割合が56.4%となっています。



問3 学年(年齢)^{ねんれい}を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

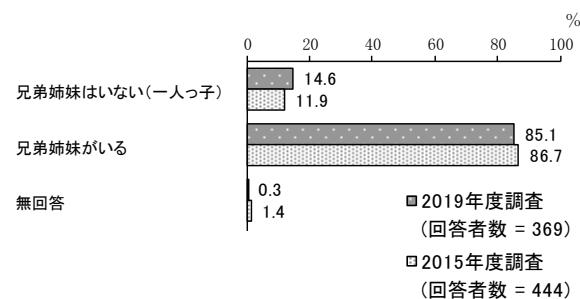
「中学1年生」の割合が19.0%と最も高く、次いで「高校1年生(15~16歳)^{さい}」の割合が17.9%、「中学3年生」の割合が17.6%となっています。



問4 兄弟姉妹がいますか。また、兄弟姉妹がいる場合、あなたは上から何番目ですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。「2.」に○をつけた方は、() 内に数字をご記入ください。

「兄弟姉妹はいない（一人っ子）」の割合が14.6%、「兄弟姉妹がいる」の割合が85.1%となっています。

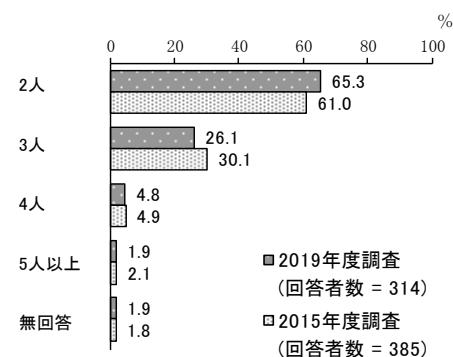
2015年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア きょうだい数

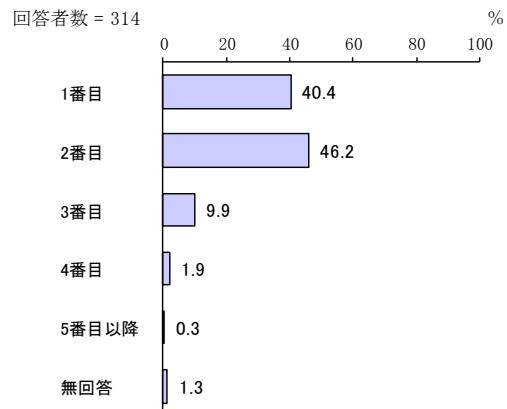
「2人」の割合が65.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.1%となっています。

2015年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



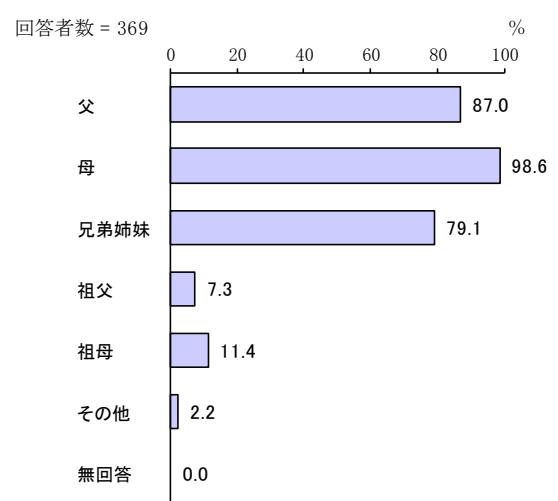
イ 何番目

「2番目」の割合が46.2%と最も高く、次いで「1番目」の割合が40.4%となっています。



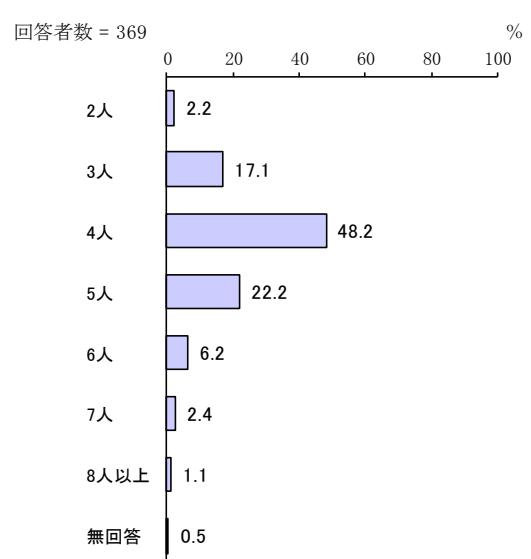
問5 どなたと一緒に住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、あなたを含めて、何人で住んでいますか。() 内に数字でご記入ください。

「母」の割合が98.6%と最も高く、次いで「父」の割合が87.0%、「兄弟姉妹」の割合が79.1%となっています。



家族全員の人数

「4人」の割合が48.2%と最も高く、次いで「5人」の割合が22.2%、「3人」の割合が17.1%となっています。

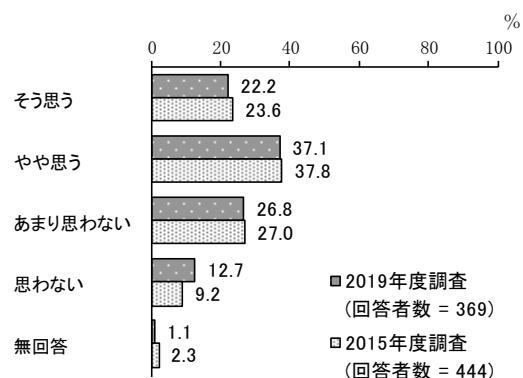


(2) 悩み事や相談先について

問6 自分のことが好きだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「やや思う」の割合が37.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が26.8%、「そう思う」の割合が22.2%となっています。

2015年度調査と比較して、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	回答割合 (%)					単位 : %
		そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無回答	
男性	160	26.9	36.9	25.0	10.6	0.6	
女性	208	18.8	37.0	28.4	14.4	1.4	

【学年別】

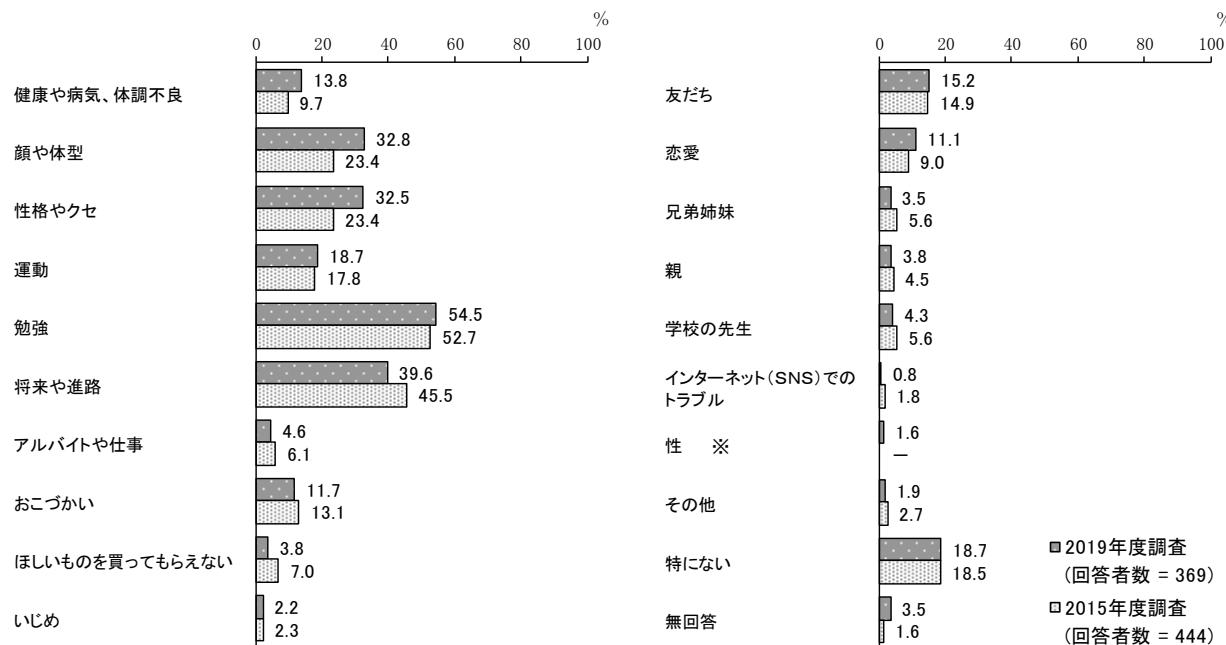
学年別でみると、大きな差異はみられません。

区分	回答者数 (件)	回答割合 (%)					単位 : %
		そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無回答	
中学生	199	21.6	37.2	29.1	12.1	—	
高校生	169	23.1	37.3	24.3	13.0	2.4	

問7 悩みや心配なことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「勉強」の割合が54.5%と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が39.6%、「顔や体型」の割合が32.8%となっています。

2015年度調査と比較すると、「顔や体型」「性格やクセ」の割合が増加しています。一方、「将来や進路」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特ない」の割合が高くなっています。一方、女性は「顔や体型」「性格やクセ」「勉強」「将来や進路」「友だち」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	単位 : %																			
		健康や病気、体調不良	顔や体型	性格やクセ	運動	勉強	将来や進路	アルバイトや仕事	おこづかい	ほしいものを買ってもらえない	いじめ	友だち	恋愛	兄弟姉妹	親	学校の先生	インターネット(SNS)でのトラブル	性	その他	特ない	無回答
男性	160	11.9	20.0	28.8	18.8	45.6	31.9	4.4	11.3	5.0	0.6	9.4	13.1	4.4	4.4	5.0	—	3.8	1.3	25.6	3.1
女性	208	14.9	42.8	35.6	18.8	61.5	45.7	4.8	12.0	2.9	3.4	19.7	9.6	2.9	3.4	3.8	1.4	—	2.4	13.5	3.8

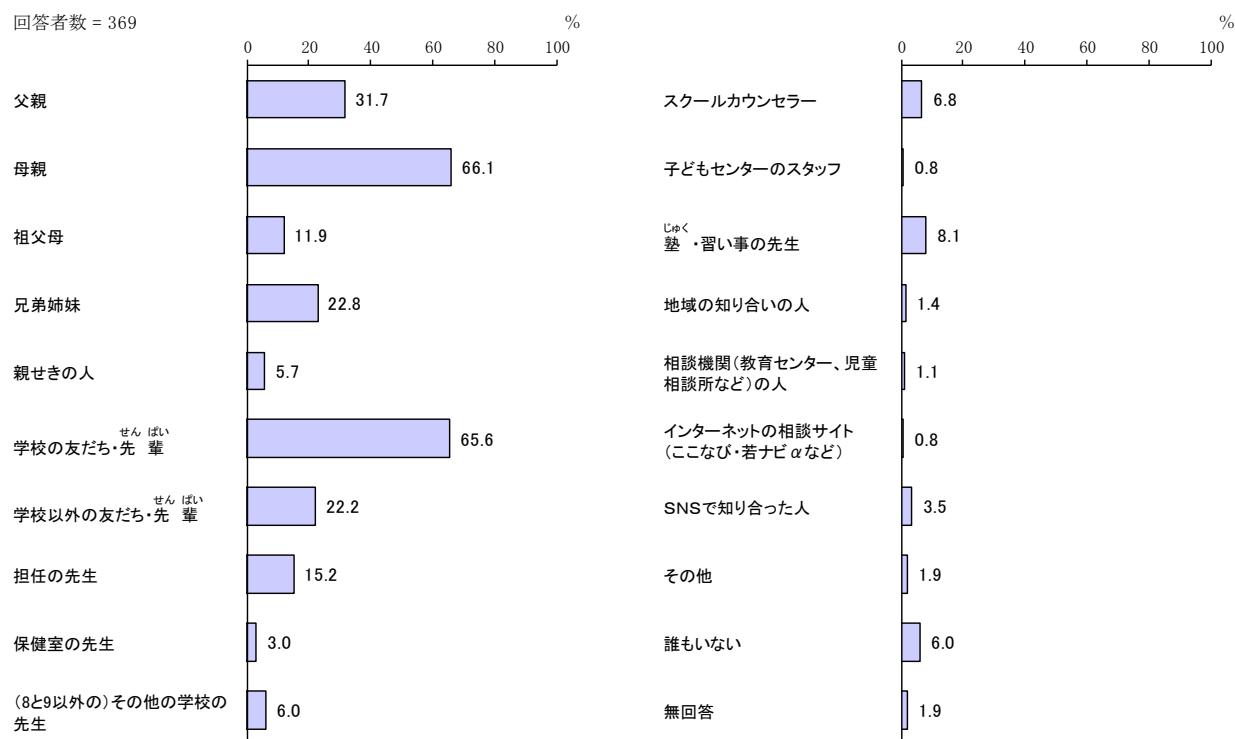
【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「運動」「特ない」の割合が高くなっています。一方、高校生は「顔や体型」「性格やクセ」「勉強」「将来や進路」「アルバイトや仕事」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	単位：%																			
		健康や病気、体調不良	顔や体型	性格やクセ	運動	勉強	将来や進路	アルバイトや仕事	おこづかい	ほしいものを買ってもらえない	いじめ	友だち	恋愛	兄弟姉妹	親	学校の先生	インターネット(SNS)でのトラブル	性	その他	特ない	無回答
中学生	199	12.6	28.1	29.6	21.6	50.8	29.6	1.5	11.1	4.5	3.0	15.1	9.5	5.0	3.0	3.5	1.0	1.0	2.0	22.1	3.5
高校生	169	15.4	38.5	36.1	15.4	59.2	51.5	8.3	12.4	3.0	1.2	15.4	13.0	1.8	4.7	5.3	0.6	2.4	1.8	14.8	3.0

問8 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が66.1%と最も高く、次いで「学校の友だち・先輩」の割合が65.6%、「父親」の割合が31.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「父親」の割合が高くなっています。一方、女性は「母親」「学校の友だち・先輩」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	父親	母親	祖父母	兄弟姉妹	親せきの人	学校の友だち・先輩	学校以外の友だち・先輩	担任の先生	保健室の先生	(8と9以外の) その他の学校の先生	スクールカウンセラー	子どもセンターのスタッフ	塾・習い事の先生	地域の知り合いの人	相談機関（教育センター、児童相談所など）の人	SNSで知り合った人	その他	誰もいない	無回答	
男性	160	40.0	62.5	14.4	21.3	8.1	60.6	22.5	16.9	1.3	6.3	5.6	0.6	6.3	1.3	0.6	0.6	3.1	1.9	6.3	2.5
女性	208	25.5	69.2	10.1	23.6	3.8	69.7	22.1	13.9	4.3	5.8	7.7	1.0	9.6	1.4	1.4	1.0	3.8	1.9	5.8	1.4

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「母親」の割合が高くなっています。一方、高校生は「兄弟姉妹」「学校以外の友だち・先輩」「(8と9以外の) その他の学校の先生」の割合が高くなっています。

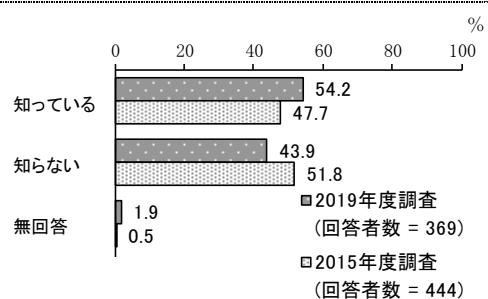
単位：%

区分	回答者数（件）	父親	母親	祖父母	兄弟姉妹	親せきの人	学校の友だち・先輩	学校以外の友だち・先輩	担任の先生	保健室の先生	(8と9以外の) その他の学校の先生	スクールカウンセラー	子どもセンターのスタッフ	塾・習い事の先生	地域の知り合いの人	相談機関（教育センター、児童相談所など）の人	SNSで知り合った人	その他	誰もいない	無回答	
中学生	199	29.6	71.4	11.1	19.1	6.0	66.8	16.1	17.1	3.5	3.5	8.5	0.5	7.5	1.5	1.5	1.0	2.5	1.0	4.5	1.5
高校生	169	34.3	60.4	13.0	27.2	5.3	64.5	29.6	13.0	2.4	8.9	4.7	1.2	8.9	1.2	0.6	0.6	4.7	3.0	7.7	1.8

問9 困った時に、相談できるところ（相談機関）をどこか知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が54.2%、「知らない」の割合が43.9%となっています。

2015年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「知っている」の割合が高くなっています。

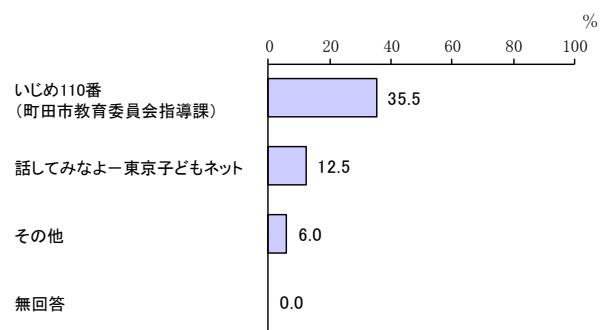
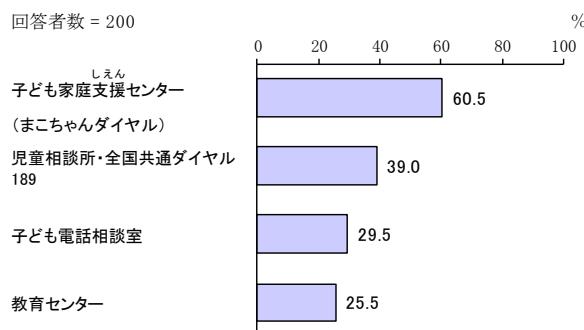
単位：%

区分	回答者数(件)	知っている	知らない	無回答
中学生	199	58.3	39.2	2.5
高校生	169	49.7	49.1	1.2

問9で「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 知っているところはどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子ども家庭支援センター（まこちゃんダイヤル）」の割合が60.5%と最も高く、次いで「児童相談所・全国共通ダイヤル189」の割合が39.0%、「いじめ110番（町田市教育委員会指導課）」の割合が35.5%となっています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「子ども家庭支援センター（まこちゃんダイヤル）」「話してみなよー東京子どもネット」の割合が高くなっています。一方、高校生は「児童相談所・全国共通ダイヤル189」「子ども電話相談室」「いじめ110番（町田市教育委員会指導課）」の割合が高くなっています。

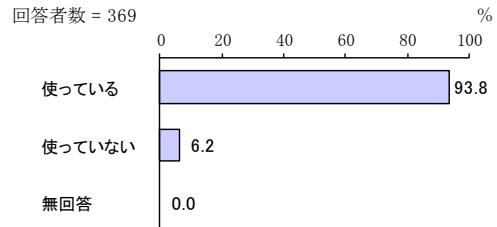
単位：%

区分	回答者数(件)	子ども家庭支援センター (まこちゃんダイヤル)	児童相談所・全国共通ダイヤル 189	子ども電話相談室	教育センター	いじめ110番 (町田市教育委員会指導課)	話してみなよー東京子どもネット	その他	無回答
中学生	116	78.4	30.2	25.9	26.7	31.0	15.5	4.3	—
高校生	84	35.7	51.2	34.5	23.8	41.7	8.3	8.3	—

(3) インターネットなどについて

問10 学校や塾などの勉強以外でインターネットを自由に使えますか（Wi-Fi環境で使用している方も含みます）。

「使っている」の割合が93.8%、「使っていない」の割合が6.2%となっています。



【学年別】

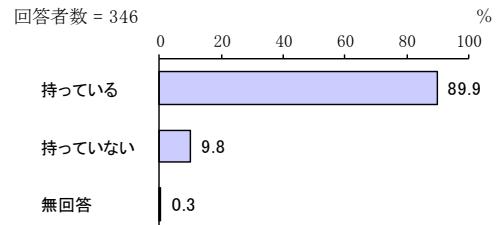
学年別でみると、他に比べ、中学1年生、中学2年生、中学3年生で「使っていない」の割合が約1割となっています。

区分	回答者数 (件)	使っている	使っていない	無回答
中学1年生	70	88.6	11.4	—
中学2年生	64	90.6	9.4	—
中学3年生	65	89.2	10.8	—
高校1年生(15~16歳)	66	100.0	—	—
高校2年生(16~17歳)	45	95.6	4.4	—
高校3年生(17~18歳)	58	100.0	—	—

問10で「1. 使っている」に○をつけた方にうかがいます。

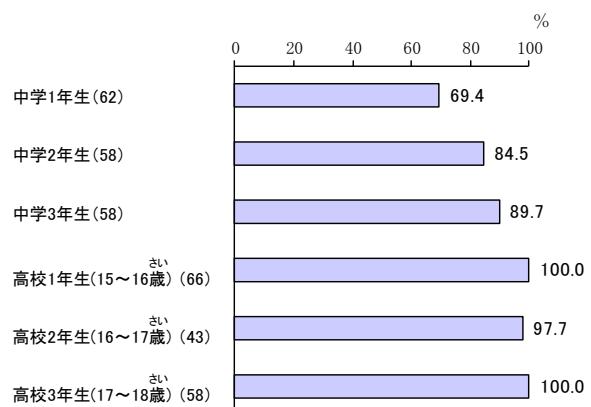
問10-1 インターネットにつながるスマートフォンを持っていますか（Wi-Fi環境で使用している方も含みます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持っている」の割合が89.9%、「持っていない」の割合が9.8%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学1年生で「持っていない」の割合が高くなっています。



※()内は回答者数

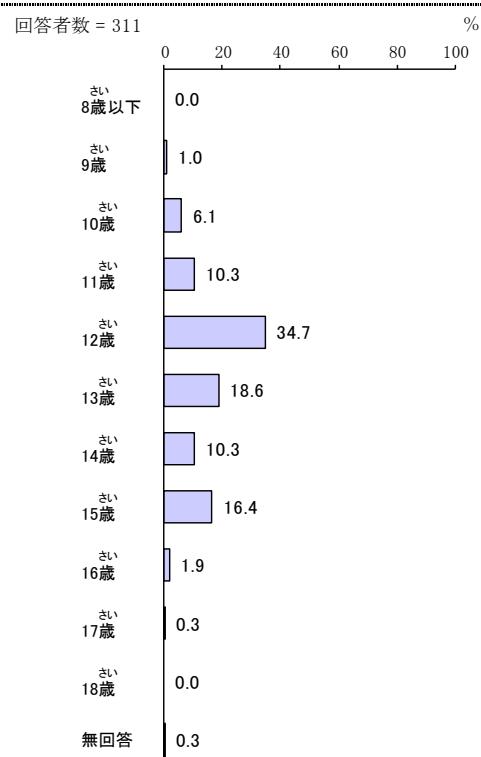
単位 : %

区分	回答者数 (件)	持 つ て い る	持 つ て い な い	無 回 答
中学1年生	62	69.4	30.6	—
中学2年生	58	84.5	13.8	1.7
中学3年生	58	89.7	10.3	—
高校1年生(15~16歳)	66	100.0	—	—
高校2年生(16~17歳)	43	97.7	2.3	—
高校3年生(17~18歳)	58	100.0	—	—

問10-1で「1. 持っている」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 何歳からスマートフォンを持っていますか。() 内に年齢を数字でご記入ください。

「12歳」の割合が34.7%と最も高く、次いで「13歳」の割合が18.6%、「15歳」の割合が16.4%となっています。



【学年別】

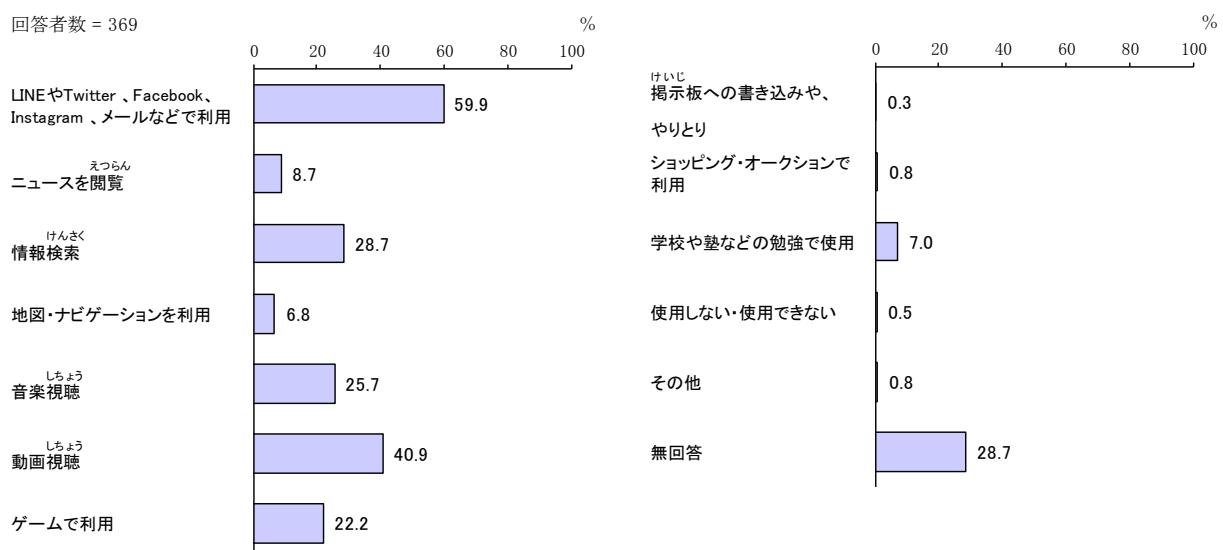
学年別でみると、他に比べ、中学1年生で「12歳」の割合が、高校1年生(15~16歳)、高校2年生(16~17歳)、高校3年生(17~18歳)で「15歳」の割合が高くなっています。また、年齢が低いほど、スマートフォンを持つ時期が早くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	8歳以下	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	無回答
中学1年生	43	—	2.3	16.3	18.6	62.8	—	—	—	—	—	—	—
中学2年生	49	—	4.1	10.2	16.3	49.0	20.4	—	—	—	—	—	—
中学3年生	52	—	—	7.7	5.8	50.0	26.9	9.6	—	—	—	—	—
高校1年生(15~16歳)	66	—	—	—	6.1	25.8	25.8	13.6	28.8	—	—	—	—
高校2年生(16~17歳)	42	—	—	4.8	14.3	14.3	9.5	21.4	31.0	2.4	—	—	2.4
高校3年生(17~18歳)	58	—	—	1.7	5.2	13.8	20.7	15.5	32.8	8.6	1.7	—	—

問11 インターネットをどのように使用していますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

「LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで利用」の割合が59.9%と最も高く、次いで「動画視聴」の割合が40.9%、「情報検索」の割合が28.7%となっています。



【学年別】

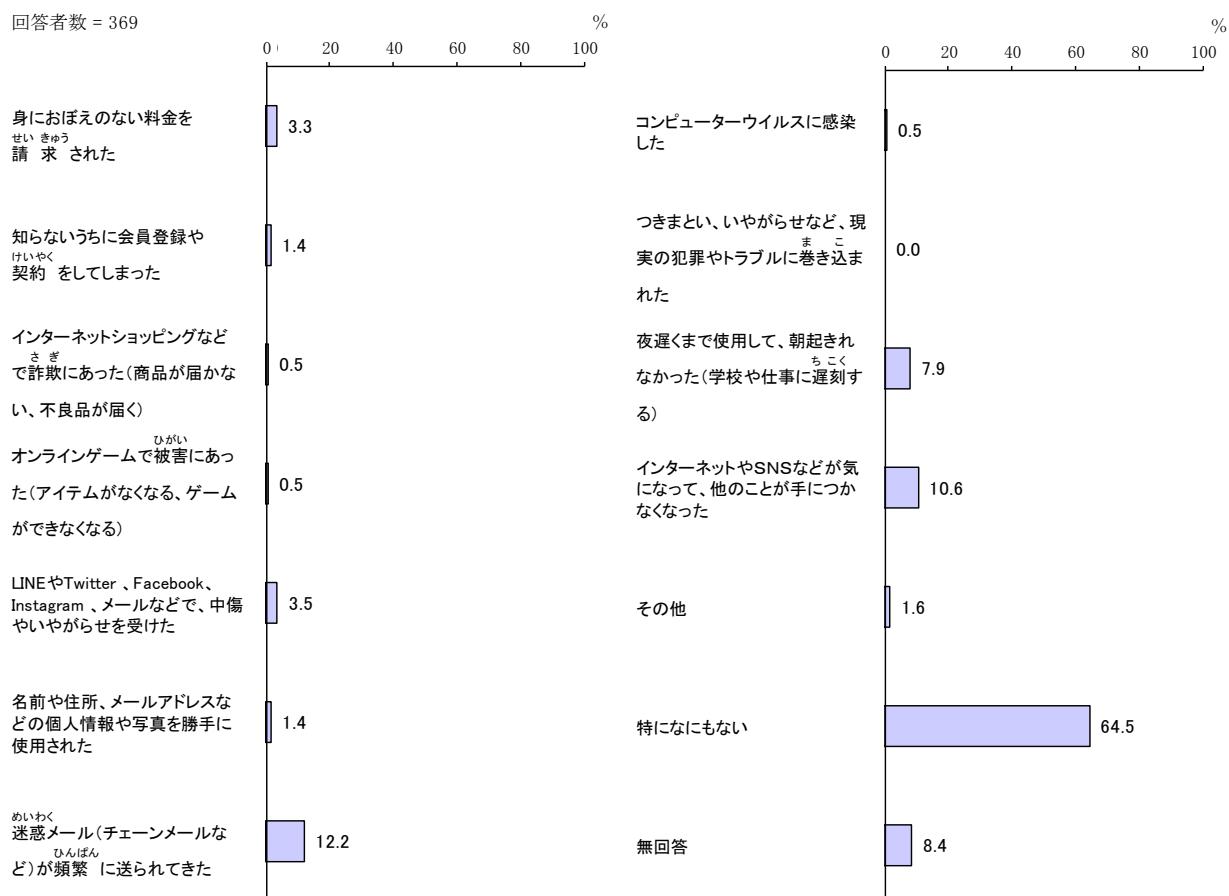
学年別でみると、他に比べ、中学1年生、中学3年生で「動画視聴」の割合が、高校1年生(15~16歳)、高校2年生(16~17歳)、高校3年生(17~18歳)で「LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで利用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ニュースを閲覧 LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなど利用	情報検索	地図・ナビゲーションを利用	音楽視聴	動画視聴	ゲームで利用	掲示板への書き込みや、やりとり	ショッピング・オーダーで利用	学校や塾などの勉強で使用	使用しない・使用できない	その他	無回答	
中学1年生	70	51.4	7.1	31.4	5.7	21.4	48.6	32.9	—	—	5.7	—	2.9	22.9
中学2年生	64	51.6	6.3	23.4	7.8	25.0	42.2	25.0	1.6	1.6	4.7	—	—	32.8
中学3年生	65	56.9	4.6	18.5	7.7	23.1	47.7	26.2	—	1.5	6.2	3.1	1.5	29.2
高校1年生 (15~16歳)	66	68.2	6.1	36.4	6.1	28.8	39.4	16.7	—	—	7.6	—	—	28.8
高校2年生 (16~17歳)	45	66.7	11.1	24.4	6.7	28.9	40.0	15.6	—	—	13.3	—	—	28.9
高校3年生 (17~18歳)	58	67.2	19.0	37.9	6.9	27.6	24.1	13.8	—	1.7	6.9	—	—	31.0

問12 インターネットを使用して、何かトラブルが起きたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特になにもない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「迷惑メール（チェーンメールなど）が頻繁に送られてきた」の割合が12.2%、「インターネットやSNSなどが気になって、他のことが手につかなくなったり」の割合が10.6%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、高校3年生(17~18歳)で「迷惑メール（チェーンメールなど）が頻繁に送られてきた」「インターネットやSNSなどが気になって、他のことが手につかなくなつた」の割合が高くなっています。

単位：%

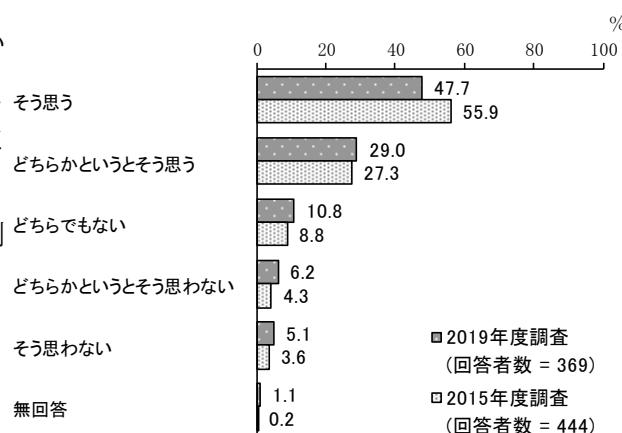
区分	回答者数（件）	身におぼえのない料金を請求された	知らないうちに会員登録や契約をしてしまつた	オンラインゲームで被害にあつた（アイテムがなくなる、ゲームができないくなる）	インターネットショッピングなどで詐欺にあつた（商品が届かない、不良品が届く）	LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなど、中傷やいやがらせを受けた	名前や住所、メールアドレスなどの個人情報や写真を勝手に使用された	迷惑メール（チェーンメールなど）が頻繁に送られてきた
中学1年生	70	—	1.4	—	—	—	1.4	4.3
中学2年生	64	—	—	—	—	3.1	—	9.4
中学3年生	65	4.6	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5	9.2
高校1年生(15~16歳)	66	4.5	—	1.5	—	3.0	1.5	15.2
高校2年生(16~17歳)	45	4.4	—	—	2.2	8.9	—	13.3
高校3年生(17~18歳)	58	6.9	5.2	—	—	5.2	3.4	24.1

区分	コンピューターウィルスに感染した	実の犯罪やトラブルに巻き込まれた	つきまとい、いやがらせなど、現れた	夜遅くまで使用して、朝起きれなかつた（学校や仕事に遅刻する）	インターネットやSNSなどが気になつて、他のことが手につかなくなつた	その他	特になにもない	無回答
中学1年生	1.4	—	2.9	2.9	1.4	80.0	8.6	
中学2年生	—	—	1.6	3.1	1.6	75.0	7.8	
中学3年生	1.5	—	10.8	10.8	1.5	52.3	12.3	
高校1年生(15~16歳)	—	—	9.1	12.1	4.5	63.6	7.6	
高校2年生(16~17歳)	—	—	8.9	11.1	—	60.0	6.7	
高校3年生(17~18歳)	—	—	15.5	25.9	—	51.7	6.9	

(4) 学校生活について

問13 学校は楽しいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「そう思う」の割合が47.7%と最も高く、次いで「どちらかというとそう思う」の割合が29.0%、「どちらでもない」の割合が10.8%となっていま
す。
2015年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、中学生に比べ、高校生で「どちらかというとそう思う」の割合が高くなっています。

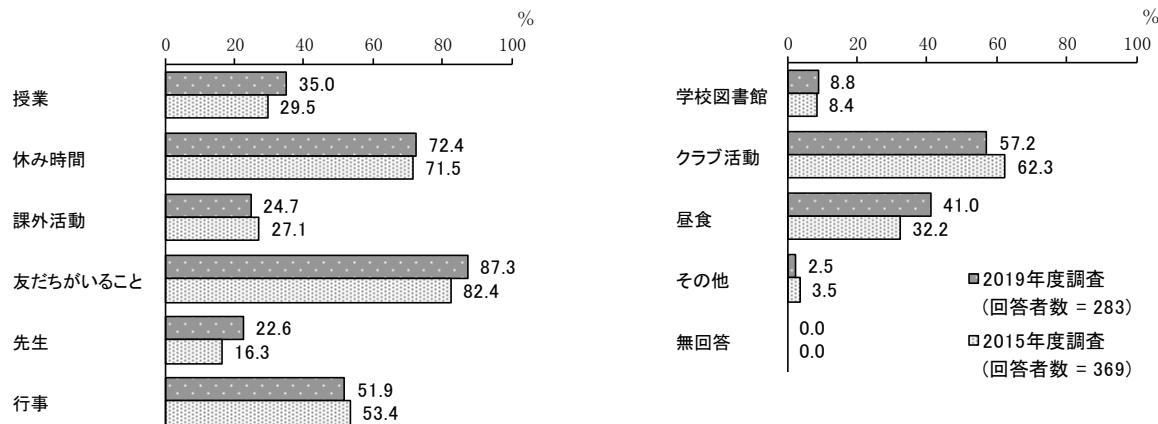
区分	回答者数(件)	単位：%						
		そう思う	どちらかといふ	どちらでもない	どちらかといふ	思わない	無回答	
中学生	199	51.3	25.6	9.0	6.0	6.5	1.5	
高校生	169	43.8	33.1	13.0	6.5	3.0	0.6	

問13で「1. そう思う」「2. どちらかといふ」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 どのようなところが楽しいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友だちがいること」の割合が87.3%と最も高く、次いで「休み時間」の割合が72.4%、「クラブ活動」の割合が57.2%となっています。

2015年度調査と比較すると、「授業」「先生」「昼食」の割合が増加し、「クラブ活動」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別でみても、「友だちがいること」が最も高くなっています。また、高校生に比べ、中学生で「休み時間」「先生」「クラブ活動」の割合が高くなっています。一方、高校生は「行事」の割合が高くなっています。

単位：%

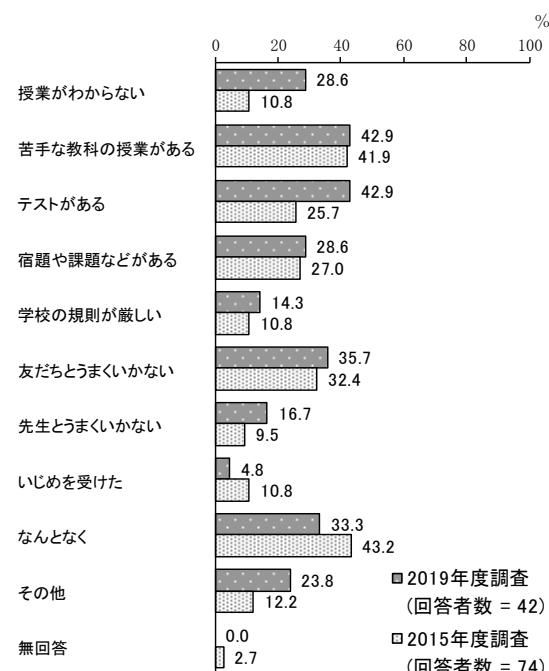
区分	回答者数(件)	授業	休み時間	課外活動	こと友だちがいる	先生	行事	学校図書館	クラブ活動	昼食	その他	無回答
中学生	153	33.3	79.7	25.5	88.2	25.5	49.0	9.2	60.8	43.1	3.3	—
高校生	130	36.9	63.8	23.8	86.2	19.2	55.4	8.5	53.1	38.5	1.5	—

問13で「4. どちらかというとそう思わない」「5. そう思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 そう思わない理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「苦手な教科の授業がある」、「テストがある」の割合が42.9%と最も高く、次いで「友だちとうまくいかない」の割合が35.7%となっています。

2015年度調査と比較すると、「授業がわからない」「テストがある」「先生とうまくいかない」の割合が増加し、「いじめを受けた」「なんとなく」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「苦手な教科の授業がある」「宿題や課題などがある」「友だちとうまくいかない」の割合が高くなっています。一方、高校生は「授業がわからない」「テストがある」「学校の規則が厳しい」「いじめを受けた」の割合が高くなっています。

単位：%

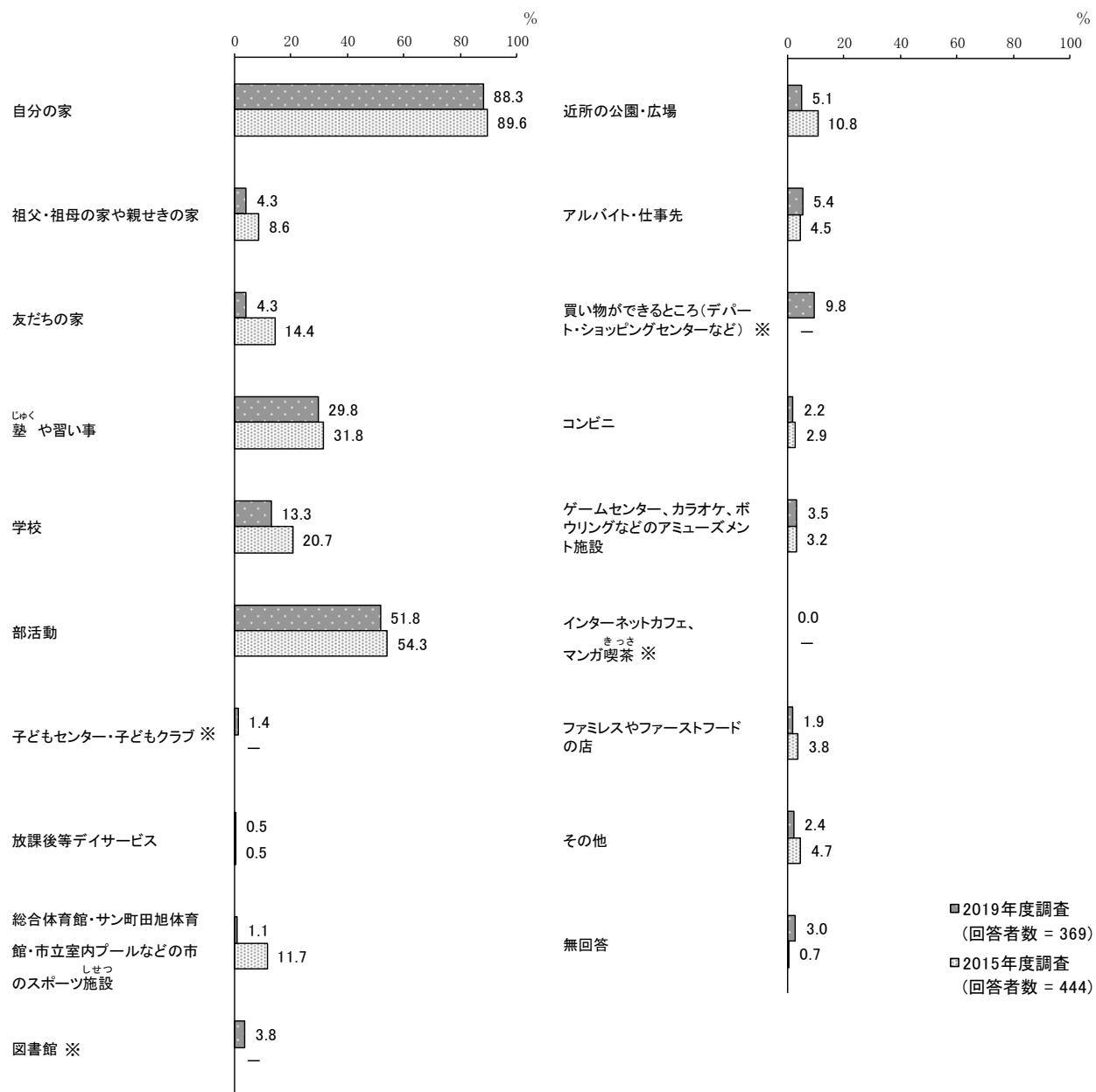
区分	回答者数(件)	ない授業がわから	授業がある教科の	苦手な教科の	テストがある	などがある宿題や課題	厳しい学校の規則が	く友だちとうま	い先生というまく	受けいじめを	なんとなく	その他	無回答
中学生	25	24.0	48.0	40.0	32.0	8.0	44.0	16.0	—	36.0	24.0	—	—
高校生	16	37.5	37.5	50.0	18.8	25.0	25.0	18.8	12.5	31.3	25.0	—	—

(5) 放課後や休日の過ごし方について

問14 放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自分の家」の割合が88.3%と最も高く、次いで「部活動」の割合が51.8%、「塾 や習い事」の割合が29.8%となっています。

2015年度調査と比較すると「友だちの家」「学校」「総合体育館・サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設」「近所の公園・広場」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「塾や習い事」「部活動」「近所の公園・広場」の割合が高くなっています。一方、高校生は「学校」「アルバイト・仕事先」の割合が高くなっています。

単位：%

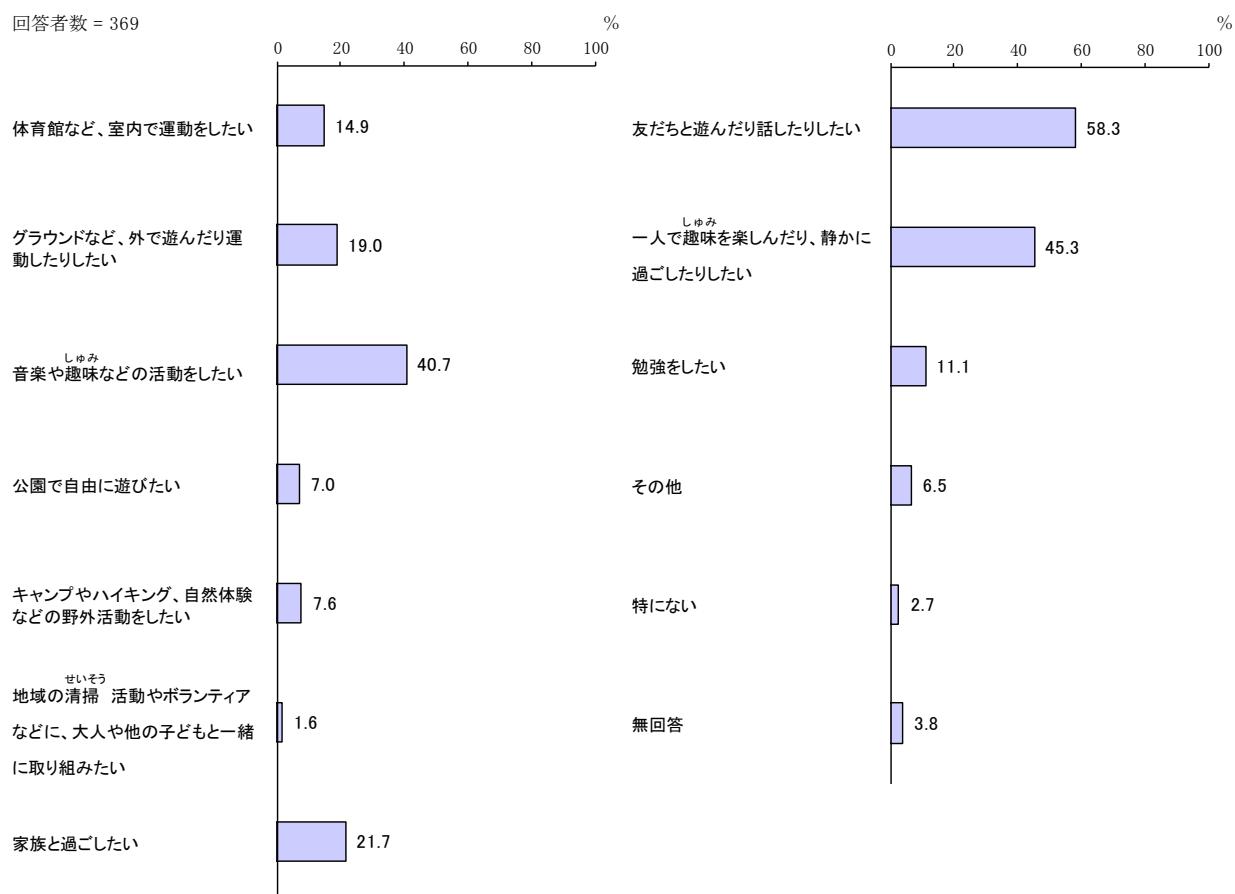
区分	回答者数 (件)	自分の家	祖父・祖母の家や親せきの家	友だちの家	塾や習い事	学校	部活動	子どもセンター・子どもクラブ	放課後等デイサービス	総合体育館・サン町田旭体育館・市立 室内プールなどの市のスポーツ施設
中学生	199	90.5	6.5	6.5	33.7	8.0	54.8	1.5	0.5	1.5
高校生	169	85.8	1.8	1.8	25.4	19.5	48.5	1.2	0.6	0.6

区分	図書館	近所の公園・広場	アルバイト・仕事先	買い物ができるところ（デパート・シヨツピングセンターなど）	コンビニ	ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設	インターネットカフェ、マンガ喫茶	ファミレスやファーストフードの店	その他	無回答
中学生	2.0	9.0	0.5	9.0	2.0	2.0	—	0.5	1.5	3.0
高校生	5.9	0.6	11.2	10.7	2.4	5.3	—	3.6	3.6	3.0

問15 放課後や休日はどのように過ごしたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「友だちと遊んだり話したりしたい」の割合が58.3%と最も高く、次いで「一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたりしたい」の割合が45.3%、「音楽や趣味などの活動をしたい」の割合が40.7%となっています。

回答者数 = 369



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「公園で自由に遊びたい」「家族と過ごしたい」の割合が高くなっています。一方、高校生は「音楽や趣味などの活動をしたい」「友だちと遊んだり話したりしたい」「一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたりしたい」の割合が高くなっています。

単位：%

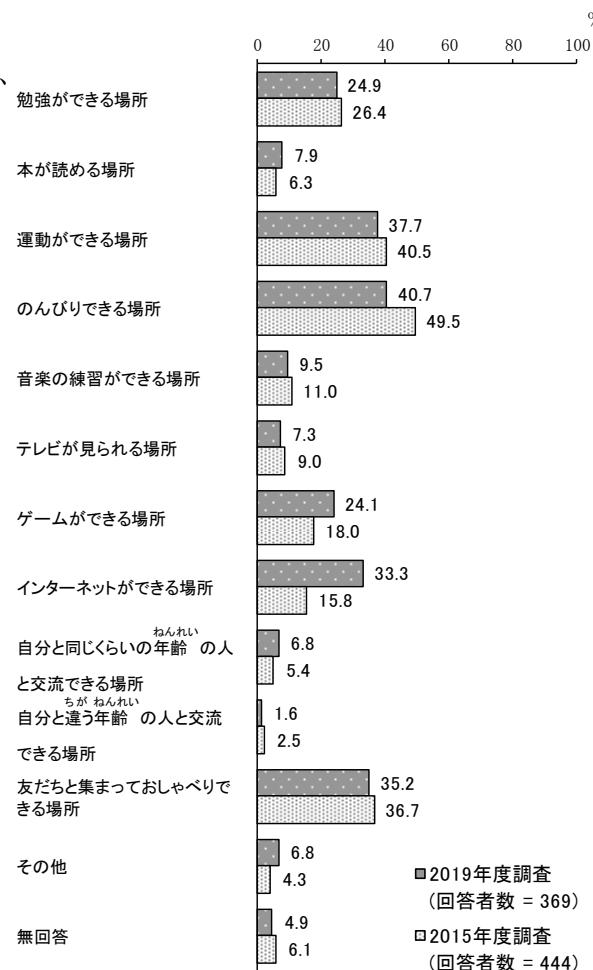
区分	回答者数 (件)	体育館など、室内で運動をしたい	グラウンドなど、外で遊んだり運動したい	音楽や趣味などの活動をしたい	公園で自由に遊びたい	キャンプやハイキング、自然体験などの野外活動をしたい	地域の清掃活動やボランティアなどに、大人や他の子どもと一緒に取り組みたい
中学生	199	15.6	20.6	34.7	10.6	9.5	1.0
高校生	169	14.2	17.2	47.9	3.0	5.3	2.4

区分	家族と過ごしたい	友だちと遊んだり話したりしたい	一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたい	勉強をしたい	その他	特にない	無回答
中学生	26.1	52.8	40.2	9.5	8.5	3.5	4.0
高校生	16.6	65.1	51.5	13.0	4.1	1.2	3.6

問16 放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「のんびりできる場所」の割合が40.7%と最も高く、次いで「運動ができる場所」の割合が37.7%、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が35.2%となっています。

2015年度調査と比較すると、「ゲームができる場所」「インターネットができる場所」の割合が増加し、「のんびりできる場所」の割合が減少しています。



【学年別】

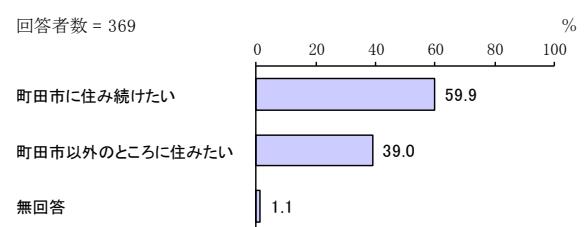
学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「運動ができる場所」「ゲームができる場所」「インターネットができる場所」の割合が高くなっています。一方、高校生は「勉強ができる場所」「のんびりできる場所」「音楽の練習ができる場所」「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	単位：%												
		勉強ができる場所	本が読める場所	運動ができる場所	のんびりできる場所	音楽の練習ができる場所	テレビが見られる場所	ゲームができる場所	インターネットができる場所	自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所	自分と違う年齢の人と交流できる場所	友だちと集まっておしゃべりできる場所	その他	無回答
中学生	199	18.1	9.0	42.7	36.7	6.0	9.0	30.2	36.2	7.0	1.5	30.7	7.0	6.0
高校生	169	33.1	6.5	32.0	45.6	13.6	5.3	17.2	30.2	6.5	1.8	40.2	6.5	3.6

(6) 町田市について

問17 町田市にこの先もずっと住み続けたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「町田市に住み続けたい」の割合が59.9%、「町田市以外のところに住みたい」の割合が39.0%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	町田市に住み続 けたい	町田市以外のと ころに住みたい	無回答
男性	160	59.4	39.4	1.3
女性	208	60.1	38.9	1.0

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「町田市に住み続けたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	町田市に住み続 けたい	町田市以外のと ころに住みたい	無回答
中学生	199	62.8	36.7	0.5
高校生	169	56.8	41.4	1.8

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、忠生地域「町田市以外のところに住みたい」の割合が高くなっています。

単位：%

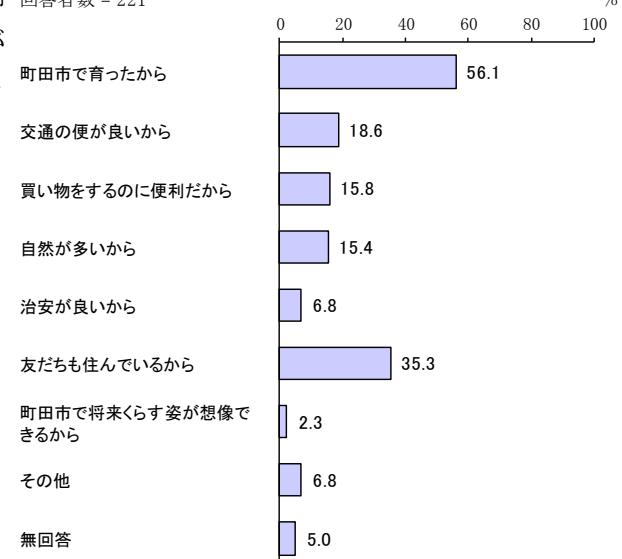
区分	回答者数(件)	町田市に住み続 けたい	町田市以外のと ころに住みたい	無回答
堺地域	61	65.6	34.4	—
忠生地域	72	47.2	48.6	4.2
町田地域	67	64.2	35.8	—
鶴川地域	73	61.6	37.0	1.4
南地域	85	62.4	37.6	—

問17で「1. 町田市に住み続けたい」に○をつけた方にうかがいます。

問17-1 町田市に住み続けたい理由はなんですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

「町田市で育ったから」の割合が56.1%と最も高く、次いで「友だちも住んでいるから」の割合が35.3%、「交通の便が良いから」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 221



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「友だちも住んでいるから」の割合が高くなっています。一方、女性は「町田市で育ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	から 町田市で育つ た	から 交通の便が良 い	買 い 物 を す る の に 便 利 だ か ら	自 然 が 多 い か ら	治 安 が 良 い か ら	いる か ら 友 だ ち も 住 ん で	き る か ら 町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 で く れ ば	町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 で く れ ば	その 他	無 回 答
男性	95	50.5	16.8	13.7	14.7	7.4	42.1	2.1	7.4	6.3	
女性	125	60.0	20.0	17.6	15.2	6.4	30.4	2.4	6.4	4.0	

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「友だちも住んでいるから」の割合が高くなっています。一方、高校生は「町田市で育ったから」「交通の便が良いから」「買い物をするのに便利だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	から 町田市で育つ た	から 交通の便が良 い	買 い 物 を す る の に 便 利 だ か ら	自 然 が 多 い か ら	治 安 が 良 い か ら	いる か ら 友 だ ち も 住 ん で	き る か ら 町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 で く れ ば	町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 で く れ ば	その 他	無 回 答
中学生	125	52.0	13.6	12.8	16.0	7.2	41.6	3.2	4.8	7.2	
高校生	96	61.5	25.0	19.8	14.6	6.3	27.1	1.0	9.4	2.1	

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、堺地域、忠生地域で「自然が多いから」の割合が高くなっています。また、忠生地域で「買い物をするのに便利だから」の割合が高くなっています。

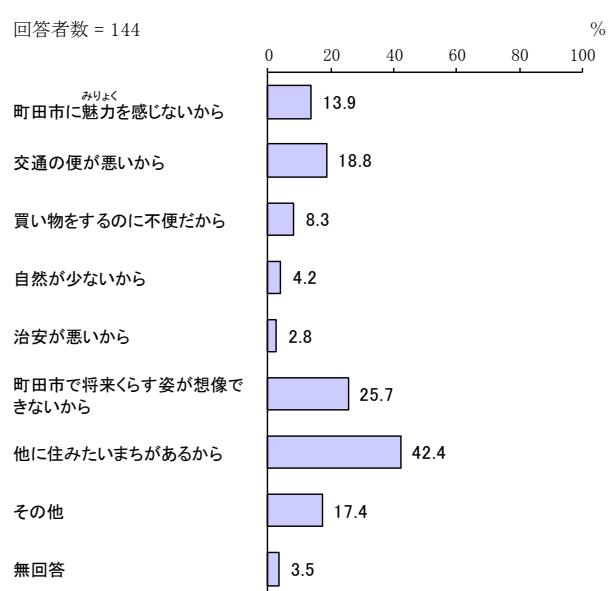
単位：%

区分	回答者数(件)	から 町田市で育つ た	から 交通の便が良 い	に 買 い 物 を す る の に 便 利 だ か ら	自 然 が 多 い か ら	治 安 が 良 い か ら	友 だ ち も 住 ん で いる か ら	き る か ら 町 田 市 で 将 来 く ら す 姿 が 想 像 で く	そ の 他	無 回 答
堺地域	40	40.0	20.0	10.0	25.0	10.0	32.5	5.0	—	12.5
忠生地域	34	52.9	11.8	23.5	23.5	2.9	32.4	5.9	5.9	2.9
町田地域	43	58.1	20.9	18.6	7.0	4.7	39.5	—	14.0	7.0
鶴川地域	45	64.4	8.9	15.6	15.6	8.9	33.3	—	8.9	4.4
南地域	53	60.4	28.3	13.2	7.5	7.5	35.8	1.9	5.7	—

問17で「2. 町田市以外のところに住みたい」に○をつけた方にうかがいます。

問17-2 町田市以外に住みたい理由は何ですか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

「他に住みたいまちがあるから」の割合が42.4%と最も高く、次いで「町田市で将来くらす姿が想像できないから」の割合が25.7%、「交通の便が悪いから」の割合が18.8%となっています。



【その他の主な意見】

- ・色々なところに住んでみたいから (12件)
- ・親と離れたいから (2件)
- ・田舎っぽいから (1件) 等

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「他に住みたいまちがあるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	じ ない か ら 町 田 市 に 魅 力 を 感 み よ く	ら 交 通 の 便 が 悪 い か	不 便 だ か ら 買 い 物 を す る の に	自 然 が 少 な い か ら	治 安 が 悪 い か ら	い す か ら 町 田 市 が 想 像 で き な ら	が 他 に 住 み た い ま ち	そ の 他	無 回 答
男性	63	15.9	17.5	6.3	4.8	3.2	27.0	46.0	22.2	1.6
女性	81	12.3	19.8	9.9	3.7	2.5	24.7	39.5	13.6	4.9

【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「買い物をするのに不便だから」の割合が高くなっています。一方、高校生は「交通の便が悪いから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	感じないから 町田市に魅力を	から 交通の便が悪い	に 買い物をするの 不便だから	ら 自然が少ないか	治安が悪いから	きないから 町田市で将来く らす姿が想像でき ないから	町田市で将来く らす姿が想像でき ないから 他に住みたいま ちがあるから	その他	無回答
中学生	73	11.0	12.3	12.3	5.5	4.1	26.0	43.8	19.2	2.7
高校生	70	15.7	24.3	4.3	2.9	1.4	25.7	41.4	15.7	4.3

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、町田地域、南地域で「他に住みたいまちがあるから」の割合が高くなっています。また、堺地域、町田地域で「町田市で将来くらす姿が想像できないから」の割合が、忠生地域で「買い物をするのに不便だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	感じないから 町田市に魅力を	から 交通の便が悪い	に 買い物をするの 不便だから	ら 自然が少ないか	治安が悪いから	きないから 町田市で将来く らす姿が想像でき ないから	町田市で将来く らす姿が想像でき ないから 他に住みたいま ちがあるから	その他	無回答
堺地域	21	14.3	14.3	9.5	—	—	33.3	38.1	19.0	9.5
忠生地域	35	22.9	22.9	17.1	2.9	5.7	22.9	37.1	14.3	5.7
町田地域	24	20.8	12.5	—	4.2	4.2	37.5	54.2	8.3	4.2
鶴川地域	27	7.4	25.9	7.4	3.7	—	22.2	33.3	18.5	—
南地域	32	6.3	15.6	6.3	6.3	3.1	18.8	53.1	21.9	—

問17-2で「7. 他に住みたいまちがあるから」に○をつけた方にうかがいます。

問17-3 今住みたいまちはどこですか。また、その理由は何ですか。（　）内にご記入ください。

【住みたいまち】

- ・横浜（6件）
- ・海外（4件）
- ・大阪（4件）
- ・韓国（3件）
- ・新宿区（3件）
- ・都心（3件）
- ・アメリカ（2件）
- ・沖縄（2件）
- ・秋葉原（2件）
- ・杉並区（2件）
- ・都会（2件）
- ・東京23区内（2件）
- ・北海道（2件）
- ・渋谷区（2件）
- ・千葉県浦安市（2件）
- ・イタリア（1件）
- ・カナダ（1件）
- ・シカゴ（1件）
- ・シドニー（1件）
- ・長崎（1件）
- ・バルゲン（ノルウェー）（1件）
- ・ボストン（1件）
- ・ヨーロッパ（1件）
- ・海がある町（湘南など）（1件）
- ・岐阜（1件）
- ・京都市（1件）
- ・広島県広島市（1件）
- ・港区（1件）
- ・高円寺（1件）
- ・札幌（1件）
- ・山手線沿線のどこか（1件）
- ・新潟（1件）
- ・世田谷（1件）
- ・赤坂の方（1件）
- ・千代田区（1件）
- ・大田区（1件）
- ・田園調布（1件）
- ・田舎（1件）
- ・東北地方（未定）（1件）
- ・武蔵小杉（1件）
- ・名古屋（1件）

【理由（主なもの）】

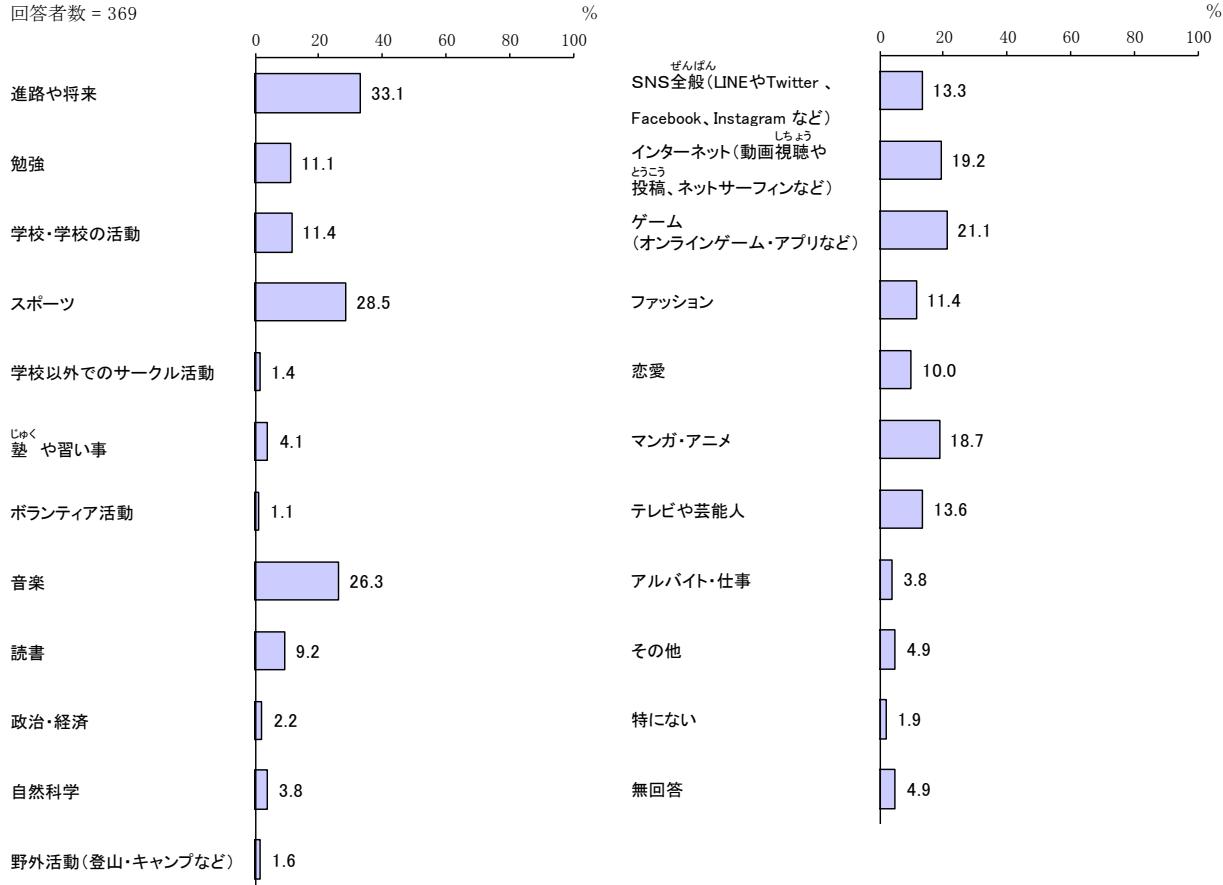
- ・英語を話したい
- ・キレイな街だから
- ・都会に出たいから
- ・都心の方に憧れがあるから
- ・自然がたくさんだから

(7) 考えや将来像について

問18 今どのようなことに興味がありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「進路や将来」の割合が33.1%と最も高く、次いで「スポーツ」の割合が28.5%、「音楽」の割合が26.3%となっています。

回答者数 = 369



【学年別】

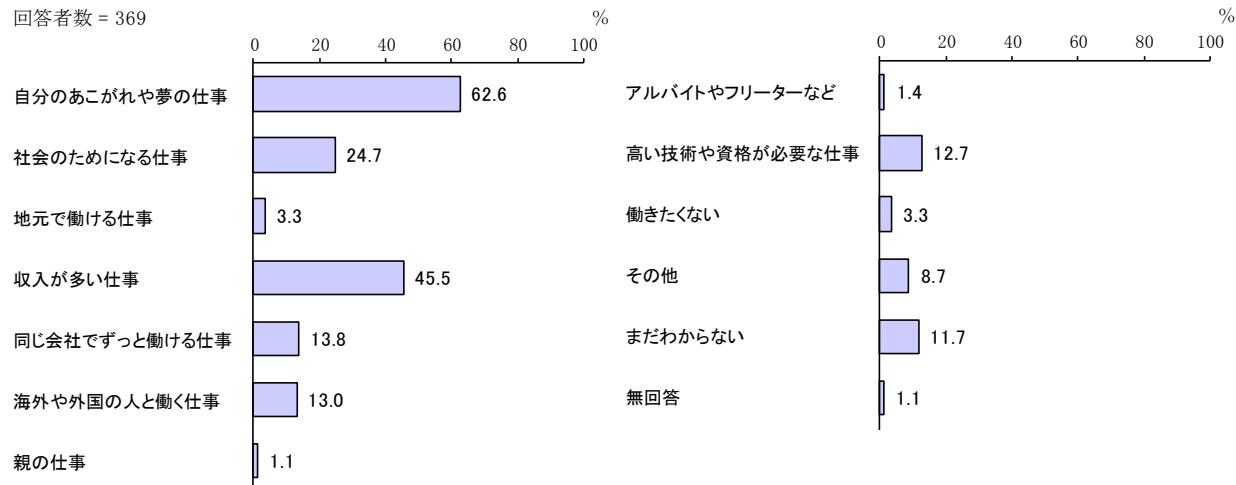
学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「スポーツ」「インターネット（動画視聴や投稿、ネットサーフィンなど）」「ゲーム（オンラインゲーム・アプリなど）」の割合が高くなっています。一方、高校生は「進路や将来」「勉強」「音楽」「恋愛」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	進路や将来	勉強	学校・学校の活動	スポーツ	学校以外でのサークル活動	塾や習い事	ボランティア活動	音楽	読書	政治・経済	自然科学	野外活動(登山・キャンプなど)	SNS全般(LINEやTwitter、Facebook、Instagramなど)	インターネット(動画視聴や投稿、ネットサーフィンなど)	ゲーム(オンラインゲーム・アプリなど)	ファッショ	恋愛	マンガ・アニメ	テレビや芸能人	アルバイト・仕事	その他	特にな	無回答
中学生	199	25.6	8.0	10.6	31.7	1.5	6.0	0.5	23.6	9.5	1.5	5.0	2.5	12.6	23.6	26.1	9.5	7.0	19.6	12.1	1.5	5.5	2.0	5.5
高校生	169	42.0	14.8	12.4	24.9	1.2	1.8	1.8	29.6	8.9	3.0	2.4	0.6	14.2	14.2	15.4	13.6	13.6	17.8	15.4	6.5	4.1	1.2	4.1

問19 将来はどのような仕事につきたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「自分のあこがれや夢の仕事」の割合が62.6%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が45.5%、「社会のためになる仕事」の割合が24.7%となっています。



【学年別】

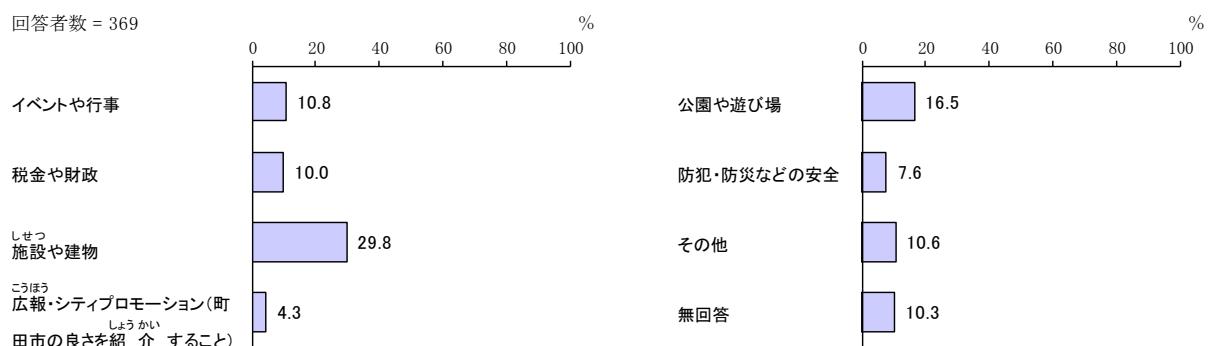
学年別でみると、中学生に比べ、中学生で「まだわからない」の割合が高くなっています。一方、高校生は「自分のあこがれや夢の仕事」「海外や外国の人と働く仕事」の割合が高くなっています。

単位 : %

区分	回答者数(件)	夢の仕事	自分のあこがれや	社会のためになる	地元で働く仕事	収入が多い仕事	働く仕事を	同じ会社でずっと	働く仕事	海外や外国人と	親の仕事	一ターンなど	アルバイトやフリ	必要な仕事	高い技術や資格が	働きたくない	その他	まだわからぬ	無回答
中学生	199	57.3	23.1	4.0	44.2	15.6	10.1	1.0	1.5	14.1	1.0	9.0	16.1	0.5					
高校生	169	69.2	26.6	2.4	47.3	11.8	16.6	1.2	1.2	11.2	5.3	8.3	6.5	1.8					

問20 自分の意見を町田市に言えるなら、どのようなことに対して意見を言いたいですか。主に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「施設や建物」の割合が29.8%と最も高く、次いで「公園や遊び場」の割合が16.5%、「イベントや行事」の割合が10.8%となっています。



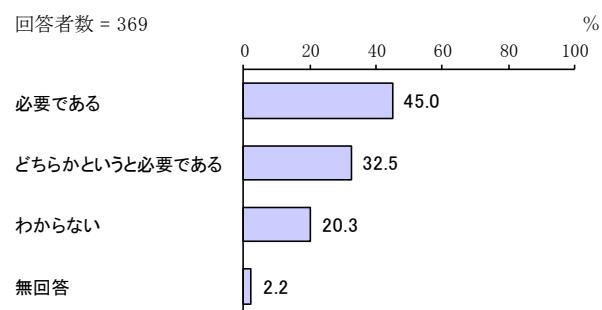
【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「イベントや行事」「公園や遊び場」「防犯・防災などの安全」の割合が高くなっています。一方、高校生は「税金や財政」「施設や建物」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	単位：%							
		イベントや行事	税金や財政	施設や建物	田市の良さを紹介する」と	広報・シティプロモーション(町)	公園や遊び場	防犯・防災などの安全	その他
中学生	199	13.6	6.5	23.1	3.5	22.6	11.1	10.6	9.0
高校生	169	7.7	14.2	37.9	5.3	9.5	3.6	10.7	11.2

問21 町田市の未来を決めるときに、大人だけでなく自分たちの意見を反映させる機会や仕組みが必要だと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「必要である」の割合が45.0%と最も高く、次いで「どちらかというと必要である」の割合が32.5%、「わからない」の割合が20.3%となっています。



【学年別】

学年別でみると、高校生に比べ、中学生で「わからない」の割合が高くなっています。一方、高校生は「必要である」の割合が高くなっています。

区分	回答者数 (件)	単位：%				
		必要である	どちらかといふ	わからない	無回答	
中学生	199	41.2	32.7	24.1	2.0	
高校生	169	49.7	32.5	15.4	2.4	

問22 町田市へのご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

アンケート調査票の自由記述欄において、155人の方から、計236件の意見を寄せていいただきました。

分類回答	件数
1. 市の公共施設について（公園・図書館など）	48
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・演劇の練習ができる（高校生でも使えるような）施設と、音楽を練習できる（楽器が持ち込めたり、打楽器を借りられたりする）施設が欲しい。 ・自然を増やして欲しい。木などが少ないような気がする為。きれいな川や木がある場所があると、みんなが楽しめると思う。 ・静かに友だちと勉強できるところ（図書館以外）や大きな運動ができる遊び場（アスレチック）が欲しい。 ・キャッチボールなどボールを使ってもいい公園を増やして欲しい。近くの公園は近所の人がダメと言ってくる。 	など
2. 防犯・安全について	16
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・町田市には暗くて細い道がいっぱいあって危険だからもっと明るい道を作った方が良いと思う。 ・歩道が古くて段差が多く危ないので直して欲しい。 ・歩きスマホが多い。 	など
3. 娯楽について（映画館・商業施設など）	35
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・町田駅に映画館を作つて欲しい。 ・テーマパークのような観光スポットがあれば、もっと人気のある町になると思います。リス園だけじゃ物足りない。 ・ショッピングセンターやコンサート会場、映画館などの施設をもう少し増やして欲しい。 ・駅前からパチンコを無くして、本屋をもっと作つて欲しい。 	など
4. 市に対する意見・要望など	44
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・つるっこ、ただONなど子どもセンター的なところにフリーWi-Fiが欲しい。TikTokなど撮る時や動画を見たい時にギガが減って見られない。最近ではインターネットやSNSを使う人が増加しているからそういう人たちのためにも設置してもらいたい。 ・所得制限無しで医療証を出して欲しい。 ・町田のよさをアピールしていくって欲しい。 	など

分類回答	件数
5. 市の交通環境について	38
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場が増えると良いと思う。停めたい時に停められないことが多々あり困ることがある(見ている限り駐車場も増えると更に良い気がする)。 ・早く多摩モノレールを町田まで通して欲しい。 ・渋滞が酷い。 ・赤信号で渡る人が多い(特に駅周辺)。 ・バスの交通の便が少ないのが本当に不便。 	など
6. 学校について	24
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の修理(ベランダ、天井etc)のお金をもっと出して欲しかった。 ・学校の体育館に冷暖房を付けて欲しい。学校のプールをきれいにして欲しい。 ・授業数や授業時間が年々増え、休みの日数が減っている。学校の校則に柔軟性がない。 ・タブレットを全校に配置して欲しい。 	など
7. その他	31
主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料が高過ぎると思う。私たちが大人になった時、払いきれないような保険料を負担しなければならないのではないかと不安になる。 ・ハロウィンだけじゃなく、もう少し地域の子どもが楽しめるイベントや行事を増やしたほうがいいと思う。専業主婦の方たちが集まってイベントを開いたりしても良いと思う。 ・お祭りがもっとふえると嬉しい。 ・市内でも様々なイベントなどを行っているが、その情報を知る機会があまりないので、SNSを使用したり、小・中学校での宣伝などを進めてもらえると嬉しい。 	など

(8) 調査票

家族の状況についてうかがいます。

【中学生・高校生の方へ】

みんなさんの生活などに関するアンケート調査 ～調査の意味とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

2013年11月から始まった「町田市子ども・子育て会議」では、町田市からの依頼を受けて、子どもについての計画や事業について話しを行っています。今回、町田市では子どもを中心的な計画となっている「新・町田市子どもマスタークリーン」と「町田市子ども・子育て支援事業計画」の2つの計画が、2019年度末で計画期間が終わりとなることから、「2020年度に向けて新しい計画を作ることになりました。そのため「町田市子ども・子育て会議」では、新しい計画についての話し合いを行っています。

今回、新しい計画をつくるために、みなさんの状況や考えていることなどを聞き、話し合いを深めていきたいと考えています。
つきましては、みなさんの素直なご意見をお答えいただきますよう、お願いいたします。
このアンケート調査は、市内にお住まいの12歳～18歳の方を対象に、無作為で1,000人の方にお送りしています。なお、この調査票にお名前を書く必要はございません。お答えいただいたい方が特定されることや、他の目的に使用されることもございません。
調査の目的をご理解いただき、ご協力ををお願いいたします。

2019年5月

町田市子ども・子育て会議 会長 金子和正

- このアンケート調査は住民基本台帳の中から、12歳～18歳の方を無作為で抽出させていただきました。(抽出手日: 2019年4月10日)
- 答はお友だちと相談したりしないで、「あなた」が考えたことをお答えください。
- えん筆や黒のボールペンなどでご記入ください。
- 答は選択肢の番号に○をつけただく場合と、数字を記入していただく場合があります。また、設問によって、「1つに○」、「3つまでに○」、「3つまでに○」など回答数を指定している場合は、**指定の範囲内で○をつけてください。**
- ご記入いただいた調査票は、一緒に入っている返信用封筒に入れて、**5月21日(火)までにボストへご投函ください。**
調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
【お問い合わせ】町田市 子ども生活部 子ども総務課 企画総務係 電話: 042-724-2876 FAX: 050-3101-8377

問1 お住まいの郵便番号をうががいます。() 内に数字で記入ください。

〒() - ()

問2 性別を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男 2. 女

問3 学年(年齢)を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 中学1年生 | 2. 中学2年生 |
| 3. 中学3年生 | 4. 高校1年生(15～16歳) |
| 5. 高校2年生(16～17歳) | 6. 高校3年生(17～18歳) |

問4 兄弟姉妹がいますか。また、兄弟姉妹がいる場合、あなたは上から何番目ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2.」に○をつけた方は、() 内に数字をご記入ください。

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 兄弟姉妹はない(一人っ子) | 2. 兄弟姉妹がいる → () 人きょうだいの() 番目 |
|------------------|--------------------------------|

問5 どちらと一緒に住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、あなたを含めて、何人で住んでいますか。() 内に数字で記入ください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 父 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 4. 祖父 |
| 5. 祖母 6. その他() | |

家族全員で() 人

悩み事や相談先についてうかがいます。

問6 自分の方が好きだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. そう思う 2. やり思ふ | 3. あまり思わない 4. 思わない |
|-----------------|--------------------|

問7 悩みや心配なことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1. 健康や病気、体調不良 2. 顔や体型 | 3. 性格やクセ 4. 運動 |
| 5. 勉強 6. 将来や進路 | 7. アレルギーや仕事 8. おこづかい |
| 9. ほしいものを持つもらえない 10. いじめ | 11. 友だち 12. 恋愛 |
| 13. 兄弟姉妹 14. 親 | 15. 学校の先生 16. インターネット(SNS)でのトラブル |
| 17. 性 18. その他() | 19. 特にない() |

問8 何か相談したいことや聞いてほしいことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 父親
- 2. 母親
- 3. 祖父母
- 4. 兄弟姉妹
- 5. 親せきの人
- 6. 学校の友だち・先輩
- 7. 学校以外の友だち・先輩
- 8. 担任の先生
- 9. 保健室の先生
- 10. (8と9以外の) その他の学校の先生
- 11. スクールカウンセラー
- 12. 子どもセンターのスタッフ
- 13. 墓・習い事の先生
- 14. 地域の知り合いの人
- 15. 相談機関(教育センター、児童相談所など)の人
- 16. インターネットの相談サイト(ここなび・若ナビなど)
- 17. SNSで知り合った人
- 18. その他()
- 19. 誰もいない

問9 困った時に、相談できるところ(相談機関)をどこか知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 知っている
 - 2. 知らない
- 問9-1は問9で「1. 知っている」に○をつけた方にうがいします。
- 問9-1 知っているところはどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- 1. 子ども家庭支援センター(まごちゃんダイヤル)
 - 2. 保健相談所・全国共通ダイヤル189
 - 3. 子ども電話相談室
 - 4. 教育センター
 - 5. いじめ110番(町田市教育委員会指導課)
 - 6. 話してみないよー東京子どもネット
 - 7. その他()

インターネットなどについてうかがいます。

問10 学校や塾などの勉強以外でインターネットを自由に使えますか(Wi-Fi環境で使用している方も含みます)。

- 1. 使っている
 - 2. 使っていない
- 問10-1は問10で「1. 使っている」に○をつけた方にうがいします。
- 問10-1 インターネットにつながるスマートフォンを持つていますか(Wi-Fi環境で使用している方も含みます)。当てはまる番号1つに○をつけてください。
- 1. 使っている
 - 2. 使っていない

- 問10-2は問10-1で「1. 持っている」に○をつけた方にうがいします。
- 問10-2 携帯からスマートフォンを持っていますか。() 内に年齢を数字で記入ください。
- () 歳から持っている

問11 インターネットをどのように使用していますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

- 1. LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで利用
- 2. ニュースを閲覧
- 3. 情報検索
- 4. 地図・ナビゲーションを利用
- 5. 音楽聴き
- 6. 動画鑑賞
- 7. ゲームで利用
- 8. 売り板への書き込みや、やりとり
- 9. ショッピング・オーダーショップで利用
- 10. 学校や塾などの勉強で使用
- 11. 使用しない・使用できない
- 12. その他()

問12 インターネットを使用して、何かトラブルが起きたことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 身におぼえのない料金を請求された
- 2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
- 3. インターネットショッピングなどで詐欺にあった(商品が届かない、不良品が届く)
- 4. オンラインインゲームで被害にあった(アイテムがなくなる、ゲームができないくなる)
- 5. LINEやTwitter、Facebook、Instagram、メールなどで、中傷やいじめられたり
- 6. 名前や住所、メールアドレスなどの個人情報をや写真を勝手に使用された
- 7. 迷惑メール(チエーンメールなど)が頻繁に送られてきた
- 8. コンピューターウイルスに感染した
- 9. つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトラブルに巻き込まれた
- 10. 夜遅くまで使用して、起き抜けなかつた(学校や仕事に遅刻する)
- 11. インターネットやSNSなどが気になって、他のこどが手につかなくなつた
- 12. その他(具体的に:)
- 13. 特になにもない

学校生活についてうかがいます。

問13 学校は楽しいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. そう思う
- 2. どちらかというとそう思う
- 3. どちらでない
- 4. どちらかというとそう思わない
- 5. そう思わない

→問13-1は問13で「1. そう思う」「2. どちらかというとそう思う」に○をついた方にうかがいます。
問13-1 どのようなところが楽しいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 漢業
- 2. 休み時間
- 3. 調外活動
- 4. 友だちがいること
- 5. 先生
- 6. 行事
- 7. 学校図書館
- 8. クラブ活動
- 9. 食堂
- 10. その他()

→問13-2は問13で「4. どちらかというとそう思わない」「5. そう思わない」に○をついた方にうかがいます。
問13-2 そう思わない理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 漢業力がない
- 2. 告手な教科の授業がある
- 3. テストがある
- 4. 音楽や調理などがある
- 5. 学校の規則が厳しい
- 6. 友だちうまくいかない
- 7. 先生こうまくいかない
- 8. いじめを受ける
- 9. なんとなく
- 10. その他()

放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。

問14 放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 1. 自分の家
- 2. 祖父・祖母の家や親せきの家
- 3. 友だちの家
- 4. 嵩や習い事
- 5. 学校
- 6. 部活動
- 7. 子どもセンター・子どもクラブ
- 8. 放課後等ティザービス
- 9. 総合体育館、サン町田旭体育館・市立室内プールなどの市のスポーツ施設
- 10. 図書館
- 11. 近所の公園・広場
- 12. アルバイト・仕事先
- 13. 買い物ができるところ（デパート・ショッピングセンターなど）
- 14. コンビニ
- 15. ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
- 16. インターネットカフェ、マンガ喫茶
- 17. ファミレスやファーストフードの店
- 18. その他()

問15 放課後や休日はどのように過ごさたいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 1. 体育館など、室内で運動をしたい
- 2. グラウンドなど、外で遊んだり運動したりしたい
- 3. 音楽や趣味などの活動をしたい
- 4. 公園で自由に遊びたい
- 5. キャンプやハイキング、自然体験などの野外活動をしたい
- 6. 地域の講師活動やボランティアなどに、大いや他の子どもと一緒に取り組みたい
- 7. 家族と過ごしたい
- 8. 友だちと遊んだり話したりしたい
- 9. 一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごしたい
- 10. 勉強をしたい
- 11. その他()
- 12. 特にない()

問16 放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 1. 勉強ができる場所
- 2. 本が読める場所
- 3. 運動ができる場所
- 4. のんびりできる場所
- 5. 音楽の練習ができる場所
- 6. テレビが見られる場所
- 7. ゲームができる場所
- 8. インターネットができる場所
- 9. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
- 10. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
- 11. 友だちと集まっておしゃべりできる場所
- 12. その他()

町田市についてうかがいます。

- 問 17 町田市にこの先もずっと住み続けたいですか。当ではまる番号 1 つまでに○をつけてください。
1. 町田市に住み続けたい
2. 町田市以外のところに住みたい
- 問 17-1 町田市に住み続けたい理由はなんですか。当ではまる番号 2 つまでに○をつけてください。
1. 町田市で育つたから
2. 買い物をするのに便利だから
3. 自然が多いから
4. 友だちも住んでいるから
5. 治安が良いから
6. 友だちも住み続けできるから
7. 町田市で将来くらす姿が想像できるから
8. その他（ ）
- 問 17-2 町田市以外のところに住みたい理由は何ですか。当ではまる番号 2 つまでに○をつけてください。
1. 町田市に魅力を感じないから
2. 買い物をするのに不便だから
3. 自然が少ないので
4. 町田市で将来くらす姿が想像できないから
5. 治安が悪いから
6. 町田市に住み続けたいから
7. 他に住みたいまちがあるから
8. その他（ ）

→問 17-3 は問 17-2 で「7. 他に住みたいまちがあるから」に○をつけた方にうがひいます。

- 問 17-3 今住みたいまちはどこですか。また、その理由は何ですか。（ ）内に記入ください。
(住みたいまち：
(理由：)
1. 進路や将来
2. 勉強
3. 学校・学校の活動
4. スポーツ
5. 学校以外でのサークル活動
6. 登山や習い事
7. ボランティア活動
8. 音楽
9. 読書
10. 政治・経済
11. 自然科学
12. 野外活動（登山・キャンプなど）
13. SNS 全般（LINE や Twitter、Facebook、Instagram など）
14. インターネット（動画配信や投稿、ネットサーフィンなど）
15. ゲーム（オンラインゲーム・アプリなど）
16. ファッション
17. 恋愛
18. マンガ・アニメ
19. テレビや芸能人
20. アルバイト・仕事
21. その他（ ）
22. 特になし（ ）

問 19 将来はどうな仕事につきたいですか。当ではまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 自分のあこがれいや夢の仕事
2. 社会のためになる仕事
3. 地元で働ける仕事
4. 収入が多い仕事
5. 同じ会社でずっと働ける仕事
6. 海外や外国の人と働く仕事
7. 親の仕事
8. アルバイトやフリーターなど
9. 高い技術や資格が必要な仕事
10. 働きたくない
11. その他（ ）
12. まだわからぬ（ ）

問 20 自分の意見を町田市に言えるなら、どのようなことに対して意見をしたいですか。主に当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. イベントや行事
2. 税金や財政
3. 施設や建物
4. 法規・シティプロモーション（町田市の良さを発表すること）
5. 公園や遊び場
6. 防犯・防災などの安全
7. その他（ ）

問 21 町田市の未来を決めるときに、大人だけでなく自分たちの意見を反映させる機会や仕組みが必要だと思いますか。当ではまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 必要である
2. どちらかというと必要である
3. わからぬ

問 22 町田市へのご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

問 18 今どのようなことに興味がありますか。当ではまる番号 3 つまでに○をつけてください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、5月 21 日（火）までにポストへご投函ください。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

1. 進路や将来
2. 勉強
3. 学校・学校の活動
4. スポーツ
5. 学校以外でのサークル活動
6. 登山や習い事
7. ボランティア活動
8. 音楽
9. 読書
10. 政治・経済
11. 自然科学
12. 野外活動（登山・キャンプなど）
13. SNS 全般（LINE や Twitter、Facebook、Instagram など）
14. インターネット（動画配信や投稿、ネットサーフィンなど）
15. ゲーム（オンラインゲーム・アプリなど）
16. ファッション
17. 恋愛
18. マンガ・アニメ
19. テレビや芸能人
20. アルバイト・仕事
21. その他（ ）
22. 特になし（ ）

新・町田市子どもマスターPLAN（後期）
策定のためのアンケート調査報告書
2020年3月発行

発行・編集：町田市子ども生活部子ども総務課
〒194-8520 町田市森野2-2-22
電話 042-724-2876
FAX 050-3101-8377
町田市ホームページ：<https://www.city.machida.tokyo.jp/>
刊行物番号：19-96
